SHARP®

取扱説明書

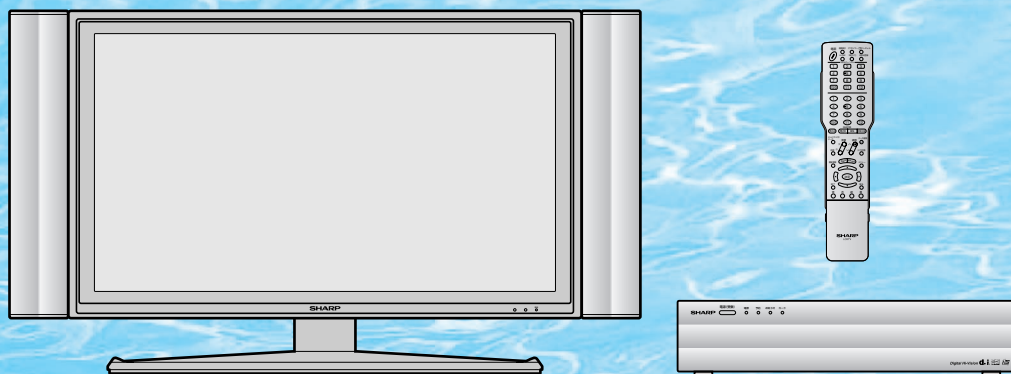
液晶カラーテレビ

形 名

LC-32GD2
(エル シー ジー ディー)

操作編 本機の便利で多彩な機能を使いこなすためのガイドブックです

AQUOS

GR GHOST REDUCTION

このマークは、放送信号に含まれるGCR信号を利用して、ゴーストを軽減する機能を内蔵した機器であることを示すものです。

はじめに
本機を正しくお使いいただくための注意事項やメニューの操作方法などについて説明しています。

テレビを楽しむ
本機を楽しく使っていただくうえで役立ついろいろな機能と操作方法について説明しています。

デジタル放送の機能と設定
デジタル放送を楽しくご覧いただくためのいろいろな機能と設定について説明しています。

他の機器をつないで使う
外部機器の再生を楽しんだり、放送を録画するときの方法について説明しています。

カードを使う
カード機能を使って静止画・動画の記録・再生や電子ブックの再生を楽しむときの説明ページです。

情報ページ
メニュー項目一覧やおもな仕様、用語の解説、索引など、便利な情報のページです。

Quick Start Guide in English
An easy guide to basic features of this product.

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」(5ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

はじめに

テレビを楽しむ

デジタル放送の機能と設定

他の機器をつないで使う

もくじ(つづき)

カードを使う

情報ページ

Quick Start Guide in English

ご注意 お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去をお願いします。(**118**ページ)

※ 本取扱説明書に記載している画面表示は説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

安全上のご注意

ご使用前に**「安全上のご注意」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

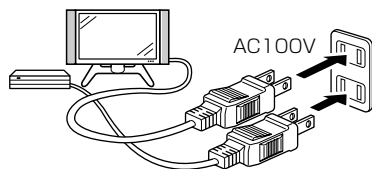
 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

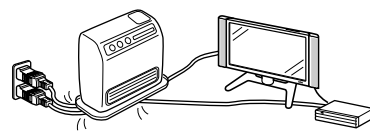
 記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

100ボルト以外禁止

火災・感電の原因となります。

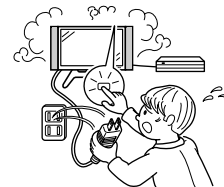
電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

禁止

火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

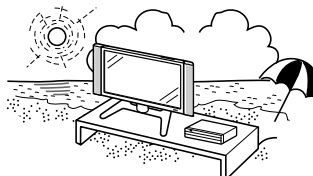
電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

次ページへつづく

安全上のご注意(つづき)

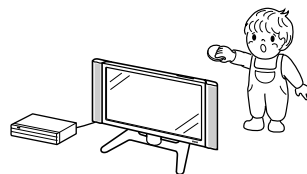
⚠ 警告

内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

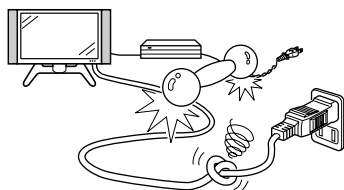
電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

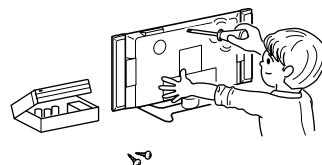
異物を入れない

禁止

通風孔(裏ぶたのすき間)などからものを入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

禁止

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

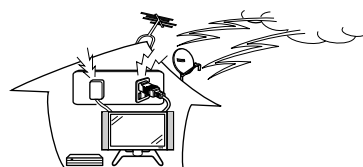
火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

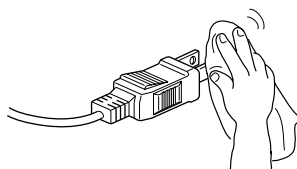
禁止

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

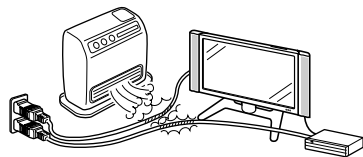
接触禁止

感電の原因となります。

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

ほこりを取る

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

電源コードを熱器具に近づけない

禁止

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

離して配置

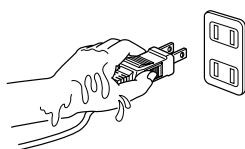
- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

禁止

ファンの排気孔や通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

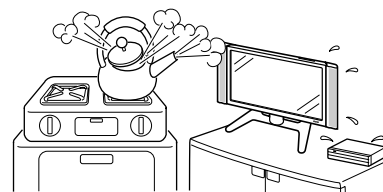
禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

タコ足配線をしない

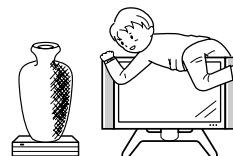
禁止

火災・感電の原因となることがあります。

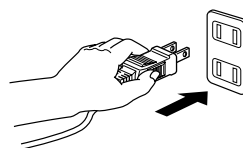
湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

禁止

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

禁止

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

電源プラグは確実に差し込む

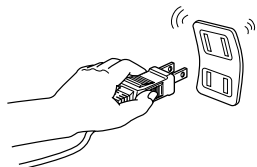
確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

次ページへつづく

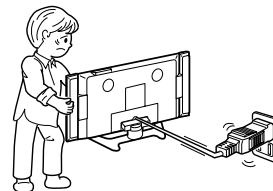
安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

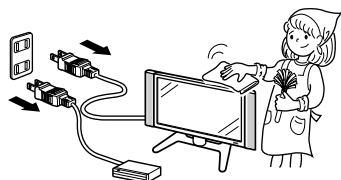
電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

禁止

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

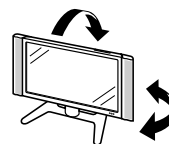
接続線をはずす

接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

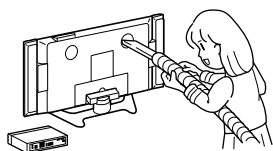
電源プラグを抜く

感電や火災の原因となることがあります。

スタンドの角度を調整するときは注意する

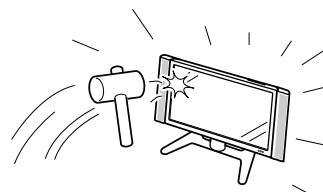
手を挟まれないよう注意

指のケガに注意

手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

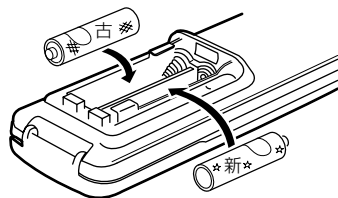
通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く
内部の掃除は販売店に依頼する

注意

内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

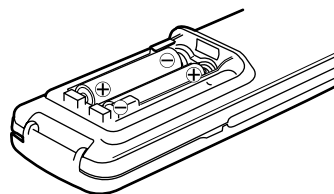
液晶画面に衝撃を与えない

禁止

液晶画面のパネルが割れて、けがの原因となることがあります。

指定以外の電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

禁止

破裂や液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

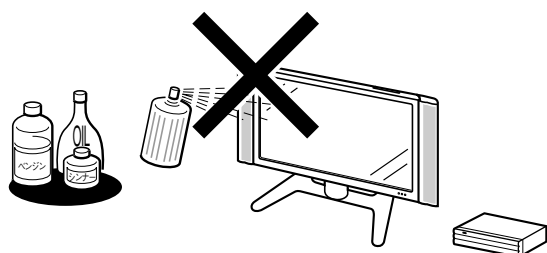
電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)の向きに注意する

表示どおりに入れる

破裂や液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

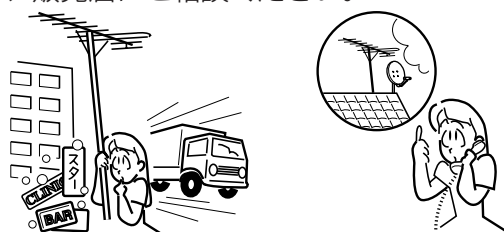
キャビネットのお手入れのしかた

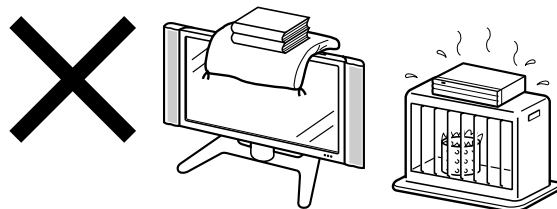
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

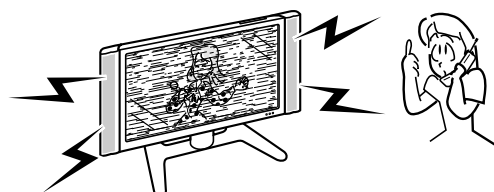
- お手入れの際は、必ずディスプレイ部天面の電源(押・入-切)スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。
- 本機のディスプレイパネルの表面は、柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。(強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付いたりしますので、ご注意ください。)
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。
- ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾などを使わないでください。パネルの表面がはく離することがあります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ず専用のケーブルを使用してください。(準備編 21ページ参照)
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

設置について

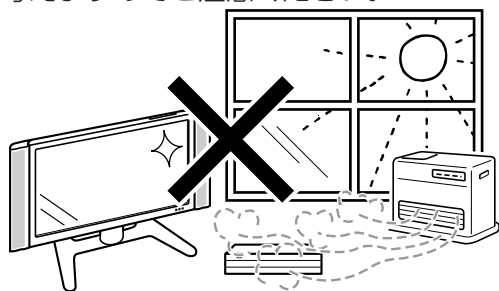
- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

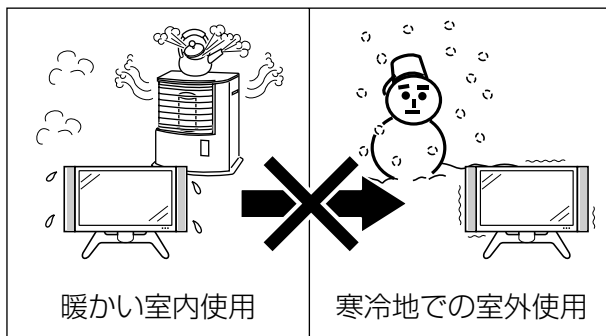
次ページへつづく

使用上のご注意（つづき）

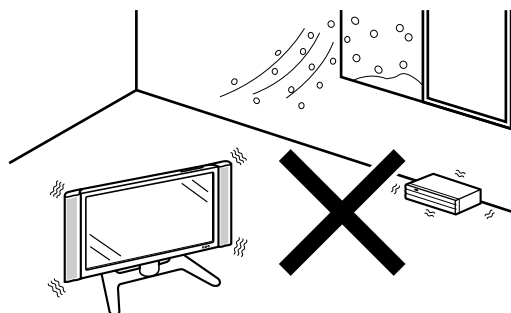
守っていただきたいこと

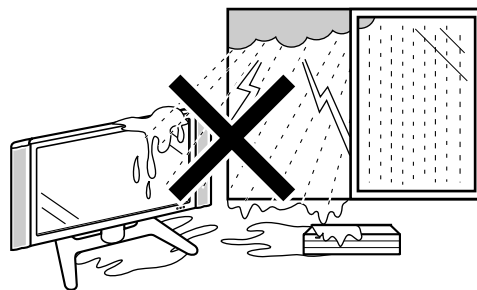
直射日光・熱気は避けてください

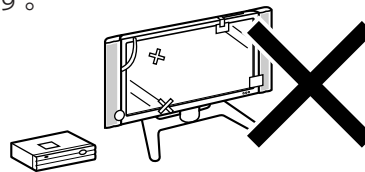
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

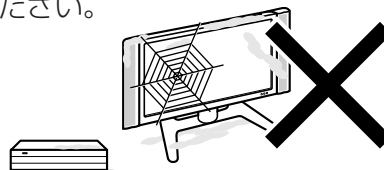
- 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

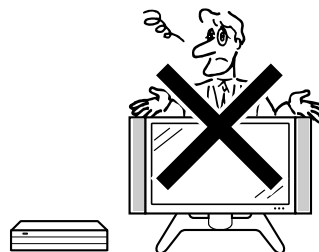
暖かい室内使用	寒冷地での室外使用

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

- ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。（使用温度：0℃～40℃）

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

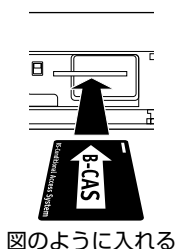
- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

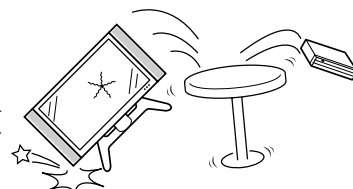
- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

守っていただきたいこと

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、方向に注意して行ってください。

図のように入れる

取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押さないように、また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れると危険です。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。
また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となる恐れがあります。

使用環境について

- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

注意

- 周囲温度は0〜40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

注意

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

蛍光管について

■本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットに取り替えてください。
寿命の目安…約60,000時間（室温25℃で、明るさを「標準」に設定して連続使用した場合、明るさが半減する時期の目安）
- 詳しくは、販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

■ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。
この場合、ディスプレイ部天面の電源（押・入-切）スイッチをいったん「切」にし、再度電源を入れなおして動作を確認してください。

本機の特長

- **32型液晶パネルでデジタルハイビジョン放送をリアルに再現**
- **低消費電力設計、液晶パネルバックライトを自動調光する「明るさセンサー機能」など、環境世紀にふさわしい、AQUOSならではの優れた環境性能**

この取扱説明書の見かた

おしらせ 本取扱説明書では、各種機能の操作説明を、おもにリモコンを使った場合の記述にしています。（ディスプレイ部やチューナー部の操作ボタンを使う場合の説明は、「ディスプレイ部天面の○○ボタンを押す」などの表現にしてあります。）

ダウンロードを行う

ダウンロードの方法

■ ダウンロードとは、デジタル放送受信機内のソフトウェアなどで使用されるデータを放送電波で受信し、更新する機能です。受信機の機能を向上させたり、新たなサービスに対応することが可能となります。

フタを閉じたところ

1 ① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② で「デジタル設定」を選ぶ
③ で「ダウンロード設定」を選び、決定を押す

2 で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」………自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。（工場出荷時の設定）
「しない」……ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

3 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

おしらせ
- ソフトウェアの受信（ダウンロード）には、数分程度の時間がかかります。その間は、デジタルリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- ソフトウェアを受信するために、待機状態（電源ランプが赤色点灯）で、チューナー部のファンが回り始めることがあります。この場合は、ソフトウェアの受信、書換えが終わると、自動的にファンが止まります。

おしらせ
- ダウンロードは、本機の電源が待機状態（電源ランプが赤色点灯）のときに実行されます。

114

- 番号順に操作してください。
- 機能の概要説明などです。
- テレビ画面に現われる表示です。※
- 操作するボタンです。左のイラストのボタンに対応しています。
- 操作の結果や補足的な説明です。
- 操作するときに使うリモコンのボタンです。※
- 選択･入力する項目や欄です。
- 下の「本書で使われているマークについて」をご覧ください。

※本書に掲載している画面表示やイラストは、説明のためのものであり、実際とは多少異なります。

本書で使われているマークについて

正しくお使いいただくためのご注意です。

もう少し詳しい説明や、機能の制限事項です。

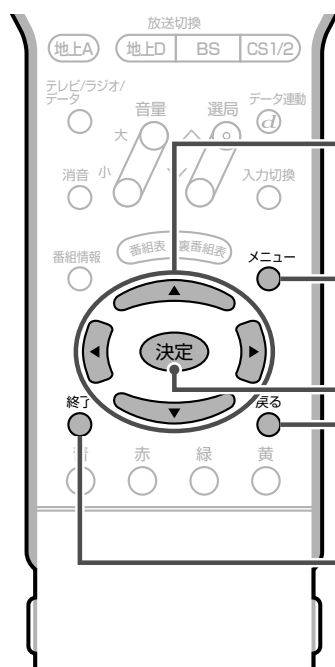
知っていると便利な情報です。

こんなときは ▶▶▶

お手入れをするときは
分からない用語があるときは
236ページ

メニューについて

■テレビ画面にメニューを表示させて、リモコン操作で映像や音声などの調整や各種機能の設定ができます。ここではメニューの基本的な使いかたについて説明します。詳しくは、それぞれのページをご覧ください。（**15**～**18**ページ参照）

メニューの基本操作

メニュー操作に使うリモコンボタン

メニューボタン
- メニュー画面の表示を入／切します。

カーソルボタン（上・下・左・右）
- 上下左右方向にカーソルを移動し、項目を選択します。
- 左右カーソルボタンで、項目の調整を行います。

▶を押すと、数値が増えます。

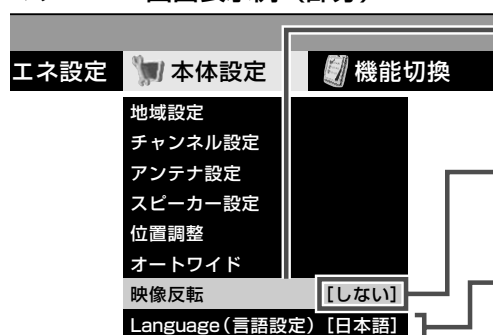
◀を押すと、数値が減ります。

決定ボタン
- 先に進みます。
- 選んでいる項目を確定します。

戻るボタン
- 1つ前の画面に戻ります。

終了ボタン
- メニューの操作が分からなくなったときなど、操作をいったん終了したいときに使うと便利です。
- メニュー表示を終了するとき、メニューボタンと同じように使えます。

メニュー画面の見かた

▼メニュー画面表示例（部分）

黄色で表示されているところ
- いま選ばれている項目です。
- 決定ボタンを押すと、選ばれている項目の設定画面になります。

カッコ付きの表示
- 現在の設定内容です。

白い文字で表示されている項目
- 選択可能な項目です。

メニュー画面の表示時間について
- メニュー画面を表示、設定中に約1分間何も操作をしないと、メニュー画面が解除され通常画面に戻ります。

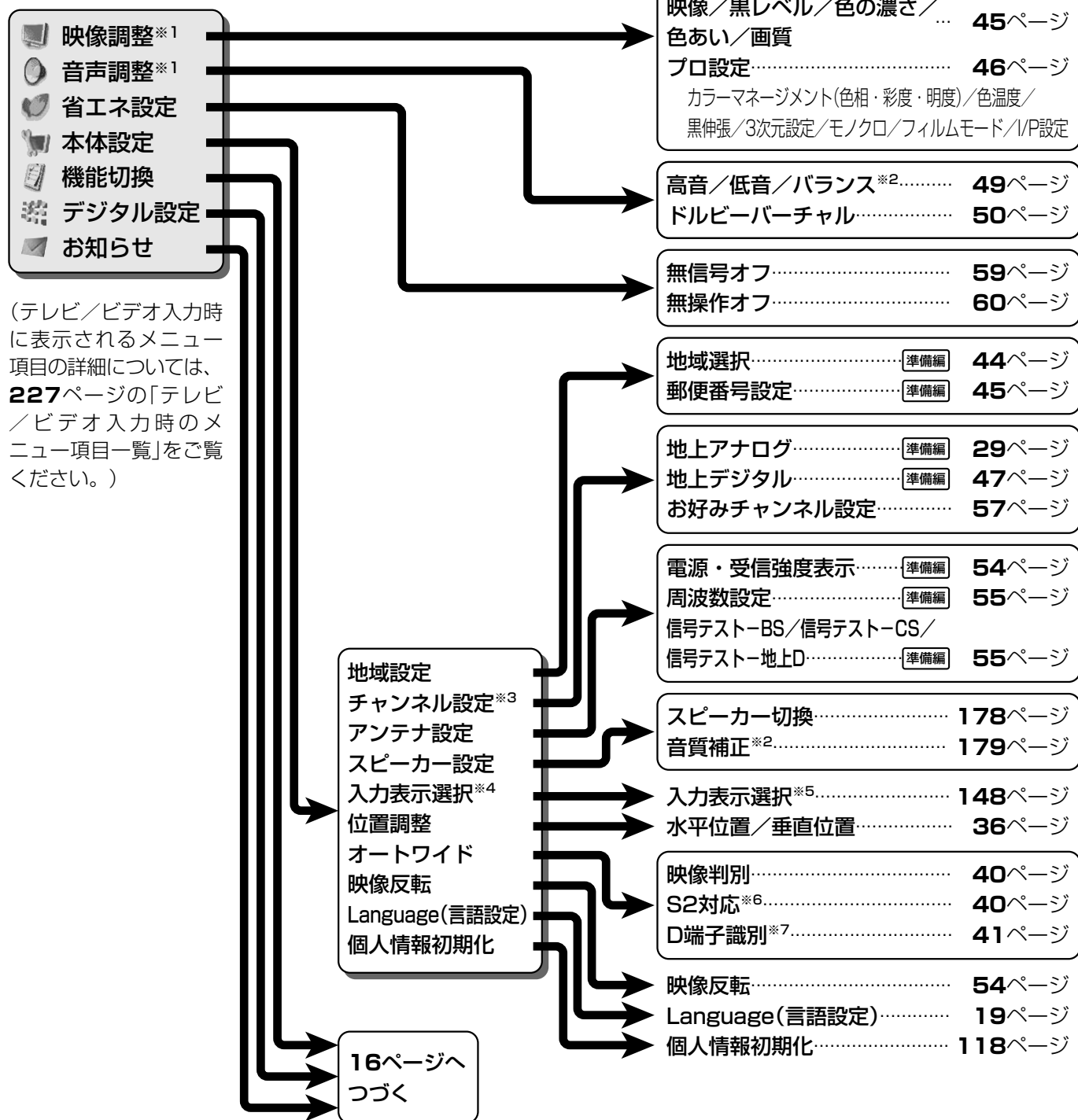
メニュー言語の切換えについて
- メニューを英語で表示することもできます。日本語／英語の切換えの操作方法については、**19**ページをご覧ください。
- See page **20** if you wish to display menu screens in English.

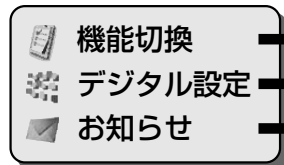
- PC入力時やカード入力時にメニューボタンを押すと、テレビ／ビデオ入力時とは異なるメニュー画面が表示されますが、使いかたは同様です。
- 条件によりメニュー項目が灰色で表示される場合があり、その項目は選択することができません。
- 本書に掲載している画面表示のイラストは説明用のものであり、一部拡大や省略をしていますので、実際の画面表示とは多少異なります。
- メニュー画面の表示内容は変更される場合があります。
- 2画面のときは、メニュー操作ができません。

■メニューボタンを押したときに表示されるメニュー画面は、テレビ／ビデオ入力、PC入力、カード入力のそれぞれで内容が異なります。

テレビ／ビデオ入力時に設定できるメニュー項目

（テレビ／ビデオ入力時に表示されるメニュー項目の詳細については、**227**ページの「テレビ／ビデオ入力時のメニュー項目一覧」をご覧ください。）

次ページへつづく

メニューについて(つづき)

15ページからつづく

- 機能切換
  - 映像オフ……54ページ
  - DNR※8……47ページ
  - 入力選択※4……144ページ
  - 出力選択……156ページ
  - QS駆動……47ページ
  - センタースピーカー入力……181ページ
  - デジタル音声出力……175ページ
  - デジタル固定……157ページ
  - 字幕表示設定……97ページ
  - 番組名表示設定……95ページ
- デジタル設定
  - 映像設定
    - 画面サイズ設定……92ページ
    - 録画画面サイズ設定……93ページ
    - 録画画面表示設定……94ページ
  - デジタル音声設定
    - デジタル音声設定……174ページ
  - ダウンロード設定
    - ダウンロード設定……114ページ
  - 番組表取得設定
    - 番組表取得設定……120ページ
  - 通信設定
    - 電話回線設定ー自動……準備編 58ページ
    - 電話回線設定ー手動……準備編 59ページ
    - 電話会社設定……準備編 60ページ
    - 優先利用回線設定……121ページ
    - プロバイダ設定……126ページ
    - ネットワーク設定……131ページ
  - ビデオ連動録画設定
    - ビデオ連動録画設定……159ページ
  - i.LINK設定
    - i.LINK自動切換……170ページ
    - 録画モード設定……164ページ
    - 電源待機設定……165ページ
  - 暗証番号設定
    - 暗証番号設定……98ページ
  - 視聴年齢制限設定
    - 視聴年齢制限設定……101ページ
  - PPV設定
    - PPV制限……103ページ
    - 購入金額制限……105ページ
  - 双方向サービス設定
    - 双方向サービス設定……107ページ
  - システム動作テスト
    - システム動作テスト……117ページ
- お知らせ
  - 受信メッセージ一覧
    - 受信メッセージ一覧……108ページ
  - ボード
    - ボード……109ページ
  - 受信機レポート
    - 受信機レポート……111ページ
  - B-CASカード番号表示
    - B-CASカード番号表示……112ページ
  - PPV購入履歴
    - PPV購入履歴……113ページ

※1 AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。

※2 ドルビーバーチャル「入」のときは選択できません。

※3 テレビ視聴時のみ表示されます。

※4 入力1～5選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。

※5 現在選択されている入力により、表示項目が異なります。

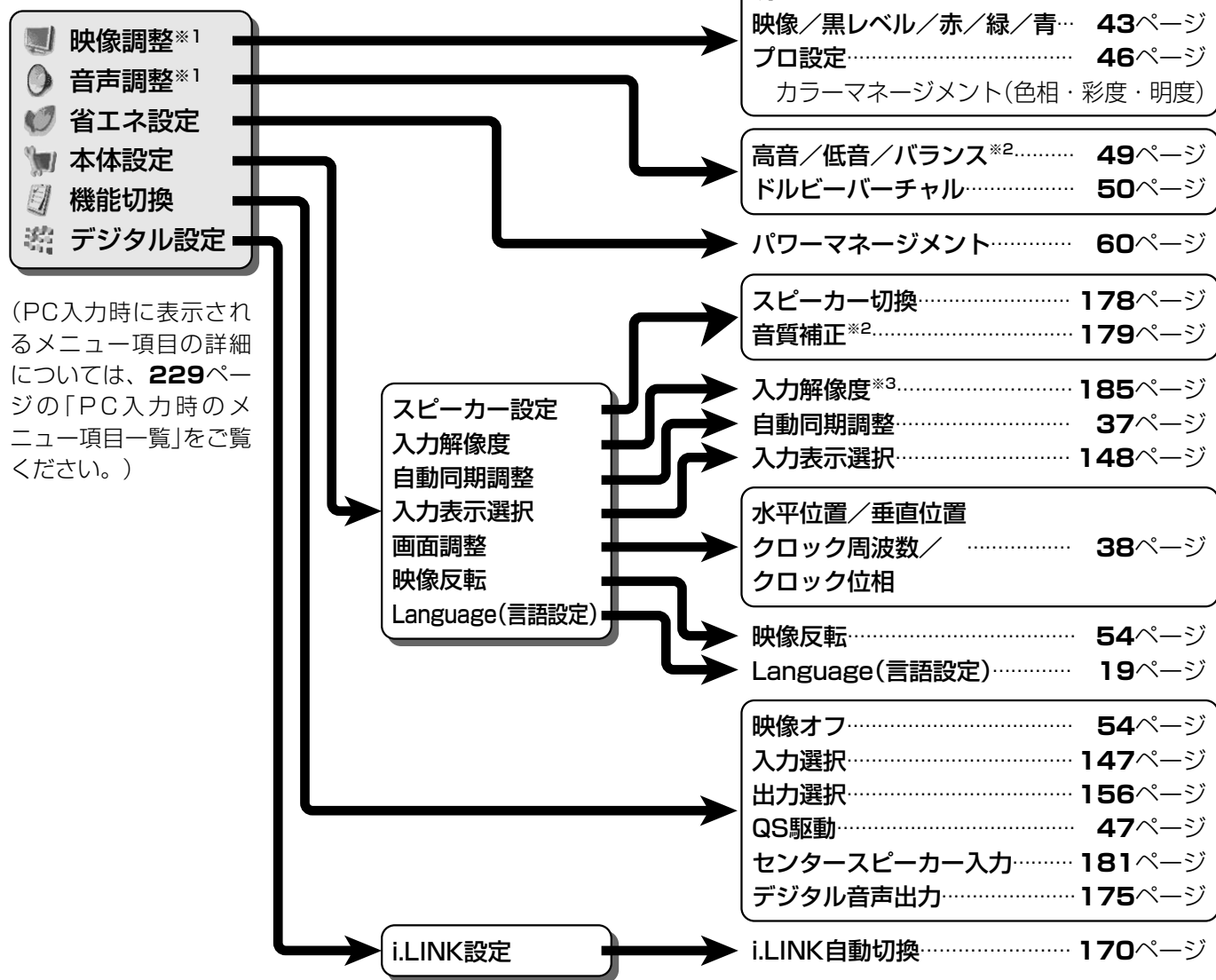
※6 入力3・4選択時のみ表示されます。

※7 入力1・2選択時のみ表示されます。

※8 各入力系統で設定できます。

- 条件によりメニュー項目が灰色で表示される場合があり、その項目は選択することができません。

PC入力時に設定できるメニュー項目

■ 入力5を選択し、入力選択を「アナログPC」または「デジタルPC」に設定しているときのメニュー項目です。

- 映像調整※1
  - 明るさセンサー……44ページ
  - 明るさ……46ページ
  - 映像／黒レベル／赤／緑／青…43ページ
  - プロ設定……46ページ
    カラーマネージメント（色相・彩度・明度）
- 音声調整※1
  - 高音／低音／バランス※2……49ページ
  - ドルビーバーチャル……50ページ
- 省エネ設定
  - パワーマネージメント……60ページ
- 本体設定
  - スピーカー設定
    - スピーカー切換……178ページ
    - 音質補正※2……179ページ
  - 入力解像度
    - 入力解像度※3……185ページ
  - 自動同期調整
    - 自動同期調整……37ページ
  - 入力表示選択
    - 入力表示選択……148ページ
  - 画面調整
    - 水平位置／垂直位置
      クロック周波数／
      クロック位相……38ページ
  - 映像反転
    - 映像反転……54ページ
  - Language（言語設定）
    - Language（言語設定）……19ページ
- 機能切換
  - 映像オフ……54ページ
  - 入力選択……147ページ
  - 出力選択……156ページ
  - QS駆動……47ページ
  - センタースピーカー入力……181ページ
  - デジタル音声出力……175ページ
- デジタル設定
  - i.LINK設定
    - i.LINK自動切換……170ページ

（PC入力時に表示されるメニュー項目の詳細については、**229**ページの「PC入力時のメニュー項目一覧」をご覧ください。）

※1 AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※2 ドルビーバーチャル「入」のときは選択できません。
※3 入力信号の種類により、表示項目が異なります。
● 条件によりメニュー項目が灰色で表示される場合があり、その項目は選択することができません。

メニューについて(つづき)

カード入力時に設定できるメニュー項目

(カード入力時に表示されるメニュー項目の詳細については、**230**ページの「カード入力時のメニュー項目一覧」をご覧ください。)

おしらせ

※1 AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※2 ドルビーバーチャル「入」のときは選択できません。
※3 各入力系統で設定できます。
※4 機能モードが「静止画」のときのみ選択できます。
※5 機能モードが「動画」のときのみ選択できます。
※6 機能モードが「電子ブック」のときのみ選択できます。

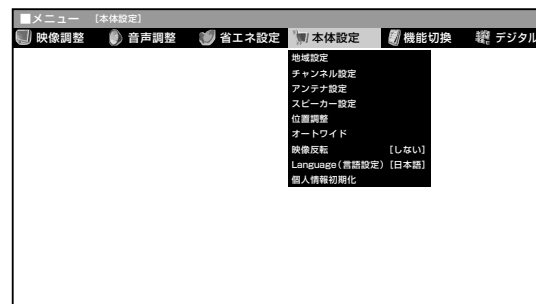
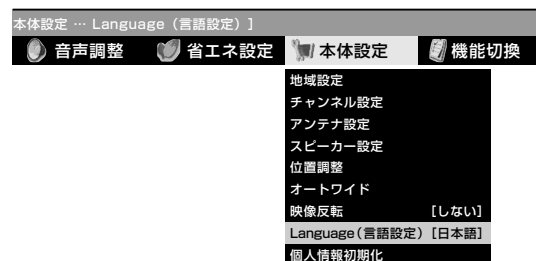
- 条件によりメニュー項目が灰色で表示される場合があり、その項目は選択することができません。

メニューなどの表示言語を選ぶ

■ メニューなどの画面表示を日本語にするか英語にするか選ぶことができます。

フタを閉じたところ

[例] 表示言語を英語にする

1 ① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「本体設定」を選ぶ

2 ▲▼で「Language(言語設定)」を選び、決定を押す

3 ◀▶で「English」を選び、決定を押す

●画面表示が英語になります。

4 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

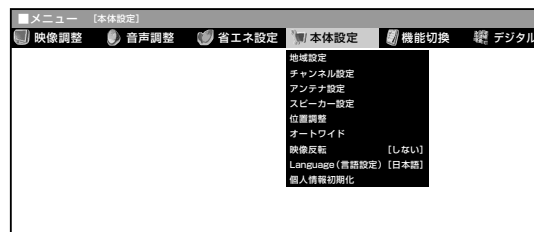
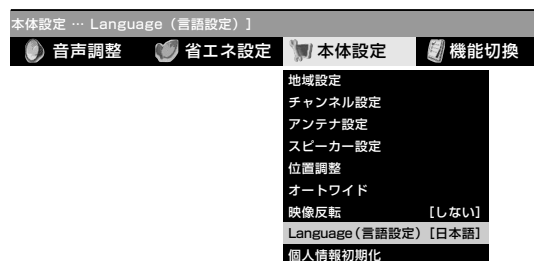
メニューについて(つづき)

Switching the Display Language to English

■ Using the menu screen, you can switch the on-screen display language to English.

Remote control (Cover closed)

1 ① Press メニュー(menu) to display the menu screen.

② Press ◀ or ▶ to select "本体設定"(Setup).

2 Press ▲ or ▼ to select "Language (言語設定)", then press 決定 (enter).

3 Press ◀ or ▶ to select "English", then press 決定 (enter).

- The menu screen is now displayed in English.

4 Press メニュー (menu) or 終了 (finish) to return to normal screen.

BS・110度CSデジタル放送について

BS・110度CSデジタル放送の特長

情報を圧縮して多くのデータを送ることができるため、限られた電波の範囲でつぎのようなたくさんの放送やサービスが提供されます。

テレビ放送 ………… 従来のアナログBS･CS放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。BSデジタル放送ではデジタルハイビジョン放送が7チャンネルあります。（2004年2月現在）

データ放送 ………… 静止画像や文字によって必要な情報をいつでも取り出せる新しい放送です。テレビ放送等と連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類のデータ放送があります。

ラジオ放送 ………… CD並みの高音質の音楽を含むラジオ放送です。

電子番組表（EPG） ………… デジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。その番組情報をもとにテレビ画面に番組表を表示したものが電子番組表（EPG）です。
この電子番組表を使って、番組を探したり、番組の内容を確認したり、番組を予約したりすることができます。

臨時編成サービス ………… 野球中継などが延長になった場合、野球中継は継続しながら、別のチャンネルで予定の番組を放送する場合があります。このようなサービスを「臨時編成サービス」といいます。

マルチビューサービス ………… 1つの番組の中で、カメラアングルを変えて3つの場面に分けて放送されるサービスなどを「マルチビューサービス」といいます。
例えば、野球中継で、レフト側観客席から見た映像、ライト側観客席から見た映像、バックネット裏から見た映像の3つの映像が1つのチャンネルで放送されるといった場合です。

● 臨時編成サービス、マルチビューサービスは、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

BS・110度CSデジタル放送について(つづき)

BSデジタル放送について

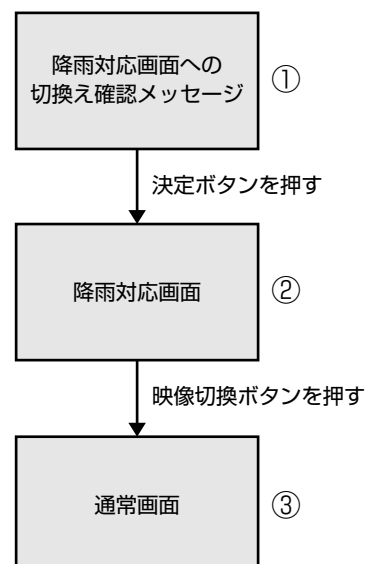
BSデジタル放送のチャンネル番号表

	放送事業者	チャンネル番号		
		テレビ放送	ラジオ放送	独立データ放送
統合(テレビ/ラジオ/データ)	NHK BS1	101	なし	700～709
	NHK BS2	102		
	NHK ハイビジョン	103 (臨時編成サービス時：104、105)※		
	BS日テレ	140～143、145～149 (臨時編成サービス時：144)※	440～449	740～749
	BS朝日	150～157 (臨時編成サービス時：158、159)※	450～459	750～759
	BS-i	160～168 (臨時編成サービス時：169)※	460～469	760～769
	BSジャパン	170～179 (臨時編成サービス時：未定)※	470～479	770～779
	BSフジ	180～187 (臨時編成サービス時：188、189)※	488、489	780～789
	WOWOW	191、192、193 (臨時編成サービス時：198、199)※	491、492	790～799
	スターチャンネル	200～209	なし	800～809
ラジオ/データ	BSC	なし	300、301	なし
	ミュージックバード	なし	310～319	610～619
	JFNサテライト	なし	320～329	620～629
	セント・ギガ	なし	330～339	630～639
データのみ	メガポート放送	なし	なし	900～909
	ウェザーニュース	なし	なし	910～919
	DCI	なし	なし	930～939
	日本データ放送	なし	なし	940～949
	メディアサーブ	なし	なし	950～959
	日本メディアーク	なし	なし	960～969
	日本ビーエス放送	なし	なし	990～999

※臨時編成サービス：**21**ページをご覧ください。
(2004年2月現在)

BS デジタル放送の降雨対応放送について

BSデジタル放送衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受信できなくなることがあります。これに対応するため、送るデータを少なくすることで映像・音声の内容を途切れなく提供するサービスが「降雨対応放送」です。

- 受信状態が悪くなったときに、降雨対応の番組が放送されている場合、その旨を画面に表示してお知らせします。(右図①)
- リモコンの決定ボタンを押すと、降雨対応の画面に切り換わりますので、途切れることなく番組を視聴できます。(右図②)
- 通常画面に戻すには、リモコンの映像切換ボタンを押してください。(右図③)

- 降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

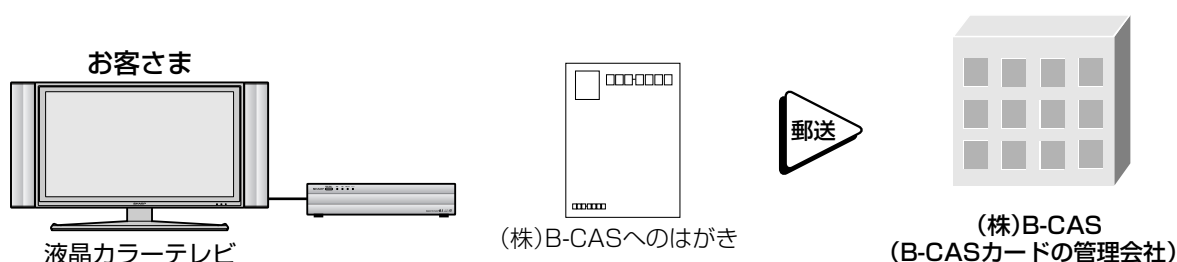
BSデジタル放送の有料放送を視聴するための手続き

■ BSデジタル放送の有料放送(WOWOW、スターチャンネル)を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

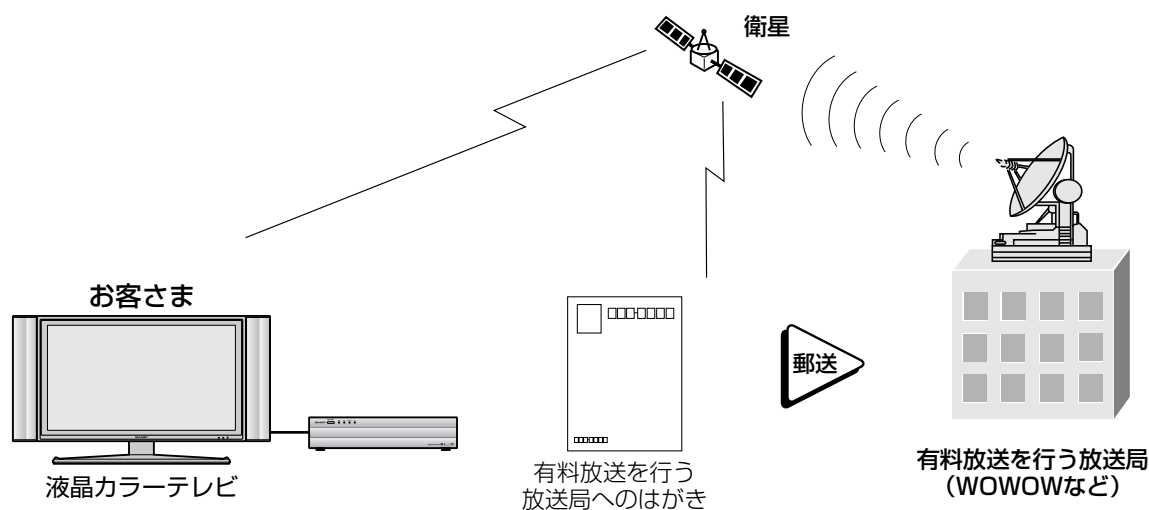
①(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。

詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

②視聴したい放送局に申し込む

お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

- 本機は、契約データの受信のために、電源「入」以外のときでも一時的に動作することがあります。(この場合、画像が表示されたり音声が出たりはしません。)

BS・110度CSデジタル放送について(つづき)

110度CSデジタル放送について

■従来のCS放送とは別の、BSデジタル放送と同じ東経110度の軌道上にある通信衛星(CS)を利用した新しいデジタル放送です。

■110度CSデジタル放送を受信するには、BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。**従来のCSアンテナやBSアナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応した機器に交換する必要があります。**

■110度CSデジタル放送は有料です。視聴するためには、各プラットフォーム(プラットワン、スカイパーフェクTV！2)※との個別受信契約が必要となります。(一部、無料の放送もあります。)

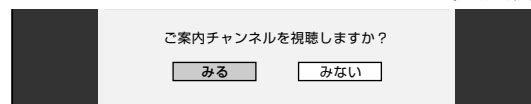
※ 各プラットフォームの社名は、変更される場合があります。

110度CSデジタル放送の専用サービス

110度CSデジタル放送では、つぎのような専用サービスがあります。

■ ご案内チャンネルの表示

お客さまが、未契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内表示に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

(画面例)

■ ブックマーク

コンテンツ画面にブックマークアイコン※注が表示されているときは、その情報(ブックマーク記録コンテンツ)を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出したりすることができます。

※注.「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するためのシンボルイラストが表示されます。それが「ブックマークアイコン」です。

■ ボード(掲示板)

プラットフォーム(プラットワン[CS1]、スカイパーフェクTV!2[CS2])単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード(掲示板)に表示されます。メニューの「お知らせ」からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。詳しくは**109**ページをご覧ください。

(画面例)

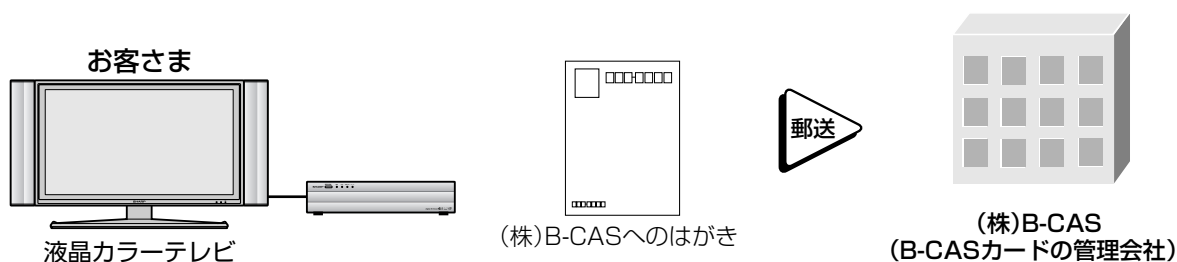
110度CSデジタル放送を視聴するための手続き

■ 110度CSデジタル放送を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

①（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

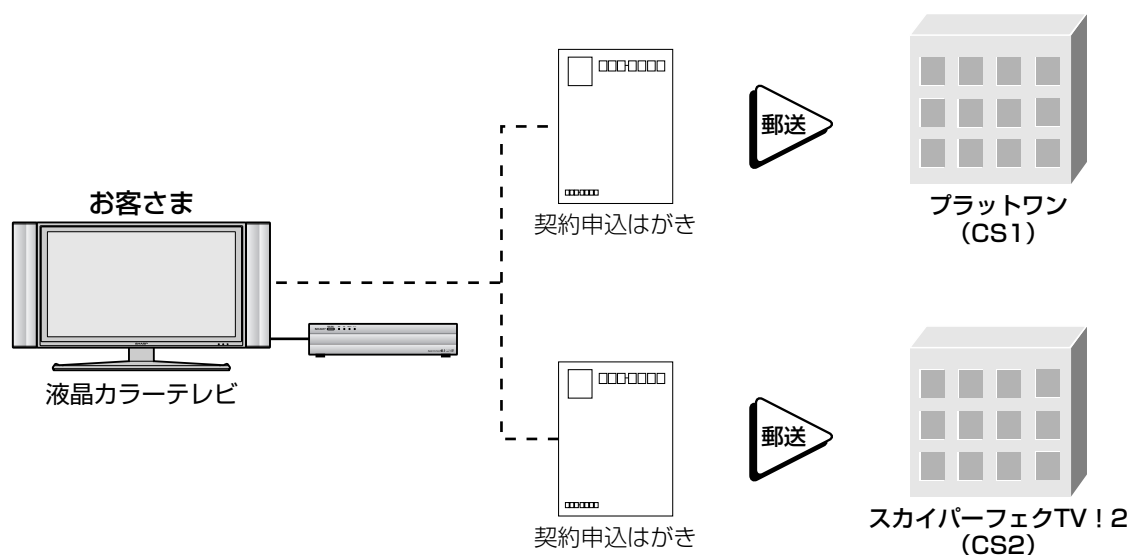
（（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して（株）B-CASと呼びます。）

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。

詳しくは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

②視聴したいプラットフォーム（運営会社）に申し込む

110度CSデジタル放送は有料放送です（一部、無料放送もあります）。視聴するためには、各プラットフォーム（CS1·····プラットワン、CS2·····スカイパーフェクTV！2）※と個別に契約することが必要です。

契約したいプラットフォームの契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、プラットワン、スカイパーフェクTV！2のカスタマーセンターにお問い合わせください。

※ 各プラットフォームの社名は変更される場合があります。

地上デジタル放送について

新しい放送サービス

従来のテレビ放送（衛星放送は除く）は「地上波放送」と呼ばれていて、すべてアナログ放送です。「地上デジタル放送」では、従来のアナログ方式の放送が新しくデジタル方式に変わります。
地上デジタル放送は、2003年12月から東京・大阪・名古屋の3大都市圏の一部地域で開始されています。その他の地域では2006年末までに放送が始まる予定になっています。（2004年2月現在）
高品質な映像と音声、テレビ番組に連動したデータ放送など、いままでの地上アナログ放送にはなかった新しい放送サービスです。

地上デジタル放送の特長

高品質映像

画像の劣化が少なく、ゴーストなどの影響を受けにくいため、高品質な映像が見られます。また、デジタルハイビジョン放送の高精細な映像も視聴できるようになります。
画面サイズは、従来の4：3から16：9が標準となり、これは画面を見る視界の最適な比率といわれています。大画面で高品質な映像をお楽しみいただけます。（本機など、専用デジタル放送対応の受信機で視聴した場合です。）

ハイビジョン放送

HDTV（High-Definition Television）とも呼ばれる、高品位テレビのことです。走査線は現行の放送（通常のテレビ放送）の525本に対し、2倍以上の1125本になっています。これにより、大画面で臨場感あふれる、鮮明な映像をお楽しみいただけます。（本機など、専用デジタル放送対応の受信機で視聴した場合です。）

データ放送

通常のテレビ番組に加えて、地上デジタル放送ではデータ放送が始まります。
画面上でお住まいの地域の天気予報やニュース、生活情報などをいつでもアクセスして見ることができたり、視聴中の番組に関連した情報を同時に表示したりすることができ、スポーツ中継などでの応用も検討されています。

双方向サービス

双方向通信を利用したテレビ上でのショッピング、視聴者が参加できるクイズ番組などの放送も検討されています。
- 双方向通信を利用するためには、本機に電話回線を接続して（準備編**22**～**24**ページ参照）、電話回線の設定をしてください。（準備編**58**～**61**ページ参照）
  また、インターネットサービスプロバイダ（ISP）との契約および設定が必要な場合もあります。（**121**～**136**ページ参照）。（※双方向通信には電話料金がかかります。[例]クイズ番組に参加して、答えを送信するときなど。）

多様な放送

地上デジタル放送では、一度に多くの情報を送ることができるため、一つのチャンネルで複数の番組を放送することができます。これまでの地上放送にはなかったアイデア豊かな、多様な放送が予定されています。1チャンネルの放送帯域でさまざまな放送の組み合わせが可能となります。（ただし同時に視聴することはできません。）

アンテナについて

- 地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナを使用します。
  現在お使いのアンテナがUHF対応であれば、そのままご使用になれます。（※一部取り替えや調整が必要な場合もあります。）
  VHFアンテナでは受信できません。ご使用のアンテナがVHFアンテナのみの場合は、UHFアンテナの追加が必要になります。

（**ご注意**：アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。）

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始されていますが、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

地上デジタル放送のCATV放送対応について

本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF帯）です。

- ARIB放送規格の変更により、メニュー等の仕様が変わる場合があります。

テレビを楽しむ

● この章では、テレビを楽しく使っていただくうえで役立ついろいろな機能と操作方法について説明しています。

ふだんの使いかた

電源の入／切・選局・音量調整

リモコン

❶テレビをつける

電源「入」……………電源ランプ
（動作状態）　　　緑色点灯

❷ネットワークを選ぶ

放送切換ボタン

- 地上A·地上D·BS·CS1/2を選びます。
（※地上Dは、お住まいの地域で地上デジタル放送が開始され、受信可能になってから使います。）

❸チャンネルを選ぶ

チャンネルボタン

- ネットワーク（地上A・地上D・BS・CS1/2）のメディア（テレビ／ラジオ／データ）ごとのチャンネルを選びます。

選局（∧順／∨逆）ボタン

お好みチャンネル
（お好み登録されている放送チャンネル）
チャンネル
（最後に選んでいたネットワーク・メディアの放送チャンネル）

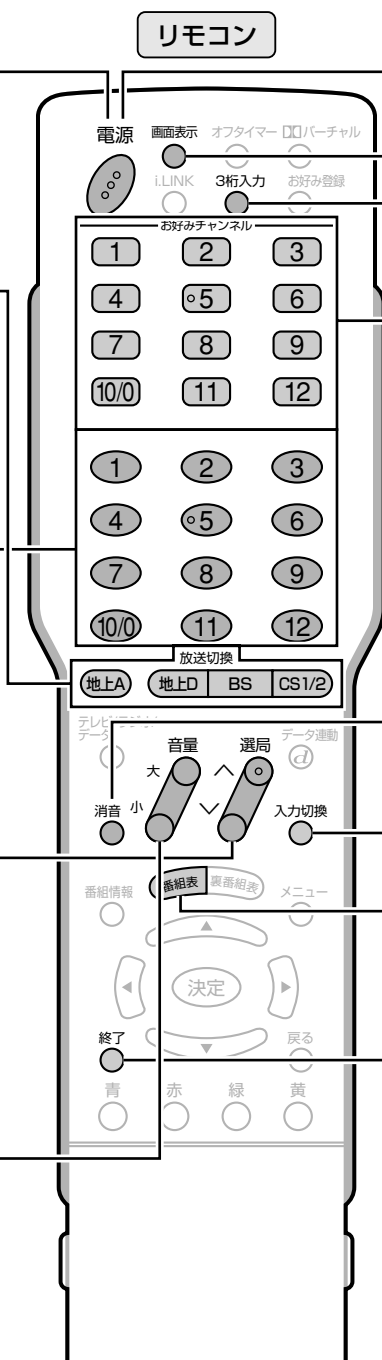
デジタル放送の視聴のしかたについて詳しくは、61〜136ページをご覧ください。

❹音量を調整する

数字とバーで音量を表示

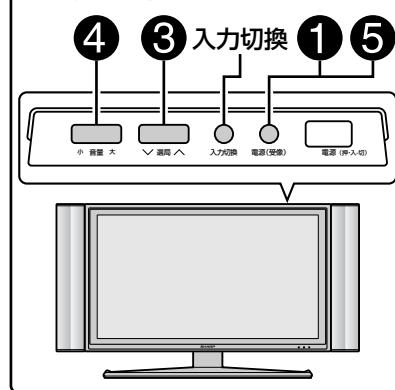
※入力ごとに別々の音量に調整できます。

❺テレビを消す

電源「切」……………電源ランプ
（電源待機状態）　　赤色点灯

お好みのチャンネルを選ぶ

お好みチャンネルボタン

- お好み登録されているチャンネルを選局します。

ディスプレイ天面操作部でも、基本的な操作ができます。

電源プラグの接続について

- 本機は電源待機状態のときでも、デジタル放送局と通信を行います。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」や「PPV番組の購入履歴」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（「PPV番組の購入履歴」など、再設定できないものもあります。）
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。内蔵メモリーに格納されたデータがこわれることがあります。

受信チャンネルについて

- 工場出荷時は、地上アナログのVHF1〜12チャンネルとBS・110度CSデジタルチャンネルが受信できるように設定されています。
地上アナログのUHF放送を受信するときや、受信チャンネルを合わせなおす場合は、準備編 **28〜43**ページをご覧ください。

画面表示・消音・入力切換えなど

チャンネル表示を入／切する

- ボタンを押すと、チャンネルサインが表示されます。（視聴中のチャンネルを確認できます。）もう一度押すと、表示が消えます。

<チャンネル表示例>

地上アナログ放送受信時
BSデジタル放送受信時

110度CSデジタル放送受信時
地上デジタル放送受信時
CATV放送受信時
ビデオ入力時

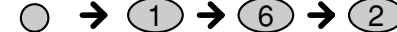
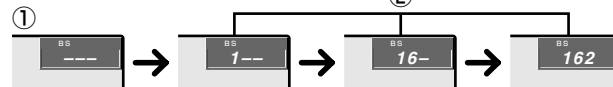
PC入力時

カード入力時

デジタル放送の3桁チャンネルを選ぶ

［例］BSデジタル放送の162チャンネルを選ぶとき

① BSデジタル放送受信中、3桁入力ボタンを押します。

② 数字（チャンネル）ボタンでチャンネル番号を入力します。

おしらせ　つぎの操作手順でも選局できます。
① 3桁入力ボタンを押す。
② 放送切換ボタン「地上D」「BS」「CS1/2」でネットワークを選ぶ。
③ 数字ボタンで番号を入力する。

音を一時的に消す

- もう一度押すか、音量（大／小）ボタンを押すと、音声が出るようになります。

入力を切り換える

テレビ → 入力1 → 入力2 → 入力3 → 入力4 → 入力5 → i.LINK → カード →（テレビ）

※入力1～4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
※接続されている映像用端子と、入力選択の設定（**144**ページ参照）で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。

入力1～5の表示について

- 各入力端子に接続した外部機器に合わせ、入力表示を変更することができます。詳しくは**148**・**149**ページ「外部機器に表示を合わせる」をご覧ください。

［例］入力1

入力1	ビデオ1	ビデオ	コンポーネント1
コンポーネント	D端子1	D端子	CATV
CS	DVD	ゲーム	ムービー
D-VHS	HDD	DVR	

デジタル放送の電子番組表を見る

- もう一度押すと、表示が消えます。

操作を終了する

- 2画面、静止画面、番組表やメニュー操作などを終了します。
  ヒント　メニューや電子番組表の操作が分からなくなったときなど、いったん操作を終了したいときに使うと便利です。

おしらせ

無信号オフ機能について

- 無信号オフ機能（**59**ページ）を「する」に設定していると、放送終了後約15分でテレビの電源が「切」（電源待機状態）になります。（電源ランプが赤色に点灯）
  （放送が終わっても、他局の放送やその他の電波が混入するときは正しく動作しない場合があります。）
- 入力1～5（PC入力以外）を選択しているときも、無信号オフ機能を「する」に設定していると、無信号状態になってから約15分で電源待機状態になります。
- デジタル放送受信時、PC入力時、i.LINK入力時、およびカード入力時には働きません。

CATV（ケーブルテレビ）について

- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- CATVチャンネルを選局（∧順／∨逆）ボタンで選局できるようにするには、個別設定（準備編**39**ページ）を行ってください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13～C63チャンネルの範囲で選局できます。

テレビ／ビデオ入力の画面サイズの種類

手動でお好みの画面サイズを選べるだけでなく、放送やソフトの内容によって画面サイズが自動的に切り換わるように設定することができます。

■ つぎの4つの画面サイズから選択できます。

ノーマル

通常のテレビ画面（4：3サイズ）の映像をそのまま映します。

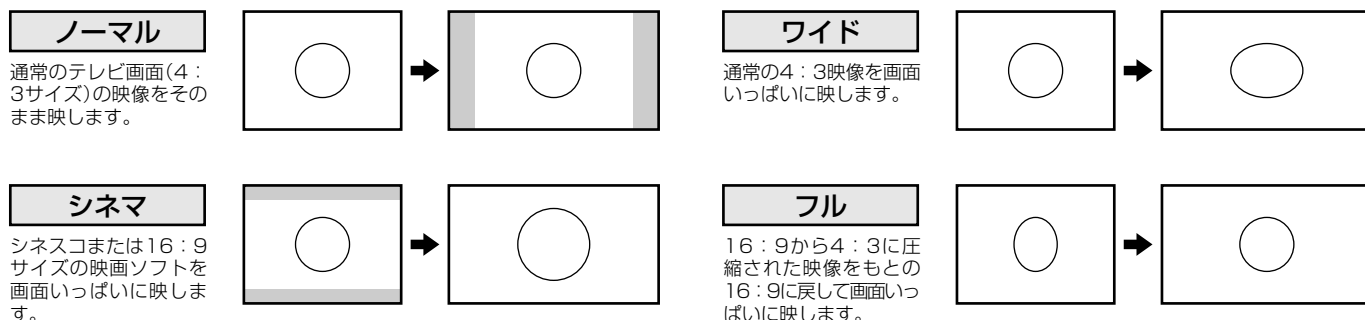
ワイド

通常の4：3映像を画面いっぱいに映します。

シネマ

シネスコまたは16：9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。

フル

16：9から4：3に圧縮された映像をもとの16：9に戻して画面いっぱいに映します。

■ 選択できる画面サイズは、映像の種類によって異なります。

映像の種類		選択できる画面サイズ
D1	525i 地上アナログ放送 ビデオ映像など	→ノーマル →ワイド →シネマ→ フル（循環）
D2	525p	
D3	1125i ハイビジョン	→フル1（1080i）※→フル2（1035i）※（循環）
D4	750p ハイビジョン	フル

※ 1080iと1035iは、本機の画面表示（チャンネルサイン）ではどちらも「1125i」と表示されます。

画面サイズ制御信号の入った映像の表示について

● 本機は、画面サイズ制御信号を識別して、ディスプレイに表示される画面サイズを自動設定する機能を備えています。（**オートワイド機能**☞**39**ページ）

「映像判別」機能（☞**40**ページ）……… 映像の上下に黒い帯があるとき、自動的に最適なサイズで表示します。

「S2対応」機能（☞**40**ページ）……… DVDプレーヤーなどをS映像ケーブルで接続したとき、画面サイズ制御信号（フルモード制御信号やレターボックス制御信号）の含まれた映像が入力されると、自動的に最適なサイズで表示します。

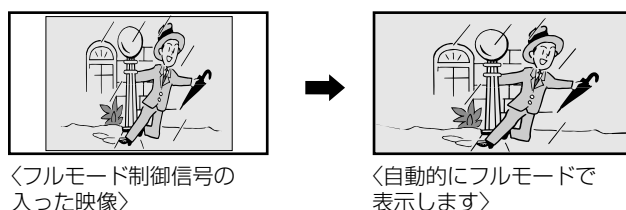
「D端子識別」機能（☞**41**ページ）……… DVDプレーヤーなどをD端子ケーブルで接続したとき、画面サイズ制御信号（フルモード制御信号やレターボックス制御信号）が加えられた映像が入力されると、自動的に最適なサイズで表示します。

フルモード制御信号・レターボックス制御信号とは

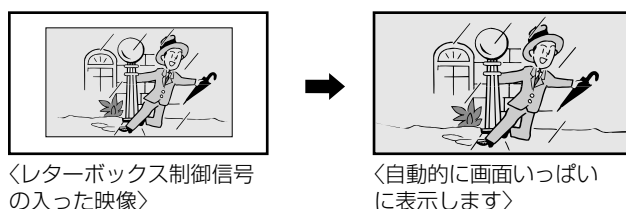
● 縦横比16：9の映像（画面サイズ）であることを示す信号です。

フルモード： オリジナルの映像が16：9のもの。

〈フルモード制御信号の入った映像〉

〈自動的にフルモードで表示します〉

レターボックス： 4：3の画面の中に16：9の映像が含まれているもの。

〈レターボックス制御信号の入った映像〉

〈自動的に画面いっぱいに表示します〉

テレビ／ビデオ入力の画面サイズ切換え

画面サイズを選ぶ

フタを開けたところ

1 画面サイズ を押し、画面サイズ切換メニューを表示する

●メニュー表示中につぎの操作を行います。

2 画面サイズ または ▲ ▼ で、お好みの画面サイズを選ぶ

3 決定 を押す

- 本機の画面サイズ切換え機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ切換え機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ワイド映像でない通常(4：3)の映像を、画面サイズ切換え機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換え機能で最適なサイズに切り換え、位置調整(**36**ページ)で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- オリジナル映像のサイズ(シネスコサイズなど)によっては、上下に黒い帯が残る場合があります。

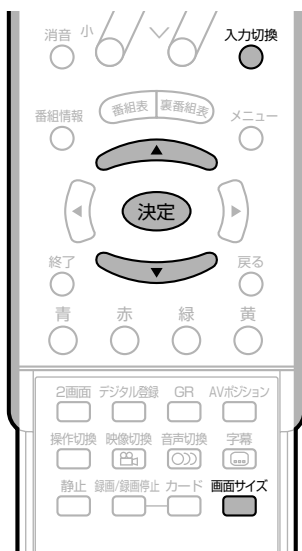
PC入力の画面サイズの種類と切換え

画面サイズを選ぶ

■ 入力5を選択し、入力選択を「アナログPC」または「デジタルPC」に設定しているときの画面サイズの種類と切換え方法です。

Dot by Dot（ドット・バイ・ドット）とは
- 接続したPC（パソコン）からの入力信号の解像度どおりのパネル画素数で表示する機能です。（**184**ページ「PC入力対応表」参照）

- 縦横比16：9の映像が入力されたときの表示サイズについては、**「入力解像度を選択する」**（**185**ページ）をご参照ください。

フタを開けたところ

● 操作を行う前に、チューナー部とPC（パソコン）を接続しておいてください。（**182**ページ参照）

1 （入力切換）**を押し、PC入力（入力5）を選ぶ**

2 （画面サイズ）**を押し、画面サイズ切換メニューを表示する**

（画面表示例）

画面サイズ切換
シネマ
フル
Dot by Dot

● メニュー表示中につぎの操作を行います。

3 （画面サイズ）**または**（▲）（▼）**で、お好みの画面サイズを選び、**（決定）**を押す**

（画面表示例）

画面サイズ切換
シネマ
フル
Dot by Dot

■つぎの画面サイズから選択できます。（入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

入力信号	ノーマル	シネマ	フル	Dot by Dot
4：3映像 640×400、720×400 640×480、800×600 832×624、1024×768 1280×1024	入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。	入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。
16：9映像 848×480 1280×768			画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。

2画面で見る

2画面機能を使う

■ 本機は2つの異なる映像を同時に表示して見ることができます。

■ 2画面のとき、「♪」マークのある画面(操作画面)のチャンネルや入力を切り換えたり、音量を調整することができます。

フタを開けたところ

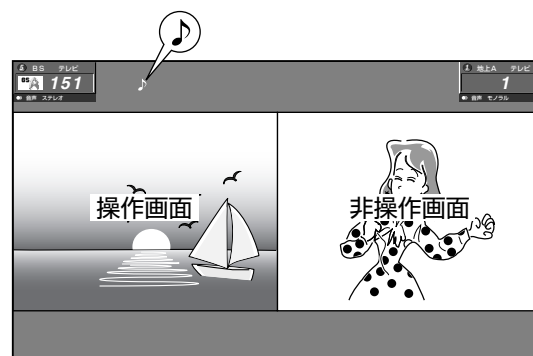
- 2画面機能を入／切すると、まれに画面や録画出力の映像が一瞬途切れた状態になることがありますが、異常ではありません。
- 2画面表示中は、画面サイズボタンによる画面サイズの切換えができません。
- 2画面のとき、メニュー操作はできません。
- 2画面になった映像がハイビジョン信号(1125i、750p)のときは、16：9表示になります。

2画面で見られる映像の組合せ

右画面 ／ 左画面	地上アナログ放送	デジタル放送※1	外部入力	カード入力
地上アナログ放送	×	○	○※2	×
デジタル放送	○	×	○※2･3	×
外部入力	○※4	○※3･4	○※2･4･5	×
カード入力	×	×	×	×

※1　デジタル放送は、右画面に表示したとき自動的に525i信号に変換されます。
※2　右画面には525i信号(地上アナログ放送と同じ画質)のみ表示できます。外部入力で高解像度信号(525p/1125i/750p)が入力されている場合は、表示できません。
※3　デジタル放送とi.LINK入力の2画面表示はできません。
※4　入力5は、2画面表示ができません。
※5　同じ外部入力どうしの2画面表示はできません。

［例］地上放送とBS放送を2画面で見る

2画面 を押す

- 操作画面の上には、「♪」マークが付いています。
- 操作画面の切り換えかたについては、**34**ページをご覧ください。

2画面時の音声と音量調整について

- 「♪」マークのある操作画面の音声が聞けます。
- 音量(大／小)ボタンで、操作画面の音量を調整できます。

次ページへつづく

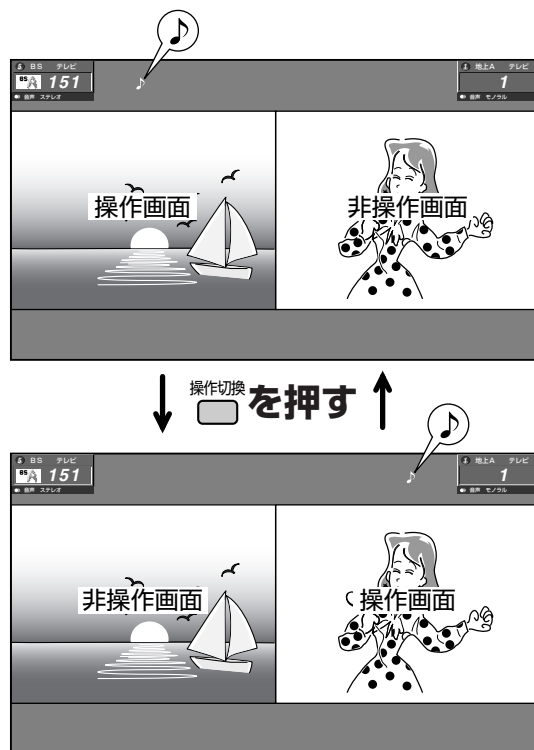
2画面で見る(つづき)

フタを開けたところ

操作画面のチャンネルや入力を切り換えるには

- 選局(∧順／∨逆)ボタンを押すたびに、操作画面のチャンネルが選局されます。
- 入力切換ボタンを押すたびに、操作画面の入力が切り換わります。

- 非操作画面がデジタル放送のとき、操作画面は地上アナログ放送の中でのみ選局できます。
- 非操作画面が地上アナログ放送のとき、操作画面はデジタル放送の中でのみ選局できます。
- 非操作画面がデジタル放送のとき、操作画面の外部入力のi.LINKは選べません。
- 右画面には525i信号(地上アナログ放送と同じ画質)のみ表示できます。

操作画面を切り換えるには

- 「♪」マークが移動します。

1画面に戻すには

2画面 をもう一度押すか、終了 を押す

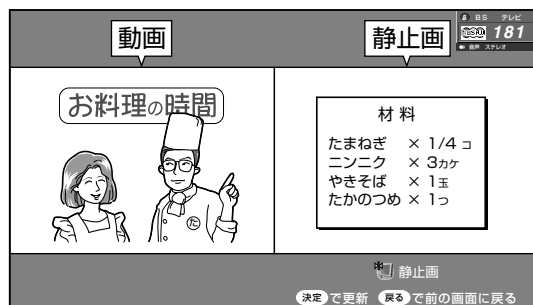
静止画面で見る

番組の内容をメモする

■ いま見ている放送や映像を静止することができます。料理番組などのメモをとったりするときに便利です。

フタを開けたところ

映像を静止させたいところで、静止を押す

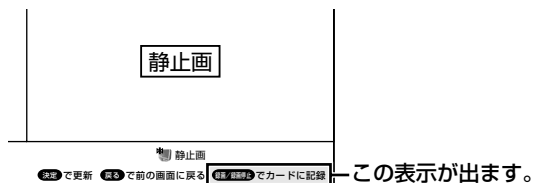
● 2画面表示となり、左側が動画、右側が静止画になります。

● 静止画表示中に決定ボタンを押すと、静止画が更新されます。

1画面に戻すには

戻るを押すか、終了または静止を押す

カードを使って記録するときは

● 地上アナログ放送や、ビデオ映像端子、S2映像端子から入力された映像は、カードを使って静止画を記録することができます。

● 本機チューナー部にカードを入れているとき、静止画表示はつぎのようになります。

● このとき、録画／録画停止ボタンを押すと、表示中の静止画がカードに記録されます。

● 操作方法など詳しくは、**195** ページをご覧ください。

● 静止ボタンを押し、静止画表示になってから30分経過すると、自動的に1画面に戻ります。
● 静止画表示中に選局や入力切換えをすると、1画面に戻ります。
● 静止画表示中の画面サイズ切換えはできません。
● 静止画表示中にメニューボタンを押すと、1画面に戻ります。
● 静止画表示中にi.LINKボタンを押すと、静止画が解除されます。

画面の位置を調整する

画面位置の調整のしかた

画面位置の調整について

- 画面の位置を調整することができます。
  「水平位置」…… 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
  「垂直位置」…… 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。

フタを閉じたところ

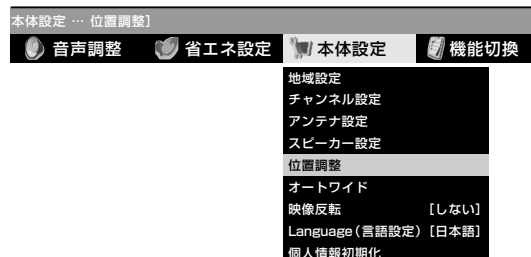
［例］画面の垂直位置を調整する

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「本体設定」を選ぶ

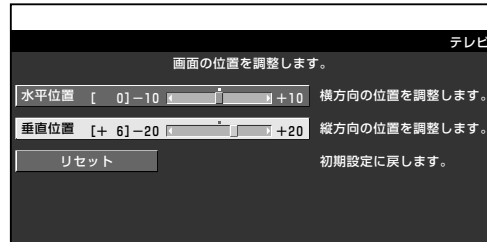
③ ▲▼で「位置調整」を選び、決定を押す

2

① ▲▼で「垂直位置」を選ぶ

② ◀▶で適切な位置に調整する

- 水平位置は、－10～0～＋10の範囲で調整できます。
- 垂直位置は、－20～0～＋20の範囲で調整できます。

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

工場出荷時の設定に戻したいとき

- 手順**2**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

PC入力の画面位置などの調整

自動同期調整で最適な画面にする

■「自動同期調整」は、入力5を選択し、入力選択を「アナログPC」または「デジタルPC」に設定しているときにメニューで選ぶことができます。

「自動同期調整」とは
- 最適なコンピューター画面表示を得るための調整機能です。自動的に画面の位置などが調整されます。

フタを閉じたところ

おしらせ
- つぎのような映像信号では自動調整により最適な画面にならないことがあります。
  - 動きのある映像
  - 画面全体が1色になっているなど、起伏の少ない映像
- 映像信号、PCによっては自動調整だけでは最適な画面にならないことがあります。その場合は、手動で調整してください。（**38**ページ参照）
- 入力信号によっては、入力解像度を手動で選択する必要がある場合があります。（**185**ページ参照）

● 操作を行う前に、チューナー部とPC（パソコン）を接続しておいてください。（**182**ページ参照）

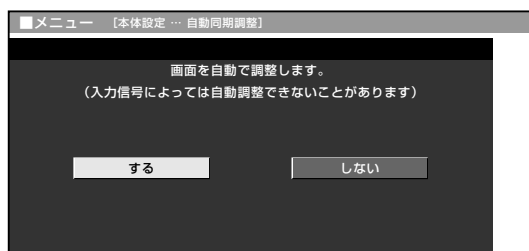
1 入力切換を押し、PC入力（入力5）を選ぶ

2
① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「本体設定」を選ぶ
③ ▲▼で「自動同期調整」を選び、決定を押す

本体設定 … 自動同期調整]

音声調整	省エネ設定	本体設定	機能切換

項目	設定
スピーカー設定	
入力解像度	[640×480]
自動同期調整	
入力表示選択	[入力５]
画面調整	
映像反転	[しない]
Language（言語設定）	[日本語]

3 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

- 「自動同期調整中」が表示され、自動同期調整が実行されます。
- 自動調整が終了すると、「映像を調整しました。」と表示されます。
  正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。

4 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

PC入力の画面位置などの調整(つづき)

手動で最適な画面に調整する

■「画面調整」は、入力5を選択し、入力選択を「アナログPC」または「デジタルPC」に設定しているときにメニューで選ぶことができます。

「画面調整」とは

- コンピューター画面の表示位置や映り具合を最適化するための機能で、つぎの調整項目があります。
  - 「水平位置」……画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
  - 「垂直位置」……画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
  - 「クロック周波数」…縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
  - 「クロック位相」…文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。

［例］画面の垂直位置を調整する

1

① **チューナー部とPC(パソコン)の接続を確認する(182ページ参照)**

② 入力切換 **を押し、PC入力(入力5)を選ぶ**

2

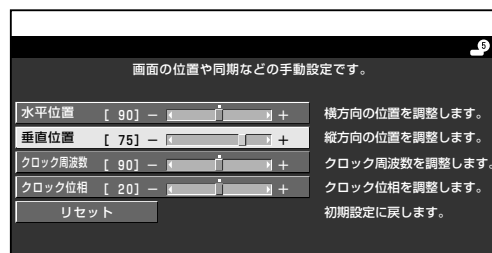
① メニュー **を押し、メニュー画面を表示する**

② ◀▶ **で「本体設定」を選ぶ**

③ ▲▼ **で「画面調整」を選び、** 決定 **を押す**

3

① ▲▼ **で「垂直位置」を選ぶ**

② ◀▶ **で適切な位置に調整する**

各項目の調整範囲

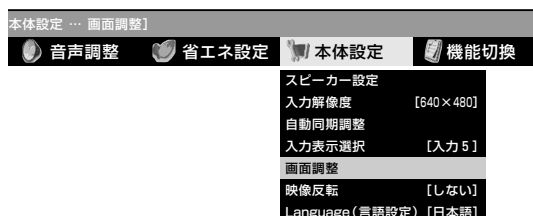
水平位置	0 ～ 180
垂直位置	0 ～ 100
クロック周波数	0 ～ 180
クロック位相	0 ～ 40

4

メニュー **または** 終了 **を押し、通常画面に戻す**

- 入力選択を「アナログAV」「デジタルAV」に設定しているときは、調整項目が異なります。**36**ページをご覧ください。

工場出荷時の設定に戻したいとき

- 手順3の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

画面サイズの自動最適化(オートワイド)

オートワイド機能について

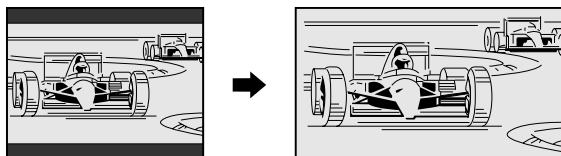
■ オートワイドとは、受信している放送や外部入力されたソフトの映像を自動的に最適な画面サイズに切り換える機能です。
■ オートワイド機能にはつぎの3つの項目があります。各項目はメニューの操作で設定します。

「映像判別」…………	受信している放送や外部入力されたソフトの映像の上下に黒い帯があるとき、画面サイズを自動的に最適化するよう設定することができます。(☞**40**ページ)
「S2対応」………… (入力3·4のみ)	S2映像入力端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示するよう設定することができます。(☞**40**ページ)
「D端子識別」……… (入力1·2のみ)	D4映像入力端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が加えられているとき、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。メニュー設定により、画面サイズの判定方法を選択することができます。(☞**41**ページ)

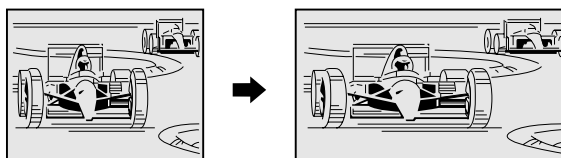
オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

上下に黒い帯の入った映像

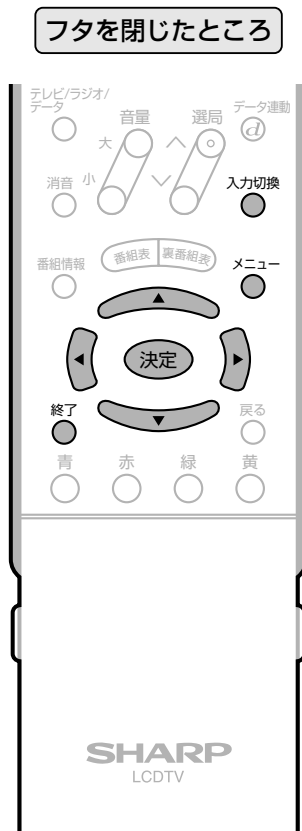
- 映像判別
- S2対応
- D端子識別

➡

スクイーズ映像

- S2対応
- D端子識別

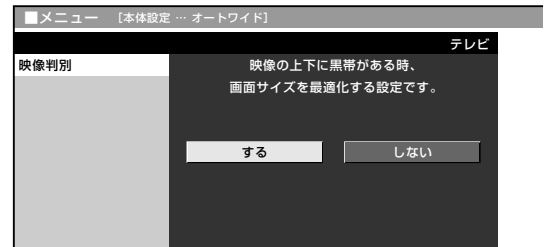
➡

- オートワイド機能が働いているとき画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。これは表示している映像に最適な画面サイズを探そうとしているために起こる現象で、故障ではありません。
  気になる場合は、つぎの手順を行い、オートワイド機能が働かないようにしてください。
  ① メニューボタンを押し、メニュー画面を表示する。
  ② 左右カーソルボタンで「本体設定」を選ぶ。
  ③ 上下カーソルボタンで「オートワイド」を選び、決定ボタンを押す。
  ④ 画面に表示されているすべての項目(「映像判別」「S2対応」「D端子識別」のうち表示されているもの)を「しない」に設定する。
  • 詳しい操作方法については、**40**〜**41**ページをご覧ください。
  ⑤ メニューボタンまたは終了ボタンを押し、通常画面に戻す。
- ビデオ機器やゲーム機などをS2映像端子やD映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってオートワイド機能が働かない場合があります。
- 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
- 字幕など画面の一部が欠ける場合には、位置調整(**36**ページ)で垂直位置を調整してください。このとき、画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能(オートワイド機能を含む)を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画面サイズの自動最適化(オートワイド)(つづき)

フタを閉じたところ

2

① ▲ ▼ で「映像判別」を選び、(決定)を押す

② ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す

3

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

映像判別機能について

- コンポーネント映像端子、D4映像端子からの入力に対しては、入力された映像が「525i」のときのみ働きます。
- デジタル放送の映像に対しては働きません。

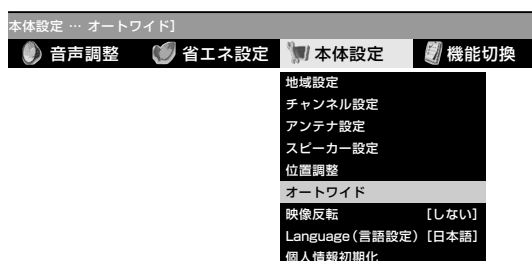
映像判別の設定

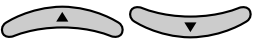
■ 受信している放送や外部入力されたソフトの映像の上下に黒い帯があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」にする機能です。

■ 映像判別機能は、テレビを受信しているとき、入力1～4およびi.LINK入力のときに働きます。

1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「オートワイド」を選び、(決定)を押す

S2対応の設定

■ S2映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。

■ S2対応機能は、入力3・4のとき(入力選択が「S2映像」または「自動」でS2映像が表示されているとき)に働きます。

1

入力切換 を押し、S映像ケーブルを接続している入力を選ぶ

2

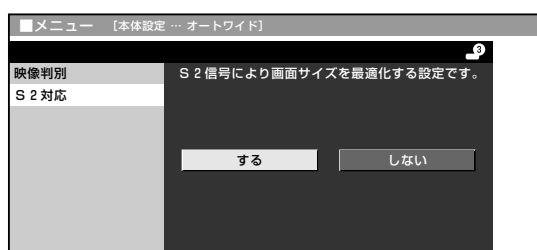
① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「オートワイド」を選び、(決定)を押す

次ページへ

3 ① ▲ ▼ で「S2対応」を選び、決定を押す
② ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定を押す

（例．入力３を選んでいる場合）

4 メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

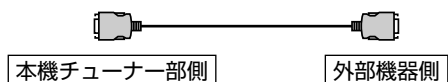
- S2対応を「する」に設定しても、S2映像端子から入力された映像によっては、最適な画面サイズにならない場合があります。

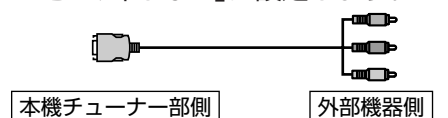
D端子識別の設定

■ D４映像端子と外部機器との接続に使う映像ケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えることができます。

■ D端子識別機能は、入力1・2のとき（入力選択が「D端子」または「自動」でD映像が表示されているとき）に働きます。

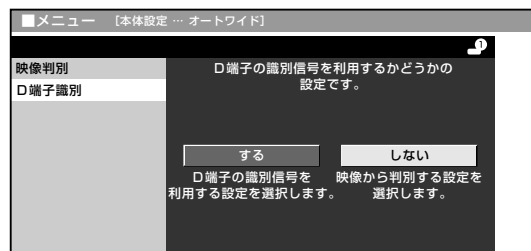
「する」：外部機器との接続に使うケーブルがD端子ケーブルのときは、「する」に設定します。

本機チューナー部側　　外部機器側

「しない」：外部機器との接続に使うケーブルがD-コンポーネント変換ケーブルのときは、「しない」に設定します。

本機チューナー部側　　外部機器側

1 入力切換 を押し、D端子ケーブルまたはD-コンポーネント変換ケーブルを接続している入力（1または2）を選ぶ

2 ① メニュー を押し、メニュー画面を表示する
② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ
③ ▲ ▼ で「オートワイド」を選び、決定を押す

3 ① ▲ ▼ で「D端子識別」を選び、決定を押す
② ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定を押す

（例．入力１を選んでいる場合）

4 メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

お好みの映像・音声で楽しむ

最適な映像・音声設定を選ぶ（AVポジション）

AVポジションとは

■部屋の明るさや再生ソフトの内容に合わせて、記憶されたお好みの映像・音声調整に設定する機能です。

「ダイナミック」（PC入力以外）……… くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あふれたものにします。（工場出荷時の設定です。）

「標準」……… 画質・音質の設定がすべて標準値になります。

「映画」（PC入力以外）……… コントラスト感を抑えることにより、暗い映像を見やすくします。

「ゲーム」（PC入力以外）……… テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。

「AVメモリー」……… 各入力ごとにお好みの調整内容を記憶させることができます。

「ダイナミック（固定）」（PC入力以外）… くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あふれたものにします。（このポジションを選んだときは、映像・音声調整ができません。）

フタを開けたところ

1 AVポジション を押す

●画面左下に現在のAVポジションが表示されます。

ＡＶポジション：ダイナミック

AVポジション表示

2 AVポジション表示が出ている間に再び AVポジション を押し、お好みの設定を選ぶ

●ボタンを押すたびに、AVポジションがつぎのように切り換わります。

PC入力以外のとき

ダイナミック → 標準 → 映画 → ゲーム → AVメモリー → ダイナミック（固定）→（ダイナミックへ戻る）

PC入力のとき

（入力5を選択し、入力選択を「アナログPC」または「デジタルPC」に設定しているとき）

標準 → AVメモリー →（標準へ戻る）

● AVポジションは各入力ごとに別のものを選ぶことができます（例えば、テレビは「標準」、入力1は「ダイナミック」....など）が、「i.LINK」は「テレビ」と同じ設定になります。また、「AVメモリー」の設定も「テレビ」と同じになります。

● 2画面のとき、左右の画面で別々のAVポジションを選ぶことができます。

映像調整について

■「映像調整」とは、映像の濃淡や明るさ、色のぐあいなどを、お好みの状態に調整する機能です。
　現在視聴している入力により、別の調整項目になっています。
■ 調整したいAVポジションを選んでから、映像調整の操作を行います。（**42**ページ参照）
■ AVポジション「ダイナミック（固定）」では、映像調整ができません。

PC入力以外での調整項目

PC入力での調整項目

項　目	内　容	設　定
カラーマネージメント※1	色の構成要素となる6つの系統色のそれぞれを調整し、色相・彩度・明度を変化させます。	−30〜0〜+30
色温度	青みがかった白(高)にするか、赤みがかった白(低)にするかの調整です。	高/高-中/中/中-低/低
黒伸張	映像の暗い部分の強調度合いを調整し、奥行き感を変化させます。	する/しない
3次元設定※2	映像素材に応じた設定にすると、画質が改善されます。	標準/動画より/静止画より
モノクロ	白黒映像にします。	する/しない
フィルムモード※3	フィルム収録のDVDなど、元信号が24コマ/秒の映像を高画質に再生します。	する/しない
I／P設定	インターレース(通常のテレビ放送やビデオ等をきめ細かい映像で楽しむモード)とプログレッシブ(静止画やグラフィック等の画像を、チラツキのないなめらかな映像で楽しむモード)を切り換えます。	インターレース/プログレッシブ

● プロ設定については、**46**ページをご覧ください。

※1 **カラーマネージメント(色相・彩度・明度)の調整項目について**

系統色	調　整 −30………0………+30
R(赤)	マゼンタに近づく ⟷ 黄に近づく
Y(黄)	赤に近づく ⟷ 緑に近づく
G(緑)	黄に近づく ⟷ シアンに近づく
C(シアン)	緑に近づく ⟷ 青に近づく
B(青)	シアンに近づく ⟷ マゼンタに近づく
M(マゼンタ)	青に近づく ⟷ 赤に近づく

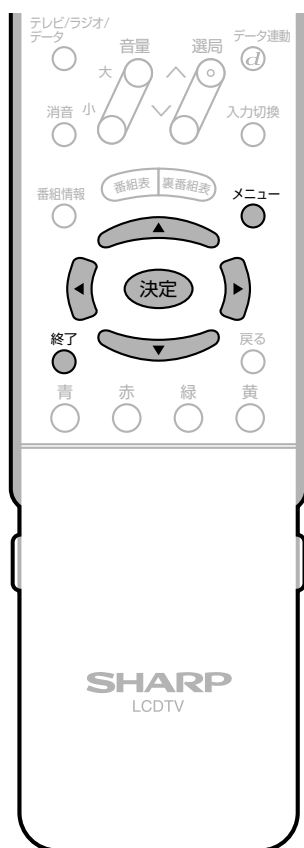
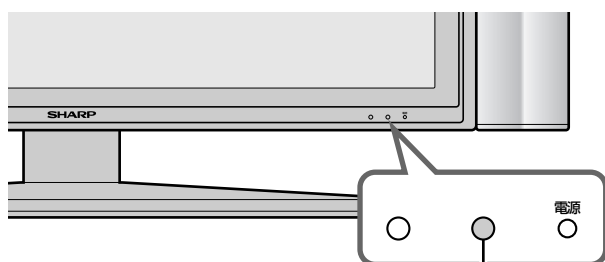
※2 地上アナログ放送、ビデオ映像以外を視聴しているときは、選択できません。
※3 元がプログレッシブの映像(525p、750p)では、選択できません。

● デジタルハイビジョン放送や、画面表示(チャンネルサイン)に「525p」「1125i」「750p」と表示されるような映像を視聴している場合は、プロ設定の「I／P設定」は選択できません。

お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

明るさセンサーの設定

■ 室内の照明状況など周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動的に調整されるよう設定することができます。(明るさセンサー機能)
また、放送や再生ソフトの映像内容に合わせ、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。(**46**ページもご覧ください。)

フタを閉じたところ

● 明るさセンサー受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなります。

明るさセンサー受光部

● AVポジション「ダイナミック(固定)」では、明るさセンサーの設定ができません。

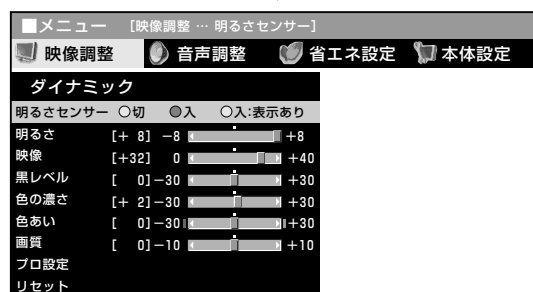
1

① メニュー ◯ を押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶ で「映像調整」を選ぶ

2

① ▲ ▼ で「明るさセンサー」を選ぶ

② ◀▶ で「切」「入」「入:表示あり」のいずれかを選ぶ

● 明るさセンサーを「入」にした場合、周囲の明るさが変化すると、明るさセンサー機能が働いて、画面の明るさを自動調整します。

● 「入：表示あり」に設定すると、自動調整中、明るさセンサー機能の効果が画面に表示されます。

明るさセンサー：

※メニュー表示中は表示されません。

3

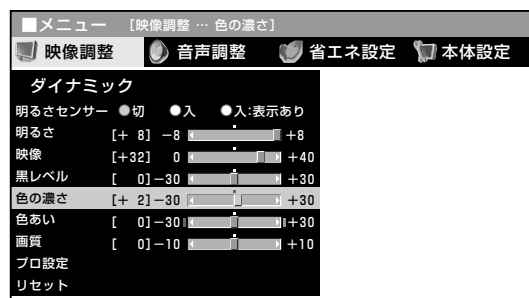
メニュー ◯ または 終了 ◯ を押し、通常画面に戻す

お好みの映像に調整する

■ AVポジションごとに、お好みの映像に調整し、調整内容を記憶させることができます。映像調整は、さきにAVポジションを選んでから行ってください。（42ページ参照）
■ AVポジション「ダイナミック（固定）」では、映像調整ができません。

フタを閉じたところ

［例］AVポジション「ダイナミック」の「色の濃さ」を調整する

1
① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「映像調整」を選ぶ
③ ▲▼で「色の濃さ」を選ぶ

2
◀▶で、お好みの色の濃さに調整する

▶を押すと、より濃い色になります。

色の濃さ ［+15］ −30 +30

◀を押すと、より薄い色になります。

色の濃さ ［−15］ −30 +30

● 続けて他の項目を調整したいときは、上下カーソルボタンで項目を選び、同じ要領で調整します。

3
メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

工場出荷時の設定に戻したいとき
① 手順1の③で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
② 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。
「初期設定に戻しました。」と表示されます。
この場合、プロ設定もすべて工場出荷時の設定に戻ります。

お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

画面をお好みの明るさに調整する

■ 放送番組や再生ソフトなど映像内容に合わせて、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「映像調整」を選ぶ

③ ▲ ▼で「明るさ」を選ぶ

2

◀▶で画面の明るさを調整する

▶を押すと、より明るくなります。

明るさ [+ 4] −8 +8

◀を押すと、より暗くなります。

明るさ [− 4] −8 +8

- −8〜標準〜+8の範囲で調整できます。
- 調整を行うと、明るさセンサー機能は「切」になります。

3

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- AVポジション「ダイナミック(固定)」では、明るさの調整ができません。

プロ設定の調整

■ 映像の状態をお好みに応じてさらにきめ細かく調整できる機能です。
調整できる項目については、**43**ページを参照してください。

[例] 黒伸張を「する」に設定する

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「映像調整」を選ぶ

③ ▲ ▼で「プロ設定」を選び、決定を押す

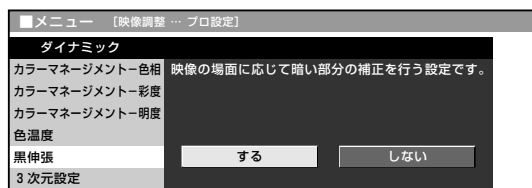
2

① ▲ ▼で「黒伸張」を選び、決定を押す

② ◀▶で「する」を選び、決定を押す

- 続けて他の項目を調整したいときは、手順**2**をくり返します。

3

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 2画面のとき、映像調整はできません。
- デジタル放送やD4映像端子、コンポーネント映像端子から入力された映像などを視聴しているとき、「3次元設定」は選択できません。
- デジタルハイビジョン放送や、画面表示(チャンネルサイン)に「525p」「1125i」「750p」と表示されるような映像を視聴している場合は、プロ設定の「I/P設定」は選択できません。
- 元がプログレッシブの映像(525p、750p)のときは、プロ設定の「フィルムモード」を選択することができません。

映像をすっきりさせる(DNR)

■ ビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。設定は「しない」「強」「弱」の3種類があります。(DNR…デジタルノイズリダクション)
■ テレビ、ビデオ各入力ごとに個別に設定することができます。

[例] DNRを「強」に設定する

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「機能切換」を選ぶ
③ ▲▼で「DNR」を選び、決定を押す

2

▲▼で「強」を選び、決定を押す

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

- デジタルハイビジョン放送、およびコンポーネント映像端子から入力された1125i／750pの映像に対しては、DNR機能が働きません。
- メニューの「デジタル設定」内、「映像設定」の「画面サイズ設定」が「フル固定」になっていると、デジタル放送受信時にDNR機能が働きません。

動きの速い映像を見やすくする(QS駆動)

■ QS駆動とは、動きの速い映像をくっきりと、より見やすくする機能です。
(QS…クイックシュート)
■ 通常は「する」にしてご覧ください。

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「機能切換」を選ぶ
③ ▲▼で「QS駆動」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

二重音声放送やステレオ放送を楽しむ

■ 二重音声放送やステレオ放送のとき、音声切換ボタンで音声モードを切り換えることができます。

チャンネル表示の色について

- 二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、チャンネル表示の色で区別することができます。

▼画面表示

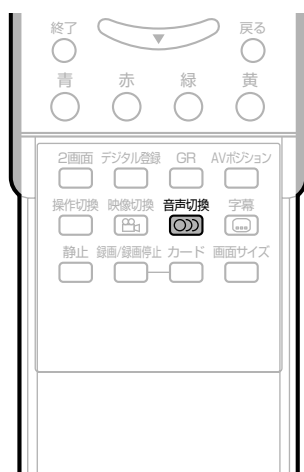
二重音声放送のとき

ステレオ放送のとき

モノラル放送のとき

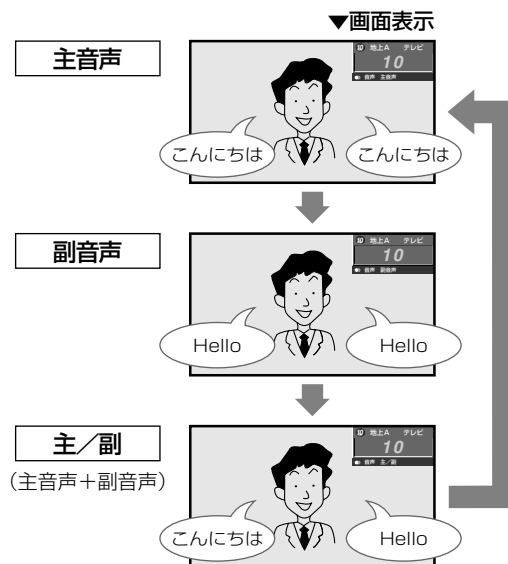
主音声と副音声について

- ニュースや洋画などの二カ国語放送で、吹き替えの日本語(主音声)と英語などの外国語(副音声)の2種類の音声が楽しめます。

フタを開けたところ

二重音声放送の音声切換

音声切換 を押し、お好みの音声を選ぶ

- ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

▼画面表示

ステレオ放送の音声切換

■ ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

雑音が多いときは、音声切換 で「モノラル」にする

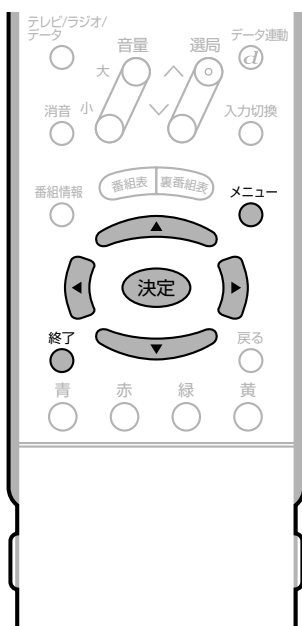
- 画面右上のチャンネル表示内に「モノラル」と表示されます。
- 「モノラル」にすると雑音が減って聞きやすくなることがあります。

- 音声切換ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
  ステレオ音声で聞くときは、再度ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。
- デジタル放送は「モノラル」への切換えができません。
- デジタル放送視聴時の音声切換えについては、**68**ページをご覧ください。

お好みの音声に調整する

音声調整について

- 「高音」「低音」「バランス」の3つの項目を、AVポジションごとに、お好みに合わせて調整することができます。
  調整したいAVポジションを選んでから、音声調整の操作を行います。（**42**ページ参照）
  ※AVポジション「ダイナミック（固定）」では、音声調整ができません。

フタを閉じたところ

[例] AVポジション「ダイナミック」の「高音」を調整する

1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶ で「音声調整」を選ぶ

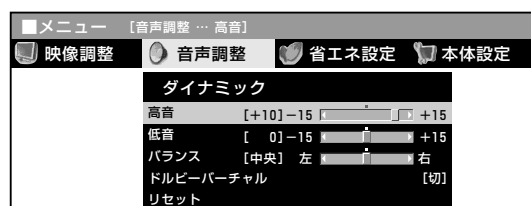
2

① ▲▼ で「高音」を選ぶ

② ◀▶ で、お好みの位置に調整する

- 続けて他の項目を調整したいときは、手順**2**をくり返します。

3

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- ドルビーバーチャルが「入」のときは、「バランス」の調整ができません。
- ドルビーバーチャルが「入」のときに「高音」「低音」の調整を行うと、本来のバーチャルドルビーサラウンドの効果が得られない場合があります。
- ヘッドホンを接続しているときや出力選択を「モニター出力（可変）」に設定しているときは、音声調整ができません。

工場出荷時の設定に戻したいとき

① 手順**2**の**①**で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
② 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。
「初期設定に戻しました。」と表示されます。

お好みの映像・音声で楽しむ(つづき)

広がりのある音で楽しむ（バーチャルドルビーサラウンド）

■ ドルビーバーチャルを「入」にすると、映画館のような迫力や臨場感あふれる音声を手軽にお楽しみいただけます。（バーチャルドルビーサラウンド機能）

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

フタを閉じたところ

1 **バーチャルを押す**

●画面左下に現在のドルビーバーチャル設定が表示されます。

ドルビーバーチャル：切

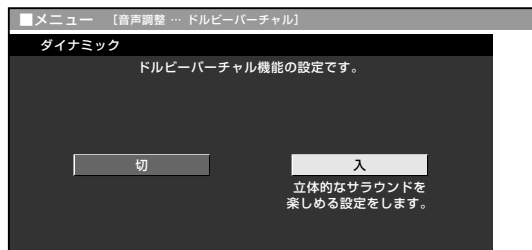
ドルビーバーチャル設定表示

2 **ドルビーバーチャル設定表示が出ている間にバーチャルを押す**

●ボタンを押すたびに、設定がつぎのように切り換わります。

ドルビーバーチャル：切
↓↑
ドルビーバーチャル：入

メニュー画面で設定するには

① メニューボタンを押し、メニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「音声調整」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「ドルビーバーチャル」を選び、決定ボタンを押す
④ 左右カーソルボタンで「入」または「切」を選び、決定ボタンを押す

⑤ メニューボタンまたは終了ボタンを押し、通常画面に戻す

- ヘッドホンで音声を聴いているときは、バーチャルドルビーサラウンドの効果が得られません。
- モニター／録画出力端子からの音声出力、デジタル音声出力(光)端子からの出力では、バーチャルドルビーサラウンドの効果が得られません。
- ドルビーバーチャルが「入」のときは、音声調整の「バランス」の調整およびスピーカー設定の「音質補正」の設定ができません。
- ドルビーバーチャルが「入」のときに、音声調整の「高音」「低音」の調整を行うと、本来のバーチャルドルビーサラウンドの効果が得られない場合があります。

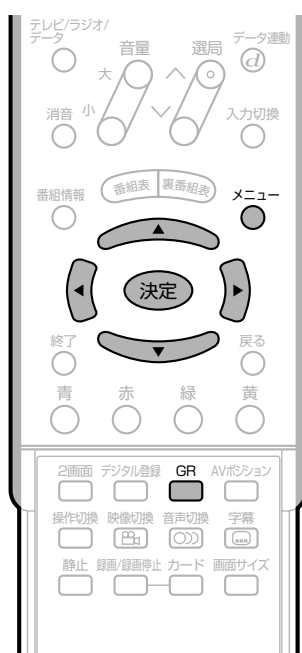
ゴーストを軽減する(GR機能)

GR機能を使う

■ ゴーストの発生によって見にくくなった地上アナログ放送チャンネルのゴーストを軽減することができます。(GR機能)
※GRはゴーストリダクションの略称です。

■ GR機能は、地上アナログ放送の入力信号に対してのみ動作し、チャンネルごとに設定できます。

■ GR設定は工場出荷時、すべてのチャンネルが「入」に設定されています。

フタを開けたところ

- つぎのような場合は、ゴースト軽減効果が得られません。
  - 放送局からゴースト除去基準信号が送られていないとき
  - 飛行機などの反射によりゴーストが変動するとき
  - ゴーストの電波が強いとき
  - ビデオデッキからの映像を見るとき
- GR設定を「入」にしておくと映像が見づらい場合は、「切」にしてください。
- チャンネルを切り換えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- 電波が弱いときにGR機能を働かせた場合は、新たにゴーストがつく場合があります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できない場合があります。(アンテナは、最も強い電波が来る方向に向けてください。)

1 GRを押す

- 画面左下に現在のGR設定が表示されます。

2 GR設定表示が出ている間に再び GRを押す

- ボタンを押すたびに「GR：入」⇄「GR：切」と切り換わります。
- 「GR：入」にしても、ゴーストの内容によっては動作に少し時間がかかったり、軽減効果が得られない場合があります。

- GR機能を「入」にすると、チャンネル表示の中に「**GR**」が表示されます。

12 地上A テレビ 12 GR 音声 ステレオ

GR表示

「ゴースト」について

- ゴーストとは、放送局とテレビアンテナの間に高層ビル等の障害物がある場合など、電波が乱反射することによって発生する現象で、映像がダブって見えたり、ぼやけて見えたりするためにゴースト(幽霊)と呼ばれます。また、工事用のクレーンや天候等が原因で発生したゴーストは、時間の経過とともに大きく変化したり揺れたりします。
- ゴーストは、場所・天候等により発生原因が千差万別であるため、発生原因に対応して完全にゴーストを消すことはできません。
- 2画面のときは、左画面のみGR機能が働きます。

次ページへつづく

ゴーストを軽減する(GR機能)(つづき)

メニュー画面でGR設定をする

フタを閉じたところ

［例］チャンネルボタン⑥に登録されている地上アナログ放送のチャンネルをGR設定する

1

① 地上A を押し、地上アナログ放送を選ぶ

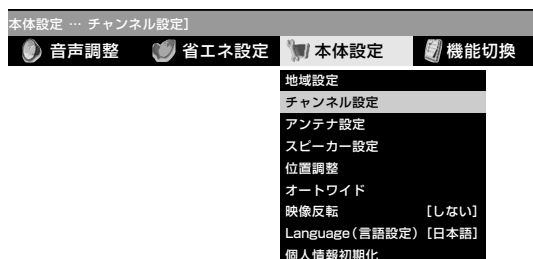
② チャンネルボタン⑥を押し、6チャンネルを選局する

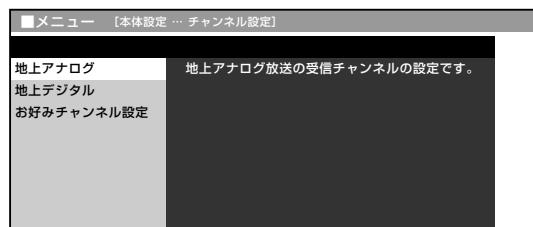
2

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「本体設定」を選ぶ

③ ▲▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

3

▲▼で「地上アナログ」を選び、決定を押す

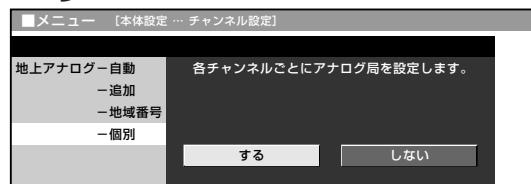
4

① ▲▼で「地上アナログ―個別」を選び、決定を押す

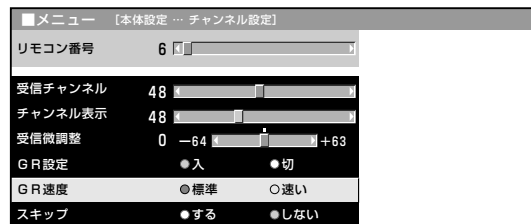
② ◀▶で「する」を選び、決定を押す

5

① ▲▼で「GR設定」を選ぶ

② ◀▶で「入」を選ぶ

6

① ▲▼で「GR速度」を選ぶ

② ◀▶で「標準」または「速い」を選ぶ

「標準」……GR効果はゆっくり現れますが、より確実な効果が得られます。

「速い」……GR効果は早く現れますが、確実な効果が得られない場合があります。

7

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- チャンネルボタンとお好みチャンネルボタンのGR設定は、同じ放送局のチャンネルであっても別々の設定になります。(お好みチャンネルのGR設定…**57**ページ)

便利な機能を使う

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

■「オフタイマー」を使うと、指定した時間後に本機の電源を切ることができます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。

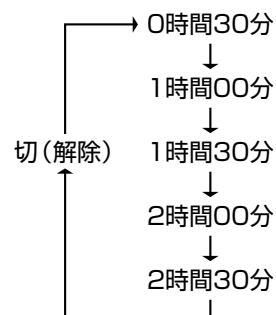
フタを閉じたところ

1 オフタイマー ◯ **を押す**

●オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。設定されていないときは「切」と表示されます。

オフタイマー：　切

2 **オフタイマー表示が出ている間に再び** オフタイマー ◯ **を押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ**

●ボタンを押すたびに、設定時間がつぎのように切り換わります。

オフタイマーの残り時間を見るには

オフタイマー ◯ **を押す**

●残り時間が表示されます。

オフタイマー：残り　0時間１５分

●しばらくすると表示が消えます。
●表示が出ている間に再びオフタイマーボタンを押すと、残り時間が変わってしまいます。

便利な機能を使う（つづき）

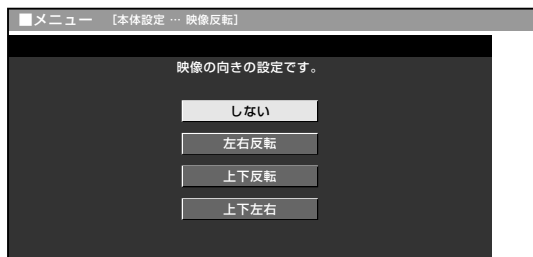
映像を反転させる

■ 設置のしかたに応じて、映像の左右、上下、上下左右を反転して映すことができます。
映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利な機能です。

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「本体設定」を選ぶ
③ ▲▼で「映像反転」を選び、決定を押す

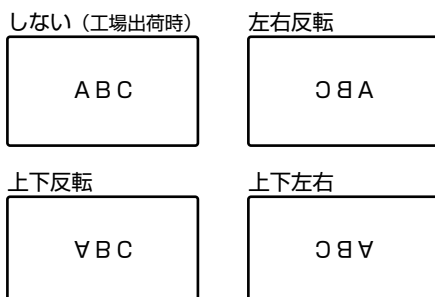
2

▲▼で「しない」「左右反転」「上下反転」「上下左右」のいずれかを選び、決定を押す

- 「しない」を選んだときは、反転しません。
- 「しない」以外を選んだときは、メニューも反転表示されます。

3

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

映像反転の表示のされかた

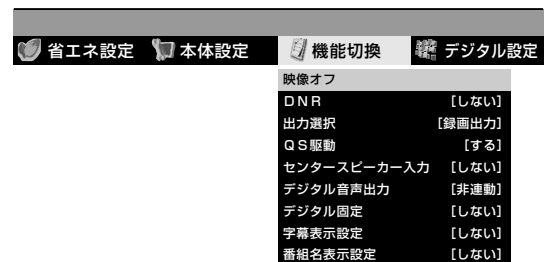
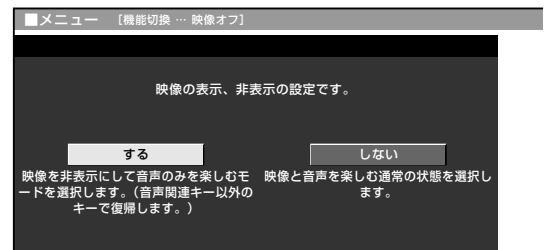
しない（工場出荷時）：ABC
左右反転：ƆBA
上下反転：∀BC
上下左右：ƆB∀

- 「左右反転」「上下左右」を選んだとき、音声は左右反転しません。

映像を消して音だけ楽しむ（映像オフ）

■ 映像を消して、音声だけを楽しみたいときに便利な機能です。

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「機能切換」を選ぶ
③ ▲▼で「映像オフ」を選び、決定を押す

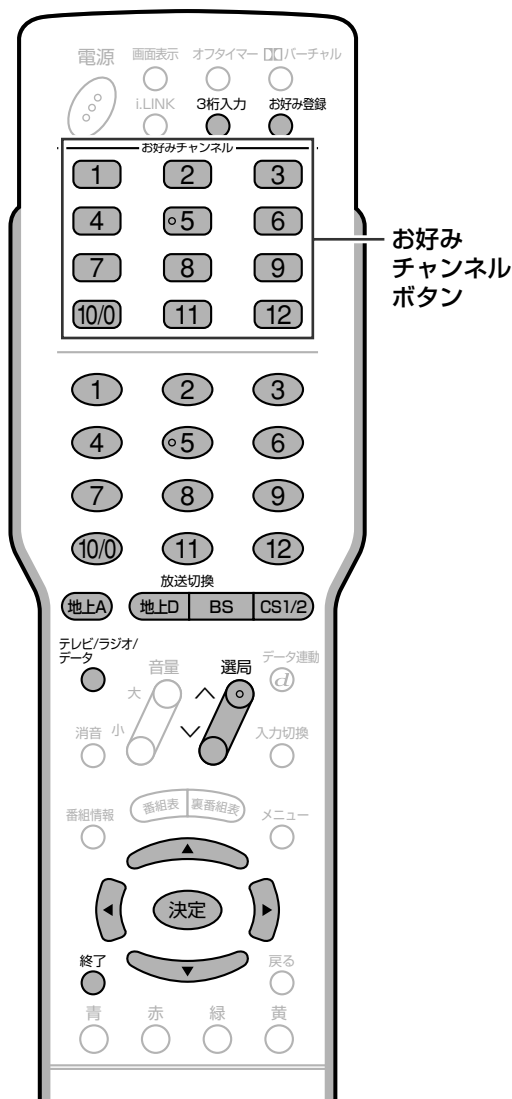
2

◀▶で、「する」を選び、決定を押す

- 映像が消えます。
- 映像を復帰させたいときは、音量調整、消音、ドルビーバーチャル入／切、音声切換え以外の操作を行ってください。

- 映像オフを「する」にしているとき、オフタイマー残り時間などのメッセージが表示されると、映像が復帰します。
- 操作により映像が復帰したり、一度電源「切」の状態にすると、自動的に設定が「しない」になります。

お好みのチャンネルを登録する

お好みチャンネルボタンに個別登録する（お好み登録）

■ お好みチャンネルボタン（1～12）には、それぞれお好みのチャンネルを登録することができます。
■ お好みチャンネルボタンへの登録は、各ネットワーク・各メディアのチャンネルを混在させた登録ができます。
※ お好みチャンネルボタンは、工場出荷時の状態では、地上アナログ放送に設定されています。

フタを閉じたところ

お好みチャンネルボタンに地上アナログ放送のチャンネルを一括登録するには
- 地上アナログ放送のチャンネル設定の「自動設定」（準備編 **29**ページ）または「地域番号設定」（準備編 **30**ページ）を行います。

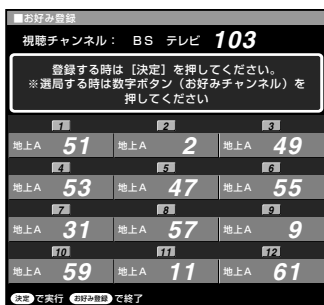
［例］BSデジタルのテレビ放送の103チャンネルをお好みチャンネルボタン1に登録する

1

① BS を押し、BSデジタル放送（テレビ）を選ぶ
② 103チャンネルを選局する

2

① お好み登録 を押す
- お好み登録画面が表示されます。

地上アナログ放送の場合は、チャンネル表示ではなく、受信チャンネルが表示されます。

② 決定 を押す

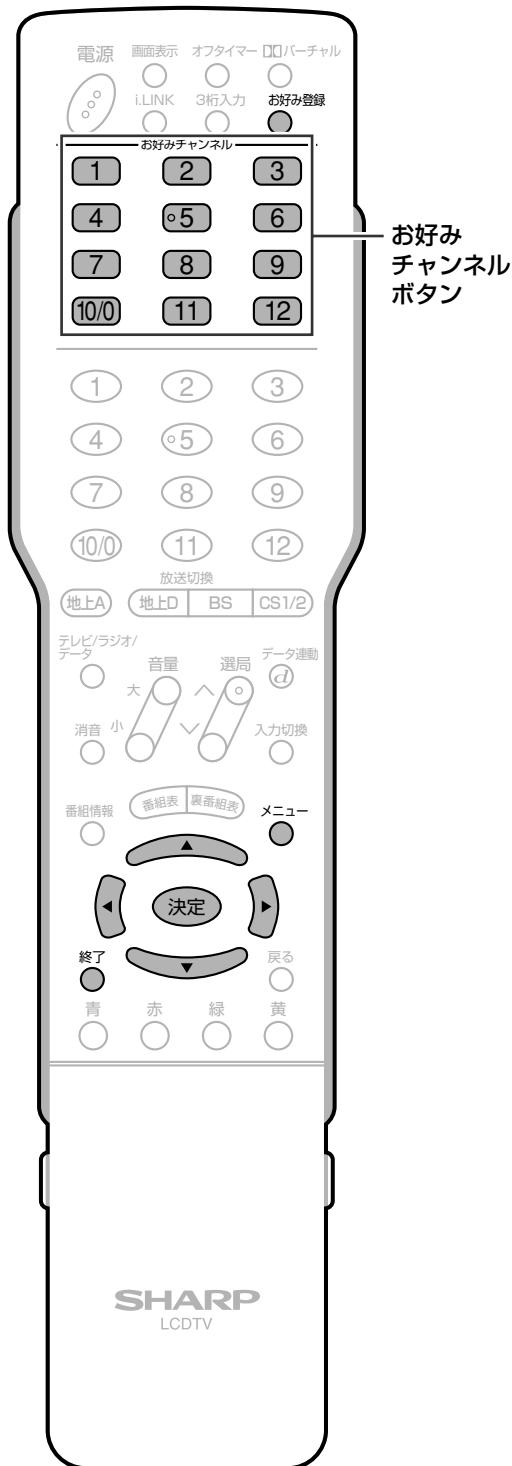
3

お好みチャンネルボタン1（登録先のボタン）を押す
- 上下左右カーソルボタンでも、登録先のチャンネルを選べます。選択後、決定ボタンを押します。

- 登録確認画面が表示されます。

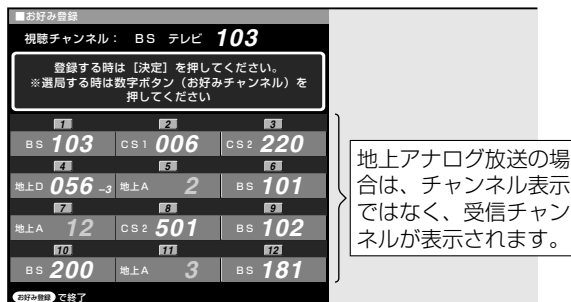
4

お好み登録 または 終了 を押し、画面表示を消す
- お好み登録ボタンまたは終了ボタンを押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。

お好みのチャンネルを登録する(つづき)

お好み登録したチャンネルを確認する

■ お好みチャンネルボタン(1〜12)に登録されているチャンネルの内容を画面で確認することができます。

1 放送を視聴中に お好み登録 を押す

●登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

●内容を確認します。

2 お好み登録 または 終了 を押し、画面表示を消す

お好み登録を変更する

55ページ手順1〜4の操作を行い、お好み登録されているお好みチャンネルボタンに新たなチャンネルを登録しなおす

お好み登録したチャンネルの設定内容を変更する

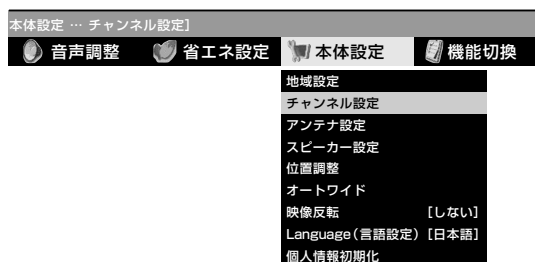
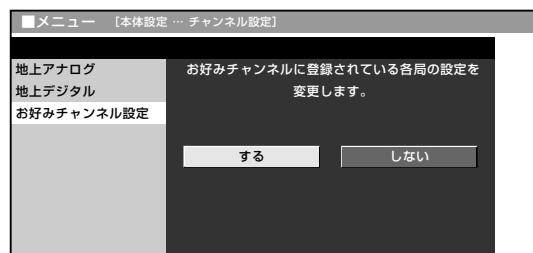
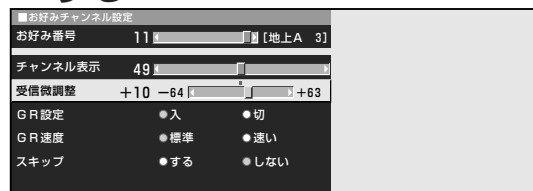
■ お好み登録したチャンネルの設定内容をメニューで変更することができます。

設定項目

チャンネル表示（地上アナログ放送のみ）	テレビ画面に表示されるチャンネル番号を変えることができます。
受信微調整（地上アナログ放送のみ）	地上アナログ放送の受信状態が悪いときに調整して、映像を見やすくします。
GR設定（地上アナログ放送のみ）	地上アナログ放送にゴーストが発生したとき、「入」を選択するとゴーストを軽減することができます。
GR速度（地上アナログ放送のみ）	GR設定を「入」にしたとき、GR効果の現われる速さ（標準／速い）を選択します。
スキップ	「する」を選択すると、選局（∧順／∨逆）ボタンで選局したときに、そのチャンネルをスキップ（飛びこし）します。

［例］お好みチャンネルボタン⑪に登録した地上アナログ放送3チャンネルの設定内容を変更する

1 **⑪を押し、お好みチャンネルボタン「11」に登録してあるチャンネルを選局する**

2
① **メニューを押し、メニュー画面を表示する**
② **◀▶で「本体設定」を選ぶ**
③ **▲▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す**

3
① **▲▼で「お好みチャンネル設定」を選び、決定を押す**
② **◀▶で「する」を選び、決定を押す**

4
① **▲▼で、設定変更したい項目を選ぶ**
② **◀▶で調整、または項目を選択する**

● 続けて他の項目を設定したいときは、手順4をくり返します。

5 **メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す**

お好みのチャンネルを登録する(つづき)

お好みチャンネル視聴時の選局操作

■ お好みチャンネルボタンでお好み登録チャンネルを選局した後にリモコンの選局関連ボタンを押すと、それぞれ下のような動作になります。

▼リモコン

3桁入力ボタン

- 3桁入力ボタンを押すと、視聴中のチャンネルと同じネットワークのチャンネル番号入力欄を表示します。
  (※視聴中のチャンネルが地上アナログ放送のときは、最後に視聴していたデジタル放送ネットワークのチャンネル番号入力欄が表示されます。)

お好みチャンネルボタン

- 各数字ボタン(1～12)を押すと、その数字ボタンにお好み登録されているチャンネルを選局します。

チャンネルボタン

- 各数字ボタン(1～12)を押すと、最後に視聴していたネットワーク・メディアの登録チャンネルを選局します。

放送切換(ネットワーク選択)ボタン

- 選んだネットワーク「地上A」「地上D」「BS」「CS1/2」に切り換えます。
  (※「CS1/2」ボタンは押すたびに、CS1とCS2を切り換えます。)
  (※ネットワークを切り換えると、メディアはテレビに変わります。)

選局(∧順／∨逆)ボタン

- 選局ボタンを押すと、お好みチャンネルボタンに登録されているチャンネル、チャンネルボタンで最後に選んでいたネットワーク・メディアのチャンネルを順／逆で選局します。

テレビ／ラジオ／データ(メディア切換)ボタン

- 押すたびに、メディア(テレビ／ラジオ／データ)を切り換えます。

- お好みチャンネル登録後、地上アナログ放送のチャンネル設定(準備編 28ページ)で自動設定、追加設定または地域番号設定を行った場合は、お好みチャンネルの登録内容が消され、地上アナログ放送の自動設定、追加設定または地域番号設定によるチャンネル登録内容に変更されます。

省エネ機能を使う

■本機は省エネに役立つ3つの機能を備えています。

無信号オフ　（地上アナログ放送／ビデオ入力のみ）
放送が終了するなど無信号状態になると、約15分後に電源が切れるように設定できます。（**59**ページ参照）

無操作オフ　（テレビ／ビデオ／カード入力のみ）
操作しない状態が3時間以上経過すると、自動的に電源が切れるように設定できます。（**60**ページ参照）

パワーマネージメント　（PC入力のみ）
映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れるように設定できます。（**60**ページ参照）
※「パワーマネージメント」は、入力5を選択し、入力選択を「アナログPC」または「デジタルPC」に設定しているときに選ぶことができます。

フタを閉じたところ

無信号オフ機能を設定する

1

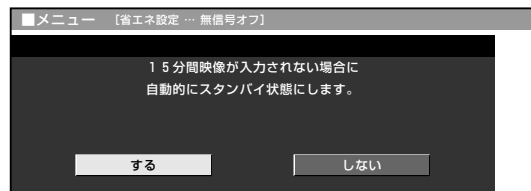
① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「省エネ設定」を選ぶ
③ ▲▼で「無信号オフ」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

おしらせ

無信号オフ機能について
- 工場出荷時は、「しない」に設定されています。
- 地上アナログ放送およびビデオ入力のみ、無信号オフ機能が働きます。
- 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
- 放送電波の状態などにより、放送を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
- PC入力のとき、無信号オフ機能は働きません。
- PC入力のときは別項目の設定となります。（**60**ページ参照）
- 電源が切れる5分前から画面左下に残り時間が表示されます。

無信号オフ：残り　5分

省エネ機能を使う（つづき）

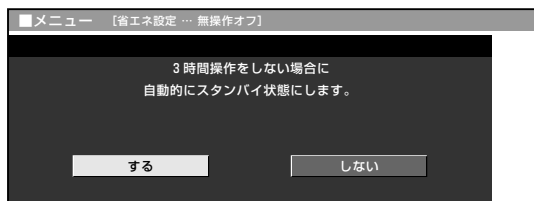
無操作オフ機能を設定する

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「省エネ設定」を選ぶ
③ ▲▼で「無操作オフ」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

無操作オフ機能について
- 工場出荷時は、「しない」に設定されています。
- PC入力のとき、無操作オフ機能は働きません。
- PC入力のときは別項目の設定となります。

PC入力の省エネ機能の設定

■ PC入力のとき、映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れるように設定することができます。（パワーマネージメント）

しない
パワーマネージメントを行いません。

モード1
無信号になったとき、約8分後に自動的に電源が切れる機能です。
電源が切れる5分前から、画面左下に残り時間が表示されます。

パワーマネージメント　残り　5分

モード2
無信号の状態が8秒間続くと、自動的に電源が切れる機能です。
この機能で電源が切れたときは、PCの映像信号が入力されると電源が入ります。

［例］パワーマネージメントを「モード1」に設定する

1

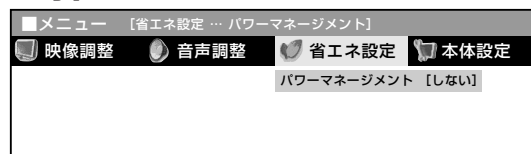
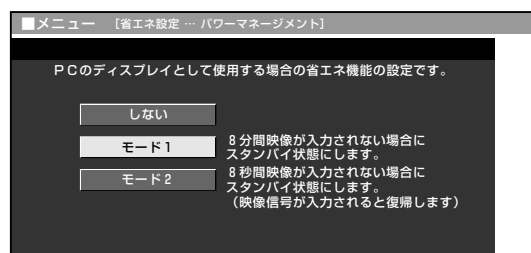
① チューナー部とPC（パソコン）の接続を確認する（182ページ参照）
② 入力切換を押し、PC入力（入力5）を選ぶ

2

① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「省エネ設定」を選ぶ
③ ▲▼で「パワーマネージメント」を選び、決定を押す

3

▲▼で「モード1」を選び、決定を押す

4

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

- デジタルPC入力時、パワーマネージメントを「モード2」に設定した場合、スタンバイ状態に入った後に映像信号が入力されても、自動復帰しないことがあります。
- パワーマネージメントを「モード2」に設定しているとき、コンセントを抜くなどして電源をしゃ断すると、再度電源を復帰させても正常に機能しない場合があります。このときは、ディスプレイ部かチューナー部の電源（受像）ボタン、またはリモコンの電源ボタンを押してください。

デジタル放送の機能と設定

● この章では、地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送の番組の選びかたや番組予約のしかたなど、デジタル放送を楽しくご覧いただくためのいろいろな機能と操作方法について説明しています。

デジタル放送の番組を選ぶ

ネットワーク・メディア・番組の選択手順

1 ネットワークを選ぶ
- 4種類のネットワークから選びます。

地上D　BS　CS1/2

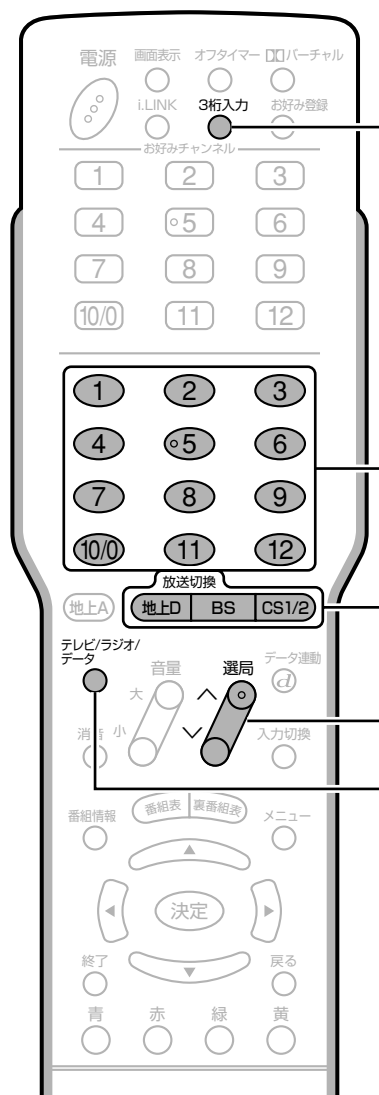
- 地上D（地上デジタル放送）
- BS（BSデジタル放送）
- CS1（プラットワン）
- CS2（スカイパーフェクTV！2）

2 メディアを選ぶ
- 3種類の放送から選びます。

テレビ/ラジオ/データ

- テレビ放送
- ラジオ放送（地上デジタル放送を除く）
- データ放送

3 チャンネルを選ぶ
- 3種類の選局方法があります。
（**63**〜**66**ページをご覧ください。）

- チャンネルボタンで選ぶ
- 3桁入力で選ぶ（※手順**2**は不要です。）
- 選局（∧順／∨逆）ボタンで選ぶ

操作のしかた

1 地上D　BS　CS1/2 **のいずれかを押し、視聴したいネットワークを選ぶ**
- CS1/2ボタンは押すたびに、つぎのように切り換わります。

CS1（プラットワン）⇄ CS2（スカイパーフェクTV！2）

2 テレビ/ラジオ/データ **を押し、 視聴したいメディアを選ぶ**
- ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

→ テレビ → ラジオ → データ ─┐（データからテレビに戻る）

- 3桁入力で選ぶときは、この手順は必要ありません。

3 視聴したいチャンネルを選ぶ
- チャンネルの選局方法には、つぎの3種類があります。各ページをご覧ください。
  - チャンネルボタンで選ぶ……………………☞ **63**ページ
  - 3桁入力で選ぶ……………………………………☞ **64**ページ
  - 選局（∧順／∨逆）ボタンで選ぶ……☞ **65**ページ

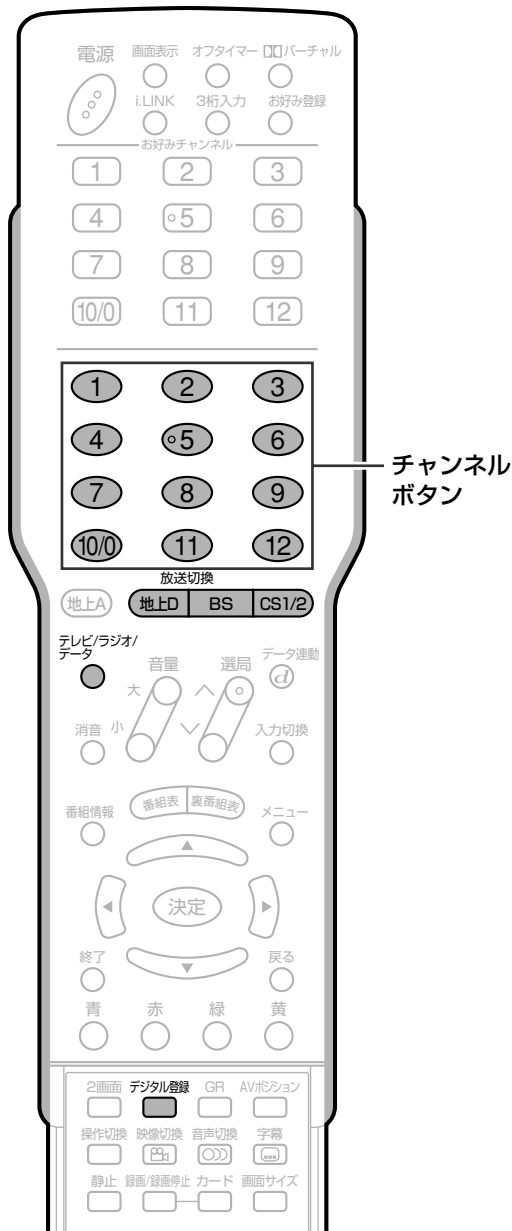
電子番組表(EPG)を使って番組を選ぶこともできます
- 上記手順1〜2の後に電子番組表を表示して、放送中の番組を選びます。

電子番組表(EPG)の表示のしかた、機能、操作方法については、**71**・**72**ページをご覧ください。

- 地上デジタル放送は、放送が開始されてから地域設定とチャンネル設定（準備編**44**〜**53**ページ）を行うとご覧になれます。

チャンネルボタンで選ぶ

■ リモコンのチャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録(設定)されており、ワンタッチ選局できます。
また、デジタル登録ボタンを押すと、チャンネルボタンに登録されている放送局の一覧が画面に表示されます。(**69**・**70**ページ参照)

フタを開けたところ

1 **地上D BS CS1/2のいずれかを押し、ネットワークを選ぶ**

- CS1/2ボタンは押すたびに、つぎのように切り換わります。
  CS1(プラットワン) ⇄ CS2(スカイパーフェクTV！2)

2 [例] BSデジタル放送のテレビ放送「NHK BS1」を選ぶとき

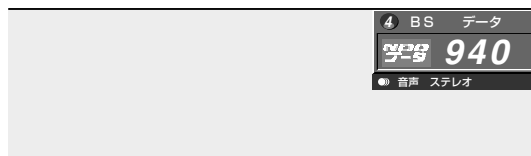
① テレビ/ラジオ/データ をくり返し押し、テレビを選ぶ
② チャンネルボタン①を押す

▼画面表示

[例] BSデジタル放送のラジオ放送「BS-iラジオ」を選ぶとき

① テレビ/ラジオ/データ をくり返し押し、ラジオを選ぶ
② チャンネルボタン⑦を押す

[例] BSデジタル放送のデータ放送「日本データ放送」を選ぶとき

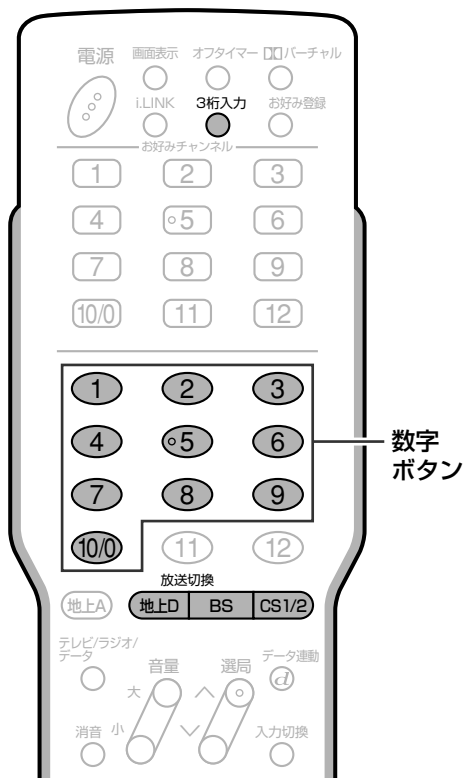
① テレビ/ラジオ/データ をくり返し押し、データを選ぶ
② チャンネルボタン④を押す

- データ放送の使いかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。基本的にはカーソルボタン、決定ボタン、カラーボタンなどで操作します。
- 地上デジタル放送は、ラジオ放送がありません。

デジタル放送の番組を選ぶ(つづき)

3桁入力で選ぶ

■ 視聴したい番組の3桁チャンネル番号を入力して選局できます。
チャンネル番号表(**22**・**69**・**70**ページ)を参照してください。

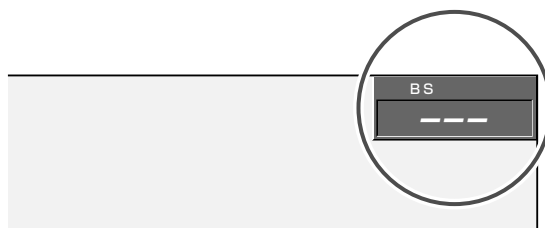
■ 地上デジタル放送の3桁入力による選局については、**65**ページの「**地上デジタルチャンネルの枝番を選んで選局する**」もご参照ください。

フタを閉じたところ

1 **地上D BS CS1/2のいずれかを押し、ネットワークを選ぶ**

●CS1/2ボタンは押すたびに、つぎのように切り換わります。
CS1(プラットワン) ⇄ CS2(スカイパーフェクTV!2)

2 [例] BSデジタル放送の161チャンネル(BS-i)を選ぶとき

① 3桁入力を押す

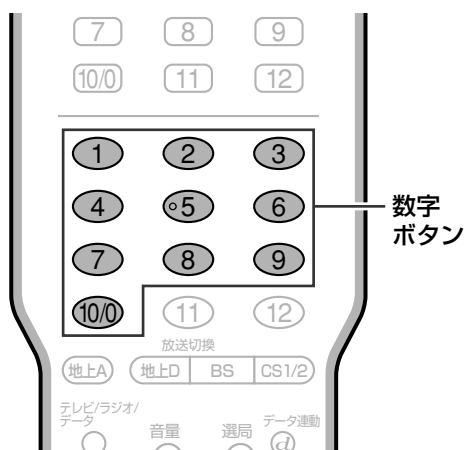
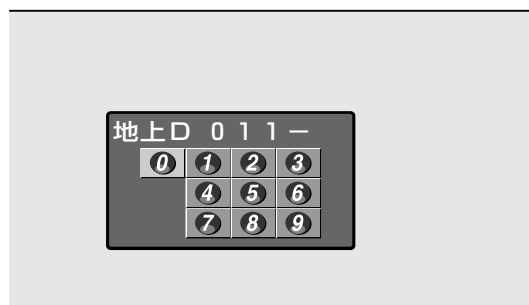
●画面右上に3桁入力欄が表示されます。

② 数字ボタン1 6 1を押す

●間違った番号を入力した場合は、再度3桁入力ボタンを押すと、入力した番号がクリアされます。

ヒント

つぎの操作手順でも選局できます
① 3桁入力ボタンを押す。
② 放送切換「地上D」「BS」「CS1/2」ボタンでネットワークを選ぶ。
③ 数字ボタンで番号を入力する。

地上デジタルチャンネルの枝番を選んで選局する

■ 地上デジタル放送を3桁入力(**64**ページ)で選局したとき、チャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4桁め(枝番)を選んで番組を選局します。

●3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め(枝番)の選択画面が表示されます。

数字ボタン(1～10/0)で4桁めの数字(枝番)を入力し、選局する

選局(∧順／∨逆)ボタンで選ぶ

■ 選局(∧順／∨逆)ボタンを押すたびに、視聴中のネットワーク・メディアのチャンネルとお好みチャンネルが、順方向・逆方向に選局できます。

1 **地上D BS CS1/2のいずれかを押し、ネットワークを選ぶ**

●CS1/2ボタンは押すたびに、つぎのように切り換わります。

CS1(プラットワン) ⇄ CS2(スカイパーフェクTV！2)

2 **テレビ/ラジオ/データをくり返し押し、メディア(テレビ／ラジオ／データ)を選ぶ**

●地上デジタル放送は、ラジオ放送がありません。

3 **選局を押す**

●視聴したい番組が表示されるまで、選局(∧順／∨逆)ボタンを押してください。

デジタル放送の番組を選ぶ(つづき)

お好みチャンネルボタンで選ぶ

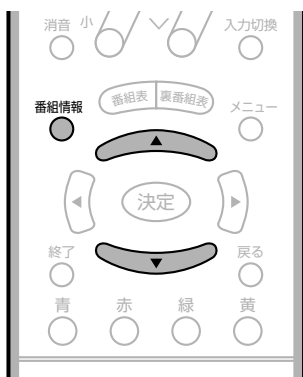
■ お好みチャンネルボタンにデジタルチャンネルが登録されている場合は、お好みチャンネルボタンでワンタッチ選局することができます。(**55**ページ「**お好みのチャンネルを登録する**」をご参照ください。)

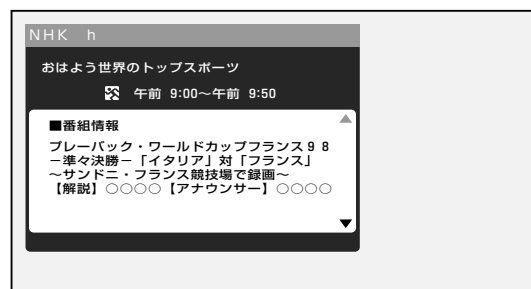
視聴したいデジタルチャンネルが登録されているお好みチャンネルボタン(1〜12)を押す

●視聴したいチャンネルがダイレクトに選局できます。

視聴中の番組の情報を見る

番組情報を表示する

■ 番組視聴中に番組情報ボタンを押すと、画面に番組情報が表示されます。

番組情報を押し、番組情報を表示する

(番組情報の画面例)

●表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで情報内容の送り・戻しができます。
●番組情報表示を消すときは、もう一度番組情報ボタンを押します。

テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する

連動データ放送を見る

■ テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、データ連動ボタンを押すと、連動データ放送を見ることができます。

フタを閉じたところ

を押す

●連動データ放送の画面になります。

（連動データ放送の画面例）

●テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動（*d*）ボタンを押します。

おしらせ

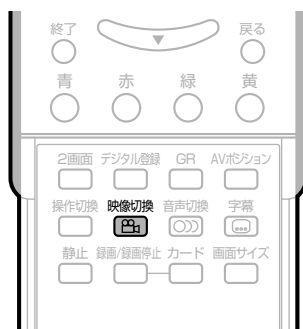
● 電源を入れた直後やチャンネル切換えをした直後は、データ連動（*d*）ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく（約20秒）待ってから操作してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）

映像・音声の切り換えかた

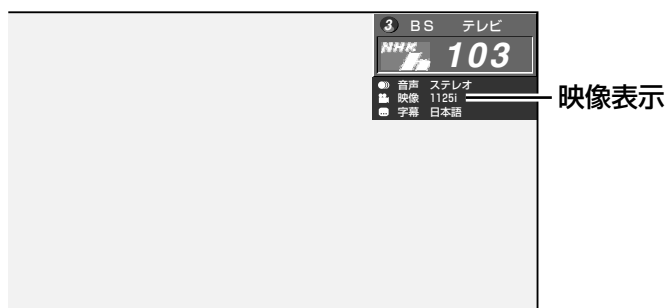
複数の映像（最大4つ）または音声（最大8つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しむことができます。

複数の映像を楽しむ

■ 複数の映像のある番組をご覧のとき、映像切換ボタンを押すと、映像を切り換えることができます。

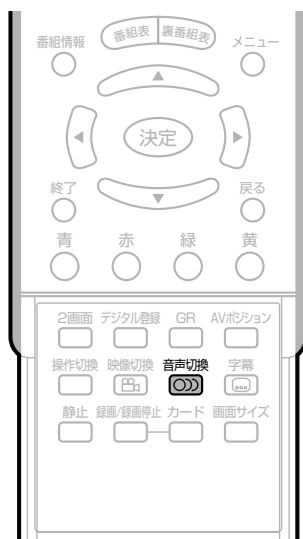
フタを開けたところ

映像切換 を押し、映像を切り換える

●ボタンを押すたびに映像が切り換わり、チャンネルサインの下に映像表示が出ます。

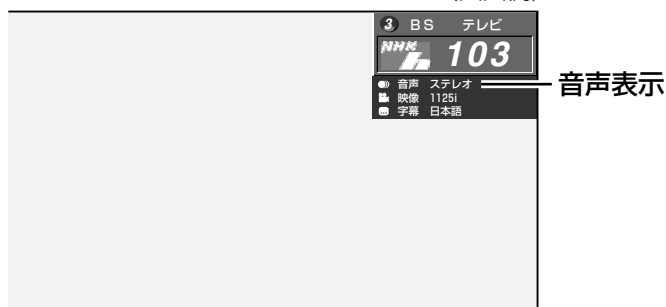
（画面例）

※番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を楽しむ

■ 複数の音声のある番組をご覧のとき、音声切換ボタンを押すと、音声を切り換えることができます。

フタを開けたところ

音声切換 を押し、音声を切り換える

●ボタンを押すたびに音声が切り換わり、チャンネルサインの下に音声表示が出ます。

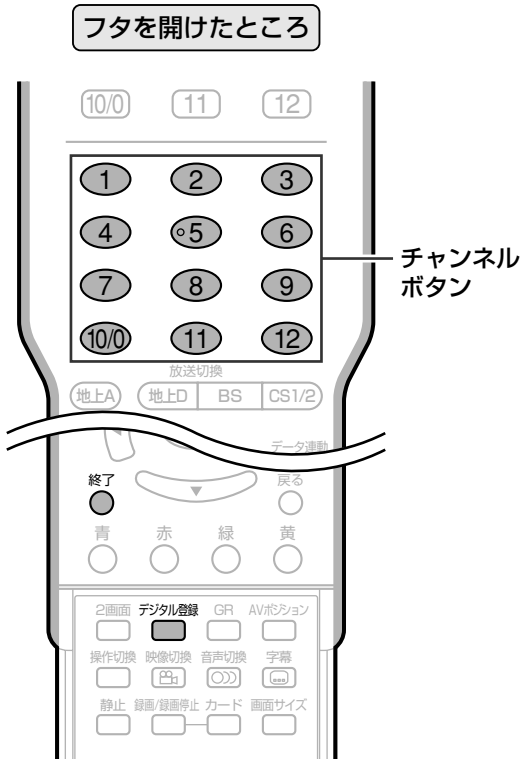
（画面例）

マルチ音声番組のとき　→音声1→音声2〜8※→

※番組によって音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主→副→主/副→

● マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声1」が選択されます。
● 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
● 二重音声やマルチ音声のときの言語表記は、放送に入っているコードによる表示であり、必ずしも表記どおりではないことがあります。
● 録画予約時に「詳細を設定する」を選択していない場合、二重音声の場合は、直前に視聴した音声で録画します。その他の場合は、「映像1」「音声1」で録画します。

チャンネルボタンに登録されているデジタルチャンネルを確認する

■ ワンタッチ選局に使うチャンネルボタンに現在登録されているデジタル放送のチャンネルを確認することができます。

デジタル放送を視聴中に を押す

●登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

〈例〉BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

●確認後、画面表示を消すには、デジタル登録ボタンか終了ボタンを押します。

おしらせ

- 各デジタル放送のチャンネル確認／登録画面は、それぞれ放送を視聴しているときにデジタル登録ボタンを押すと表示されます。
- 確認／登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／ラジオ／データボタン(メディア切換えボタン)を押すと、ネットワーク・メディアが切り換わり、そのチャンネル確認／登録画面が表示されます。
- CS1/2ボタンは押すたびに、CS1とCS2が切り換わります。

工場出荷時に設定されているデジタルチャンネル一覧

BS(BSデジタル放送)チャンネル

チャンネルボタン	テレビ		ラジオ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	BSC	300	メガポート放送	900
2	NHK BS2	102	ミュージックバード	316	ウェザーニュース	910
3	NHK ハイビジョン	103	JFN衛星放送	320	デジキャス933	933
4	BS 日テレ	141	セント・ギガ	333	日本データ放送	940
5	BS 朝日	151	BS 日テレラジオ	444	BS955	955
6	BS-i	161	BSAラジオ	455	TiVi!963	963
7	BS ジャパン	171	BS-iラジオ	461	知求チャンネル	999
8	BS フジ	181	BS ジャパンラジオ	471	―	―
9	WOWOW	191	LFX488	488	―	―
10/0	スター・チャンネル	200	BS QR489	489	―	―
11	―	―	WOWOW WAVE1	491	―	―
12	―	―	―	―	―	―

次ページへつづく

チャンネルボタンに登録されているデジタルチャンネルを確認する(つづき)

CS1(プラットワン)チャンネル

チャンネルボタン	テレビ		ラジオ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	プラットワン・プロモチャンネル	001	サウンドスケープテリア	700	データカレッジ	010
2	G+SPORTS&NEWS	004	ヒーリングテリア	701	お一当たりch	900
3	NNN24	005	ライトクラシックテリア	702	お！宝ch	901
4	パンチクラブ	006	スクリーンテリア	703	CS教育テレビ	902
5	エコミュージックTV	007	ストリング・アンサンブルテリア	704	ゲーちゃん	909
6	ミュージックジャパンTVプラス	008	カフェ・ミュージックテリア	705	ハローTivi	963
7	マンマTV・サイエンス	009	スウィングテリア	706	スポーツTivi	966
8	ep 055チャンネル	055	フュージョンテリア	707	ニュースTivi	967
9	WOWOW PPV1	091	カントリー&ウェスタンテリア	708	SHOP&TV5(フランス)	998
10/0	WOWOW PPV2	092	ラテン&ブラジリアンテリア	709	生活スタイルTV	999
11	WOWOW PPV3	093	ボーダーレス・ミュージックテリア	710	–	–
12	WOWOW PPV4	094	R&B・ソウルテリア	711	–	–

CS2(スカイパーフェクTV！2)チャンネル

チャンネルボタン	テレビ		ラジオ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	スカパー！2プロモ	100	–	–	ワンテンポータル	110
2	C-TBSウェルカムチャンネル	160	–	–	CS映画	123
3	ショップチャンネル	177	–	–	BAZ	170
4	フジテレビ739	182	–	–	TAKARAZUKA SKYSTAGE	190
5	AQステーション	194	–	–	囲碁名人戦・朝日オープン将棋	217
6	ザ・ゴルフチャンネル	211	–	–	–	–
7	日本映画専門チャンネル	220	–	–	–	–
8	スーパーチャンネル	230	–	–	–	–
9	AXN	234	–	–	–	–
10/0	アクティブ！スポーツチャンネル	250	–	–	–	–
11	TAKARAZUKA SKYSTAGE	290	–	–	–	–
12	–	–	–	–	–	–

地上デジタルチャンネル

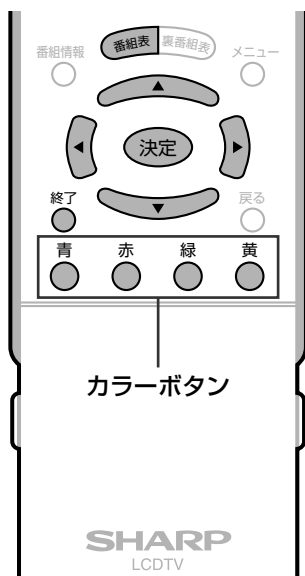
関東の東京で受信できるチャンネルです。

チャンネルボタン	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネルボタン	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK総合・東京	011	7	テレビ東京	071
2	NHK教育・東京	021	8	フジテレビジョン	081
3	–	–	9	東京MXテレビ	091
4	日本テレビ	041	10/0	–	–
5	テレビ朝日	051	11	–	–
6	TBS	061	12	放送大学	121

- CS2(スカイパーフェクTV！2)は、現在、ラジオ放送の予定がありません。
- 上記チャンネルプランは2004年2月現在のもので、変更されることもあります。

電子番組表(EPG)の使いかた

■デジタル放送では、電子番組表(EPG)の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

フタを閉じたところ

カラーボタン

1 デジタル放送を視聴中に 番組表 を押す

電子番組表(EPG)画面が表示されます。

(BSデジタル放送の画面例)

選んでいるネットワークとメディア

選んでいる番組の時間帯

選んでいる日にち

選んでいる番組の内容

カラーボタンに対応

基本

- 現在カーソルのあるところが黄色で表示されます。
- 縦方向にカーソルを動かすときは、上下カーソルボタンを使います。
- 横方向にカーソルを動かすときは、左右カーソルボタンを使います。

2 **で番組を選び、決定 を押す**

放送中の番組を選んだとき ⇨ 選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき ⇨ 予約選択画面になります。(**78**ページ参照)

電子番組表(EPG)画面を消すときは

番組表 または 終了 を押します。

カラーボタンの機能について

青 (番組情報を見る)
番組情報が表示されます。

赤 (ジャンル検索)
ニュース・報道、映画、音楽、バラエティーなど、番組をジャンル別に探すことができます。

緑 (日時検索)
日時を指定して番組表が表示できるので、番組を早く探すことができます。

黄 (予約リスト)
予約した番組を一覧表示することができます。
予約リストは予約の取消しや変更に使います。

電子番組表の切り換えかた

- 電子番組表(EPG)を表示しているときに放送切換ボタン(地上D・BS・CS1/2)、テレビ/ラジオ/データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの番組表に切り換えることができます。

カラーボタンについて

- カラーボタンの機能は、表示されている画面によって変わります。
  画面の表示内容を見てボタンを使い分けてください。
- 画面上に機能表示がないカラーボタンは、押しても働きません。

地上デジタル放送の電子番組表について

- 地上デジタル放送の電子番組表(EPG)の情報は、送信している各放送チャンネルから取得する必要があります。(**120**ページ参照)

- 受信状態によっては、番組情報を取得できないことがあります。
- 電子番組表(EPG)を表示できるのは、デジタル放送だけです。
- 本書ではおもに、BSデジタル放送の電子番組表の画面例を掲載しています。

電子番組表(EPG)で選ぶ

見たい番組を探す

フタを閉じたところ

1 番組表 を押し、電子番組表(EPG)を表示する

2 見たい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定 を押す

放送中の番組を選んだとき

⇨選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき

⇨予約選択画面になります。(**78**ページ参照)

電子番組表の表示内容

- テレビ放送……8日分
- ラジオ放送……3日分
- データ放送……最低1日分

※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間のかかる場合があります。

アイコン一覧

■ デジタル放送の電子番組表(EPG)や予約リストなどには、いろいろなアイコン(絵記号)が使われています。各アイコンの意味はつぎのとおりです。

番組情報を示すアイコン

アイコン	内　容
	視聴予約している番組
	録画予約(ビデオ連動予約)している番組
	録画予約(i.LINK予約)している番組
	有料放送、またはPPV(ペイパービュー)番組
	i.LINKによるデジタルコピーが禁止の番組
	i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能な番組

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース/報道		映画
	スポーツ		アニメ/特撮
	情報/ワイドショー		ドキュメンタリー/教養
	ドラマ		劇場/公演
	音楽		趣味/教育
	バラエティ		福祉

ジャンルで番組を探す

■ 番組をジャンル別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

フタを閉じたところ

1

① 番組表 を押し、電子番組表を表示する
② 赤〇(ジャンル検索)を押す

2

見たいジャンルを ◀ ▶ で選ぶ

3

見たい番組を ▲ ▼ で選び、決定 を押す

●黄ボタン(次の3時間)を押すと、時間帯を3時間先に送ることができます。前の時間帯に戻るときは、緑ボタン(前の3時間)を押します。

放送中の番組を選んだとき
　⇨選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき
　⇨予約選択画面になります。(**78**ページ参照)

電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

日時を指定して番組を探す

■ 日時と時間を指定して、電子番組表を表示させることができます。

フタを閉じたところ

1

① 番組表 を押し、電子番組表を表示する
② 緑(日時検索)を押す

2

◀▶で日にちを選ぶ

●日にちを選んだあとに決定ボタンか赤ボタン(実行)を押すと、選んだ日にちの電子番組表が表示されます。

3

① 黄(時間を選ぶ)を押す
② ◀▶で時間を選び、決定 を押す

●指定された日時の電子番組表が表示されます。

番組の内容を確認する

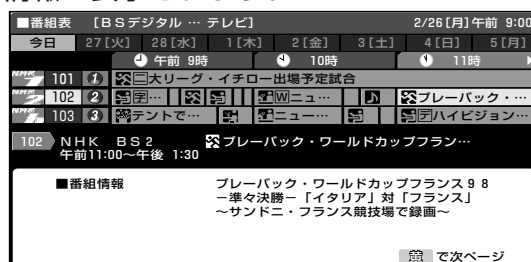
■ 番組の内容を知りたいとき、電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

フタを閉じたところ

1 番組表 **を押し、電子番組表を表示する**

2 **内容を確認したい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選ぶ**

3 青 **（番組情報を見る）を押す**

●番組情報が表示されます。

●番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

視聴中の番組の内容を見るには

● 番組情報ボタンを押してください。（66ページ参照）
（電子番組表を表示する必要はありません。）

電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

放送中の他の番組を知りたいとき

フタを閉じたところ

1 〔裏番組表〕を押し、裏番組表を表示する

2 〔▲〕〔▼〕で番組を選ぶ

3 青(番組情報を見る)を押す

●選んだ番組の情報が表示されます。

●番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

- 選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。
- 地上D・BS・CS1・CS2のいずれのネットワークについても、また、テレビ・ラジオ・データのいずれのメディアについても、同じように裏番組表を表示することができます。
- 裏番組表を表示しているときに放送切換ボタン(地上D・BS・CS1/2)、テレビ／ラジオ／データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの裏番組表に切り換えることができます。

電子番組表(EPG)から番組を予約する

■ デジタル放送の番組を電子番組表(EPG)から予約することができます。
■ 予約には**「視聴予約」**と**「録画予約」**の2種類があります。

番組予約（録画予約）の手順

予約したい未放送の番組を電子番組表から選ぶ ― 番組表から、直接予約ができます

↓

「録画予約」を選ぶ

↓

録画機器の選択・設定

- ビデオ連動予約確認・設定 ― ビデオデッキ
- i.LINK連動予約確認・設定 ― D-VHSビデオデッキ

↓

予約の方法を選ぶ

- 予約
- 詳細予約

↓

契約の確認

- 有料放送または PPV 番組の購入契約の判定

↓

購入内容の設定

- 購入金額制限の判定

↓

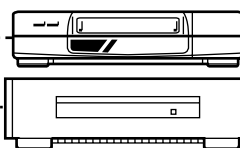
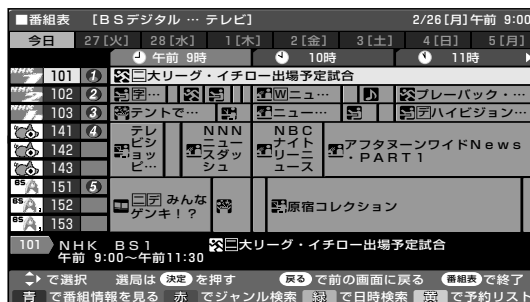
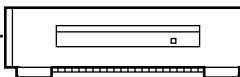
映像・音声の選択と購入設定

- マルチビュー、副映像、副音声

↓

予約内容確認

↓

予約手続き完了

（契約の確認・購入内容の設定について）
- BSデジタル放送は無料放送と有料放送があり、有料放送にはあらかじめ契約して視聴する番組と、番組単位で購入して視聴する番組(PPV)があります。
- 110度CSデジタル放送は有料放送で、各プラットフォームとの個別受信契約が必要です。その他に、番組単位で購入して視聴する番組(PPV)があります。

（映像・音声の選択と購入設定について）
デジタル放送の一部の番組では、マルチビューや副映像・副音声などの情報が同時に送られてきます。

- データ放送番組をビデオ連動録画する場合は、メニュー内「デジタル設定」の「録画画面表示設定」を「する」に設定(**94**ページ参照)してください。「しない」に設定すると、モニター／録画出力端子(「録画出力」に設定時)からデータ放送画面が出力されません。(映像・音声のみ出力されます。)
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。
- 契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。
- 録画予約を選択した場合、録画開始2分前になると、デジタルに関するリモコン操作を受けつけなくなります。また、予約録画の実行中もリモコン操作を受けつけません。
  操作を行う場合は、デジタルに関するリモコン操作をし、そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押して予約を解除してください。

現在ＢＳ　１４２ｃｈを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか？
する　しない

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

視聴予約か録画予約かを選ぶ

■ 電子番組表から、放送予定の番組の視聴予約、録画予約、およびPPV(ペイパービュー)番組の録画予約ができます。

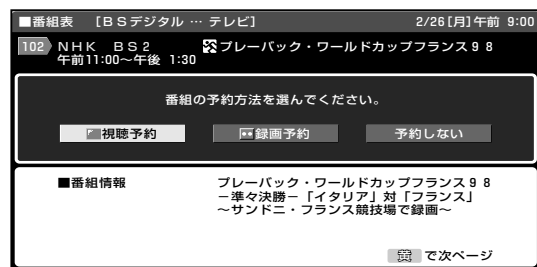
フタを閉じたところ

1 番組表 **を押し、電子番組表を表示する**

●翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定(**74**ページ)で番組表を表示させると便利です。

2 予約したい番組を ▲ ▼ ◀▶ で選ぶ

3 決定 **を押す**

●予約選択画面になります。

「視聴予約」…… 視聴のみの予約となります。
視聴予約の手順に進みます。
(☞**79**ページ)

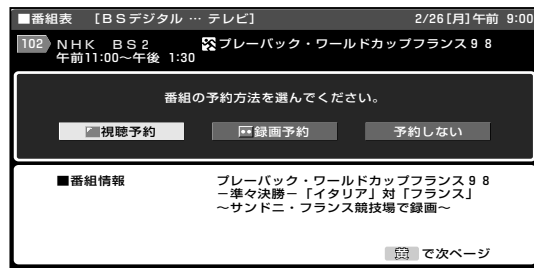
「録画予約」…… 録画する機器の選択ができます。
録画予約の手順に進みます。
(☞**80**ページ)

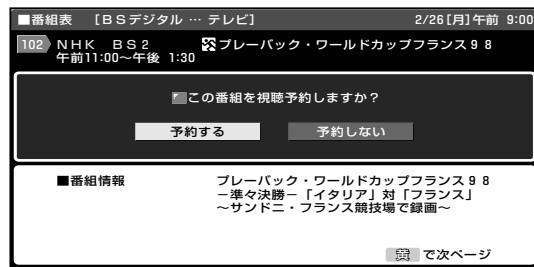
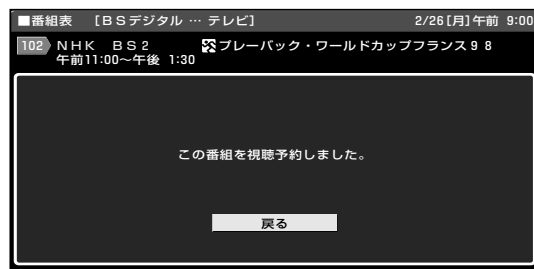
「予約しない」… 予約をしないで番組表に戻ります。

視聴予約

- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し(**90**ページ)が必要です。

フタを閉じたところ

1 ◀で「視聴予約」を選び、決定を押す

2 ◀で「予約する」を選び、決定を押す

「予約する」……… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。
「予約しない」…… 予約をしないで番組表に戻ります。

3 「戻る」で決定を押す

- 視聴予約が設定されました。

予約ランプについて

- 番組を予約すると、チューナー部の予約ランプが点灯します。

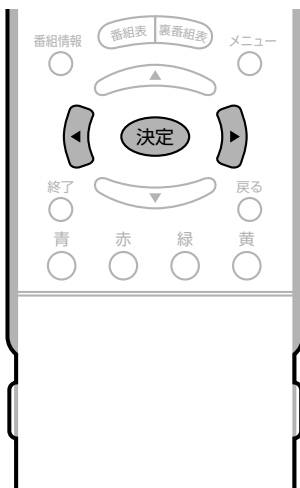
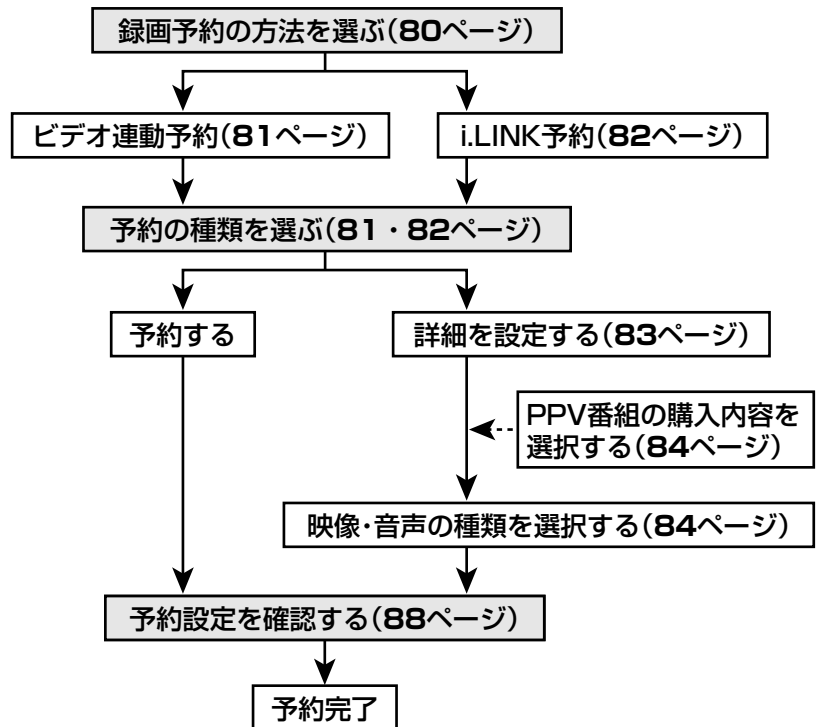
視聴予約を設定した後に電源を切るときのご注意

- 視聴予約を設定した後、電源を切る場合は、リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。ディスプレイ部の電源(押･入-切)スイッチでは切らないでください。ディスプレイ部の電源(押･入-切)スイッチで「切」にした場合は、予約ランプの点灯、消灯にかかわらず、予約が実行されません。

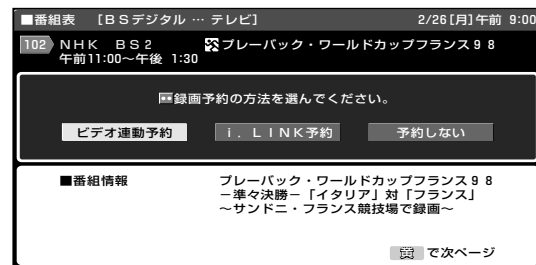
電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

録画予約

- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し(**90**ページ)が必要です。
- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「チャンネル固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
- ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル音声出力(光)端子の設定を「PCM」にしてください。(**174**ページ)
- データ放送番組をビデオ連動録画する場合は、「録画画面表示設定」を「する」に設定(**94**ページ参照)してください。「しない」に設定すると、モニター／録画出力端子(「録画出力」に設定時)からデータ放送画面が出力されません。(映像・音声のみ出力されます。)
- D-VHSで録画するときは、i.LINKの設定を行ってください。(**164**～**168**ページ)
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

フタを閉じたところ

録画予約の操作手順

※ 上記の操作手順は一例です。選んだ番組によっては、必要のない手順もあります。

録画予約の方法を選ぶ

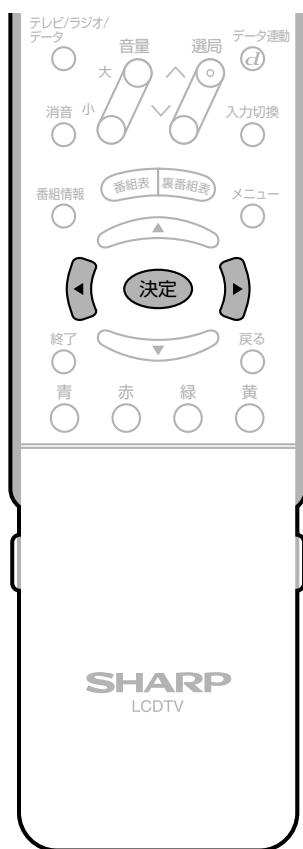
◀▶で録画予約の方法を選び、決定を押す

「ビデオ連動予約」… ビデオコントローラーを使ってのビデオ連動予約に進みます。(☞**81**ページ)

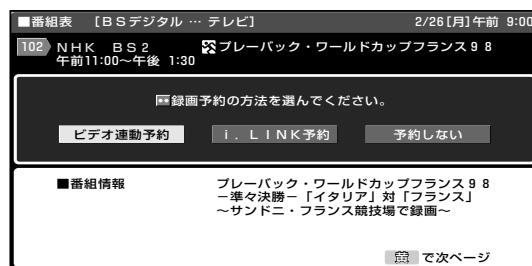
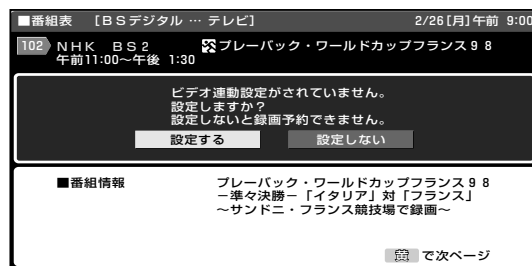
「i.LINK予約」……… i.LINK予約に進みます。(☞**82**ページ)

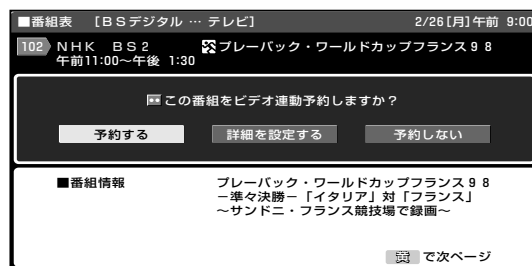
「予約しない」……… 予約をしないで、番組表に戻ります。

■ ビデオ連動予約とは、付属のビデオコントローラーを使い、予約時間に合わせてビデオデッキの録画を開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する方法です。

- ビデオ連動予約を初めて行う場合は、あらかじめ、ビデオデッキ・ビデオコントローラーの接続（**158**ページ）、およびビデオ連動録画設定（**159**ページ）を済ませておいてください。
- ビデオ連動録画設定は、一度行えば、設定内容が記憶されますので、次回からは必要ありません。

フタを閉じたところ

ビデオ連動予約するとき

1 ◀で「ビデオ連動予約」を選び、決定を押す

- ビデオ連動録画設定が済んでいるときは、手順**2**の画面になります。
- ビデオ連動録画設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

- 「設定する」を選んで決定ボタンを押すと、ビデオ連動録画設定画面になります。設定を行ってください。（**159**ページ参照）

2 ◀▶で予約の種類を選び、決定を押す

「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

「詳細を設定する」… 映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。

「予約しない」……… 予約をしないで、番組表に戻ります。

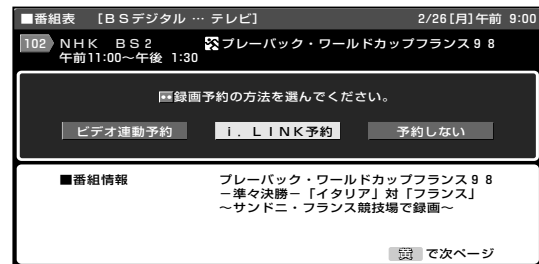
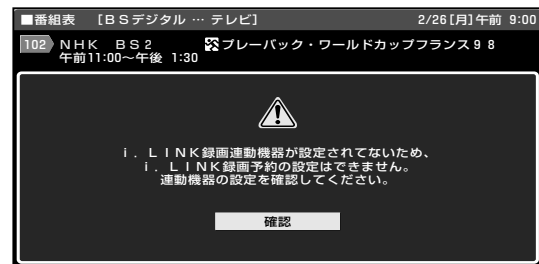
電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

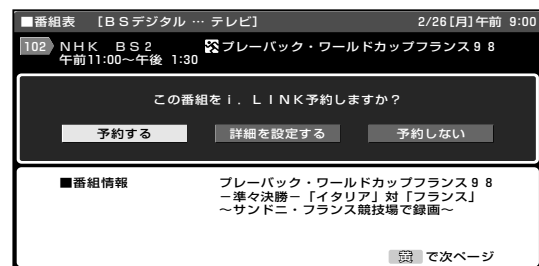
■ i.LINK予約とは、本体後面のi.LINK端子に接続したD-VHSビデオデッキを予約時間に合わせて録画開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する方法です。

- i.LINK予約するときは、あらかじめ、D-VHSビデオデッキの接続(**162**ページ)とi.LINK設定(**164**～**168**ページ)を済ませておいてください。
- i.LINK予約をするときは、D-VHSビデオデッキを本機と1対1で接続してください。複数のD-VHSビデオデッキを接続すると、i.LINK予約の実行に失敗することがあります。

フタを閉じたところ

i.LINK予約するとき

1 ◀▶で「i.LINK予約」を選び、決定を押す

- i.LINK設定が済んでいるときは、手順**2**の画面になります。
- i.LINK設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

- 「確認」で決定ボタンを押すと、番組表に戻ります。i.LINK機器の接続を確認してください。(**162**ページ参照)

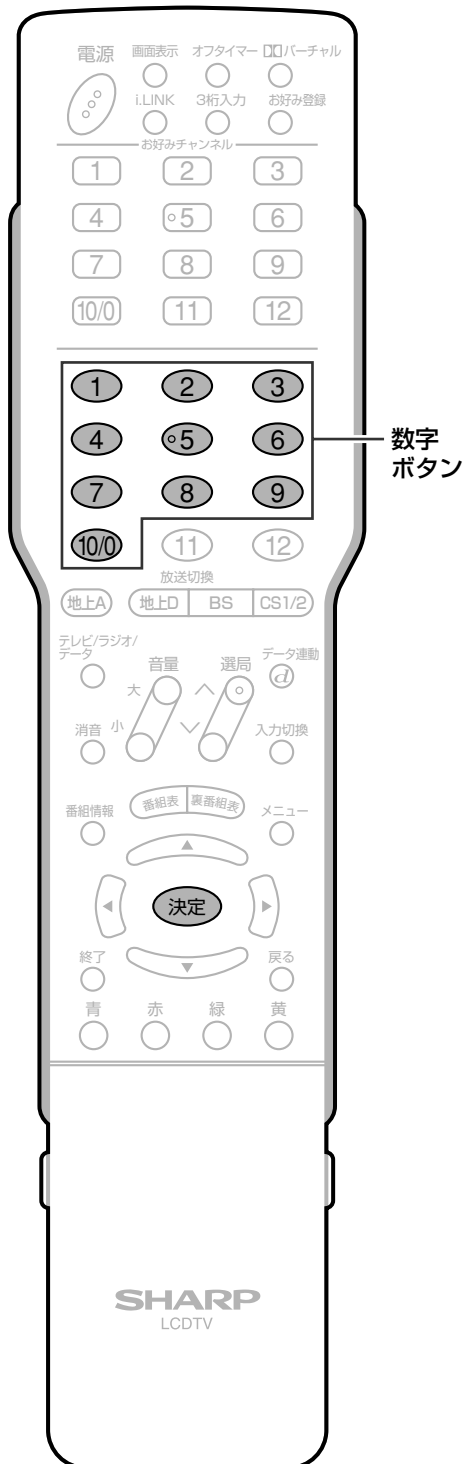
2 ◀▶で予約の種類を選び、決定を押す

「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

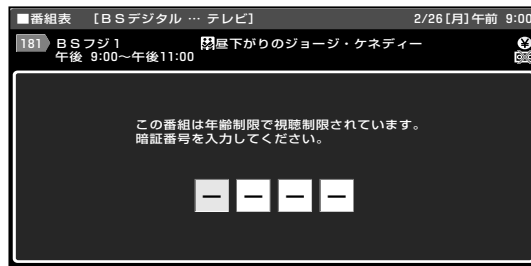
「詳細を設定する」… 視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。

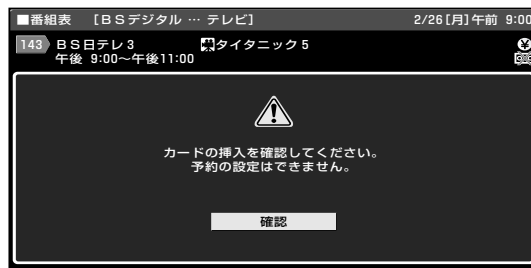
「予約しない」……… 予約をしないで、番組表に戻ります。

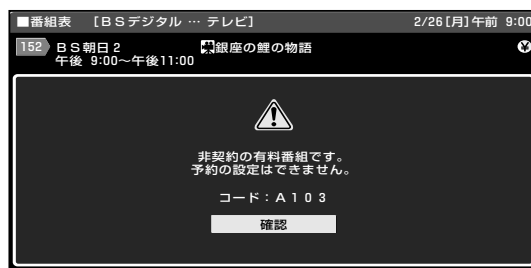
詳細設定

■ 視聴年齢制限、カード未挿入、有料番組の契約状況が自動判定され、メッセージが表示されます。
設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。

フタを閉じたところ

視聴年齢制限のある番組を予約したとき

●暗証番号入力画面が表示されます。

●数字ボタン(1〜10/0)で暗証番号を入力してください。(**98**ページ参照)

カード未挿入で有料番組を予約したとき

●「カードの挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。カードを挿入してから、予約をしなおしてください。

非契約の有料番組を予約したとき

●「(非契約)有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。

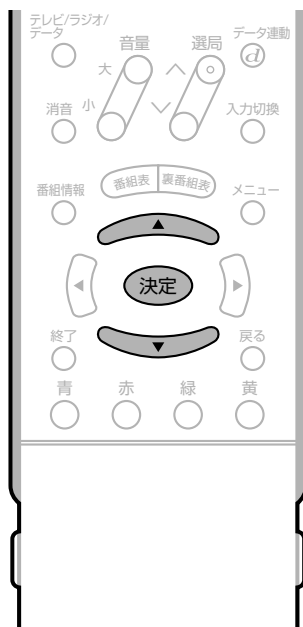
電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

ビデオ連動予約の場合

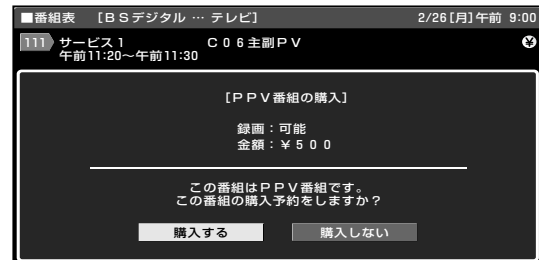
フタを閉じたところ

■ 映像・音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

「マルチビュー」…	いろいろな角度から見た映像
「映像」………	映像(最大4つ)
「音声」………	音声(最大8つ)
「二重音声」…	主音声と副音声

フタを閉じたところ

PPV番組の購入(する/しない)を選択する

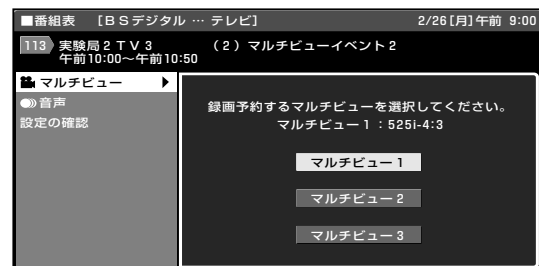
●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

●「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

映像・音声の種類を選択する

1

マルチビュー番組を選んでいるとき

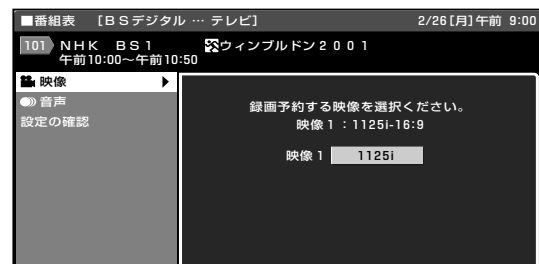
決定を押してから、▲▼でマルチビューの種類を選び、決定を押す

副映像のある番組を選んでいるとき

決定を押してから、▲▼で映像を選び、決定を押す

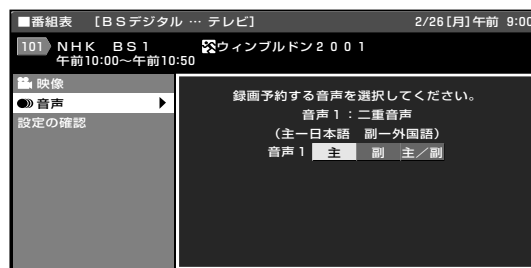
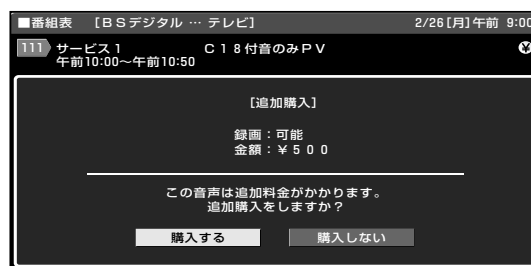
●映像の数は、番組によって異なります。

次ページへ

フタを閉じたところ

2

① ▲ ▼ で「音声」を選び、決定 を押す

② ▲ ▼ ◀ ▶ で音声を選び、決定 を押す

●音声の数は、番組によって異なります。

●映像・音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。

●「購入する」または「購入しない」を選び、決定ボタンを押します。

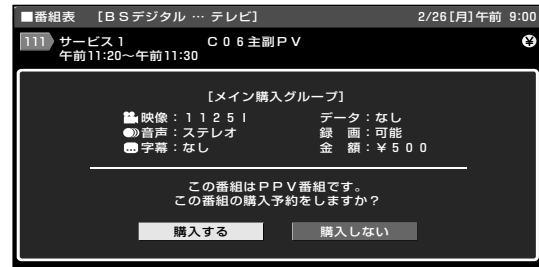
電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

i.LINK予約の場合

フタを閉じたところ

PPV番組の購入(する／しない)を選択する

●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

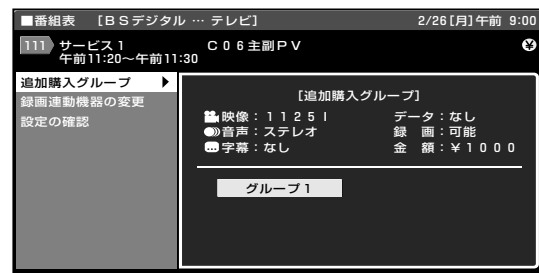
◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

●「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

購入グループを選択する

●追加購入する映像・音声の組合せ(グループ)が複数あるときのみ必要な手順です。

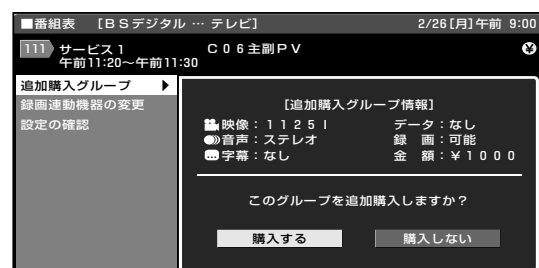
1

① 「追加購入グループ」で決定を押す

② ▲▼◀▶で購入グループを選び、決定を押す

2

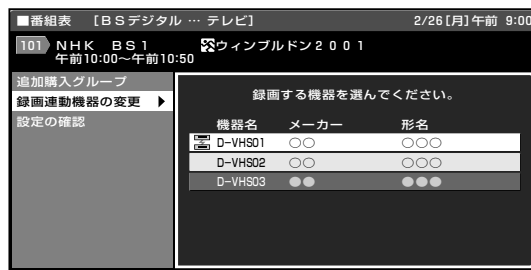
◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

i.LINK予約の場合(つづき)

フタを閉じたところ

使用するi.LINK機器を選択する

●使用するi.LINK機器を変えたいときのみ必要な手順です。

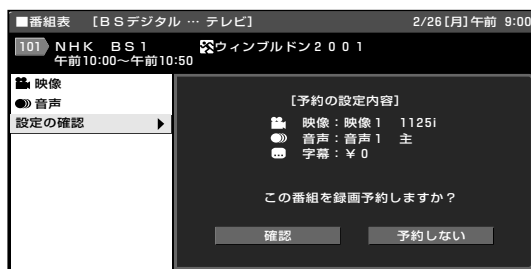
1 ▲▼で「録画連動機器の変更」を選び、決定を押す

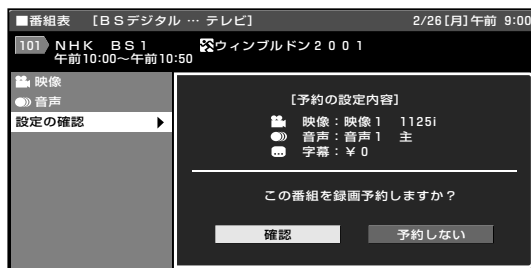
2 ▲▼で、使用するi.LINK機器を選び、決定を押す

●i.LINK予約をするときは、D-VHSビデオデッキを本機と1対1で接続してください。複数のD-VHSビデオデッキを接続すると、i.LINK予約の実行に失敗することがあります。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

フタを閉じたところ

予約設定を確認する

1 ▲ ▼で「設定の確認」を選び、決定を押す

（ビデオ連動予約の場合の表示例）

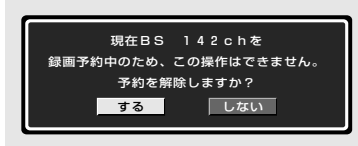
2 ① 画面に表示された設定内容を確認する
② 「確認」で決定を押す

- 録画予約が設定されました。
- 「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

予約ランプについて

- 番組を予約すると、チューナー部の予約ランプが点灯します。

実行中の予約録画を解除するには

- デジタルに関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

現在BS　142chを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか？
する　しない

録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意

- 録画予約を設定した後、電源を切る場合は、リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。ディスプレイ部の電源(押·入-切)スイッチでは切らないでください。ディスプレイ部の電源(押·入-切)スイッチで「切」にした場合は、予約ランプの点灯、消灯にかかわらず、予約が実行されません。

予約の確認・取消し・変更

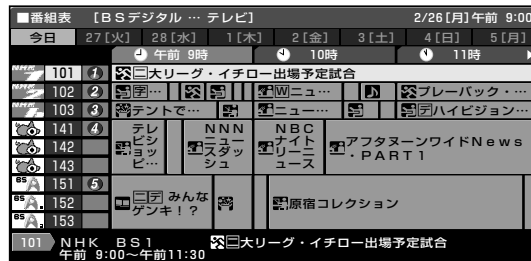
■ 番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取消しや変更をすることができます。

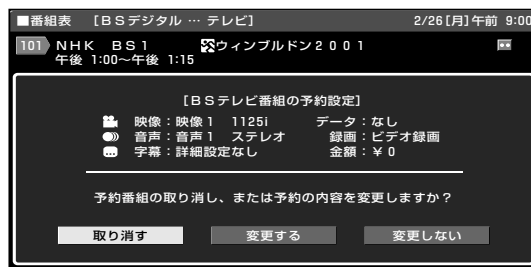
フタを閉じたところ

予約を確認したいとき

1

① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 黄 ◯（予約リスト）を押し、予約リストを表示する

▼予約リストの例

- 予約リストで現在の予約内容を確認します。
- リストを上下にスクロールしたいときは、上下カーソルボタンを使います。
- 予約した番組の設定内容を確認したいときは、上下カーソルボタンで番組を選び、決定ボタンを押します。つぎのような画面が表示されます。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

予約を取り消したいとき

フタを閉じたところ

1 予約を取り消したい番組を▲▼で選び、決定を押す

2 ◀で「取り消す」を選び、決定を押す

3 ◀で「する」を選び、決定を押す

実行中の予約録画を解除するには

- デジタルに関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

現在ＢＳ　１４２ｃｈを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか？
する　しない

フタを閉じたところ

予約を変更したいとき

1 予約を変更したい番組を▲▼で選び、決定を押す

2 ◀▶で「変更する」を選び、決定を押す

- 予約選択画面になります。

3 予約操作をやりなおす

- **77**～**88**ページの操作手順をご参照ください。

放送視聴のためのいろいろな設定

画面サイズの設定

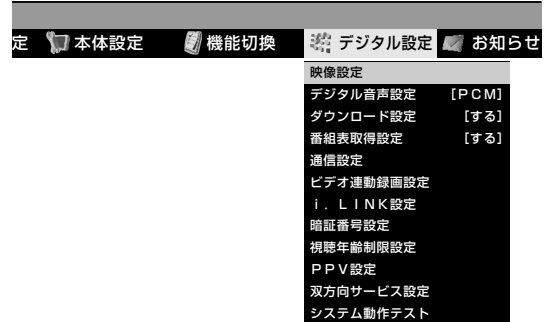
フタを閉じたところ

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲ ▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2

▲ ▼で「画面サイズ設定」を選び、決定を押す

3

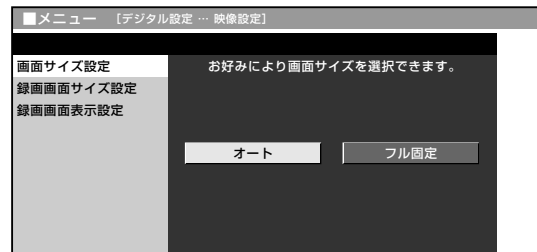
◀▶で「オート」または「フル固定」を選び、決定を押す

「オート」………525i放送以外の放送は1125iに変換してディスプレイに表示・再生します。525i放送のとき、お好みの画面サイズに切り換えて表示・再生することができます。通常は「オート」でお使いください。

「フル固定」……すべての放送を1125iに変換してディスプレイに表示・再生します。

4

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

おしらせ

2種類の画面サイズ設定について

- 「オート」…番組表やデータ放送を表示すると、画面の一部が欠落することがあります。また、受信チャンネルの切換えに時間がかかったり、画面にノイズが出ることがあります。
- 「フル固定」…すべての放送を1125iに変換して表示・再生するため、画面いっぱいに広がらないなど、お好みの画面サイズで表示できないことがあります。

録画画面サイズの設定

■ 本機に接続した録画用機器にデジタル放送の16：9映像を録画するときの画面サイズを選びます。

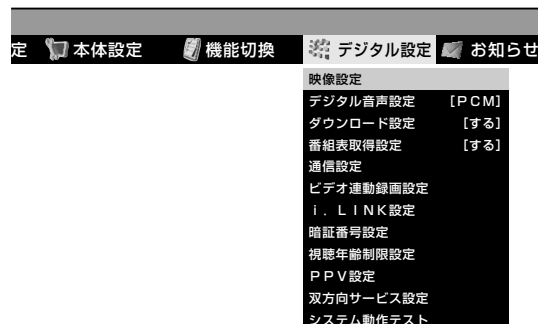
フタを閉じたところ

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「映像設定」を選び、決定を押す

2

▲▼で「録画画面サイズ設定」を選び、決定を押す

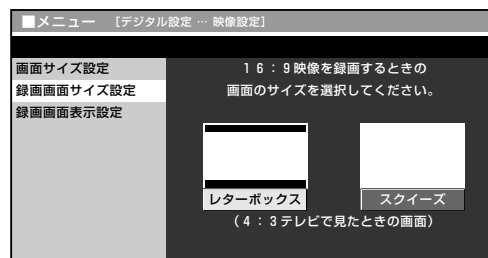
3

◀▶で「レターボックス」または「スクイーズ」を選び、決定を押す

「レターボックス」…4：3のテレビで見たとき、画面の上下に黒い帯が入った横長の映像で表示し、オリジナルの16：9映像のまま見ることができます。

「スクイーズ」………4：3のテレビで見たとき、横方向に圧縮された縦長の映像になります。16：9のテレビで見たときは、オリジナル映像そのままのワイド映像になります。

4

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

放送視聴のためのいろいろな設定(つづき)

録画画面表示の設定

■ 本機に接続した録画用機器に録画するとき、データ放送画面、字幕、電子番組表などの画面表示をいっしょに録画するかしないかを選ぶことができます。

フタを閉じたところ

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲ ▼で「映像設定」を選び、決定を押す

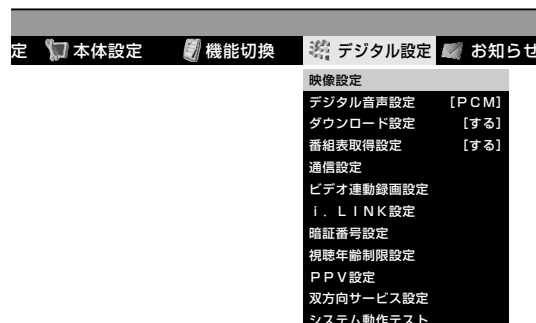
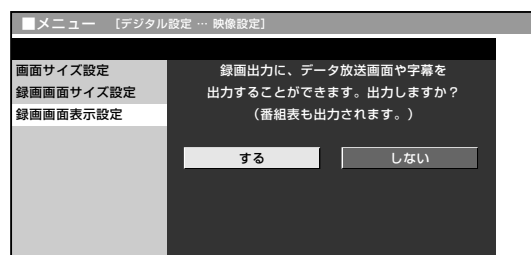
2

① ▲ ▼で「録画画面表示設定」を選び、決定を押す

② ◀ ▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

おしらせ

● 録画画面表示設定を「する」に設定したとき、モニター／録画出力端子(「録画出力」に設定時)から出力される映像の画面サイズが変わることがあります。

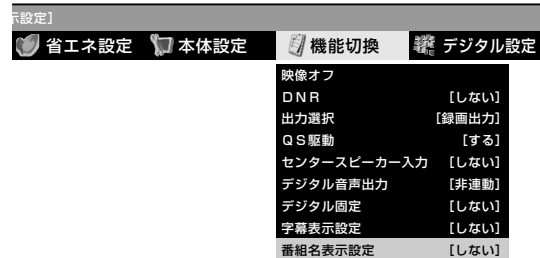
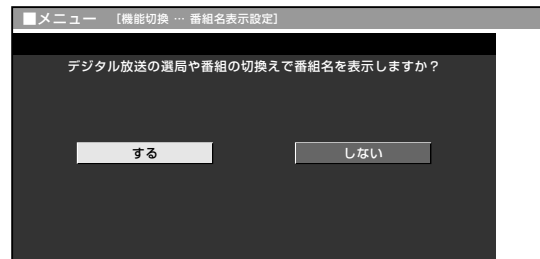
番組名表示の設定

■ 番組を選んで画面を切り換えたときなどに番組タイトルなどの表示をするかどうかを設定します。

フタを閉じたところ

1 ① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「機能切換」を選ぶ

③ ▲▼で「番組名表示設定」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

（表示例）

「する」…… 番組タイトルや放送時間などを表示します。

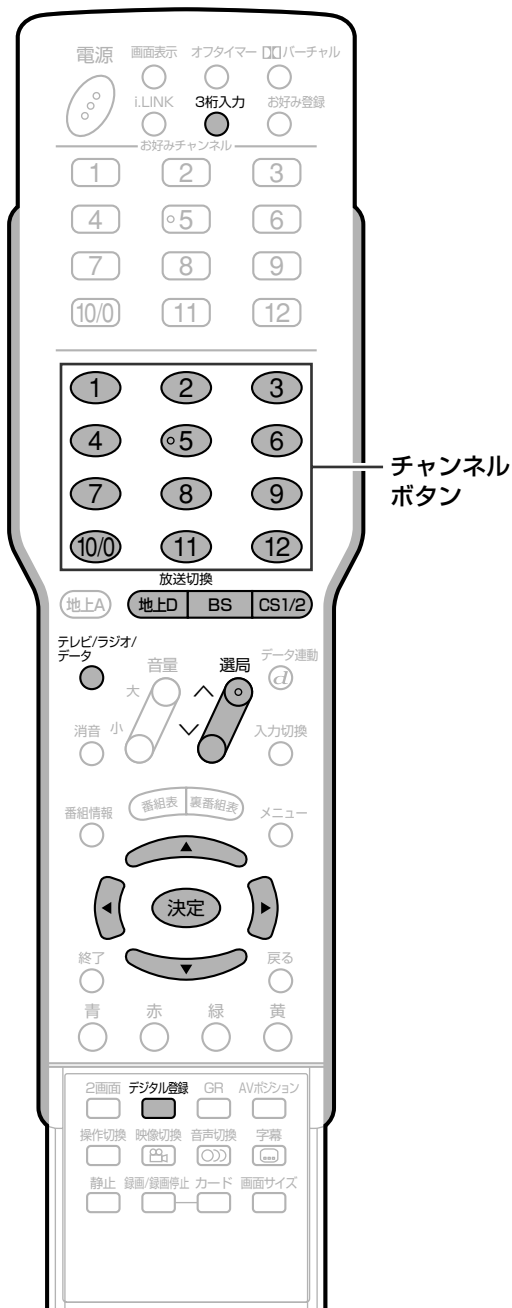
「しない」… 何も表示しません。

3 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

放送視聴のためのいろいろな設定(つづき)

デジタルチャンネルをチャンネルボタンに登録する

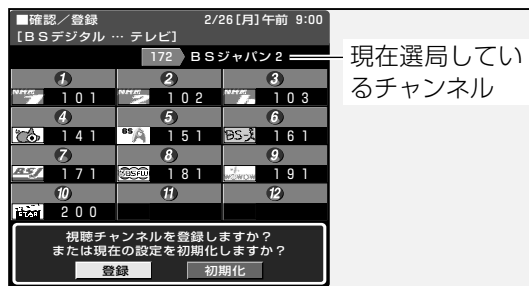
■ 各デジタル放送ネットワーク(地上D、BS、CS1/2)の各メディア(テレビ／ラジオ／データ)につき、お好みのチャンネルを12局まで、チャンネルボタン(①～⑫)に登録することができます。

フタを開けたところ

チャンネルボタン

1

① 登録したいチャンネルを選局する

② デジタル登録 を押す

③ ◀ ▶ で「登録」を選び、(決定)を押す

●設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期化」を選んで決定ボタンを押します。

2

登録したいチャンネルボタン(①～⑫)を押す

●上下左右カーソルボタンでも選べます。選択後、決定ボタンを押します。

［例］「BSジャパン2」(172チャンネル)を⑪に登録する場合は、チャンネルボタン⑪を押します。

●登録確認画面が表示されます。

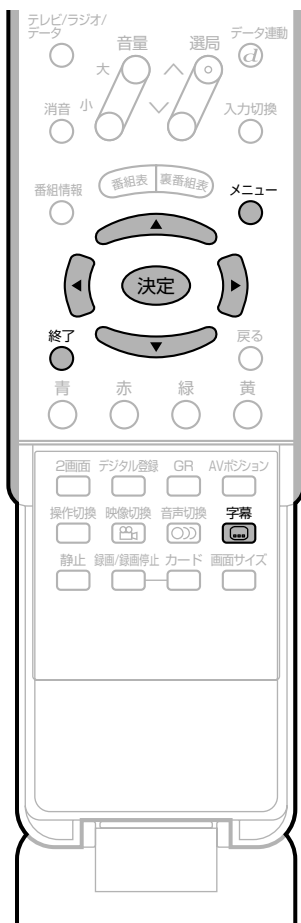
3

◀ ▶ で「する」を選び、(決定)を押す

字幕表示の設定

■ 字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■ 工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

フタを開けたところ

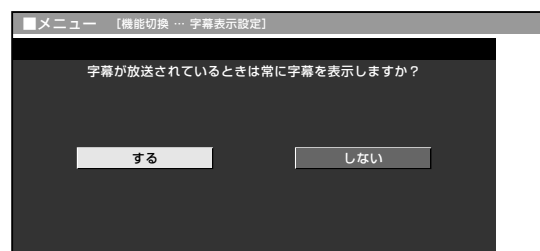
1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶ で「機能切換」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「字幕表示設定」を選び、決定 を押す

2

◀▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」………字幕のある番組では、つねに字幕を表示します。（リモコンの字幕ボタンを押しても、字幕表示を消せません。）
「しない」……リモコンの字幕ボタンで、字幕表示を入／切することができます。

●左右カーソルボタンの代わりに字幕ボタンでも「する」「しない」を選ぶことができます。

3

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

字幕ボタンについて

- 字幕表示設定を「する」にしたとき
  複数の字幕がある番組では、リモコン（フタ内）の字幕ボタンを押すと、字幕を切り換えられます。
- 字幕表示設定を「しない」にしたとき
  字幕のある番組では、リモコン（フタ内）の字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切、および複数の字幕の切換えができます。

安心して使うための設定

暗証番号について

本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

暗証番号を設定する

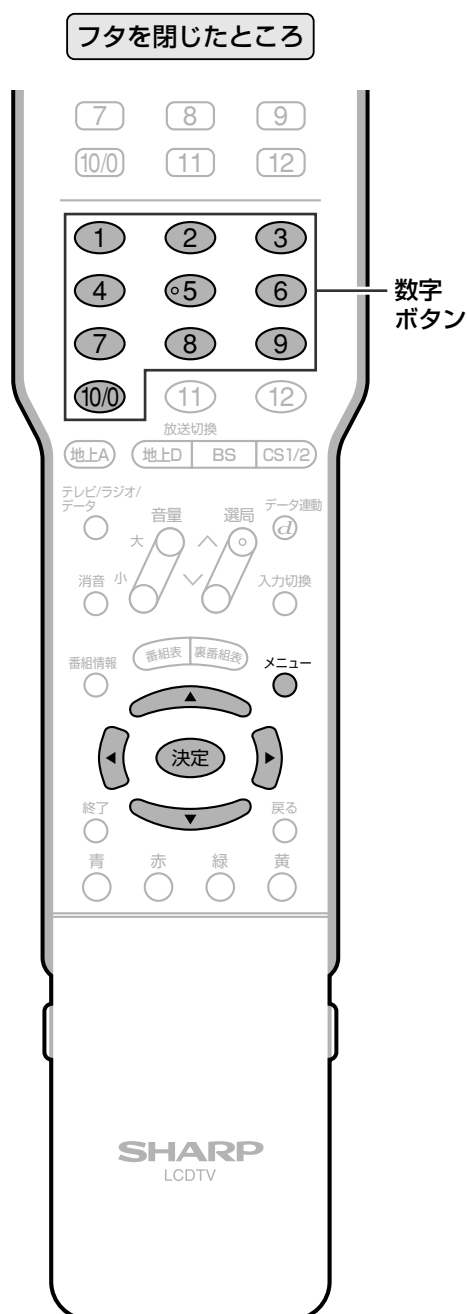
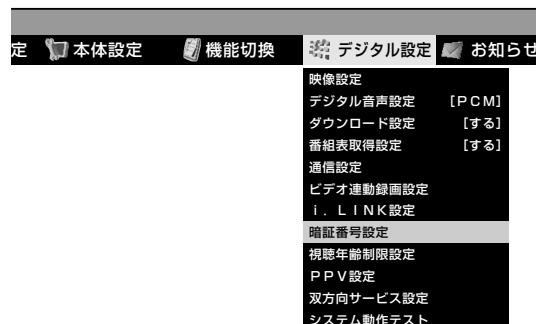
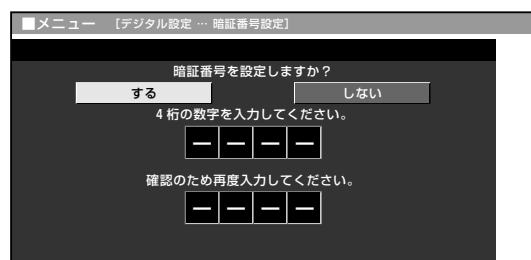
■ 暗証番号の設定および変更の手順を説明します。
暗証番号は、必ず**4桁の数字**を入力します。

1

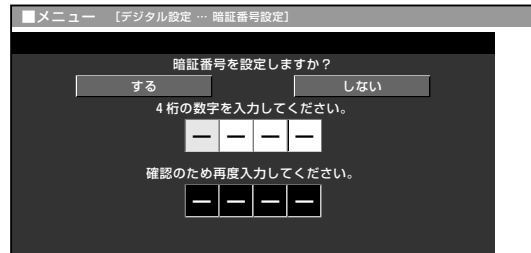
① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

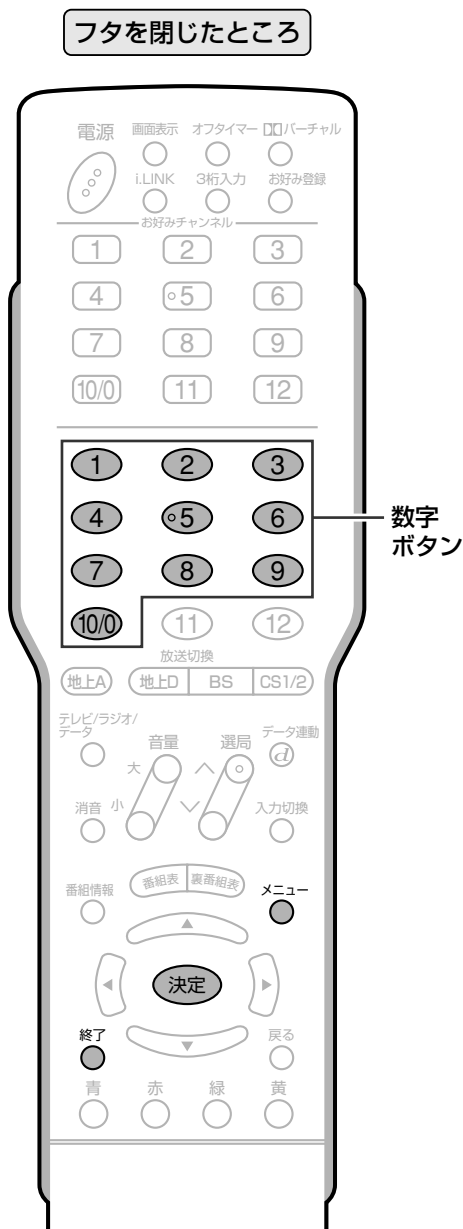
② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

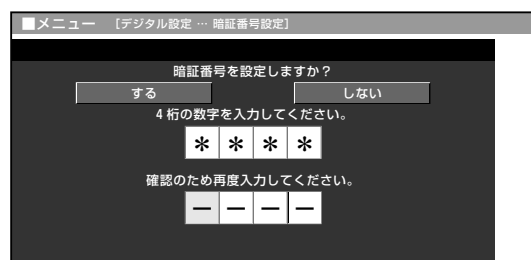
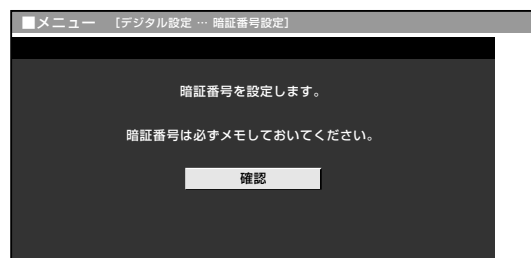
③ ▲▼で「暗証番号設定」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……暗証番号の設定(手順3)に進みます。
「しない」…暗証番号の設定や変更をせずに終了します。

3

数字ボタン(1～10/0)で、暗証番号を入力する

●左カーソルボタンを押すと、入力した数字を1桁ずつ削除することができます。

次ページへ

4 **確認のため、再度同じ番号を数字ボタン(①～⑩/⓪)で入力する**

● 間違った番号を入力した場合は、手順3からやりなおしになります。

5 **① 暗証番号をメモする**
② 「確認」で(決定)を押す

● これで暗証番号の設定は完了です。

6 **(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す**

● 暗証番号は必ずメモしてください。

暗証番号を忘れたときは

● 受信契約されている、有料放送の放送局(WOWOWやスターチャンネルなど)までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。
暗証番号の消去には手数料がかかります。(2004年2月現在)

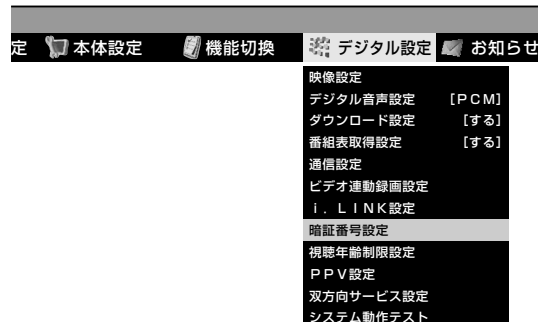
安心して使うための設定(つづき)

暗証番号を変更するとき

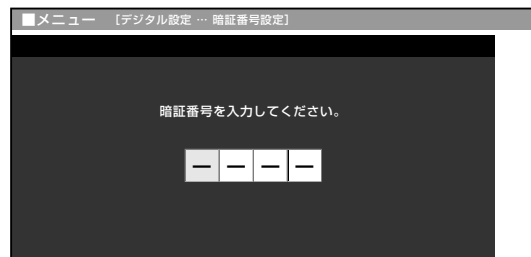
1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲▼で「暗証番号設定」を選び、決定を押す

- 暗証番号入力画面が表示されます。

2

数字ボタン(1～10/0)で、現在の暗証番号を入力する

- 暗証番号を入力すると、**98**ページ「**暗証番号を設定する**」の手順**2**の画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定しなおしてください。

視聴年齢制限を設定する

■ 年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。
なお、年齢制限は4〜20歳の範囲で設定できます。

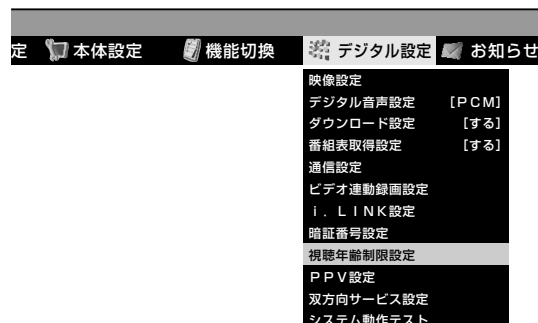
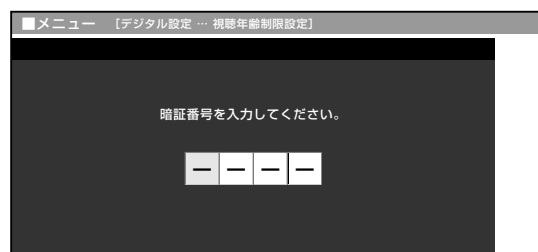
フタを閉じたところ

1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲▼で「視聴年齢制限設定」を選び、決定を押す

2

数字ボタン（1〜10/0）で暗証番号を入力する

●視聴年齢制限設定画面が表示されます。

3

▲▼で年齢の入力欄を選ぶ

次ページへ

次ページへつづく

安心して使うための設定(つづき)

4 **制限する年齢を数字ボタン(1～10/0)で入力し、決定を押す**

- 年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

5 **メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す**

PPV制限を設定する

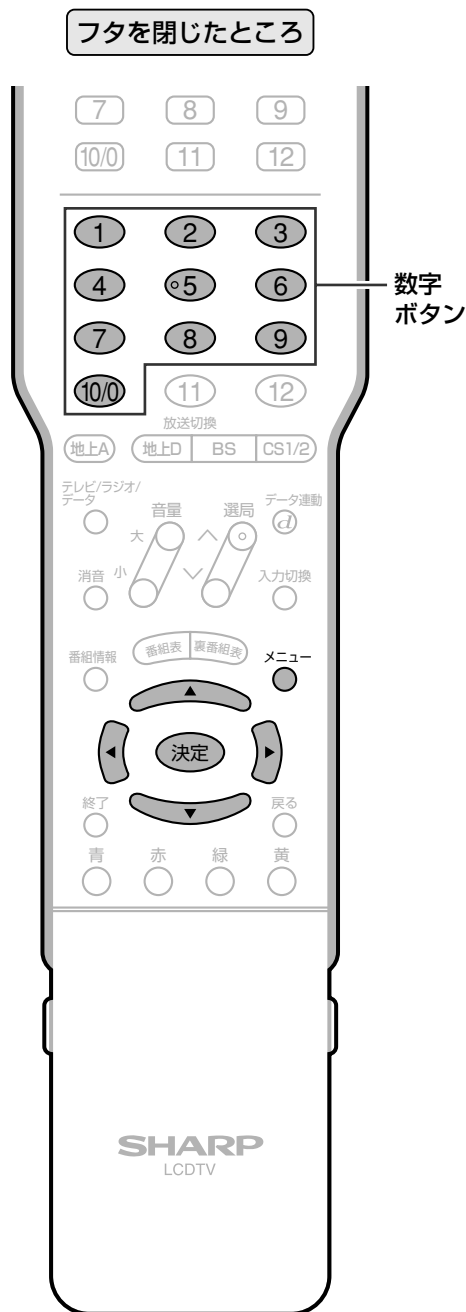
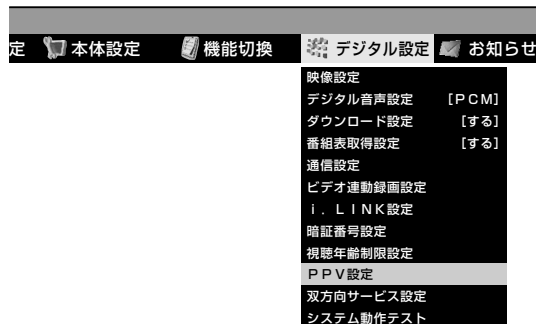
■ 暗証番号を入力しないとPPV番組を購入できないように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**98**ページ)をしておくことが必要です。

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲▼で「PPV設定」を選び、決定を押す

2

数字ボタン(1～10/0)で暗証番号を入力する

●PPV設定画面が表示されます。

3

▲▼で「PPV制限」を選び、決定を押す

■メニュー ［デジタル設定 … ＰＰＶ設定］
ＰＰＶ制限
購入金額制限
ＰＰＶ番組視聴前に
暗証番号による確認をしますか？
する　しない

次ページへ

次ページへつづく

安心して使うための設定(つづき)

4 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……PPV番組の購入前に、暗証番号の入力が必要になります。
「しない」…PPV番組の購入前に、暗証番号の入力は必要ありません。

5 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

購入金額制限を設定する

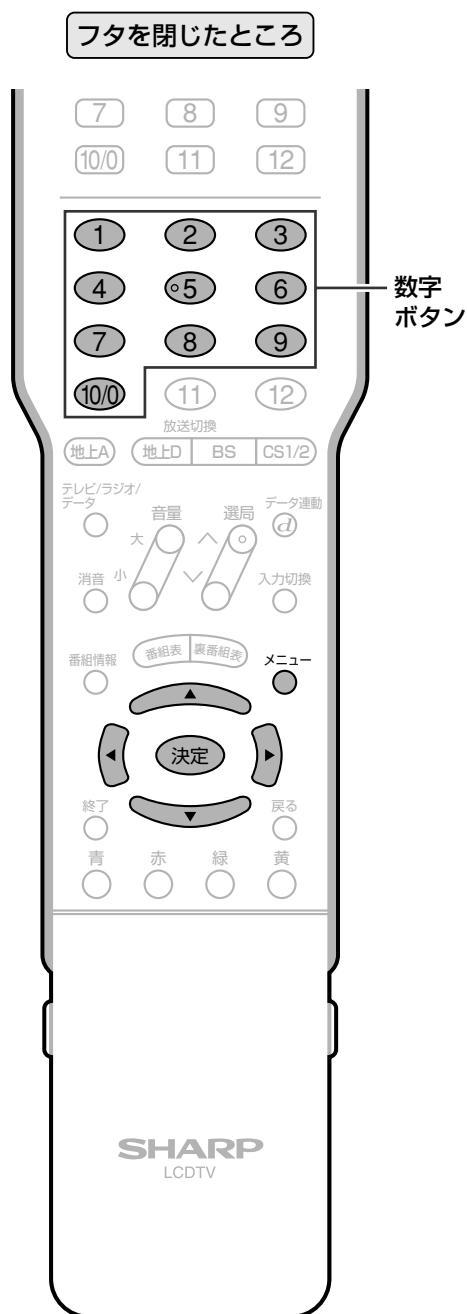
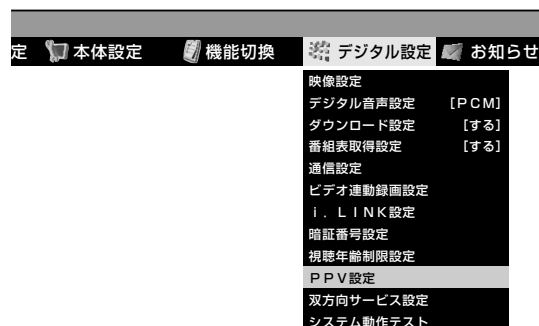
■ PPV番組の購入金額を制限します。設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。
この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**98**ページ)をしておくことが必要です。

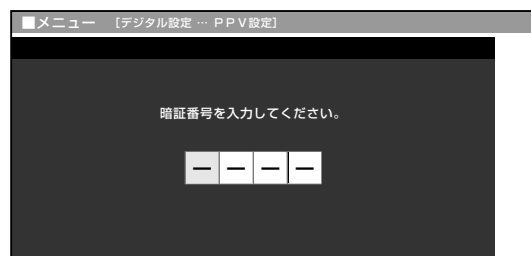
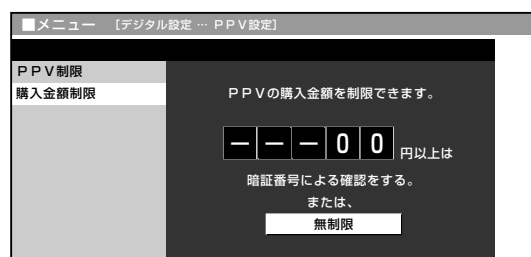
1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲▼で「PPV設定」を選び、決定を押す

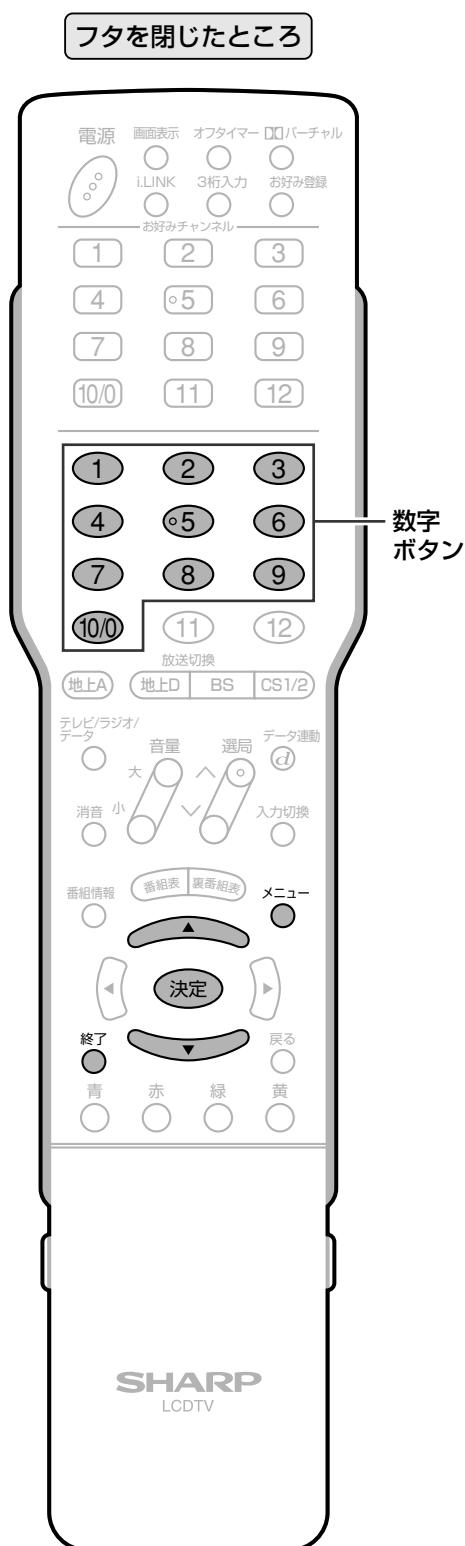
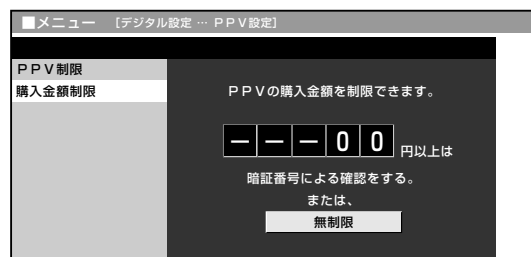
2

数字ボタン(1～10/0)で暗証番号を入力する

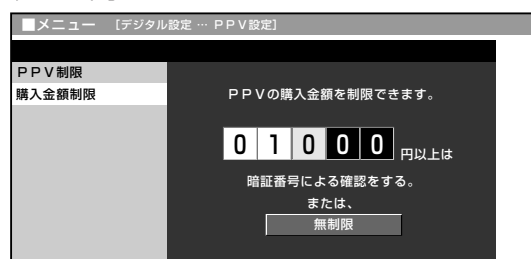
3

▲▼で「購入金額制限」を選び、決定を押す

次ページへ

デジタル放送の機能と設定

安心して使うための設定(つづき)

次ページへつづく

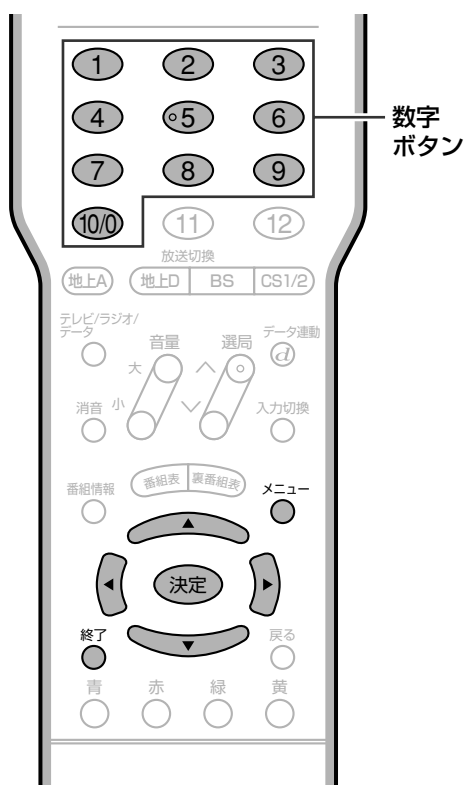
安心して使うための設定(つづき)

4 ▲▼で購入金額の入力欄を選ぶ

5 購入金額の上限を数字ボタン(1～10/0)で入力し、決定を押す

〈例〉1,000円のとき

- 購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

6 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

双方向サービスの利用を制限する

■ 双方向サービスのデータ送受信には、電話回線の利用料金がかかります。使用を制限するために、電話回線やネットワーク回線への接続をするかしないかの設定ができます。設定には暗証番号の入力が必要です。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（**98**ページ）をしておくことが必要です。

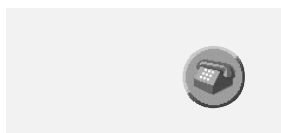
フタを閉じたところ

回線使用時の画面表示について

● 双方向サービス設定で回線への接続を「禁止しない」に設定した場合、データ送信時につぎのようなアイコンが画面表示されます。

回線コール中のアイコン…―グレー

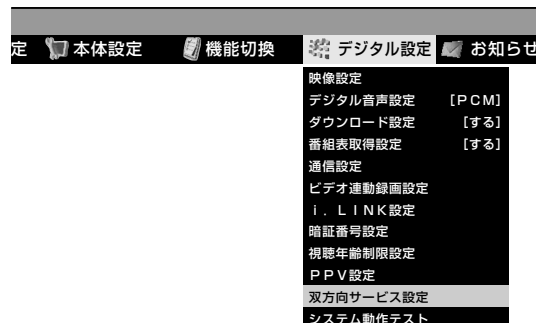
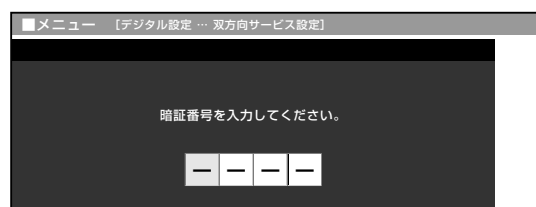
回線使用中のアイコン……―ブルー

画面表示位置
（画面右下に表示されます。）

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

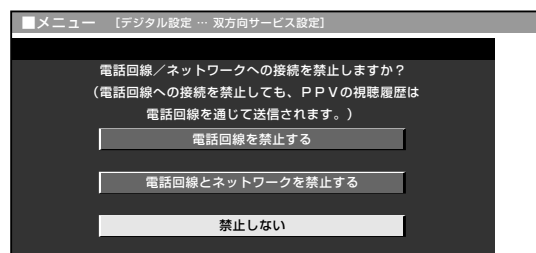
③ ▲▼で「双方向サービス設定」を選び、決定を押す

2

数字ボタン（1～10/0）で暗証番号を入力する

●双方向サービス設定画面が表示されます。

3

▲▼で「電話回線を禁止する」「電話回線とネットワークを禁止する」「禁止しない」のいずれかを選び、決定を押す

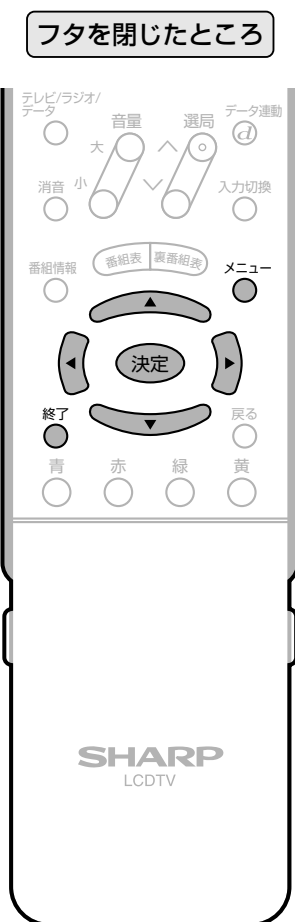
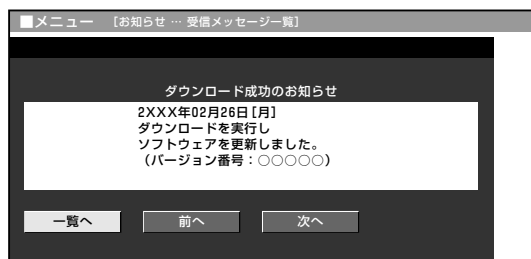
「電話回線を禁止する」…電話回線への接続を禁止します。
「電話回線とネットワークを禁止する」…電話回線・ネットワーク回線への接続をともに禁止します。
「禁止しない」…電話回線・ネットワーク回線への接続を禁止しません。

4

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

お知らせを見る

受信契約した放送局から視聴者に向けてメッセージが発信されます。
また、有料放送に関するレポートやB-CASカード番号なども確認できます。

受信メッセージを見る

■ 受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。常時更新されていますので、定期的にメッセージをお読みください。

フタを閉じたところ

お知らせランプについて
● 放送局から送られてきたメッセージを受信すると、チューナー部のお知らせランプが点灯します。

[例] ダウンロード成功のお知らせを見る

1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲▼で「受信メッセージ一覧」を選び、決定を押す

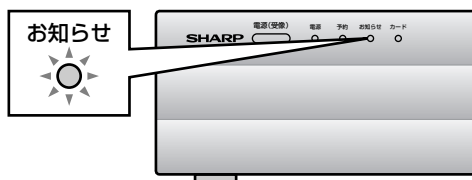
2

見たいメッセージを▲▼で選び、決定を押す

3

① メッセージの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを◀▶で選び、決定を押す

4

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

ボードを表示して情報を見る

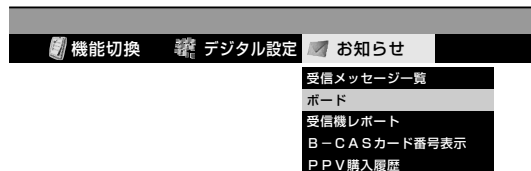
■ 送られている、CS各ネットワーク(CS1、CS2)の掲示板(ボード情報)のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。

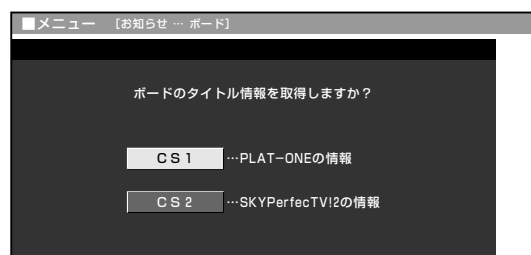
フタを閉じたところ

1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶ で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲▼ で「ボード」を選び、決定 を押す

2

表示したいネットワークを ▲▼ で選び、決定 を押す

●選んだネットワークのボードが表示されます。

3

見たい情報のタイトルを ▲▼ で選び、決定 を押す

(プラットワンのボード表示例)

次ページへ

次ページへつづく

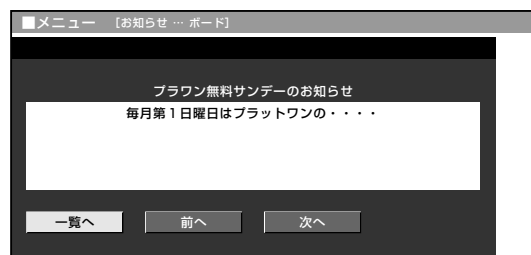
お知らせを見る（つづき）

フタを閉じたところ

4

① メッセージの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを◀▶で選び、決定を押す

5

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

- ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。

受信機レポートを見る

■ 予約の失敗や変更に関するレポートやB-CASカードに関する情報、課金情報のアップロード(視聴履歴の送信)に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。

フタを閉じたところ

● アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードしなおすことができます。

[例] アップロード失敗のレポートを見る

1

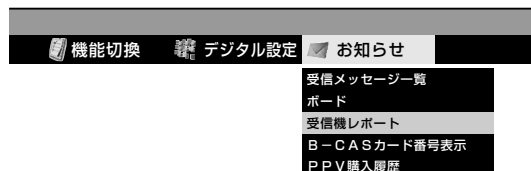
① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲▼で「受信機レポート」を選び、決定を押す

2

見たいレポートを▲▼で選び、決定を押す

3

① レポートの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」「再発信」のいずれかを◀▶で選び、決定を押す

4

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

お知らせを見る(つづき)

B-CASカード番号を見る

■ 受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。

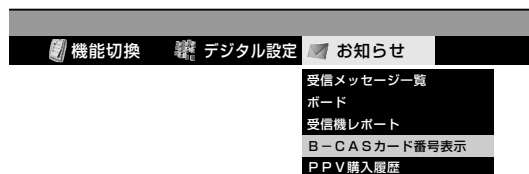
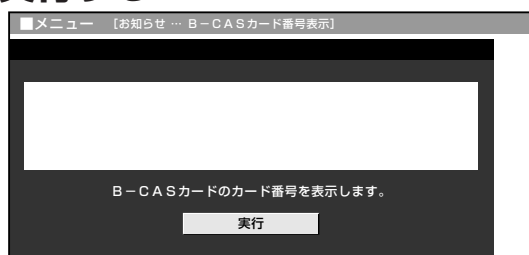
フタを閉じたところ

1

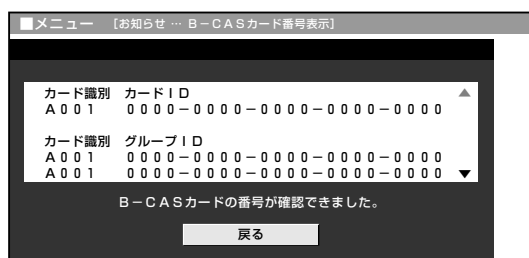
① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲▼で「B-CASカード番号表示」を選び、決定を押す

2

「実行」で決定を押し、B-CASカード番号表示を実行する

3

① カード番号を確認する

② 確認後、「戻る」で決定を押す

カード識別… メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。

カードID……カード固有の番号です。

4

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

PPV購入履歴を見る

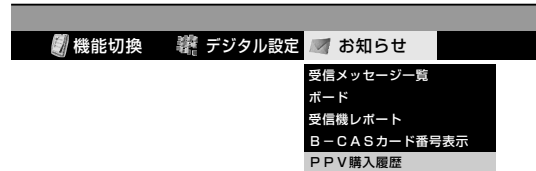
■ 購入した最新24個のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

フタを閉じたところ

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

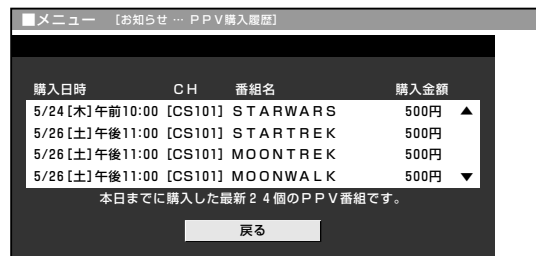
② ◀▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲▼で「PPV購入履歴」を選び、決定を押す

●PPV購入履歴画面が表示されます。

2

① 画面を確認する

② 確認後、「戻る」で決定を押す

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

ダウンロードを行う

ダウンロードの方法

■ ダウンロードとは、デジタル放送受信機内のソフトウェアなどで使用されるデータを放送電波で受信し、更新する機能です。受信機の機能を向上させたり、新たなサービスに対応することが可能となります。

フタを閉じたところ

1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶ で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「ダウンロード設定」を選び、決定 を押す

2

◀▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」………自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。（工場出荷時の設定）

「しない」……ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

3

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- ソフトウェアの受信（ダウンロード）には、数分程度の時間がかかります。その間は、デジタルリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- ソフトウェアを受信するために、待機状態（電源ランプが赤色点灯）で、チューナー部のファンが回り始めることがあります。この場合は、ソフトウェアの受信、書換えが終わると、自動的にファンが止まります。

- ダウンロードは、本機の電源が待機状態（電源ランプが赤色点灯）のときに実行されます。

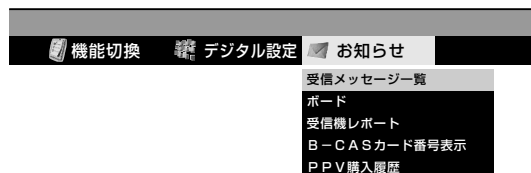
自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、手動でダウンロードを行うことができます。

手動でダウンロードを行うとき

1

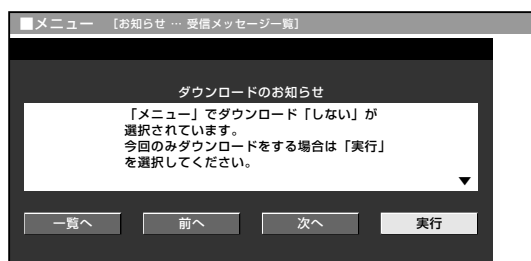
① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲▼で「受信メッセージ一覧」を選び、決定を押す

2

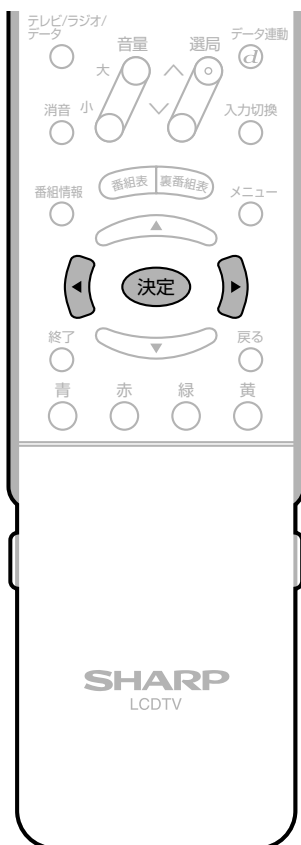
▲▼で「ダウンロードのお知らせ」を選び、決定を押す

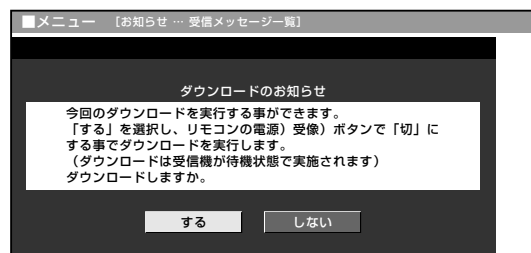
3

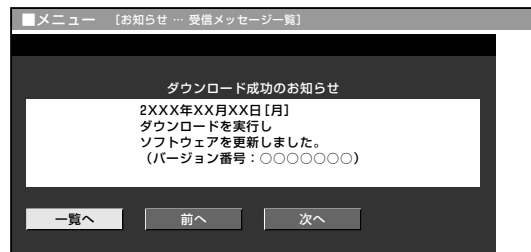
画面の表示内容を確認してから、◀▶で「実行」を選び、決定を押す

次ページへ

次ページへつづく

ダウンロードを行う(つづき)

フタを閉じたところ

4 **画面の表示内容を確認してから、◀▶で「する」を選び、****を押す**

おしらせ

- ダウンロードは、本機の電源が待機状態(電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。リモコンの電源ボタン等で、電源待機状態にしてください。

- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
- お知らせを見る場合は、**108**ページ手順**1**～**2**の操作を行ってください。

システム動作テストを行う

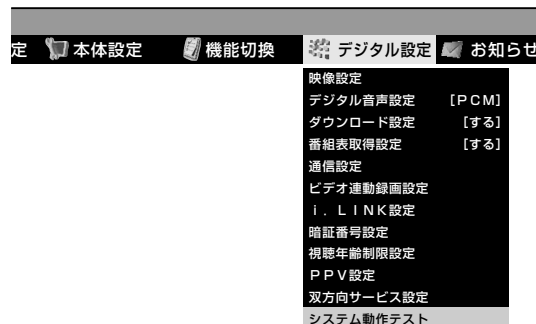
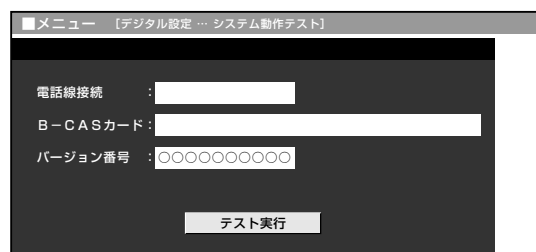
本機は、電話回線が正しく接続されているか、また、B-CASカードが正しく装着されているか、などをテストすることができます。

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

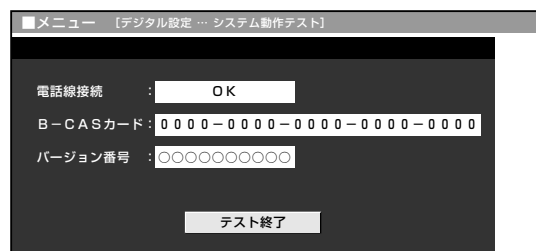
③ ▲▼で「システム動作テスト」を選び、決定を押す

2

「テスト実行」で決定を押し、テストを開始する

●表示が「テスト実行中」に変わります。
テストが終了すると「テスト終了」になります。

3

① 結果を確認する

② 「テスト終了」で決定を押す

4

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

システム動作テストに失敗したときは

電話線接続

電話回線の接続と設定を確認してください。 ⇨ 準備編 22・58ページ

B-CASカード

B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。

⇨ 準備編 57ページ

本機を譲渡・廃棄するとき

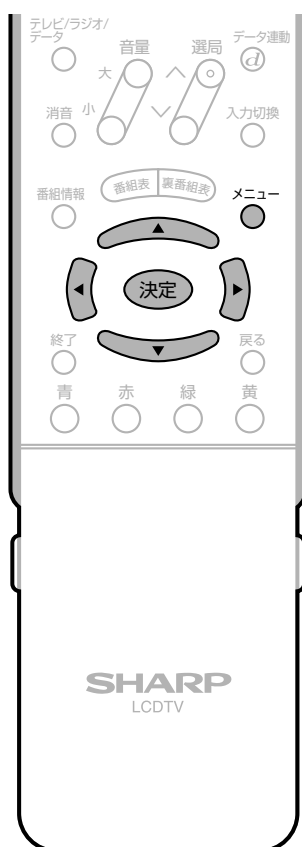
個人情報を初期化する

■ 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した、お客さまの個人情報があります。
本機を他人に譲渡したり、廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い情報を消去してください。

フタを閉じたところ

データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

［例］個人情報初期化を実行する

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「本体設定」を選ぶ

③ ▲▼で「個人情報初期化」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」を選び、決定を押す

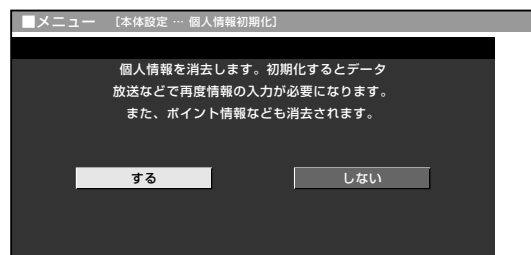
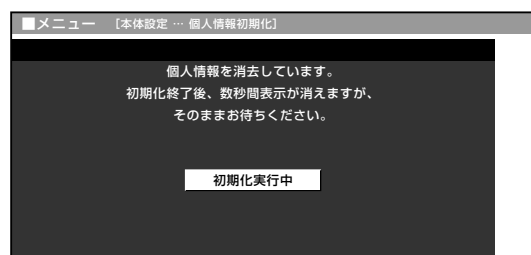
■メニュー ［本体設定 … 個人情報初期化］

個人情報の消去を行いますか？
この機能は、本機を廃棄したり
他人へ譲渡するときに実行してください。

する　しない

次ページへ

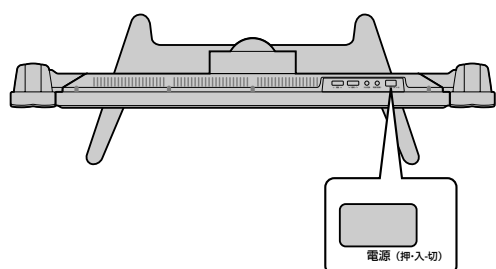
フタを閉じたところ

3 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

●表示が「初期化実行中」（点滅）に変わります。
初期化には、しばらく時間がかかります。

●初期化が終了すると、画面が数秒間消え、メニューが解除されます。

4 ディスプレイ部天面の を押し、電源を切る

おしらせ

● お客さまが設定した情報内容（暗証番号など）がすべて初期化されます。

▼ディスプレイ部天面

地上デジタル放送の番組表取得設定を行う

番組表取得設定

■ 地上デジタル放送の電子番組表(EPG)の情報は、送信している各放送チャンネルから取得する必要があります。この番組表を自動で取得するかしないかの設定です。

フタを閉じたところ

1

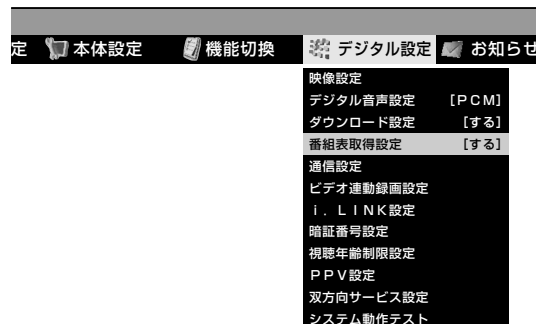
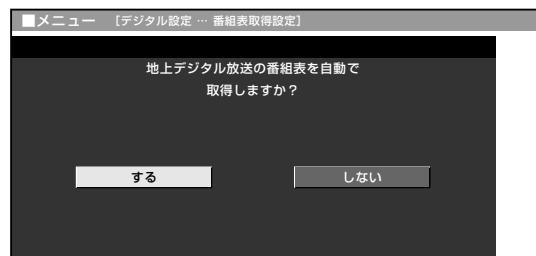
① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲▼で「番組表取得設定」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

電子番組表(EPG)について

● 電子番組表(EPG)の表示のしかたや使いかたについては、71～91ページをご参照ください。

● 番組表取得設定を「する」に設定した場合、リモコンで電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。(本機が放送局の番組情報を取得しているためです。)

双方向通信を行うための優先利用回線設定

優先利用回線設定

■ 双方向通信を行うとき、電話回線、ネットワーク回線のどちらで通信するかの設定です。工場出荷時は「電話回線」に設定されています。

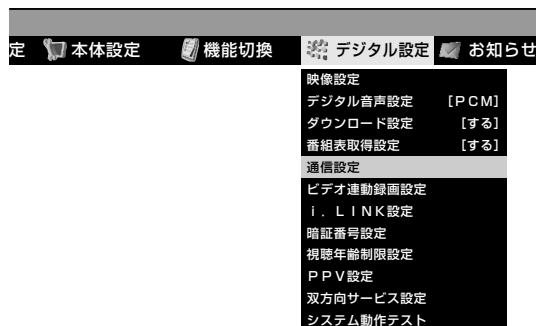
フタを閉じたところ

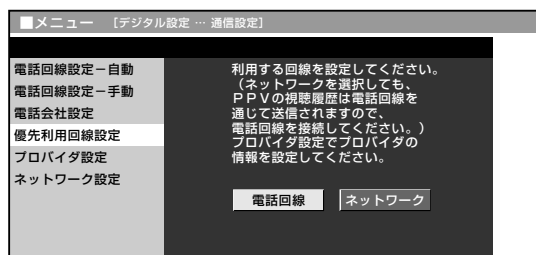
1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選び、決定を押す

③ ▲ ▼ で「通信設定」を選び、決定を押す

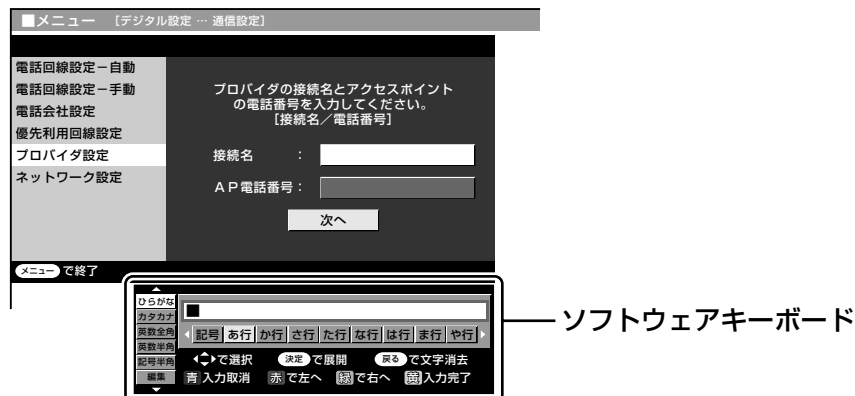
2

① ▲ ▼ で「優先利用回線設定」を選び、決定を押す

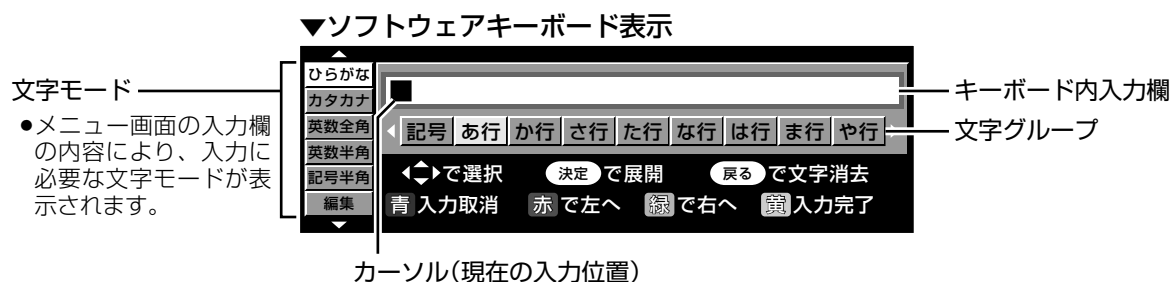
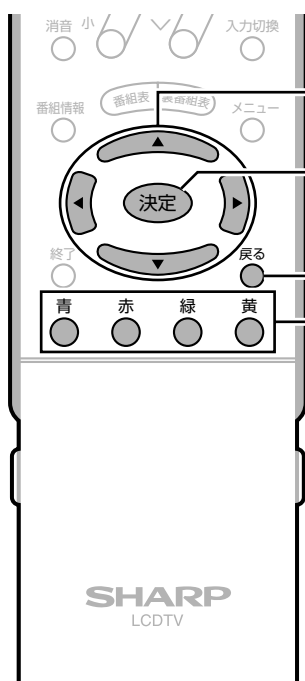
② ◀▶で「電話回線」または「ネットワーク」を選び、決定を押す

「電話回線」……… 電話回線設定（準備編 **58**ページ）とプロバイダ設定（**126**ページ）をしてください。

「ネットワーク」… 電話回線設定（準備編 **58**ページ）、プロバイダ設定（**126**ページ）、およびネットワーク設定（**131**ページ）をしてください。

ソフトウェアキーボードについて

■ プロバイダ設定(**126**ページ)やネットワーク設定(**131**ページ)を行うときに文字入力の必要な欄で決定ボタンを押すと、画面にソフトウェアキーボードが表示されます。このソフトウェアキーボードを使って、各入力欄に必要な文字・数字・記号を入力します。

(画面例)

ソフトウェアキーボードの使いかた

■ ソフトウェアキーボードは、カーソルボタン、決定ボタン、戻るボタン、カラーボタン(青・赤・緑・黄)を使って操作します。

▼ソフトウェアキーボード表示

▼リモコン

ソフトウェアキーボード操作に使うリモコンボタン

カーソルボタン：入力文字(文字モード・文字グループ)の選択をします。

決定ボタン：選択した文字グループの展開、または選択した文字の入力を確定します。

戻るボタン：キーボード内入力欄の入力位置(カーソル)の文字を1文字消します。

カラーボタン青：入力を取り消します。現在の入力をすべて取り消し、キーボードが消えます。

カラーボタン赤：キーボード内入力欄のカーソルを左へ移動します。

カラーボタン緑：キーボード内入力欄のカーソルを右へ移動します。

カラーボタン黄：キーボード内入力欄の入力を完了します。キーボードが消えます。

おしらせ

● 文字モードの「編集」内の各キーは、カラーボタン、戻るボタンの機能と同じです。

入力文字の種類

入力文字一覧表

<table>
<tr><th>文字モード</th><th>文字グループ（展開表示）</th></tr>
<tr><td>ひらがな</td><td>
記号 / あ行 / か行 / さ行 / た行 / な行 / は行 / ま行 / や行 / ら行 / わ行 / 空白
<table>
<tr><td>記号</td><td>ー、。・「」－（全角ハイフン）</td><td>あ行</td><td>あいうえおぁぃぅぇぉ</td><td>か行</td><td>かきくけこ゛</td></tr>
<tr><td>さ行</td><td>さしすせそ゛</td><td>た行</td><td>たちつてとっ゛</td><td>な行</td><td>なにぬねの</td></tr>
<tr><td>は行</td><td>はひふへほ゛゜</td><td>ま行</td><td>まみむめも</td><td>や行</td><td>やゆよゃゅょ</td></tr>
<tr><td>ら行</td><td>らりるれろ</td><td>わ行</td><td>わをんゎ</td><td>空白</td><td>（全角スペース）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>カタカナ</td><td>
記号 / ア行 / カ行 / サ行 / タ行 / ナ行 / ハ行 / マ行 / ヤ行 / ラ行 / ワ行 / 空白
<table>
<tr><td>記号</td><td>ー、。・「」－（全角ハイフン）</td><td>ア行</td><td>アイウエオァィゥェォ</td><td>カ行</td><td>カキクケコ゛</td></tr>
<tr><td>サ行</td><td>サシスセソ゛</td><td>タ行</td><td>タチツテトッ゛</td><td>ナ行</td><td>ナニヌネノ</td></tr>
<tr><td>ハ行</td><td>ハヒフヘホ゛゜</td><td>マ行</td><td>マミムメモ</td><td>ヤ行</td><td>ヤユヨャュョ</td></tr>
<tr><td>ラ行</td><td>ラリルレロ</td><td>ワ行</td><td>ワヲンヮ</td><td>空白</td><td>（全角スペース）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>英数全角</td><td>
数字 / ABC / DEF / GHI / JKL / MNO / PQRS / TUV / WXYZ / 空白
<table>
<tr><td>数字</td><td>１２３４５６７８９０</td><td>ABC</td><td>ＡＢＣａｂｃ</td><td>DEF</td><td>ＤＥＦｄｅｆ</td></tr>
<tr><td>GHI</td><td>ＧＨＩｇｈｉ</td><td>JKL</td><td>ＪＫＬｊｋｌ</td><td>MNO</td><td>ＭＮＯｍｎｏ</td></tr>
<tr><td>PQRS</td><td>ＰＱＲＳｐｑｒｓ</td><td>TUV</td><td>ＴＵＶｔｕｖ</td><td>WXYZ</td><td>ＷＸＹＺｗｘｙｚ</td></tr>
<tr><td>空白</td><td>（全角スペース）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>英数半角</td><td>
数字 / ABC / DEF / GHI / JKL / MNO / PQRS / TUV / WXYZ / 空白
<table>
<tr><td>数字</td><td>1 2 3 4 5 6 7 8 9 0</td><td>ABC</td><td>A B C a b c</td><td>DEF</td><td>D E F d e f</td></tr>
<tr><td>GHI</td><td>G H I g h i</td><td>JKL</td><td>J K L j k l</td><td>MNO</td><td>M N O m n o</td></tr>
<tr><td>PQRS</td><td>P Q R S p q r s</td><td>TUV</td><td>T U V t u v</td><td>WXYZ</td><td>W X Y Z w x y z</td></tr>
<tr><td>空白</td><td>（半角スペース）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>記号半角</td><td>
@.,: / ;_-¥ / $%!? / &#+* / =/|￣ / "'^` / ()<> / []{} / 空白
<table>
<tr><td>@.,:</td><td>@ . , :</td><td>;_-¥</td><td>; _ - ¥</td><td>$%!?</td><td>$ % ! ?</td></tr>
<tr><td>&#+*</td><td>& # + *</td><td>=/|￣</td><td>= / | ￣</td><td>"'^`</td><td>" ' ^ `</td></tr>
<tr><td>()<></td><td>( ) < ></td><td>[]{}</td><td>[ ] { }</td><td>空白</td><td>（半角スペース）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>編集</td><td>
入力取消 / 左へ / 右へ / 入力完了 / 文字消去
※入力文字ではありません。各キーを選び決定ボタンを押すと、カラーボタン、戻るボタンの操作と同じ働きをします。
</td></tr>
</table>

ソフトウェアキーボードについて(つづき)

文字入力をする

フタを閉じたところ

- 入力中に文字を消去する場合は、カラーボタン赤(左へ)または緑(右へ)でカーソルを移動し、戻るボタンを押します。
- 入力をやめる場合は、カラーボタン青を押します。入力をすべて取り消し、ソフトウェアキーボードが消えます。

[例] プロバイダ設定画面で文字入力をする

1 **プロバイダ設定画面(126～128ページ)の入力欄で決定を押し、ソフトウェアキーボードを表示する**

2 **① ▲ ▼ で、文字モードを選ぶ**
② ◀ ▶ で文字グループを選び、決定を押す

●選んだ文字グループが展開されます。

3 **◀ ▶ で入力する文字を選び、決定を押す**

●キーボード内入力欄に決定した文字が表示されます。

●続けて手順**2**～**3**を行い、文字を入力します。

4 **黄を押し、入力を完了する**

●プロバイダ設定画面の入力欄に、完了した文字列が表示され、ソフトウェアキーボードが消えます。

フタを閉じたところ

だく点「゛」や半だく点「゜」を付ける

[例] 「び」を入力する

1

① ▲ ▼ で文字モード「ひらがな」を選ぶ

② ◀ ▶ で「は行」を選び、決定 を押す

2

◀ ▶ で「ひ」を選び、決定 を押す

3

◀ ▶ で「゛」を選び、決定 を押す

●「゜」を選んで決定ボタンを押すと、「ぴ」になります。

スペースを入力する

◀ ▶ で文字グループから「空白」を選び、決定 を押す

●文字モードにより、半角スペースと全角スペースがあります。

プロバイダ設定を行う

プロバイダ設定

■ すでに契約しているプロバイダを使って、地上デジタル放送の双方向サービスで双方向通信を利用する場合に必要な設定です。

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

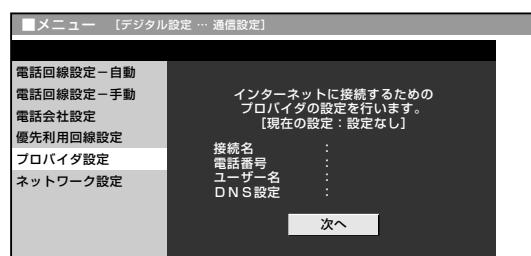
③ ▲ ▼ で「通信設定」を選び、決定を押す

2

① ▲ ▼ で「プロバイダ設定」を選び、決定を押す

●プロバイダ設定画面が表示されます。

② 「次へ」で決定を押す

3

① 決定を押してソフトウェアキーボードを表示し、接続名を入力する

●カーソルが「電話番号」の欄に移動します。

② 決定を押してソフトウェアキーボードを表示し、アクセスポイントの電話番号を入力する

③ 「次へ」で決定を押す

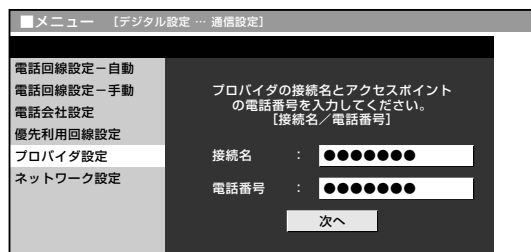
次ページへ

「接続名」について

● 通常は、契約しているプロバイダの業者名を入力します。

「電話番号」について

● 契約しているプロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力します。

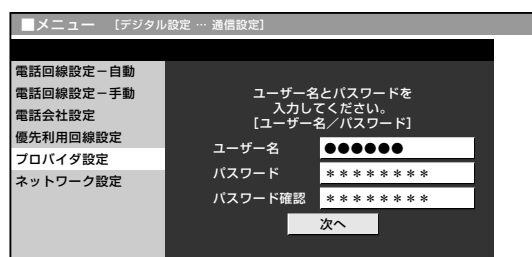
● ソフトウェアキーボードについて詳しくは、**122**ページをご覧ください。

「ユーザー名」「パスワード」について
- プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。

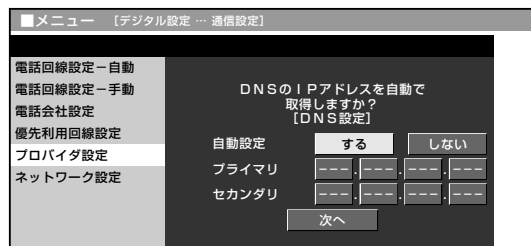
4

① (決定)を押してソフトウェアキーボードを表示し、ユーザー名を入力する
- カーソルが「パスワード」の欄に移動します。

② (決定)を押してソフトウェアキーボードを表示し、パスワードを入力する
- カーソルが「パスワード確認」の欄に移動します。

③ (決定)を押してソフトウェアキーボードを表示し、同じパスワードをもう一度入力する

④ 「次へ」で(決定)を押す

5

(◀)(▶)で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す

- 「する」を選んだ場合は、「次へ」で決定ボタンを押します。手順7に進んでください。
- 「しない」を選んだ場合は、DNSのIPアドレスを入力します。手順6に進んでください。

次ページへ

- ソフトウェアキーボードについて詳しくは、**122**ページをご覧ください。

次ページへつづく

プロバイダ設定を行う（つづき）

「IPアドレス」について

自動設定「しない」を選んだ場合

- プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。
  データのやりとりに使われる、3桁の数字4組で表された番号です。
  「プライマリ」：1番めの番号
  「セカンダリ」：2番めの番号

フタを閉じたところ

6

① 決定を押し、ソフトウェアキーボードを表示する

② ソフトウェアキーボードで、DNSのIPアドレスの「プライマリ」を入力する

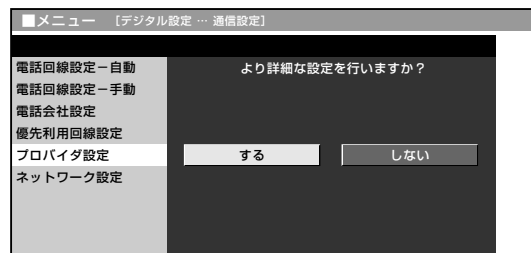
- ①、②をくり返し、各入力欄に3桁の数字を入力します。

③ プライマリと同様に、DNSのIPアドレスの「セカンダリ」を入力する

④ 「次へ」で決定を押す

詳細な設定をする

7

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

- 「する」を選んだ場合は、詳細設定画面が表示されます。手順8に進んでください。
- 「しない」を選んだ場合は、設定を終了してプロバイダ設定画面に戻ります。手順10に進んでください。

次ページへ

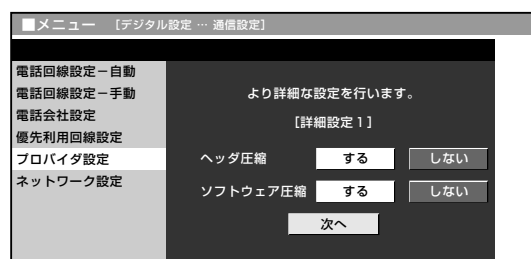
- ソフトウェアキーボードについて詳しくは、**122**ページをご覧ください。

■ 通信速度を向上させるか、させないかの設定です。
契約しているプロバイダがこれに対応していない場合は、「しない」に設定してください。

8

① ◀▶で、ヘッダ圧縮を「する」または「しない」を選び、決定を押す

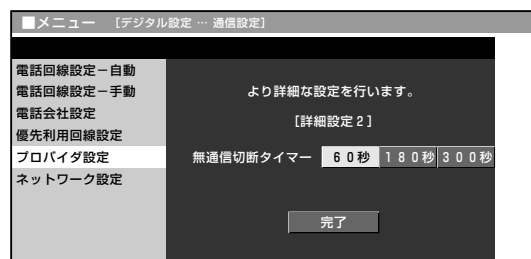
② ◀▶で、ソフトウェア圧縮を「する」または「しない」を選び、決定を押す

③ 「次へ」で決定を押す

■ 回線を切断する時間の設定です。その時間に通信がなければ、回線を切断します。

9

① ◀▶で「60秒」「180秒」「300秒」のいずれかを選び、決定を押す

② 「完了」で決定を押す

10

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

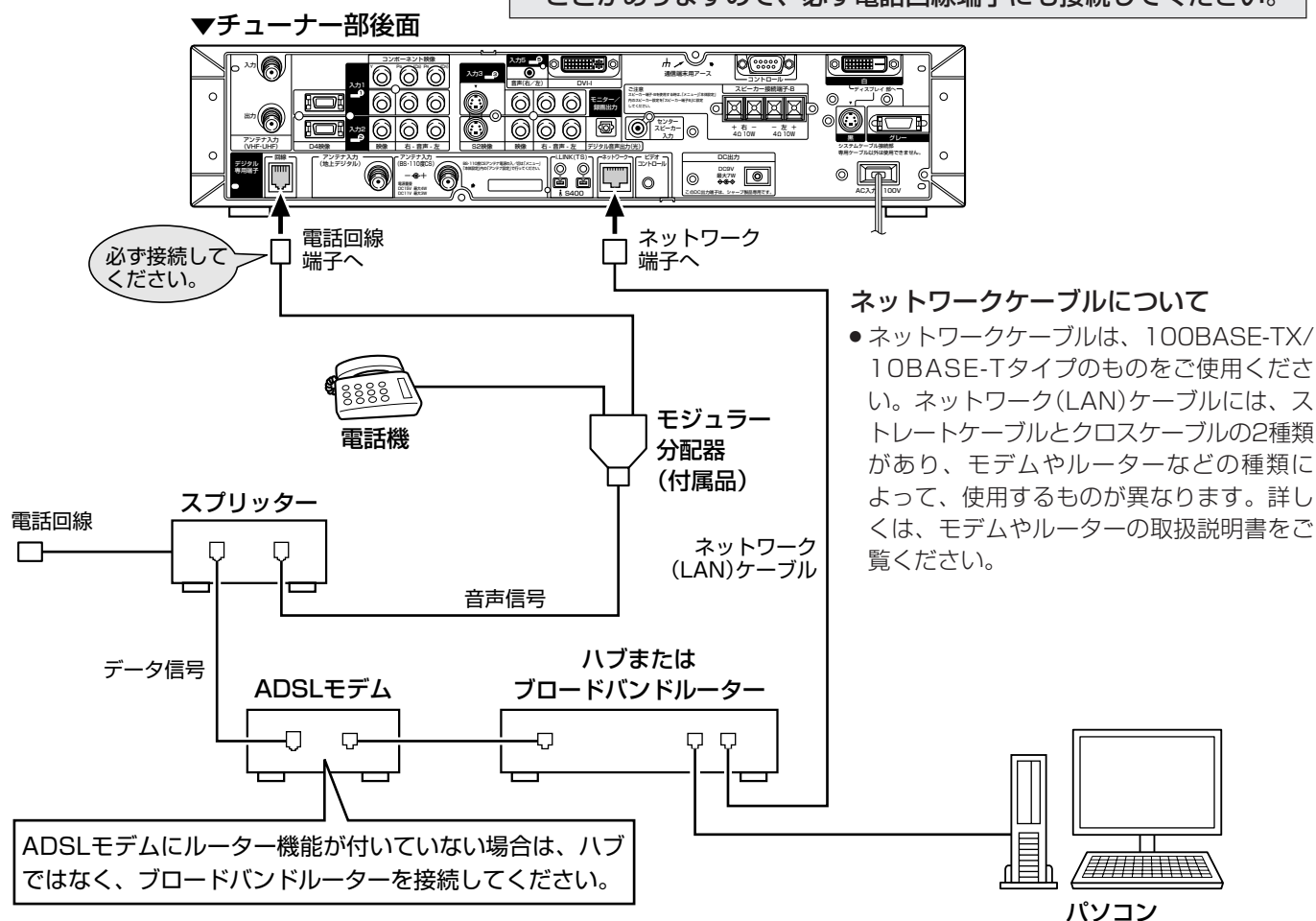
ネットワーク接続と設定

■ デジタル放送のデータ放送との双方向通信は、本機チューナー部を電話回線につなぐとできますが、プロバイダを利用したネットワークを設定すれば、通信速度が向上し、データ放送をさらに快適に楽しむことができます。この場合、ネットワーク接続と設定が必要となります。

■ パソコンなどのインターネット環境をお持ちでない場合は、つぎのような接続機器が必要になります。また、回線業者やプロバイダにより、必要な機器と接続方法が異なります。

ネットワーク接続のしかた

（接続の一例です）

- ADSLの接続は、専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- ネットワーク接続した場合でも、電話回線のみで通信が行われることがありますので、必ず電話回線端子にも接続してください。

接続後は、必ず、電話回線設定（準備編58ページ）、プロバイダ設定（126ページ）、およびネットワーク設定（131ページ）を行ってください。

● ADSLモデム
本機やコンピュータなどをADSL回線に接続する際に必要となる、信号変換のための機器です。
公衆電話回線網を通じて送られてくるADSL信号をイーサーネットの信号に変換します。
ADSLの規格は事業者ごとに異なるため、キャリアを変更した場合や設置地点を変更した場合には、同じADSLモデムでは利用できないことがあります。

● ハブ
複数の機器をネットワークに接続するための集線機器です。

● ブロードバンドルーター
広帯域のデータ信号を他のインターネットに接続するためのネットワーク用中継機器です。

● スプリッター
ADSLでは音声信号とデータが同じ回線の中を流れてくるため、これをそれぞれ電話機とADSLモデムとに分ける必要がありますので、スプリッターを接続し、そこから電話機とADSLモデムに信号を振り分けます。

ネットワーク設定

■ ネットワーク接続（**130**ページ）によってデータ放送との双方向通信を行う場合、プロバイダを利用したネットワークの設定が必要となります。

- ネットワーク設定は専門知識が必要ですので、お買い上げの販売店やADSL事業者などにご相談ください。

フタを閉じたところ

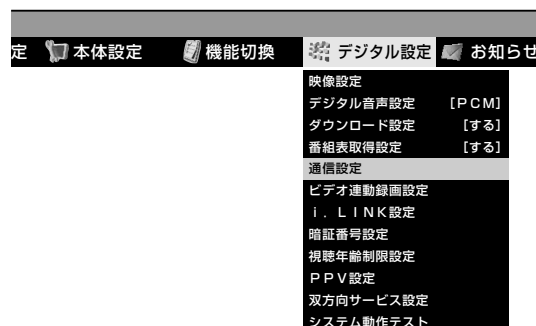
設定画面を表示する

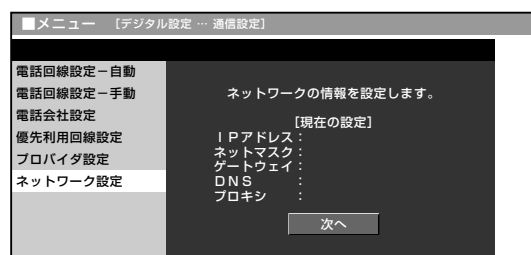
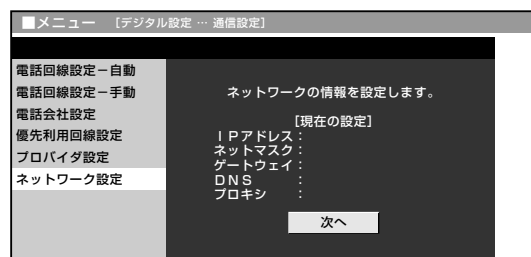
1

① **メニュー ボタンを押し、メニュー画面を表示する**

② **◀▶で「デジタル設定」を選び、決定を押す**

③ **▲▼で「通信設定」を選び、決定を押す**

2

▲▼で「ネットワーク設定」を選び、決定を押す

3

「次へ」で決定を押す

次ページへ

次ページへつづく

ネットワーク接続と設定(つづき)

■IPアドレスの自動取得設定

ブロードバンドルーターやルーター機能付きADSLモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIP自動取得が使えます。
ご不明のときは、設置された方に確認するか、それぞれの機器の説明書をご覧ください。

● DHCP：
IPネットワークにおいて、IPアドレスの割当てと各種の設定を自動で行うためのプロトコルです。

● IPアドレス：
TCP/IPネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号。

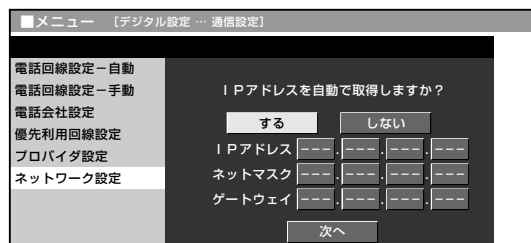
●ネットマスク：
TCP/IPネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号。

●ゲートウェイ：
ネットワーク上で、異なる方式のデータを相互に変換して通信を可能にする機器の識別番号。

フタを閉じたところ

IPアドレスを設定する

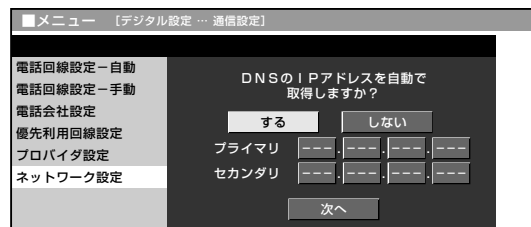
4 **◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

「する」……IPアドレスを自動で取得します。(DHCPサーバーを利用します。)
「しない」…指定のIPアドレスを手動で入力します。

●「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示にしたがって入力してください。

5 **「次へ」で決定を押す**

DNSのIPアドレスを設定する

6 **◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

「する」……DNSのIPアドレスを自動で取得します。(DHCPサーバーを利用します。)
「しない」…指定のIPアドレスを手動で入力します。

●「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターのIPアドレス(ブロードバンドルーターがDNSの機能を持つ場合)またはプロバイダから指示されたDNSのIPアドレスを入力してください。

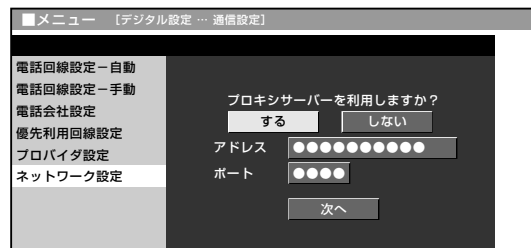
7 **「次へ」で決定を押す**

次ページへつづく

■ プロキシサーバーの設定
プロバイダからの指定があるときのみ、設定が必要です。

フタを閉じたところ

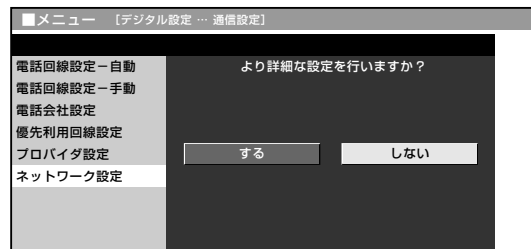
プロキシサーバーの設定

8 **① ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

「する」を選んだときは
② プロキシサーバーのアドレス、ポート番号を入力する

9 **「次へ」で決定を押す**

より詳細な設定（通常は「しない」を選びます。）

10 **◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

●通常は「しない」を選んでください。

「する」……… 手順11へ進みます。
「しない」…… 手順13へ進みます。

次ページへ

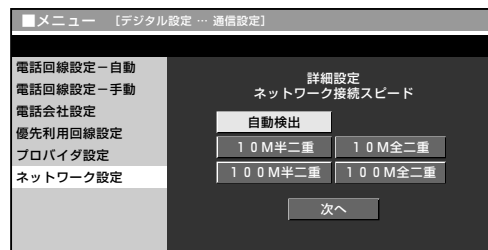
次ページへつづく

ネットワーク接続と設定(つづき)

フタを閉じたところ

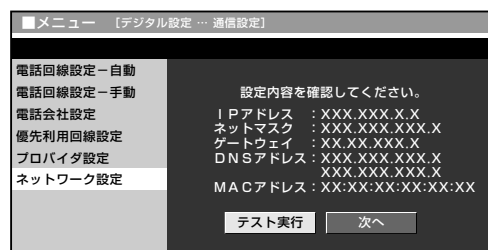
ネットワーク接続スピードを設定する

11 **▲ ▼ ◀ ▶ で「自動検出」を選び、決定を押す**

●通常は設定の必要がありません。通信がうまくいかないなどのときに、設定を変更して確認します。

12 **「次へ」で決定を押す**

ネットワークに接続するためのテストを実行する

■ テスト実行は、IPアドレスを自動で取得する設定のときのみです。IPアドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」を選べません。

13 **設定内容を確認し、◀ ▶ で「テスト実行」を選び、決定を押す**

フタを閉じたところ

ネットワーク設定の内容を変更する

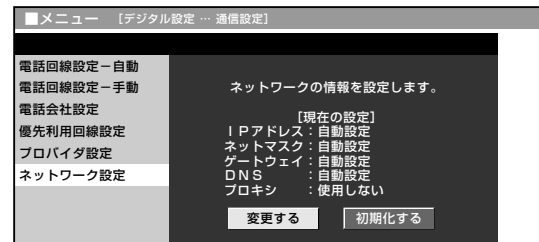
1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「デジタル設定」を選び、決定 を押す

③ ▲ ▼ で「通信設定」を選び、決定 を押す

④ ▲ ▼ で「ネットワーク設定」を選び、決定 を押す

⑤ ◀ ▶ で「変更する」を選び、決定 を押す

2

132ページ手順4～134ページ手順13を行い、再設定する

ネットワーク接続と設定(つづき)

ネットワーク設定の内容を消去する

フタを閉じたところ

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選び、決定を押す

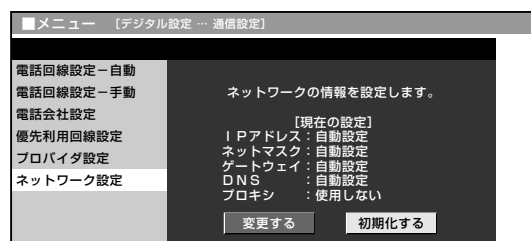
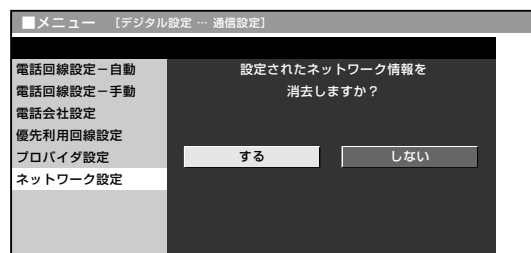
③ ▲▼で「通信設定」を選び、決定を押す

④ ▲▼で「ネットワーク設定」を選び、決定を押す

⑤ ◀▶で「初期化する」を選び、決定を押す

2

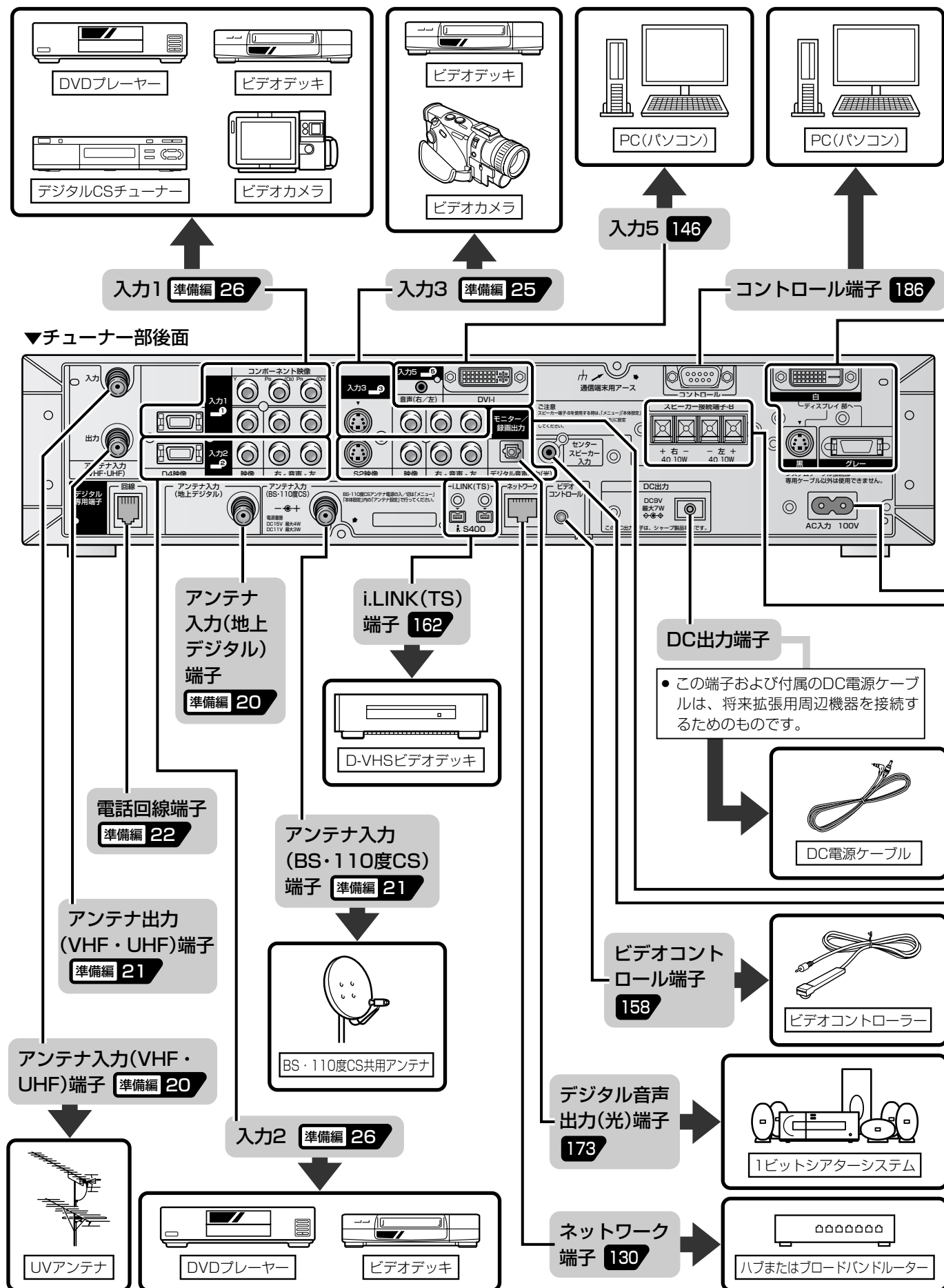
◀▶で「する」を選び、決定を押す

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

他の機器をつないで使う

● この章では、お手持ちのAV機器やパソコンをつないで再生映像を楽しんだり、地上アナログ放送やデジタル放送などを録画したりするときに必要となることがらについて説明しています。

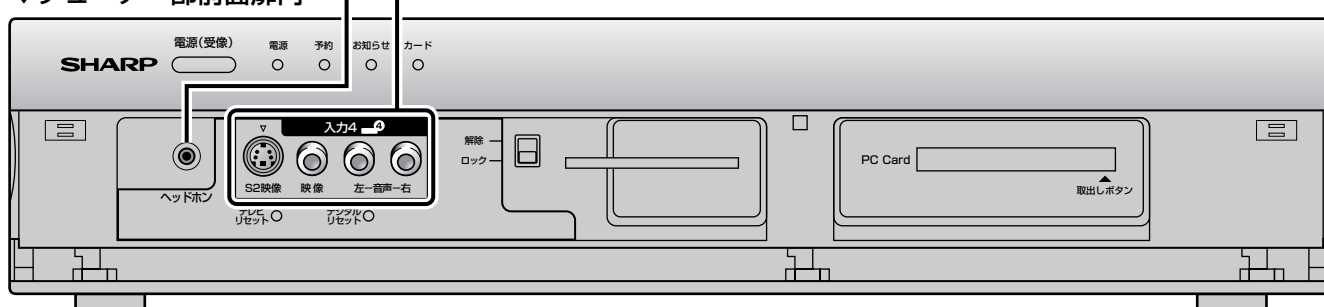
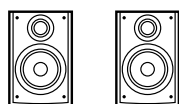
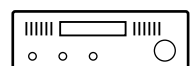
端子のなまえとはたらき

の中の数字は、接続方法や使いかたを説明しているおもなページです。

おしらせ
● チューナー部前面扉の開けかたについては、準備編6ページをご覧ください。

接続上のご注意

■ 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。
■ 接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
■ 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜きとってください。
■ 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切ってください。
■ 接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。

端子のなまえとはたらき(つづき)

■本機チューナー部には、外部ビデオ機器の再生映像を楽しんだり、本機が受信した放送番組を外部機器で録画・編集したりするための、いろいろな映像端子・音声端子があります。お手持ちの機器や接続ケーブル、および用途に適した端子をお使いください。

D4映像入力端子 (入力1・2)

- D端子ケーブルで外部機器を接続するときに使います。
- D4映像入力端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声入力端子(右/左)に接続します。
- メニュー設定により、画面サイズの判定方法を変えることができます。(**41**ページ参照)
- **本機のD4映像入力端子は、D1(525i)、D2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)の映像の入力に対応しています。**

コンポーネント映像入力端子 (入力1)

- コンポーネント映像ケーブルで外部機器を接続するときに使います。
- コンポーネント映像入力端子は、映像用の端子です。音声は音声入力端子(右/左)に接続します。

S2映像入力端子 (入力3・4)

- S2映像入力端子は、ビデオ映像信号に比べ、より高画質な映像を再生することができるS映像信号用の端子です。接続にはS端子ケーブルを使います。
- S2映像入力端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声入力端子(右/左)に接続します。
- 本機は、画面サイズ制御信号(フルモード制御信号、レターボックス制御信号)の入った映像がS2映像入力端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。(**40**ページ参照)
- 本機のS2映像入力端子に外部機器のS映像出力端子を接続しても、映像を楽しむことができます。(この場合、画面サイズ制御信号は外部機器から入ってきません。)

モニター/録画出力

※メニュー設定により、「モニター出力(固定または可変)」と「録画出力」を切り換えて使います。(156ページ参照)
予約録画実行中、デジタル固定中は、メニュー設定にかかわらず「録画出力」になります。

■モニター出力(固定または可変)として使う場合

- つぎの映像信号はモニター出力から出力できません。(音声は出力できます。)
  ① D4映像入力端子から入力された映像信号
  ② コンポーネント映像入力端子から入力された映像信号
  ③ 入力5のDVI-I端子から入力された映像信号
  ④ カードの再生映像信号
- S2映像端子からは、入力3・4から入力されたS映像信号、またはデジタル放送の映像信号が出力されます。
- S2映像入力端子から入力された信号は、モニター出力の映像端子からも出力されます。
- 「モニター出力(可変)」に設定しているときは、S2映像端子からデジタル放送の映像が出力されません。

■録画出力として使う場合

- **デジタル放送を録画するときに使います。**
- デジタル放送のハイビジョン画質(1125i)の映像は、標準画質(525i)に変換して出力します。
  したがって、接続されたビデオデッキでは標準画質で録画されます。
- 2画面機能を入/切すると、まれに録画出力の映像が一瞬途切れた状態になることがありますが、異常ではありません。

デジタル音声出力(光)端子

- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はモニター/録画出力を「モニター出力」に設定したときの音声出力と同じです。
- メニュー設定により、つねにデジタルチューナーの音声を出力するようにできます。(**175**ページ「**デジタル音声出力の設定**」をご覧ください。)

- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

入力切換えのしかた

入力切換メニューの操作方法

入力選択の設定について

● 接続されている映像用端子と、入力選択の設定で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。このときは、外部機器を接続している入力の入力選択設定を行ってください。（**144**ページ参照）

フタを閉じたところ

1 入力切換を押し、入力切換メニューを表示する

●入力切換メニュー表示中につぎの操作を行います。

2 ① 入力切換 または ▲ ▼ を押し、切り換えたい入力を選ぶ

② 決定を押す

●決定ボタンを押さなくても、しばらくすると入力切換メニューは消えます。

入力表示選択について

● 入力切換メニューに表示される❶❷❸❹❺の機器名称を、接続している外部機器に合わせて選択することができます。（**148**ページ参照）

●「i.LINK」への入力切換えは、入力切換ボタンを使ってもできますが、i.LINKボタンを押すとダイレクトに切り換えることができます。

●「カード」への入力切換えは、入力切換ボタンを使ってもできますが、リモコンカバー内のカードボタンを押すとダイレクトに切り換えることができます。

● 入力切換えは、ディスプレイ部天面操作部の入力切換ボタンでも行うことができます。

ビデオ再生を楽しむ

ビデオデッキなどの再生映像を見る

■ 本機とビデオデッキの接続方法については、準備編25ページをご覧ください。

フタを閉じたところ

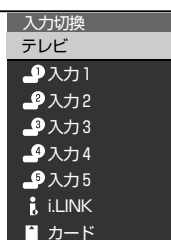
入力選択の設定について

- 接続されている映像用端子と、入力選択の設定で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。このときは、外部機器を接続している入力の入力選択設定を行ってください。（144ページ参照）

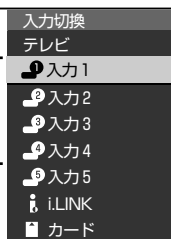
［例］入力1に接続したビデオデッキの再生映像を見る

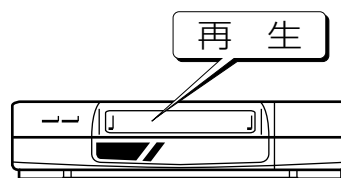
1 再生機器の準備をする

① チューナー部後面の入力1にビデオデッキを接続し、電源を入れる
② 再生したいビデオテープを入れる

2 入力切換を押し、入力切換メニューを表示する

- 入力切換メニュー表示中につぎの操作を行います。

3 ① 入力切換 または ▲ ▼ を押し、「入力1」を選ぶ

② 決定 を押す

- 決定ボタンを押さなくても、しばらくすると入力切換メニューは消えます。

4 ビデオ機器を再生状態にする

DVD再生を楽しむ

高精細映像を楽しむ

■ チューナー部後面の入力1または入力2のD4映像端子や、入力1のコンポーネント映像端子にDVDプレーヤーなどの機器を接続して、より高画質の映像を楽しむことができます。
本機とDVDプレーヤーの接続方法については、準備編26ページをご覧ください。

フタを閉じたところ

入力選択の設定について

- 接続されている映像用端子と、入力選択の設定で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。このときは、外部機器を接続している入力の入力選択設定を行ってください。（**144**ページ参照）

[例] 入力2に接続したDVDプレーヤーの再生映像を見る

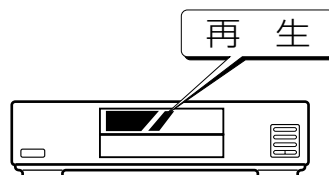
1 DVDプレーヤーの準備をする

① チューナー部後面の入力2にDVDプレーヤーを接続し、電源を入れる
② 再生したいディスクを入れる

2 入力切換 を押し､入力切換メニューを表示する

3 入力切換 または ▲ ▼ を押し、「入力2」を選ぶ

入力1～4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

4 DVDプレーヤーを再生状態にする

- 詳しくは、DVDプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。
- 出力選択（**156**ページ）を「モニター出力（固定または可変）」に設定した場合、D4映像端子、コンポーネント映像端子、DVI-I端子から入力された映像信号、およびカードの再生映像信号は、モニター／録画出力から出力されません。（音声は出力されます。）
- DVDプレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

入力選択の設定

■ 入力1～5に外部機器を接続しているとき、複数の映像用端子(例えば、入力1では「D4映像」「コンポーネント映像」「映像」の3種類)のどれを使用するかを設定することができます。

■ 工場出荷時の状態では、入力1～4は「自動」に設定されています。通常の使用方法の場合、特に設定を変更する必要はありません。

フタを閉じたところ

［例］外部機器を入力1に接続しているとき、D4映像端子からの入力を選択する

1 入力切換で「入力1」を選ぶ

2

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「機能切換」を選ぶ

3 ▲▼で「入力選択」を選び、決定を押す

次ページへ

4 ▲▼で「D端子」を選び、決定を押す

5 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

- テレビ入力、i.LINK入力およびカード入力のとき、「入力選択」はメニューに表示されません。

入力選択の項目について

■入力1〜5のそれぞれにつき、選択できる入力項目はつぎのとおりです。

入力1
自動
D端子
コンポーネント
ビデオ映像

入力2
自動
D端子
ビデオ映像

入力3
自動
S2映像
ビデオ映像

入力4
自動
S2映像
ビデオ映像

入力5
デジタルPC
アナログPC
デジタルAV
アナログAV

映像入力端子選択の優先順位について

- 入力1〜4の入力選択を「自動」に設定したときは、つぎの優先順位で映像入力端子が選択されます。

入力1
D端子映像→コンポーネント映像→ビデオ映像

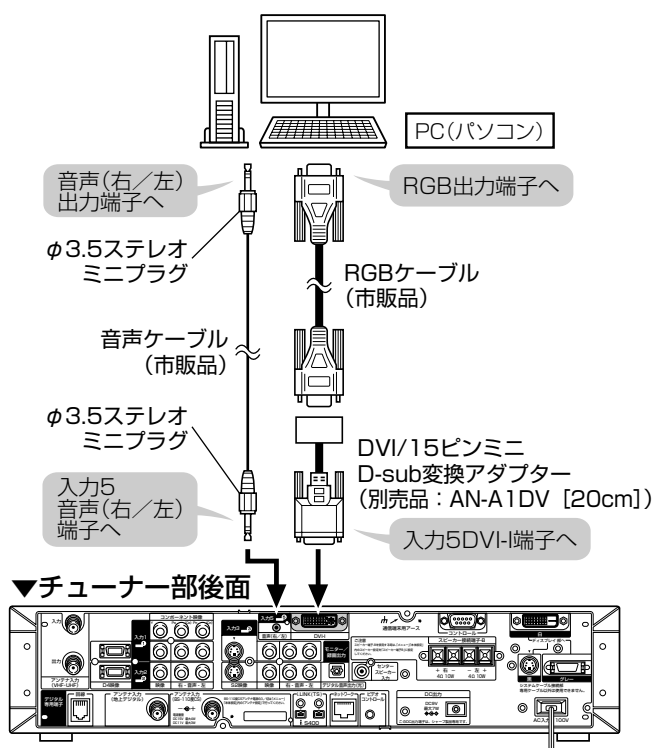
入力2
D端子映像→ビデオ映像

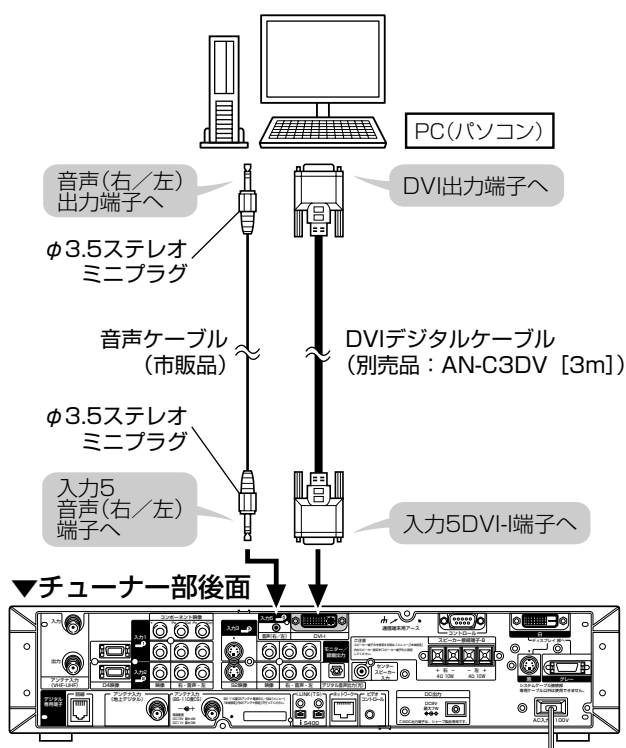
入力3・入力4
S2映像→ビデオ映像

入力5(DVI-I端子)の接続と機器の選択設定

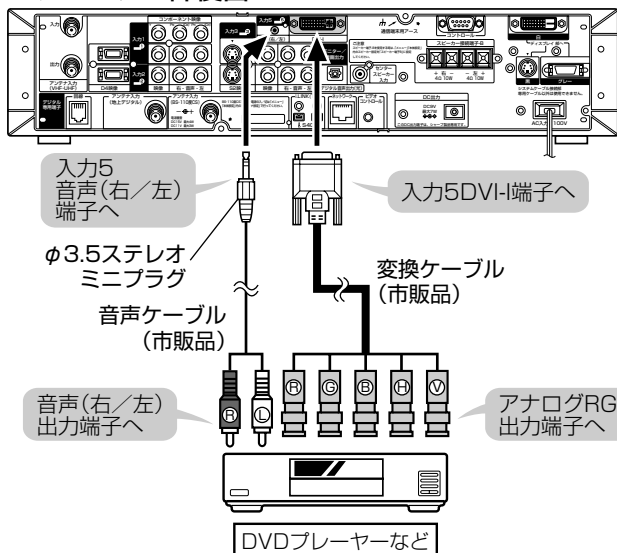
PC(パソコン)を接続する

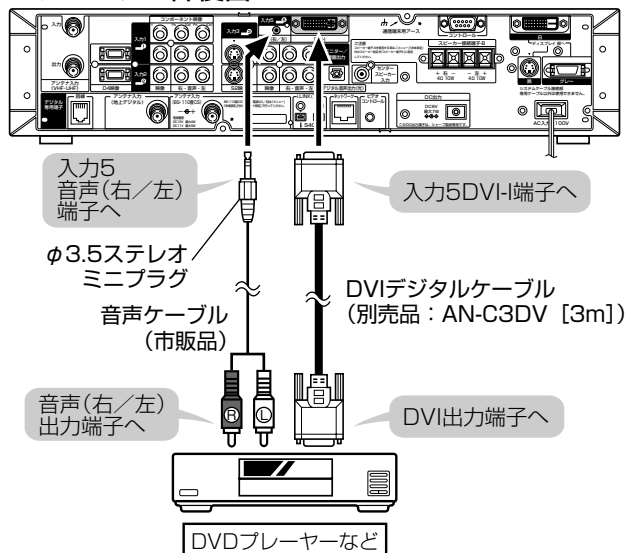
■ アナログRGB出力端子付きPCとの接続（アナログPC）

別売の変換アダプターと市販のRGBケーブルを使って接続する

■ DVI出力端子付きPCとの接続（デジタルPC）

別売のDVIデジタルケーブルを使って接続する

ビデオ機器を接続する

■ アナログRGB出力端子付きビデオ機器との接続（アナログAV）

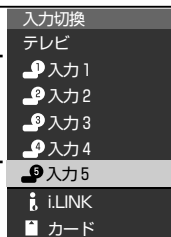
市販の変換ケーブルと変換アダプターを使って接続する

■ DVI出力端子付きビデオ機器との接続（デジタルAV）

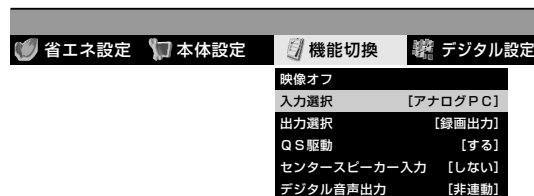
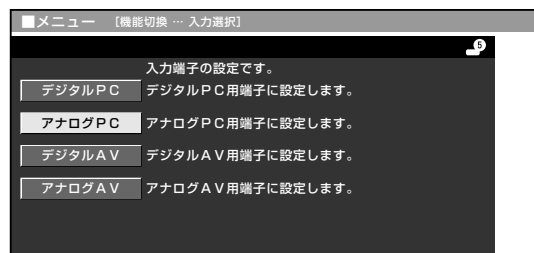
別売のDVIデジタルケーブルを使って接続する

入力5に接続した機器に合わせて端子を設定する

■ 入力5に接続した機器(**146**ページ参照)に合わせ、メニューで端子の設定を行ってください。

フタを閉じたところ

1 入力切換 で「入力5」を選ぶ

入力1～4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

入力切換
テレビ
入力1
入力2
入力3
入力4
入力5
i.LINK
カード

2
① メニュー を押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「機能切換」を選ぶ
③ ▲▼で「入力選択」を選び、決定 を押す

3 ▲▼で、入力5に接続した機器を選び、決定 を押す

4 メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- デジタルAV／アナログAV選択時の入力対応信号は、525p、1125i、750pです。525iには対応していません。
- デジタルPC／アナログPC選択時の入力対応信号については、**184**ページの「**PC入力対応表**」をご覧ください。

外部機器に表示を合わせる

入力表示を選択する

■ 入力1～5に接続している外部機器に合わせて、入力切換メニューや画面表示(チャンネルサイン)に表示される機器の名称を選択することができます。

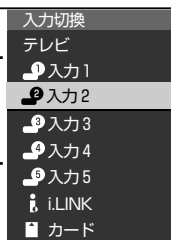
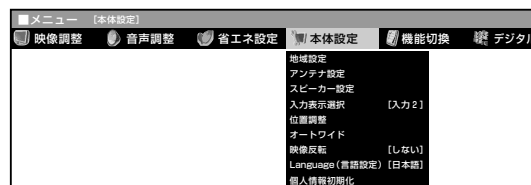
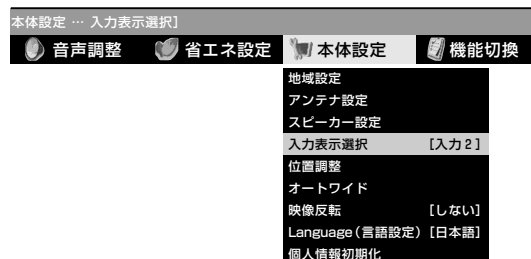
フタを閉じたところ

[例] 入力2の表示を「ゲーム」に変える

1 入力切換 で「入力2」を選ぶ

入力1～4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

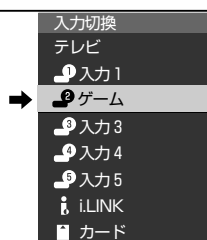
入力切換
テレビ
入力1
入力2
入力3
入力4
入力5
i.LINK
カード

2
① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶ で「本体設定」を選ぶ

3 ▲ ▼ で「入力表示選択」を選び、決定を押す

次ページへ

4 ▲ ▼ ◀ ▶ で「ゲーム」を選び、(決定)を押す

5 (メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

- 入力切換ボタンを押すと、入力切換メニューに「❷ゲーム」が表示されます。

- テレビ入力、i.LINK入力およびカード入力のとき、「入力表示選択」はメニューに表示されません。

入力表示選択できる名称

❶入力1

入力1	ビデオ1	ビデオ
コンポーネント1	コンポーネント	D端子1
D端子	CATV	CS
DVD	ゲーム	ムービー
D-VHS	HDD	DVR

❷入力2

入力2	ビデオ2	ビデオ
コンポーネント2	コンポーネント	D端子2
D端子	CATV	CS
DVD	ゲーム	ムービー
D-VHS	HDD	DVR

❸入力3

入力3	ビデオ3	ビデオ
CATV	CS	DVD
ゲーム	ムービー	D-VHS
HDD	DVR	

❹入力4

入力4	ビデオ4	ビデオ
CATV	CS	DVD
ゲーム	ムービー	D-VHS
HDD	DVR	

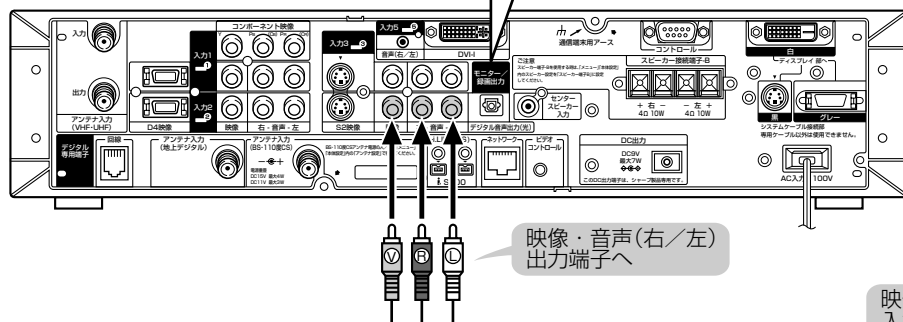
❺入力5

入力5	ビデオ5	ビデオ
DVI-I	DVD	PC

録画・編集

地上アナログ放送の番組を録画する

［例］本機チューナー部後面のモニター／録画出力につないだビデオデッキで、地上アナログ放送の番組を録画する

接続のしかた

メニューで出力選択を「モニター出力(固定)」に設定してください。
- デジタル放送を録画するときは、出力選択を「録画出力」に設定することをおすすめします。

設定のしかたは、**156**ページをご覧ください。

▼チューナー部後面
モニター／録画出力端子部

映像・音声(右／左)
出力端子へ

映像・音声(右／左)
入力端子へ

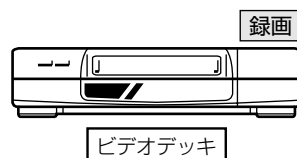
録画

映像・音声ケーブル

ビデオデッキ

プラグの記号
Ⓥ 映像(黄)
Ⓡ 音声・右(赤)
Ⓛ 音声・左(白)

は信号の流れを表しています。

※録画中の映像を確認したいときは、録画機器にモニターを接続します。

モニター(テレビなど)

モニター／録画出力のS2映像端子について
- S2映像端子からは、地上アナログ放送(UHF/VHF)、ビデオ信号(通常の映像入力端子から入力された映像信号)が出力されません。
- 出力選択を「モニター出力(可変)」に設定しているときは、S2映像端子からデジタル放送の映像が出力されません。

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

出力選択の設定をしてください

156ページ「**出力選択の設定**」の手順にしたがい、出力選択を「モニター出力(固定)」に設定してください。

フタを閉じたところ

地上アナログ放送の番組をビデオデッキで録画する

[例] 地上アナログ放送の6チャンネルの番組を録画する

1 録画機器の準備をする

① チューナー部後面のモニター／録画出力※に録画機器(ビデオデッキなど)を接続し、電源を入れる

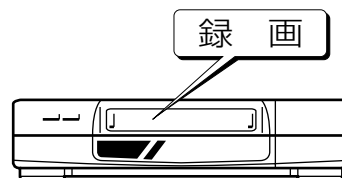
※S2映像端子からは映像信号が出力されませんので、ビデオ映像端子をお使いください。

② 録画機器の入力切換えを「外部入力」に切り換える

③ 録画可能なビデオテープを入れる

2 ① 地上Aを押し、地上アナログ放送を選ぶ

② チャンネルボタン⑥または選局で、6チャンネルを選ぶ

3 録画機器(ビデオデッキなど)を録画状態にする

- 録画中にテレビチャンネルを変えると、モニター／録画出力から出力される映像も変わります。
- 出力選択(**156**ページ)を「モニター出力(固定または可変)」に設定した場合、D4映像端子、コンポーネント映像端子、DVI-I端子から入力された映像信号、およびカードの再生映像信号は、モニター／録画出力から出力されません。(音声は出力されます。)
- 接続する機器の操作については、機器の取扱説明書をご覧ください。
- あなたが録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録画・編集(つづき)

ビデオカメラなどの映像を録画・編集する

［例］本機チューナー部前面端子部(扉内)の入力4に接続したビデオカメラの映像を、チューナー部後面のモニター／録画出力につないだビデオデッキに録画する

接続のしかた

おしらせ

● 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

出力選択の設定をしてください

156ページ「**出力選択の設定**」の手順にしたがい、出力選択を「モニター出力(固定)」に設定してください。

フタを閉じたところ

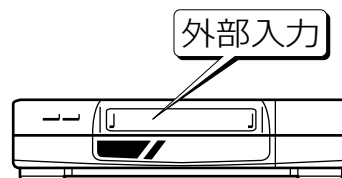
- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 出力選択(**156**ページ)を「モニター出力(固定または可変)」に設定した場合、D4映像端子、コンポーネント映像端子、DVI-I端子から入力された映像信号、およびカードの再生映像信号は、モニター/録画出力から出力されません。(音声は出力されます。)
- あなたが録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ビデオカメラなどの映像を録画・編集する

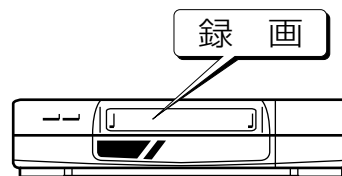
[例] 入力4に接続したビデオカメラの映像を、モニター/録画出力に接続したビデオデッキに録画する

1 入力切換 で「入力4」を選ぶ

入力1~4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

2 モニター/録画出力に接続しているビデオデッキの入力切換を「外部入力」にする

3 入力4に接続したビデオカメラを再生状態にする

再　生

4 モニター/録画出力に接続しているビデオデッキを録画状態にする

録画・編集(つづき)

視聴中のデジタル放送をビデオデッキに録画する

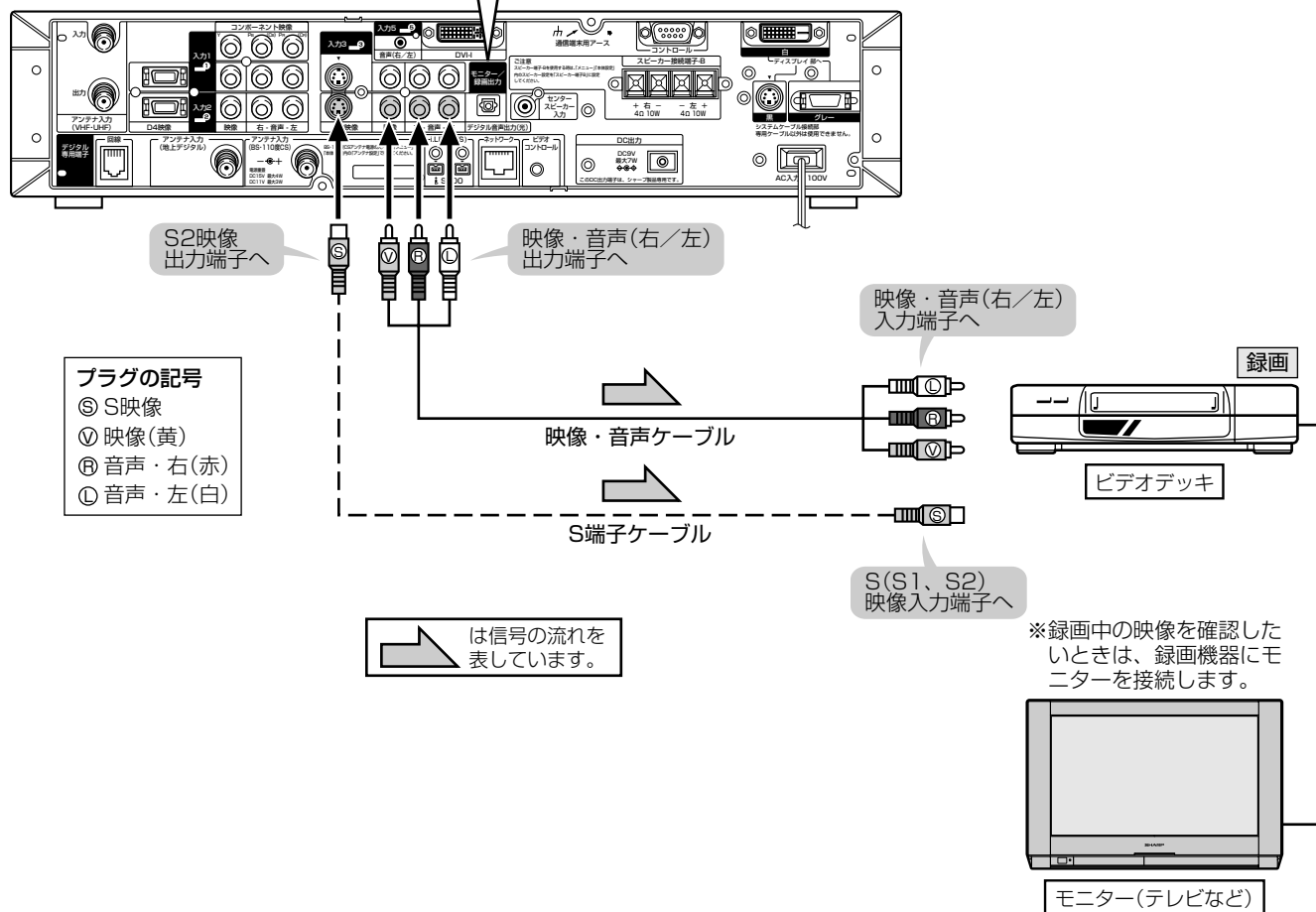
■ チューナー部後面のモニター／録画出力にビデオデッキなどの録画機器を接続して、デジタル放送を録画することができます。

① デジタル放送は、チャンネルを固定して録画することができます。(**157**ページ)
② デジタル放送は、ビデオコントローラーで予約録画することができます。(**158**ページ)

ビデオデッキとの接続のしかた

メニューで出力選択を「録画出力」に設定してください。(**156**ページ)

▼チューナー部後面
モニター／録画出力端子部

プラグの記号
Ⓢ S映像
Ⓥ 映像(黄)
Ⓡ 音声・右(赤)
Ⓛ 音声・左(白)

※録画中の映像を確認したいときは、録画機器にモニターを接続します。

- モニター／録画出力(「録画出力」に設定時)からは、デジタル放送のハイビジョン画質(1125i)の映像を標準画質(525i)に変換して出力します。したがって、接続されたビデオデッキでは標準画質で録画されます。
- ハイビジョン画質で録画するときは、D-VHSビデオデッキをi.LINK接続して行ってください。(**162**～**171**ページ参照)
- 番組により、録画・録音が制限されている場合などがあります。
- 2画面機能を入／切すると、まれに録画出力の映像が一瞬途切れた状態になることがありますが、異常ではありません。

フタを閉じたところ

デジタル放送を録画する

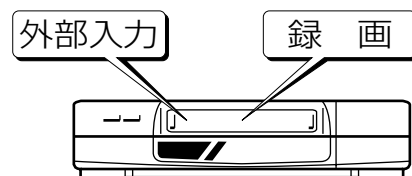
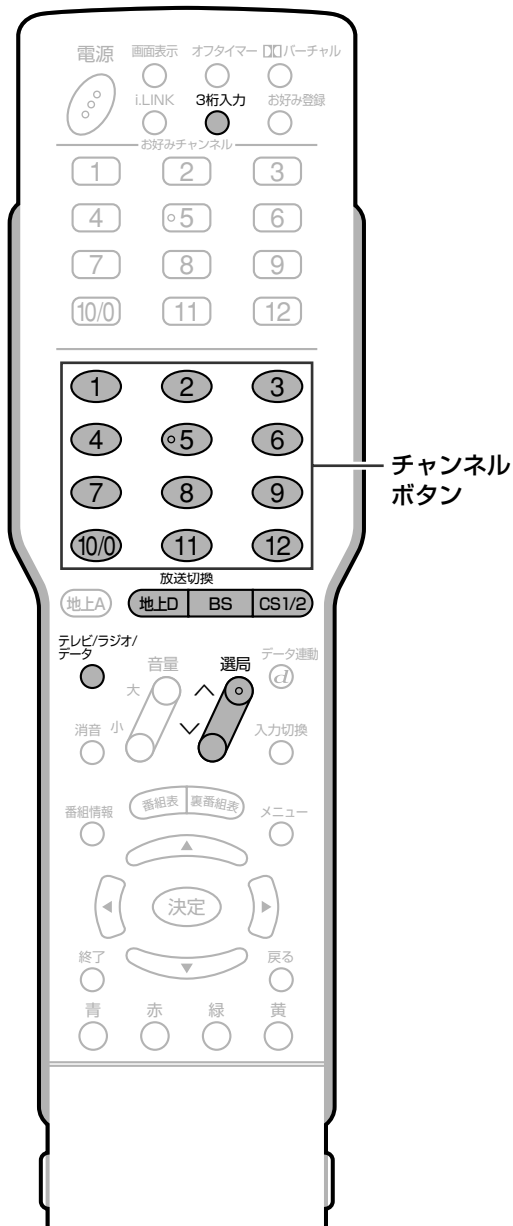
[例] NHK BS1の番組を録画するとき

1

① BS を押し、BSデジタル放送（テレビ）を受信する

② チャンネルボタン① を押し、NHK BS1を選局する

2

ビデオデッキを外部入力に切り換え、録画状態にする

- デジタル放送を録画しながら、地上アナログ放送などの裏番組を見るときは、デジタル固定を「する」に設定します。（**157**ページ参照）
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

出力選択の設定

■ 本機チューナー部後面のモニター／録画出力に録画機器を接続して放送番組などを録画するとき、放送の種類などに応じて端子の設定をすることが必要です。

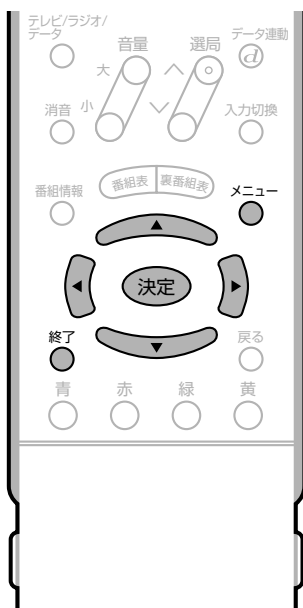
「録画出力」……デジタル放送を録画するときに選びます。(工場出荷時の設定)

「モニター出力(固定)」…音声出力端子から出力される音量レベルは一定で、スピーカーの音量を調整しても端子の出力レベルは変化しません。

画面の音量表示

30

「モニター出力(可変)」…スピーカーからは音声が出ません。音声出力端子から出力される音量レベルを、音量ボタンで調整することができます。

画面の音量表示

30

フタを閉じたところ

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「機能切換」を選ぶ

③ ▲▼で「出力選択」を選び、決定を押す

2

▲▼で「録画出力」「モニター出力(固定)」「モニター出力(可変)」のいずれかを選び、決定を押す

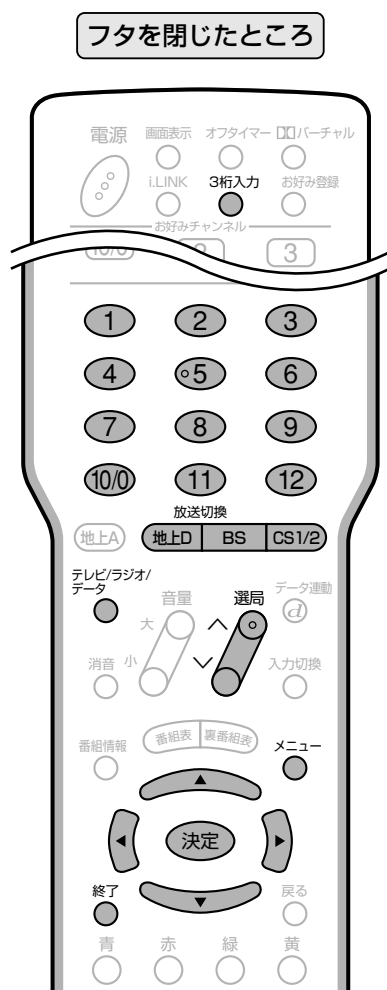
3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

- 「モニター出力(可変)」に設定し、モニター音声出力レベルを調整する場合は、スピーカーの音量を変えるときと同じように、音量(大／小)ボタンで調整します。
- 「可変」「固定」の設定にかかわらず、ヘッドホン端子からの音声出力は可能です。
- 予約録画実行中、デジタル固定中は、メニュー設定にかかわらず「録画出力」になります。
- 「モニター出力(可変)」に設定しているとき、ドルビーバーチャル、音声調整、およびスピーカー設定の「音質補正」の設定はできません。
- 「モニター出力(可変)」に設定しているときは、モニター出力のS2映像端子からデジタル放送の映像が出力されません。

デジタル固定の設定

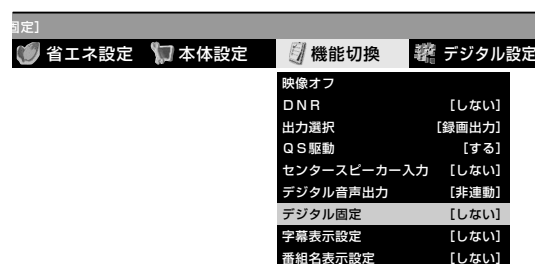
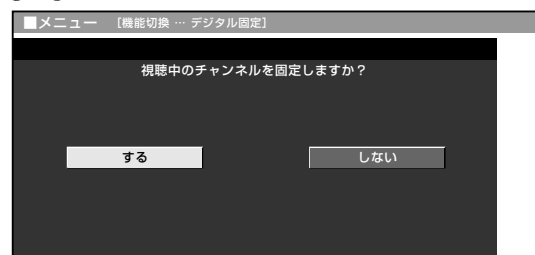
■「デジタル固定」とは、現在受信しているデジタル放送のチャンネルに固定する機能です。
デジタル放送の番組を録画しているとき、誤ってチャンネルを変えてしまうのを防ぐことができます。また、電源待機状態でデジタル放送の番組を録画したり、デジタル放送の番組を録画しながら地上アナログ放送やCATV放送の裏番組を視聴したりすることができます。

フタを閉じたところ

1 **固定したいデジタル放送のチャンネルを選局する**

2 **① メニューを押し、メニュー画面を表示する**

② ▲ ▼ ◀ ▶で「機能切換」の「デジタル固定」を選び、決定を押す

3 **◀ ▶で「する」を選び、決定を押す**

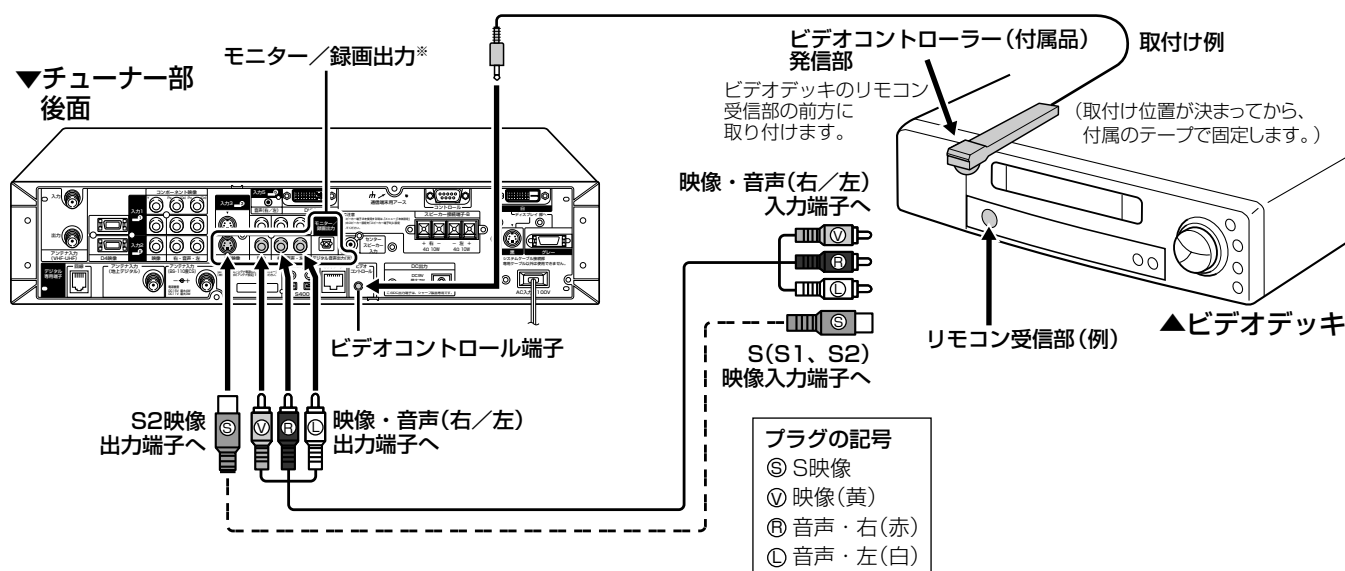
4 **メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す**

- デジタル固定中に録画・視聴予約時間の2分前になると、デジタル固定が自動的に解除されます。
- 予約録画実行中やi.LINK入力時には、デジタル固定にすることができません。
- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または「ビデオ連動録画」（**158**ページ）で録画することをおすすめします。
- デジタル固定時には、録画出力の切り換わりを防ぐため、つぎの操作ができません。
  - デジタル放送の選局や電子番組表の表示など。
  - デジタル関連のメニュー操作。
  - i.LINK操作パネルの表示。
  - 「i.LINK」への入力切換え。
- デジタル固定を「する」に設定しているときは、リモコンで電源を「切」（電源待機状態）にしても、モニター／録画出力からデジタル放送の映像・音声が出力されますので、録画を続けることができます。なお、このときチューナー部のファンが回転する場合があります。

録画・編集(つづき)

ビデオコントローラーを使って予約する(ビデオ連動録画)

ビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからビデオデッキにリモコン信号が送信され、ビデオデッキの電源の入／切や録画の開始／停止を行い、本機の予約機能と連動してデジタル放送の番組を録画(ビデオ連動録画)することができます。この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。

※ ビデオデッキの機種によっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオデッキ内蔵型テレビにも録画できません。

接続のしかた(ビデオコントローラーと映像・音声ケーブルをつなぎます)

機種番号について

■ メーカーにより複数のリモコン信号を採用しており、つぎの機種番号で区分されます。

メーカー	機種番号
シャープ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
アイワ	1, 2, 3, 4
NEC	1, 2, 3, 4
サンヨー	1, 2, 3, 4
ソニー	1, 2, 3, 4, 5, 6
東芝	1, 2, 3, 4, 5, 6
ビクター	1, 2, 3, 4
日立	1, 2, 3
フナイ	1
松下	1, 2, 3, 4, 5, 6
三菱	1, 2, 3, 4
パイオニア	1, 2, 3

工場出荷時の設定：未設定

※出力選択の設定について

- ビデオ連動録画をするときは、メニューで出力選択を「録画出力」に設定してください。(**156**ページ)

ビデオコントローラー取付けの際のご注意

- リモコン受信部の位置は、ビデオデッキのメーカーや機種によって異なります。一般的には、液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**159**～**161**ページ「ビデオ連動録画の設定」のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

- ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは、必要ありません。
- ビデオ連動録画できるのは、デジタル放送のみです。地上アナログ放送、CATV放送などはビデオ連動録画ができません。

フタを閉じたところ

ビデオ連動録画の設定

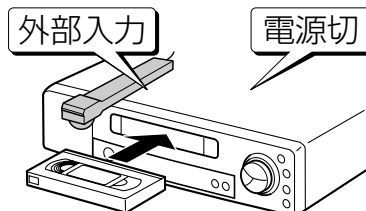
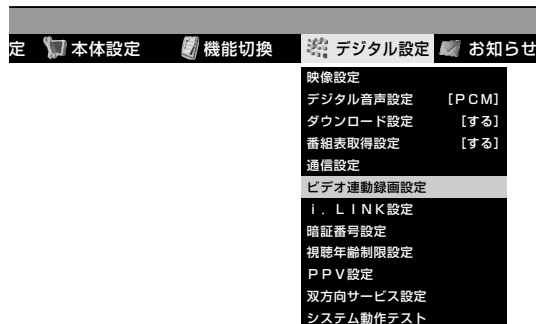
1 ビデオデッキの準備をする

① 本機につなぐ(**158**ページ参照)
② ビデオコントローラーを取り付ける(**158**ページ参照)
③ 外部入力に切り換える
④ 録画用ビデオテープを入れる
⑤ 電源を「切」にする

2

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶ で「デジタル設定」を選ぶ

3

▲ ▼ で「ビデオ連動録画設定」を選び、決定 を押す

- 「ビデオ連動録画設定」の確認画面が表示されます。

次ページへ

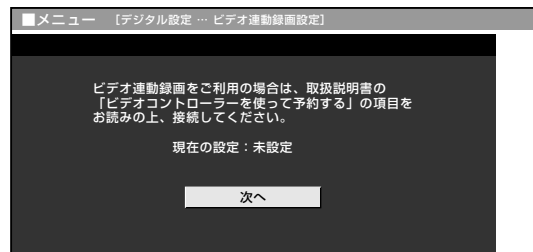
次ページへつづく

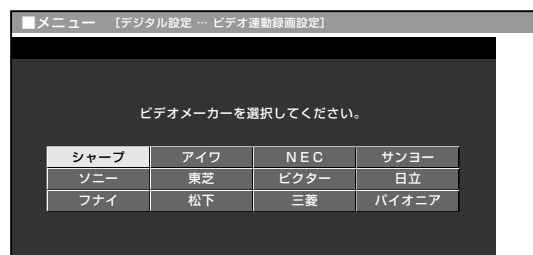
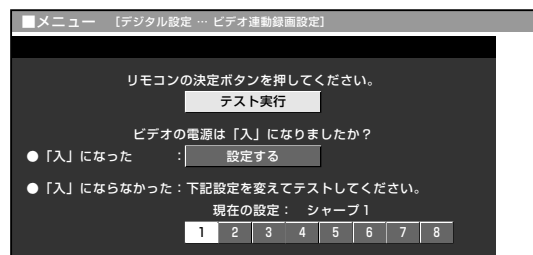
フタを閉じたところ

4

① ビデオコントローラーの接続を確認する

② 「次へ」で決定を押す

5

お使いのビデオデッキのメーカーを ▲▼◀▶で選び、決定を押す

6

「テスト実行」で決定を押し、テストを開始する

テストの結果

- ビデオデッキの電源が「入」になったとき(正常)
  ⇨ 手順**9**に進みます。
- ビデオデッキの電源が「入」にならなかったとき
  ⇨ ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順**7**に進みます。

次ページへ

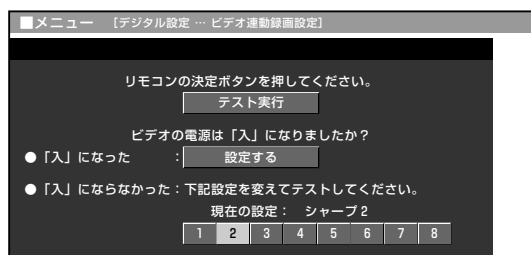
- ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないために、ビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、手順**6**～**8**でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

フタを閉じたところ

7

① ▼ でカーソルを機種番号の欄に移動する

② ◀▶ でメーカーの機種番号を選び、決定 を押す

● **158**ページ左下にある「機種番号について」の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順**7**、**8**をくり返してください。

8

決定 を押し、テストを実行する

9

① ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認する

② 「設定する」で 決定 を押す

●これでビデオ連動録画の設定は完了です。

10

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

● ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いているか、再度ご確認ください。

● ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは、必要ありません。

設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。

● 予約した時刻になると、ビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。

● 録画予約のしかたについては、**77**～**91**ページをご覧ください。

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)

i.LINK(アイリンク)について

■ i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送速度が可能です。

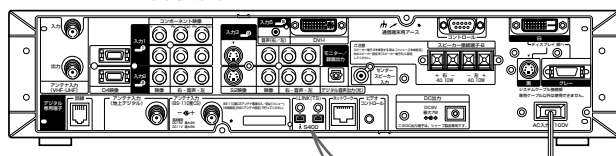
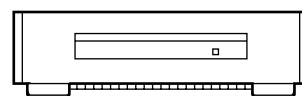
本機に接続できるi.LINK機器について

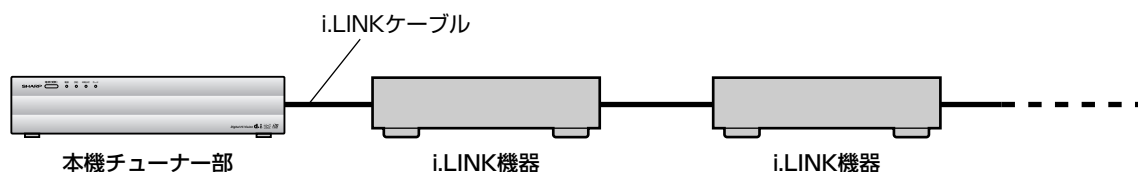
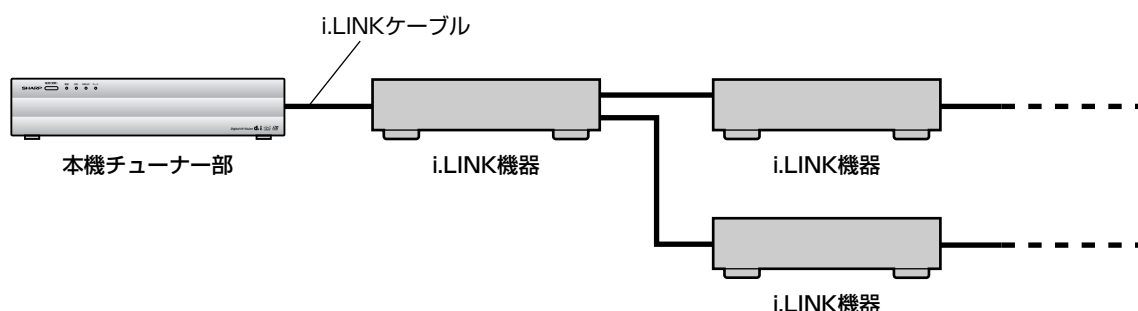
■ **本機が対応しているi.LINK機器はD-VHSビデオデッキのみです。**DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

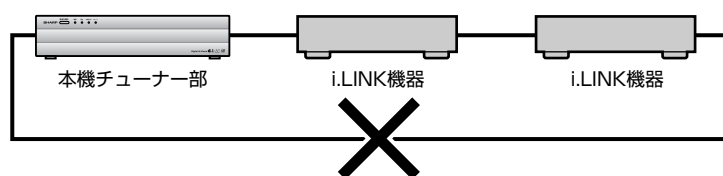
i.LINKで録画できる内容について

■ 本機とD-VHSビデオデッキをi.LINK接続して録画できるのは、**デジタル放送のみ**です。それ以外のテレビ(地上アナログ放送)、外部入力(入力1〜5)は、i.LINK録画ができません。

i.LINK接続のしかた

[例] 接続するi.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が1台の場合

i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が2台以上のとき

■ i.LINKケーブルを使い、デイジー・チェーン(数珠つなぎ)で接続します。この接続では、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を16台までつなげます。

■ i.LINK端子が3つ以上ある機器の場合は、分岐をしてつなぐこともできます。分岐接続する場合は、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を最大62台までつなげます。

接続に関するご注意

- 接続の際は、「S400」タイプのi.LINKケーブルをご使用ください。
- 一部のi.LINK機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。メニュー内「デジタル設定」の「i.LINK設定」で「電源待機設定」を「する」に設定してください。(**165**ページ参照)
- 下図のようなループ(輪)接続をしないでください。

- i.LINK機能使用中は、使用していないi.LINK機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像・音声が乱れることがあります。
- DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器など、本機が対応していない機器を同時に接続していると、誤動作することがあります。

i.LINK設定を行う

フタを閉じたところ

録画モードの設定

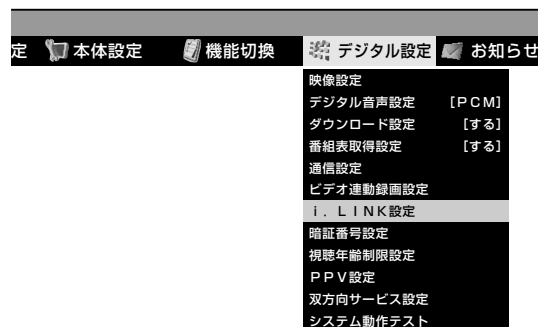
- 本機には、録画時にD-VHSビデオデッキの録画モードを自動的に制御する機能があり、その機能を有効に「する」か「しない」かを選ぶことができます。

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

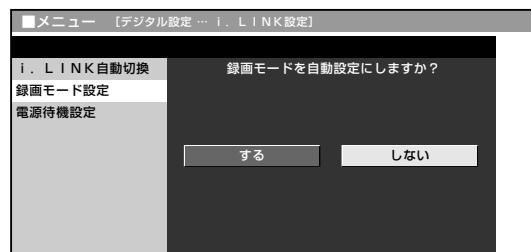
③ ▲▼で「i.LINK設定」を選び、決定を押す

2

① ▲▼で「録画モード設定」を選び、決定を押す

② ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

- 通常は「しない」に設定します。

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

- 現在発売されているD-VHSビデオデッキのほとんどは、記録している映像・音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、本機の「録画モード設定」は通常「しない」に設定してください。
- D-VHSビデオデッキの種類や、D-VHSビデオデッキで記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード設定」を「しない」に設定してください。

フタを閉じたところ

i.LINK電源待機の設定

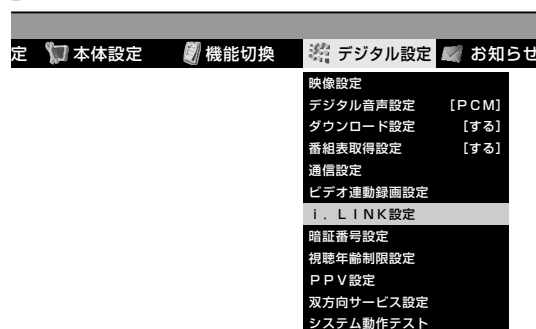
- 本機では、i.LINK電源待機の設定により電源待機時の消費電力を少なくすることができます。
- i.LINK機器を接続していない場合は、消費電力が小さくなる「しない」を選択してください。

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

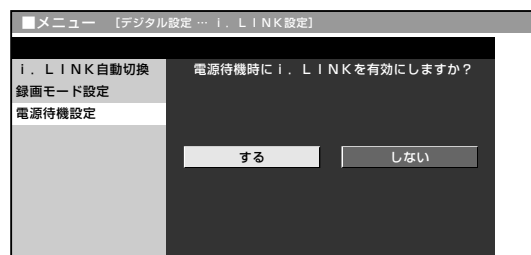
② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲▼で「i.LINK設定」を選び、決定を押す

2

① ▲▼で「電源待機設定」を選び、決定を押す

② ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……電源待機時にもi.LINK回路を通電し、データの中継ができるようにします。

「しない」…電源待機時の消費電力を少なくします。ただし、データの中継はできません。

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

お願い

- 複数のi.LINK機器をi.LINKケーブルで接続した場合、本機の「電源待機設定」を「しない」に設定して電源を待機状態（電源ランプ赤色点灯）にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、本機の「電源待機設定」を「する」に設定するか、下図のように本機をi.LINK機器の末端に接続してください。

- 本機の電源が待機状態（電源ランプ赤色点灯）のときは、外部機器からのi.LINK制御コマンドを受けつけることができません。これは「電源待機設定」を「する」に設定しても同じです。外部機器から本機をi.LINK制御する場合は、本機の電源を「入」（電源ランプ緑色点灯）にしてから行ってください。

次ページへつづく

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

フタを閉じたところ

- 本機で使用することができない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。
- 機器選択画面のリスト項目が暗くなっているi.LINK機器は、接続されていないなど、本機が認識できない状態を示しています。このような機器は使用する機器として選択することができません。

i.LINK機器の選択

- 本機からi.LINK機器を操作するためには、使用するi.LINK機器を選択する必要があります。
- 最大16台のi.LINK機器から、使用する1台を選択できます。
- 接続されたi.LINK機器は、自動的に機器選択画面のリストに登録されます。

1 i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。(**162**ページ参照)
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で「機器選択」を選び、決定を押す

- 機器選択画面が表示されます。

3 操作したい機器を ▲ ▼ で選び、決定を押す

- 選んだi.LINK機器の操作パネルが表示されます。

i.LINK機器の使用解除

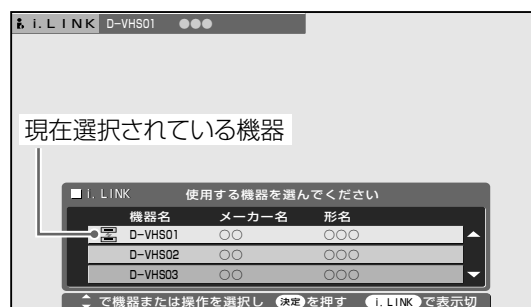
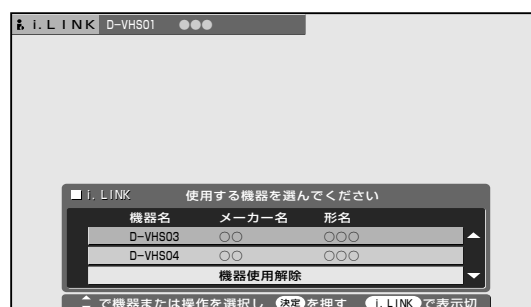
フタを閉じたところ

- 登録されたi.LINK機器の使用を解除できます。
- i.LINK機器の使用を解除することにより、その機器を別のi.LINK機器から使用できるようになります。

1 **(i.LINK)を押し、i.LINK操作パネルを表示する**

- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。（**162**ページ参照）
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

2 **(▲)(▼)(◀)(▶)で「機器選択」を選び、(決定)を押す**

- 機器選択画面が表示されます。

3 **(▼)で、リストの一番下にある「機器使用解除」を選び、(決定)を押す**

- i.LINK機器の使用が解除されます。

- 本機で使用しているi.LINK機器を他のi.LINK機器で使用するためには、本機の機器選択画面から「機器使用解除」を行ってください。

次ページへつづく

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

フタを閉じたところ

i.LINK機器の登録削除

- 機器選択画面に登録されているi.LINK機器を、リストから削除できます。
- 接続されているi.LINK機器は、削除できません。

1

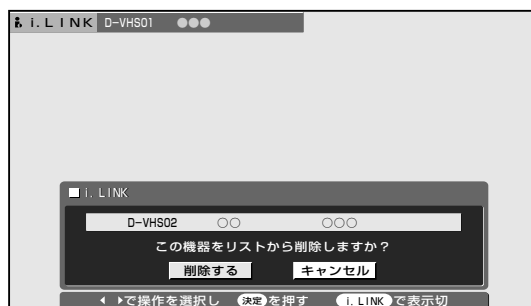
① i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

② ▲ ▼ ◀ ▶ で「機器選択」を選び、決定 を押す

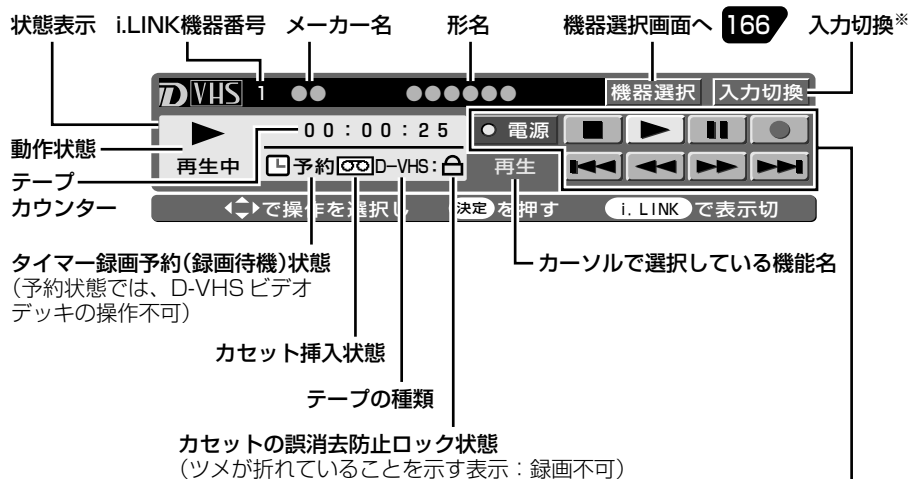
2

削除したいi.LINK機器を ▲ ▼ で選び、決定 を押す

3

◀ で「削除する」を選び、決定 を押す

- 選んだi.LINK機器がリストから削除されます。
- 削除しないときは、「キャンセル」を選んで決定ボタンを押します。

i.LINK機器の操作のしかた

■ i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの操作ができます。
画面にi.LINK操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作します。
■ 操作を始める前に、**164**ページの「**i.LINK設定を行う**」を済ませておいてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

※入力切換ボタンについて
● i.LINK操作パネルの入力切換ボタンは、デジタル放送とi.LINK入力との切換えに使用します。

●操作ボタンの機能

ボタン	機能	ボタン	機能
電源	電源の入／切	⏮	1つ前に戻って頭出し
■	停止	◀◀	巻戻し
▶	再生	▶▶	早送り
❚❚	一時停止	⏭	1つ先に進んで頭出し
●	録画開始		

次ページへつづく

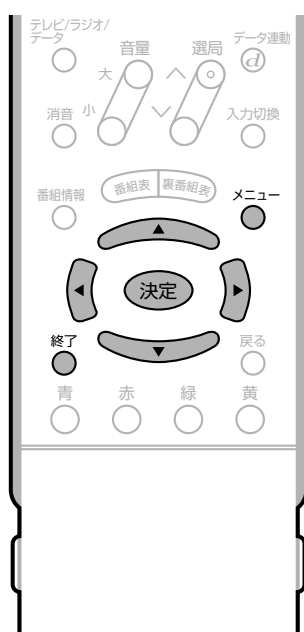
D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキが再生状態のとき、i.LINK操作パネルの入力切換ボタンにカーソルを合わせ、リモコンの決定ボタンを押すと、デジタル放送の映像・音声に切り換わります。
- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、D-VHSビデオデッキが再生している映像・音声を視聴することができない場合があります。
- D-VHSビデオデッキによっては、VHSテープやS-VHSテープ、またはアナログで記録されているD-VHSテープの再生映像・音声を本機のi.LINK入力で視聴することができない場合があります。この場合は、D-VHSビデオデッキのアナログ出力を本機のアナログ外部入力に接続し、本機を外部入力に切り換えてから視聴してください。
- D-VHSのタイマー録画予約中に本機のi.LINK操作パネルで操作すると、タイマー録画予約に失敗することがありますので、D-VHSのタイマー録画予約中はi.LINK操作パネルを操作しないでください。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- デジタル固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示できません。
- i.LINK操作パネルと、番組表やメニューなどを同時に(重ねて)表示することはできません。
- 番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画・録音ができない場合があります。
- 使用しているD-VHSビデオデッキによっては、特殊再生時(送り再生や戻し再生など)に、映像の品位が悪くなる場合があります。

- IEEE1394は、米国電子電気技術者協会(IEEE)によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK(アイリンク)とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

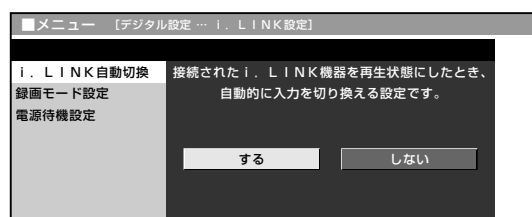
i.LINK自動切換の設定

■ i.LINKで接続したD-VHSビデオデッキを再生状態にしたとき、自動的に入力が「i.LINK」に切り換わるように設定することができます。

フタを閉じたところ

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ▲ ▼ ◀ ▶ で「デジタル設定」の「i.LINK設定」を選び、決定を押す

③ ▲ ▼ で「i.LINK自動切換」を選び、決定を押す

④ ◀ ▶ で「する」を選び、決定を押す

⑤ メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

i.LINK機器でデジタル放送を録画する

■ 以下の操作をする前に、**164**ページの「**i.LINK設定を行う**」を済ませておいてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

フタを閉じたところ

1 録画したいデジタル放送の番組を選局する

2 i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

3 ▲▼◀▶で ●（録画ボタン）を選び、決定を押す

●録画が開始します。
●録画を止めるときは、（停止ボタン）を選んで決定ボタンを押します。

おしらせ

- 録画中は、入力切換ボタンで「i.LINK」を選ぶことはできません。
- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINKコントロール画面（操作パネル）にある操作ボタンで操作できないことがあります。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキがタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- i.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- デジタル固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示することができません。

音響機器をつなぐ

■チューナー部後面のモニター／録画出力(「モニター出力(固定または可変)」に設定時)は、録画機器をつなぐ使いかた(**150**ページ参照)以外に、お手持ちの音響機器をつないで音声を楽しむなどの使いかたができます。

音響機器との接続のしかた

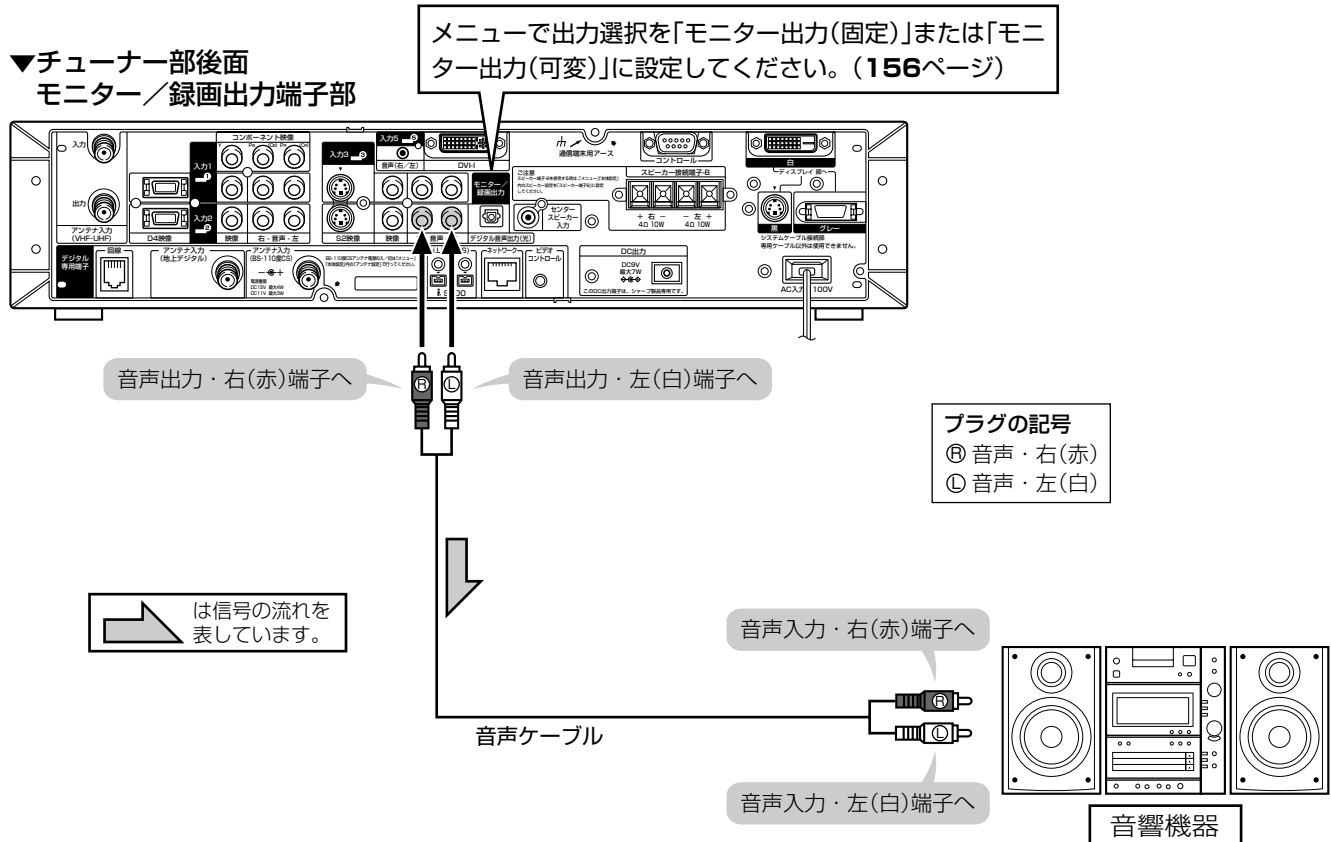
▼チューナー部後面
モニター／録画出力端子部

メニューで出力選択を「モニター出力(固定)」または「モニター出力(可変)」に設定してください。(**156**ページ)

音声出力・右(赤)端子へ
音声出力・左(白)端子へ

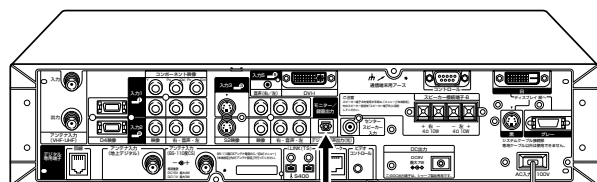
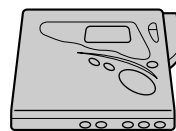
プラグの記号
Ⓡ 音声・右(赤)
Ⓛ 音声・左(白)

は信号の流れを表しています。

音声入力・右(赤)端子へ
音声ケーブル
音声入力・左(白)端子へ
音響機器

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- モニター／録画出力の音声端子(「モニター出力」に設定時)からの音声出力レベルを「固定」にするか「可変」にするか設定することができます。
  操作のしかたなど、詳しくは**156**ページをご覧ください。

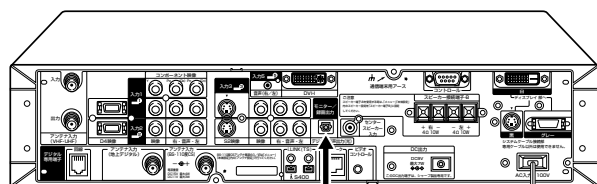
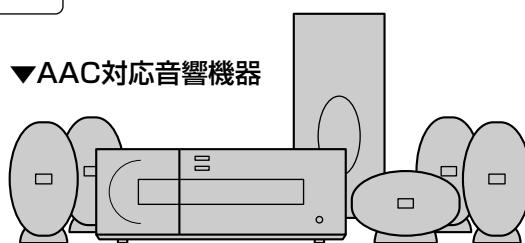
デジタル音声出力(光)端子から録音する

■ デジタル音声ケーブルを使って、「デジタル音声入力(光)端子」のある音響機器と接続すると、デジタル放送の音声を高音質で録音できます。

接続のしかた

<例>ポータブルMDプレーヤー

※録音、再生のしかたについては、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。

■ また、本機のデジタル音声出力(光)端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。

接続のしかた

<例>1ビットシアターシステム

- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はモニター音声出力の内容と同じです。
- 設定により、つねにデジタル放送の音声がデジタル音声出力(光)端子から出力されるようにすることができます。（**175**ページの**「デジタル音声出力の設定」**をご覧ください。）
- デジタル音声設定を「AAC」にしているとき、字幕放送やデータ放送の一部の音声は、本機のデジタル音声出力(光)端子から出力されません。
- デジタル音声出力(光)端子からの出力では、バーチャルドルビーサラウンドの効果が得られません。
- 番組により録音・録画が制限されている場合があります。
- 一部のラジオ放送は、デジタル録音することができません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

次ページへつづく

音響機器をつなぐ(つづき)

■ チューナー部後面のデジタル音声出力(光)端子の出力信号形式を、接続する音響機器に合わせて選択できます。

フタを閉じたところ

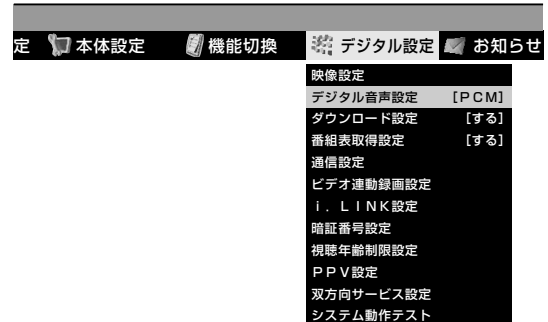
● 接続する機器がAAC／PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。
●「AAC」に設定した場合でも、地上アナログ放送(VHF、UHF)やCATV放送の音声、ビデオ入力の音声は、「PCM」で出力されます。
●「AAC」に設定した場合、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。

デジタル音声出力(光)端子の設定

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲▼で「デジタル音声設定」を選び、決定を押す

2

接続する機器に合わせて「PCM」または「AAC」を▲▼で選び、決定を押す

「PCM」……音声AACに対応していない音響機器(例．MDプレーヤー、MDコンポなど)に接続するとき

「AAC」……音声AAC対応のAVアンプなどに接続するとき

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

二重音声の出力のされかたについて

● 設定により、デジタル音声出力(光)端子から出力される音声が変わります。

「PCM」のとき… 視聴音声と同じもの(主、副、または主／副)が出力されます。

「AAC」のとき… 主と副の両方の音声(主／副)が聞こえます。

■ デジタル音声出力(光)端子からの出力を、デジタル固定と連動させるか否かを設定することができます。(デジタル固定…**157**ページ参照)

「連動」……デジタル固定した場合、固定したデジタル放送チャンネルの音声が出力されます。
「非連動」…デジタル固定の設定に関係なく、選択されているチャンネルや入力の音声が出力されます。

フタを閉じたところ

デジタル音声出力の設定

1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「機能切換」を選ぶ

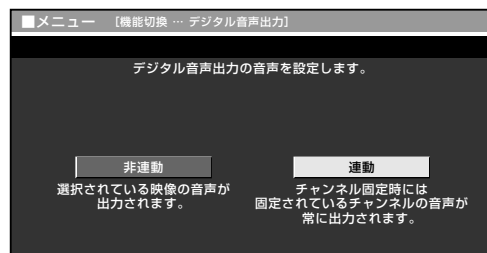
③ ▲ ▼ で「デジタル音声出力」を選び、決定 を押す

●デジタル音声出力設定画面が表示されます。

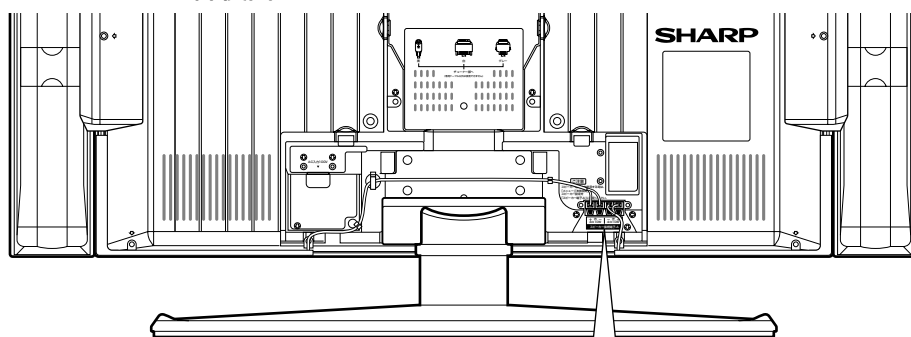
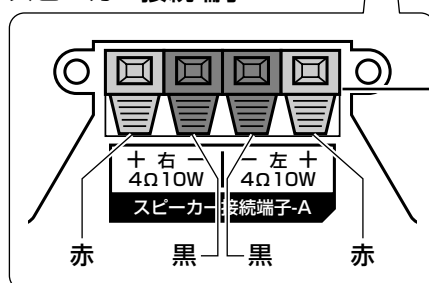
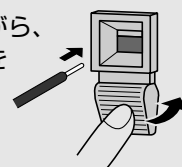
2

◀ ▶ で「非連動」または「連動」を選び、決定 を押す

3

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

音響機器をつなぐ(つづき)

外部スピーカーをディスプレイ部に接続する

ご注意	接続するときは、ディスプレイ部天面の電源(押・入-切)スイッチを「切」にしてから行ってください。

外部スピーカーは必ず、4Ω 10Wの仕様のものをお使いください。

スピーカー設定を行ってください

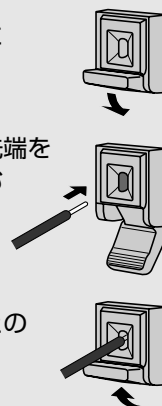
- ディスプレイ部(スピーカー接続端子ーA)に接続した外部スピーカーを使うときは、メニュー内「本体設定」の「スピーカー設定」でつぎの設定を行ってください。(**178**･**179**ページ参照)
  スピーカー切換… 「スピーカー端子A」を選択します。
  音質補正………… 「しない」を選択します。

- 付属スピーカーの取り外しかた、取り付けかたについては、準備編**14**ページをご覧ください。

スピーカー端子とケーブルの極性(⊕、⊖)にご注意ください

■ スピーカー端子には⊕(プラス)と⊖(マイナス)の極性があります。⊕端子は赤、⊖端子は黒になっています。
ケーブルも⊕(プラス)用と⊖(マイナス)用に分かれています。
左右のスピーカーケーブルを接続する際は、それぞれ、⊕端子どうし、⊖端子どうしを正しいケーブルでつないでください。

外部スピーカーをチューナー部に接続する

ご注意	接続するときは、ディスプレイ部天面の電源(押・入-切)スイッチを「切」にしてから行ってください。

スピーカー設定を行ってください

- チューナー部（スピーカー接続端子ーB）に接続した外部スピーカーを使うときは、メニュー内「本体設定」の「スピーカー設定」でつぎの設定を行ってください。（**178**･**179**ページ参照）
  スピーカー切換… 「スピーカー端子B」を選択します。
  音質補正………… 「しない」を選択します。

スピーカー端子とケーブルの極性(⊕、⊖)にご注意ください

■ スピーカー端子には⊕(プラス)と⊖(マイナス)の極性があります。⊕端子は赤、⊖端子は黒になっています。
ケーブルも⊕(プラス)用と⊖(マイナス)用に分かれています。
左右のスピーカーケーブルを接続する際は、それぞれ、⊕端子どうし、⊖端子どうしを正しいケーブルでつないでください。

音響機器をつなぐ(つづき)

使用するスピーカーを選択する

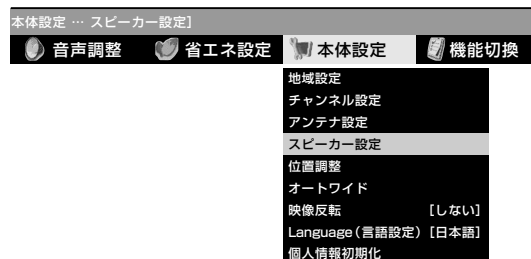
■ 外部スピーカーを使うときは、メニュー画面でスピーカー切換の設定をする必要があります。

1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶ で「本体設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「スピーカー設定」を選び、決定 を押す

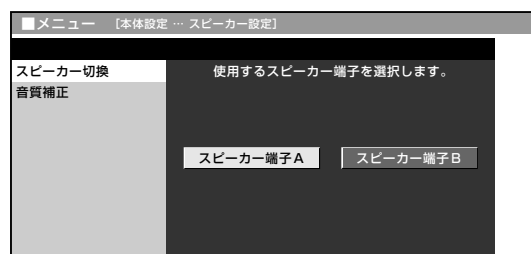
2

① ▲ ▼ で「スピーカー切換」を選び、決定 を押す

② ◀▶ で「スピーカー端子A」または「スピーカー端子B」を選び、決定 を押す

「スピーカー端子A」…ディスプレイ部に接続したスピーカーを使うとき。

「スピーカー端子B」…チューナー部に接続したスピーカーを使うとき。

3

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

音質補正の設定

■ 本機に付属しているスピーカーの性能をより引き出すため、工場出荷状態では、スピーカーへ出力される音声に補正をかけています(音質補正「する」に設定されています)。
お手持ちのスピーカーを本機に接続して使用される場合には、音質補正「しない」に設定してください。

フタを閉じたところ

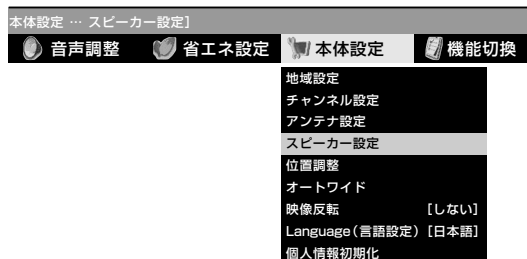
1

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「本体設定」を選ぶ

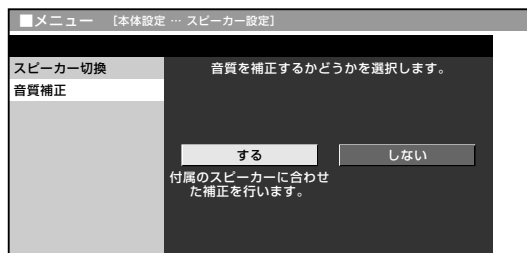
③ ▲ ▼ で「スピーカー設定」を選び、決定 を押す

2

① ▲ ▼ で「音質補正」を選び、決定 を押す

② ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」…… 付属のスピーカーに適した音質補正を行います。
「しない」… 音質補正を行わず、フラットな出力を行います。

3

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

● ドルビーバーチャルが「入」のときは、音質補正が自動的に「しない」に固定され、音質補正の設定ができません。(「スピーカー設定」の項目が灰色表示になり、選択することができなくなります。)

音響機器をつなぐ(つづき)

本機の音声アンプとスピーカーをセンター音声用として使う

■ 本機に内蔵されている音声アンプとスピーカーを、5.1chサラウンド対応AVアンプのセンター音声用として使用することができます。

接続のしかた

フロントスピーカー(左)

フロントスピーカー(右)

サブウーハー

センタースピーカー

システムケーブル

▼チューナー部後面

D4映像入力端子へ

センタースピーカー入力端子へ

センター出力端子(プリアウト)へ

D端子ケーブル

音声入力端子へ

5.1chサラウンド対応AVアンプ

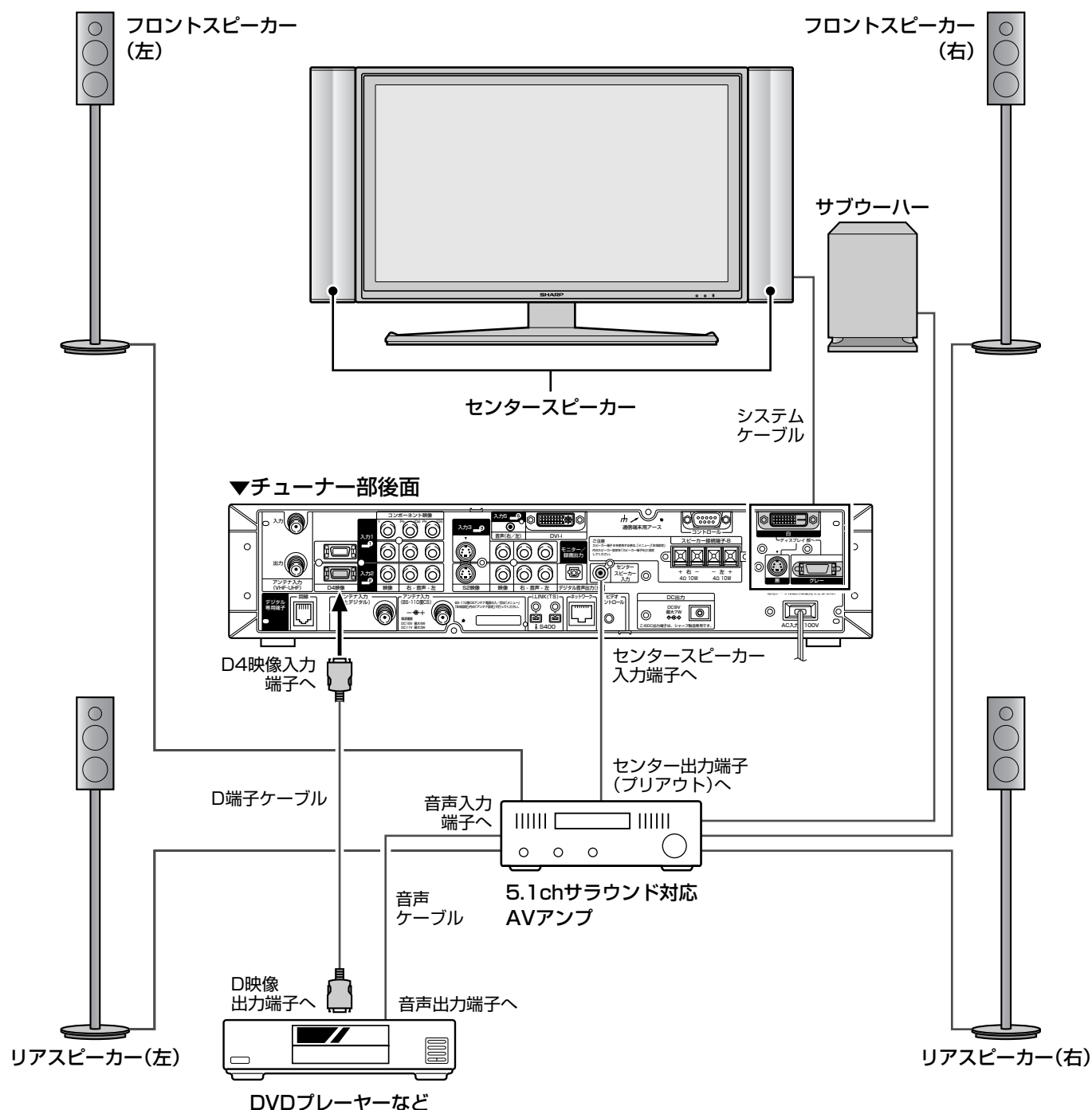
音声ケーブル

D映像出力端子へ

音声出力端子へ

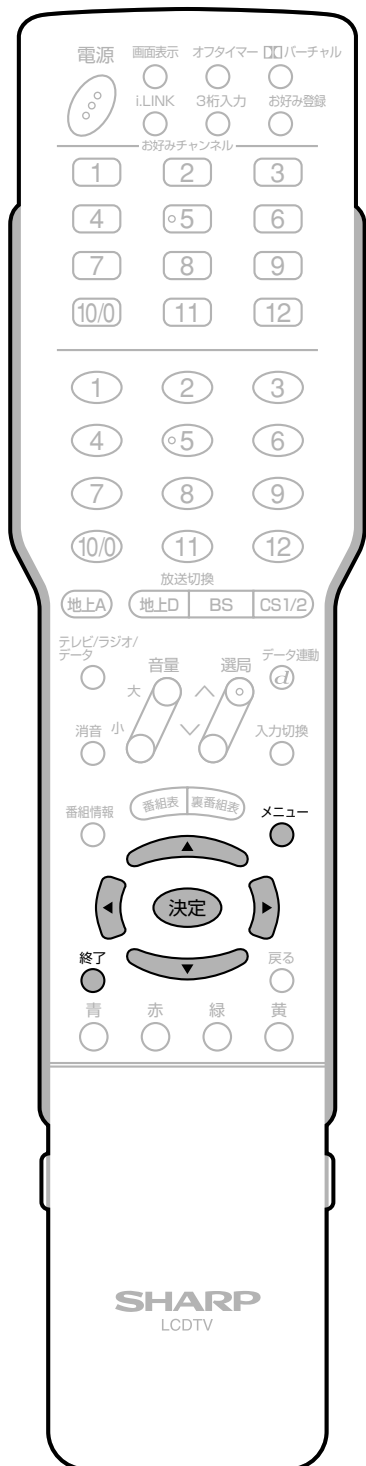
リアスピーカー(左)

リアスピーカー(右)

DVDプレーヤーなど

- 接続するまえに、必ず、本機および接続する機器の電源を切ってください。
- 接続できる5.1chサラウンド対応AVアンプは、センター出力端子(プリアウト)を持っている機器のみです。また、接続について詳しくは、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- メニューの「機能切換」でセンタースピーカー入力を「する」に設定します。(**181**ページ参照)

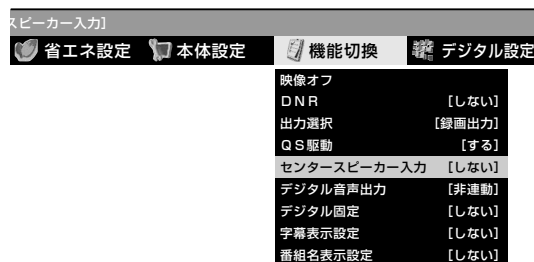
■ 本機に内蔵されている音声アンプとスピーカーを5.1chサラウンド対応AVアンプのセンター音声用として使用するときは、メニューでセンタースピーカー入力の設定を行います。

センタースピーカー入力の設定

1

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「機能切換」を選ぶ

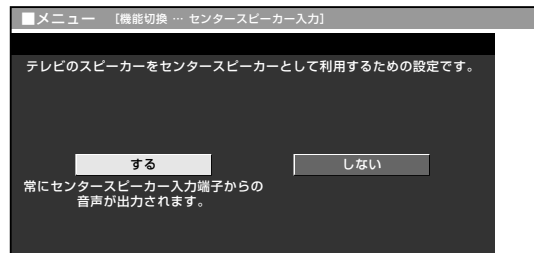
③ ▲▼で「センタースピーカー入力」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

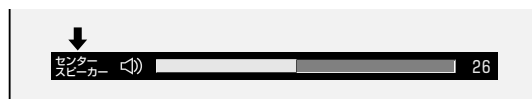
「する」…… センタースピーカーとして使うときに選びます。

「しない」… 通常の設定です。

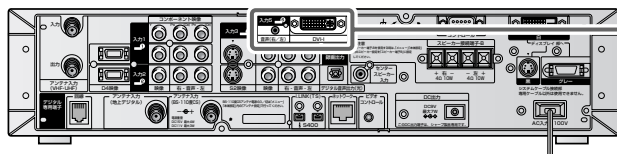
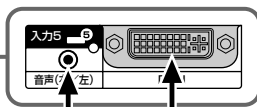
3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

センタースピーカー入力を「する」に設定すると

● チャンネルサインの下に「センタースピーカー」と表示されます。

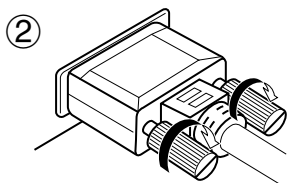
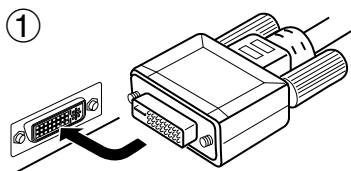
● 音量表示に「センタースピーカー」と表示されます。

PC(パソコン)をつなぐ

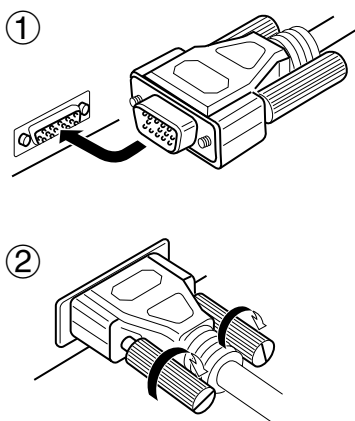
接続のしかた

DVI出力端子付きPCとの接続

DVIデジタルケーブルの取扱いについて

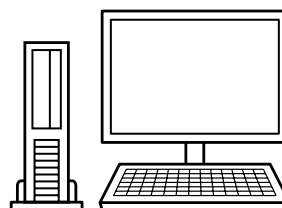
チューナー部とPCを接続するDVIデジタルケーブルは、端子とプラグの形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。

①

②

メニューの入力選択で、入力5の設定を「デジタルPC」にします。

● 操作方法については、**147**ページをご覧ください。

RGB出力端子付きPCとの接続

メニューの入力選択で、入力５の設定を「アナログPC」にします。

●操作方法については、**147** ページをご覧ください。

PC(パソコン)をつなぐ(つづき)

PC入力対応表

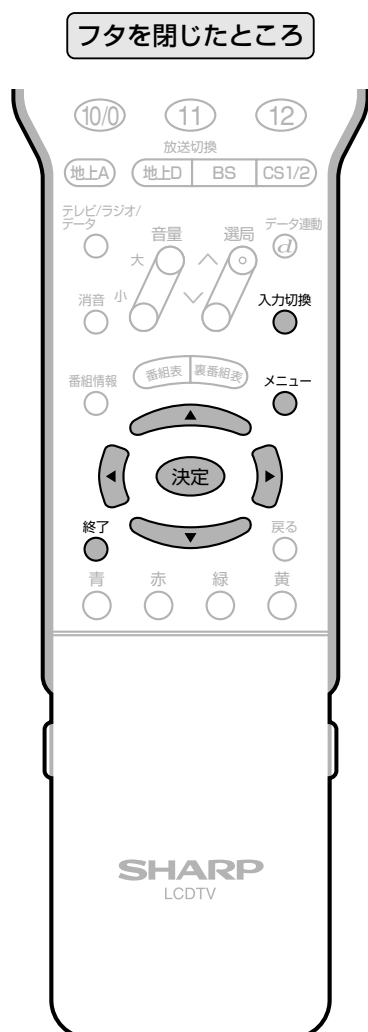
PC/Mac	解像度		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格
PC	VGA	640×400	31.5	60	
			37.9	85	○
		720×400	31.5	60	
			37.9	85	○
		640×480	31.5	60	○
			37.9	72	○
			37.5	75	○
			43.3	85	○
	WVGA	848×480	31.5	60	
	SVGA	800×600	35.1	56	○
			37.9	60	○
			48.1	72	○
			46.9	75	○
			53.7	85	○
	XGA	1024×768	48.4	60	○
			56.5	70	○
			60.0	75	○
			68.7	85	○
	WXGA	1280×720	45.0	60	
		1280×768	48.1	60	
	SXGA	1280×1024	64.0	60	○
Mac13"	VGA	640×480	34.9	67	
Mac16"	SVGA	832×624	49.7	75	
Mac19"	XGA	1024×768	60.2	75	

- PC接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。(自動同期調整……**37**ページ参照)
- PC入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、**32**ページ「**PC入力の画面サイズの種類と切換え**」をご覧ください。

入力解像度を選択する

■ PC入力時、入力信号によっては、入力解像度を手動で選択する必要がある場合があります。
■ 入力された信号が下の表に掲載されている信号のとき、横に並んだ信号どうしは自動的に判別ができません。この場合は、「入力解像度」の設定で、どの信号(解像度)として表示するかを手動で選択します。一度選択すると、それ以降、同じ信号が入力されたとき、最後に選択した信号(解像度)として表示します。

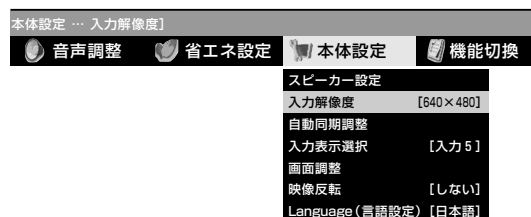
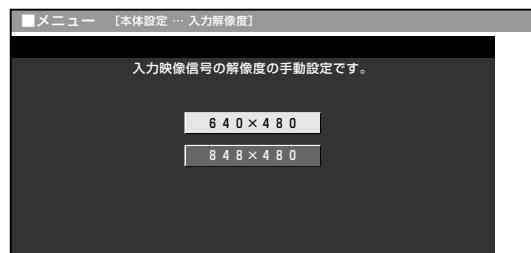
640×400	720×400
640×480	848×480
1024×768	1280×768

※ この表に掲載されている信号(6種類)が入力されたときのみ、「入力解像度」の項目を選択することができます。
※ 垂直ライン数(非表示期間を含む)が特殊な一部の信号では、解像度を正しく判別できないことがあります。

1 入力切換 をくり返し押し、入力5(PC入力)にする

2
① メニュー を押し、メニュー画面を表示する
② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ
③ ▲ ▼ で「入力解像度」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で入力解像度を選び、決定 を押す

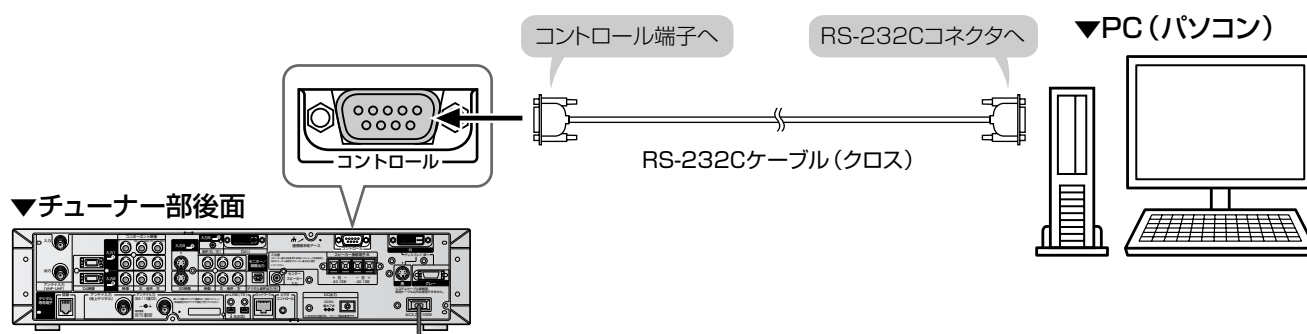
(画面例)

4 メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

PC(パソコン)で本機を制御する

PC(パソコン)による本機の制御について

この操作システムはPC(パソコン)を使い慣れたかたのご利用をお願いいたします。

■ ターミナルソフトなどを利用して、RS-232Cコネクタでつないだ PC(パソコン)から本機を制御することができます。チャンネル切換え、入力切換え、音量調整などの操作を行うことができます。
■ 接続には、市販のRS-232Cケーブル(クロス)をご用意ください。

接続のしかた

通信仕様

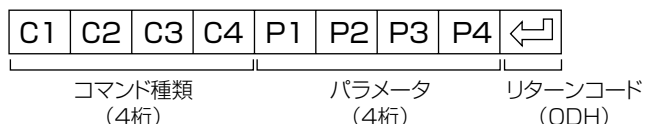
■ PC側のRS-232C通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。
■ 本機の仕様は、以下のとおりです。

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし

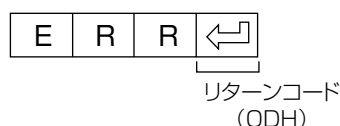
ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

通信手順

■ PCからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージをPC側に送ります。
■ 複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時のレスポンス(OK)を受けとってから、つぎのコマンドを送信するようにしてください。

コマンド(PCから本機へ)

レスポンス(本機からPCへ)

● 正常時

● 異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき)

RS-232Cコマンド一覧

■下の表に掲載されている以外のコマンドについては動作保証範囲外です。

機　能		“A”part	“B”part	Part動作説明	備　考
電源		POWR	0		スタンバイへ移行
入力切換	トグル	ITGD	–	（トグル）	トグルで入力切換（入力切換ボタンと同じ）
	テレビ	ITVD	–		テレビに入力切換（チャンネルはそのまま［ラストメモリー］）
	入力1～5	IAVD	1～5	（入力端子番号）	入力1～入力5に入力切換
	i.LINK	LINK	–		i.LINKに入力切換
	カード	ICRD	–		カードに入力切換
	放送切換（デジタル）	IDEG	–	（トグル）	デジタル放送のネットワーク切換
チャンネル切換	地上アナログ	CAIR	1～20	テレビのチャンネル番号	UV表示でなかったら入力切換含む（リモコン番号選択）
	CATV	CATV	13～63	CATVのチャンネル番号	CATV表示でなかったら入力切換含む
	BSデジタル3桁入力	CBSD	0～999	BSデジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CS1デジタル3桁入力	CCS1	0～999	CS1デジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CS2デジタル3桁入力	CCS2	0～999	CS2デジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	地上デジタル	CTBD	0～999	地上デジタルチャンネル番号	枝番入力が必要な場合にはラスト枝番、同一チャンネル選択時は順に枝番を選択
	選局順	CHUP	–	テレビのチャンネル番号＋1	リモコン選局順と同じ動作（入力切換含む）
	選局逆	CHDW	–	テレビのチャンネル番号－1	リモコン選局逆と同じ動作（入力切換含む）
入力選択	入力1	INP1	0	自動	入力切換含む。入力5以外で有効
	入力2	INP2	1	D端子	入力1、入力2のみ有効
	入力3	INP3	2	コンポーネント	入力1のみ有効
	入力4	INP4	3	S端子	入力3、入力4のみ有効
	入力5	INP5	4	ビデオ映像	入力5以外で有効
			5	デジタルPC	入力5のみ有効
			6	アナログPC	入力5のみ有効
			7	デジタルAV	入力5のみ有効
			8	アナログAV	入力5のみ有効
AVポジション		AVMD	0	（トグル）	現在選択できるものの中でトグル動作
			1	標準	PC視聴時には標準（1）とAVメモリー（4）のみ有効
			2	映画	
			3	ゲーム	
			4	AVメモリー	
			5	ダイナミック固定	
			6	ダイナミック	
音量		VOLM	0～60	音量値	
位置調整・画面調整	水平位置	HPOS	−10～+10	移動値	テレビ／AV入力時
			0～180	移動値	PC入力時
	垂直位置	VPOS	−20～+20	移動値	テレビ／AV入力時
			0～100	移動値	PC入力時
	クロック周波数	CLCK	0～180	移動値	PC入力時のみ有効
	クロック位相	PHSE	0～40	移動値	PC入力時のみ有効
画面サイズ		WIDE	0	（トグル）	現在選択できるものの中でトグル動作
			1	ノーマル	ビデオ映像・S端子・コンポーネント525i 525p・D端子525i 525p・デジタル放送525i 525p・アナログチューナー視聴時
			2	ワイド	
			3	シネマ　AV	
			4	フル	
			5	フル1	コンポーネント1125i 750p・D端子1125i 750p・デジタル放送1125i 750p視聴時
			6	フル2	
			7	ノーマル	入力解像度により選択できない項目あり
			8	シネマ　PC	
			9	フル	
			10	Dot by Dot	
消音		MUTE	0	（トグル）	消音オン、オフのトグル
			1	消音	
			2	消音解除	
ドルビーバーチャル		ACDV	0	（トグル）	トグル動作
			1	入	
			2	切	
音声切換		ACHA	–	（トグル）	
オフタイマー		OFTM	0	解除	
			1	オフタイマー30分	
			2	オフタイマー1時間	
			3	オフタイマー1時間30分	
			4	オフタイマー2時間	
			5	オフタイマー2時間30分	

※“B”part 欄の「–」はスペースを意味します。

PC(パソコン)で本機を制御する(つづき)

通信内容

■通信設定

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし

ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

■コマンド形式

アスキー8文字+CR

"A" part......コマンド（テキスト4文字）
"B" part......引数 (0～9、ー、空白、?)

■引数

"B"partには左詰めで入力し、残りはスペースで埋めます。（必ず4文字になるようにしてください。）
設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。（「返り値」参照）
表中で引数が「ー」になっているものは、数値であれば何を書いてもかまいません。

0			

0	0	0	9

−	3	0	

1	0	0	

0	0	5	5

いくつかのコマンドは、引数に「？」を与えることにより、現在の設定値を返します。

?			

?	?	?	?

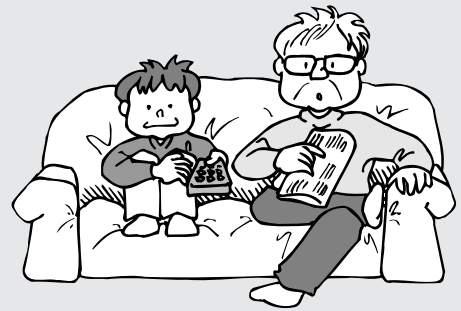
■返り値

コマンドの実行が終了したら、下記戻り値を返します。

O	K	(CR)

コマンドが実行できなかったり、コマンド表になかったりした場合は、下記戻り値を返します。

E	R	R	(CR)

カードを使う

● この章では、市販のメモリーカードとPCカードアダプターを使って、静止画・動画の記録／録画や再生をしたり、電子ブックの再生を楽しむときの操作方法について説明しています。

メモリーカードを使用する前に

■ メモリーカードご使用前のおことわり

当社は、この製品の使用誤り、ご使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、一切その責任を負いません。
お客さままたは第三者がこの製品の使いかたを誤ったときや、静電気、電気的ノイズの影響を受けたときは記憶内容が変化、消失するおそれがあります。
大切な記録の場合は、あらかじめ記録テストを行い、録画、録音状態をお確かめください。
この製品を使用中、万一不具合により、録画、録音されなかった場合の内容の保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

著作権について

テレビ、ビデオ等の映像、音楽等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者から許諾を受けている等の事情がないにもかかわらず、この範囲を超えて複製、編集や複製物、編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者から損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用法は厳重にお控えください。
また、他人の肖像が含まれる画像データを利用する場合、他人の肖像を勝手に使用等すると肖像権を侵害することになりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

■ 記録方式について

静止画	記録／再生ファイル形式	JPEG（DCF準拠）
	取込み静止画サイズ	640×480ドット
動　画	録画ファイル形式	ファイン／ノーマル…ASF（動画：MPEG-4準拠、音声：WMA準拠） ポータブル…ASF（動画：MPEG-4準拠、音声：G.726準拠）
	取込み動画サイズおよびコマ数	ファイン…サイズ：320×240ドット、コマ数：約30コマ／秒 ノーマル…サイズ：320×240ドット、コマ数：約30コマ／秒 ポータブル…サイズ：320×240ドット、コマ数：約15コマ／秒
	再生ファイル形式	ASF（動画：MPEG-4準拠、音声：WMA準拠） ASF（動画：MPEG-4準拠、音声：G.726準拠）
電子ブック	再生ファイル形式	XMDF（拡張子：ZBF）、TEXT（拡張子：ZBK、TXT）

■ 記録時間の目安について

静止画での記録枚数の目安

	画像サイズ	メモリーカード容量	
		32MB	128MB
静止画記録枚数の目安	640 × 480	約 300 枚	約 1000 枚

※記録枚数は、テレビの受信状態および映像の内容によって異なります。

動画での録画時間の目安

	画像サイズ	録画モード	メモリーカード容量	
			256MB	5GB
動画録画時間の目安	320 × 240	ファイン	約 10 分	約 4 時間
	320 × 240	ノーマル	約 30 分	約 10 時間
	320 × 240	ポータブル	約 1 時間	約 25 時間

※ 動画録画時間は、テレビの受信状態や映像の内容によって異なります。
※ 表示できるファイルは、静止画・動画・電子ブックを合わせて1024枚までです。
※ ファイル容量が4GBを超えたり、録画時間が12時間を超えると、記録／録画や再生ができません。

メモリーカードについて

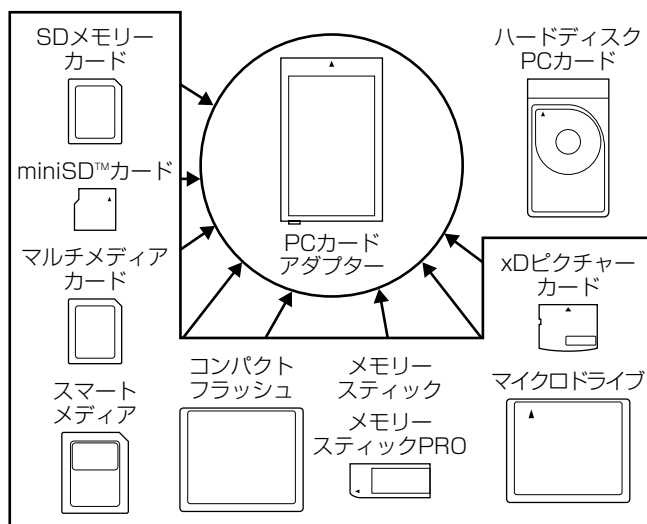
市販のメモリーカードについて

■ 市販のメモリーカードを使って、記録／録画や再生ができます。
- メモリーカードには、それぞれに適合したPCカードアダプター(市販品)をご使用ください。
- ご利用可能なメモリーカード(市販品：メモリーカードの名称は各メーカーによって異なります。)

ご利用可能なメモリーカード (2004年2月現在)

メモリーカード名	使用できるメモリーカード容量
SDメモリーカード	512MB以下が使用できます。
miniSD™カード	32MB以下が使用できます。
マルチメディアカード	128MB以下が使用できます。
スマートメディア	128MB以下が使用できます。
コンパクトフラッシュ	2GB以下が使用できます。
メモリースティック	128MB以下が使用できます。
メモリースティックPRO	1GB以下が使用できます。
マイクロドライブ	2GB以下が使用できます。
xDピクチャーカード	128MB以下が使用できます。
ハードディスクPCカード	5GB以下が使用できます。

※ 各メモリーカード名は商標です。
※ メモリースティックの容量はあくまでも目安です。メーカーによって容量は異なります。

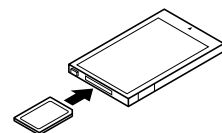
- デジタルカメラで撮影した画像をメモリーカードから読み込むには、各メーカー推奨のPCカードアダプターをご使用ください。(名称は各メーカーによって異なります。)
- デジタルカメラやPCカードアダプターの取扱い等につきましては、それぞれの製品に付属されている取扱説明書をご覧ください。

■ 本機以外でメモリーカードに記録されたDCF規格※のJPEG静止画像が、静止画モードで再生できます。

※ DCF(Design rule for Camera File system)はデジタルカメラで撮影した画像ファイル形式を標準化した、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の規格です。

- 市販のメモリーカードおよびPCカードアダプターには、動作できないものもあります。
- メモリーカードとPCカードアダプターの組合せによっては、動作できない場合があります。
- 本機以外の機器で記録した動画は、正常に再生できないことがあります。

メモリーカードの準備

PCカードアダプター(市販品)にメモリーカード(市販品)を装着する

[例] SDメモリーカードをPCカードアダプターに挿入する

メモリーカードおよび PC カードアダプターの取扱いについてのご注意

データが壊れたり、正常に動作しなくなることがありますので、メモリーカードおよびPCカードアダプターの取扱いには、つぎのようなことをお守りください。
- 上表以外のメモリーカードでの画像記録／録画・再生は保証できません。
- PCカードアダプターにはメモリーカードの容量について動作規定されている場合がありますので、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- お手持ちのパソコンで作成や修正・コピー等、編集された画像は一部再生できない場合があります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水気、直射日光を避けて保管してください。
- 分解したり改造しないでください。
- メモリーカードおよびPCカードアダプターの取扱いについて詳しいことは、それぞれに付属している取扱説明書をお読みください。
- メモリーカード動作中(アクセス表示中、記録中、スライドショー時などに)、本機の電源を切らないでください。
- 本製品の使いかたを誤ったとき、静電気や電気的ノイズの影響を受けたときなどは、記憶内容が変化消失する恐れがありますので、定期的にデータをバックアップしてください。
- 重要なファイルはパソコンなどに必ずバックアップしてください。

※ 以降、メモリーカードを装着したPCカードアダプターを「カード」と呼びます。

カードの装着

- カードの記録／録画中(カードランプが赤色点灯中)は、絶対にカードを抜き差ししないでください。カードが破損する場合があります。
- カード挿入口に異物等を入れないでください。故障の原因となります。

カードを装着するとき

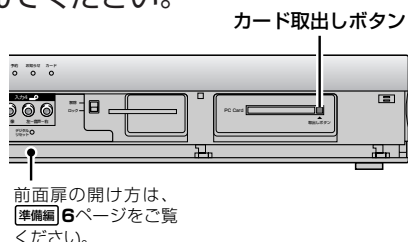
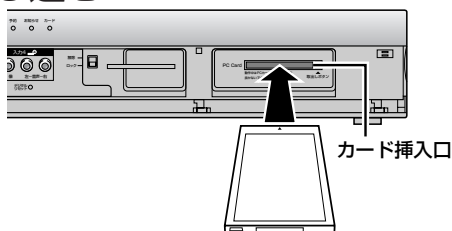
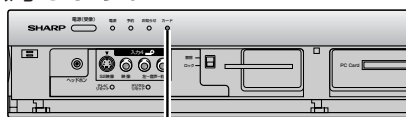
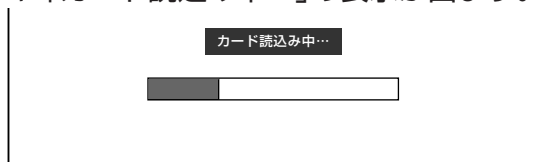
■ あらかじめ、メモリカード(市販品)をPCカードアダプター(市販品)に装着しておきます。(**191**ページ参照)

1

① チューナー部前面の扉を開く

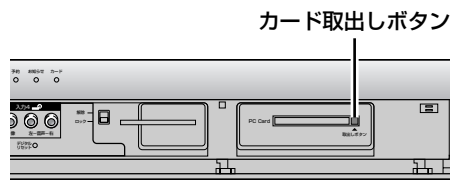
- 扉の開けかたは、準備編**6**ページをご覧ください。

② カード取出しボタン 取出しボタン が押し込まれた状態になっていることを確認する

- とび出した状態になっているときは、押し込んでください。

2 カードをカード挿入口に、ゆっくり差し込む

- カードを装着すると、カードランプが緑色に点灯します。

- カード入力が選択されている場合は、画面に「カード読込み中…」の表示が出ます。

カードを取り出すとき

1 カードランプが緑色になっていることを確認する

2 カード取出しボタン 取出しボタン を1回押す

- カード取出しボタンがとび出した状態になります。

3 もう一度、カード取出しボタンを押す

- カードが出てきます。

4 カードを取り出す

- カード取出しボタンが確実に押し込まれた状態になっていることを確認してください。

- 「カードが挿入されていません」と表示された場合は、カードを抜いて、再度、ゆっくり確実に差し込んでください。
- カードの中に1000以上のファイルが入っている場合、ファイルの読込みに時間がかかることがあります。(約5分程度)
- カードを挿入してカードランプが緑色に点灯しても、すぐには録画や記録ができません。
- カード取出しボタンが押し込まれた状態になっていないと、カードが動作しません。カード取出しボタンが押し込まれた状態でご使用ください。
- カードを取り出すときは、カードランプが緑色になっていることを確認してから取り出してください。赤色に点灯しているときは、絶対に取り出さないでください。カードが破損する場合があります。

カード機能について

カードに録画する

正しく録画するためにつぎの設定があります。

動画を録画するとき

●録画モード…… 動画を録画するときの画質を設定します。

●戻し録画……… 瞬間を録画するとき、確実に録画するための設定です。

カードを再生する

動画・静止画の再生のしかたには、つぎのような方法があります。

動画を再生するとき

●リピート再生 ……………… 選んだ動画ファイルをくり返し再生します。

●スロー再生 ………………… 選んだ動画ファイルを通常より遅いスピードで再生します。

●プロテクト／消去………… 不要なファイルの消去や消したくないファイルをプロテクトします。

静止画を再生するとき

●スライドショー再生…… 静止画が順番に一定時間表示されて切り替わります。

●マイプログラム再生…… 指定した順番で静止画を再生します。

●画像回転 …………………… 静止画を回転表示します。

●音声選択 …………………… 静止画再生中、バックグラウンドミュージックを流すことができます。

●プロテクト／消去………… 不要なファイルの消去や消したくないファイルをプロテクトします。

電子ブックを再生する

電子ブックの再生のしかたには、つぎのような方法があります。

電子ブックを再生するとき

●しおりをはさむ………… 現在見ているページにしおりをはさみます。

●表示設定 ………………… 開いた本の文字の大きさや縦横表示が変えられます。

●自動再生 ………………… 本のページを自動でページ送り、行送りします。

●書籍情報 ………………… 本の情報を見ることができます。（電子ブックに情報が入っているとき）

●本を閉じる ……………… 本を閉じて、電子ブックリスト画面に戻ります。

●プロテクト／消去……… 消したくないファイルをプロテクト（保護）したり、不要なファイルを消去します。

カードを初期化する

●カード初期化

機能モードを選ぶ

機能モードを選ぶ

■ 機能モードには、「静止画」「動画」「電子ブック」の3種類があります。

機能モード切換画面例

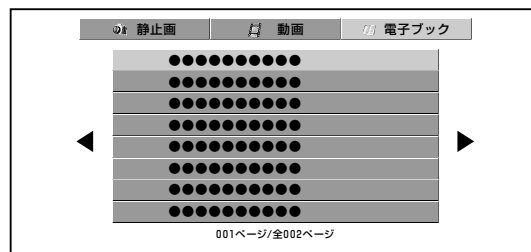
フタを開けたところ

1 カード□を押し、カード入力に切り換える

2 ◀ ▶で「静止画」「動画」「電子ブック」のいずれかの機能モードを選び、(決定)を押す

▼静止画インデックス画面

▼動画インデックス画面

▼電子ブックインデックス画面

カード入力からテレビ／外部入力に切り換えるには

チャンネルボタン(1)〜(12)または 入力切換○を押し、放送画面または外部入力画面に切り換える

カード画面の表示マーク

🔒…プロテクトマーク

?…再生読みとり不能マーク

静止画を記録する

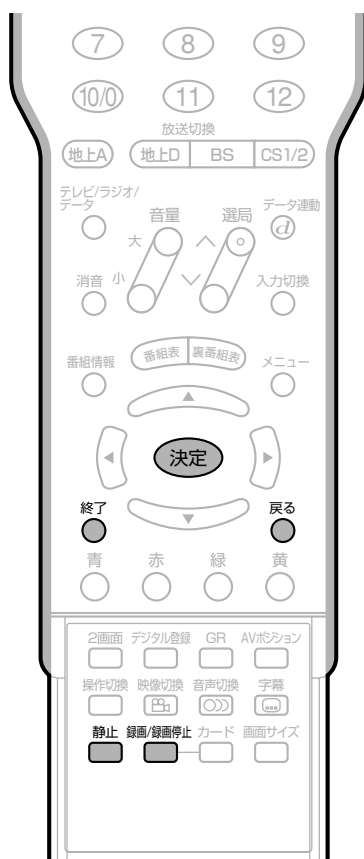
静止画を記録する

■ 静止した画面をカードに記録することができます。（音声は記録されません。）

記録できる放送や入力

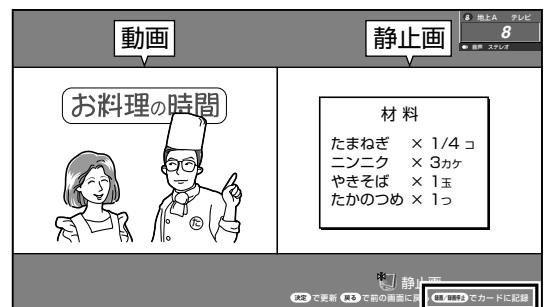
- 地上アナログ放送
- ビデオ映像／S2映像端子からの入力（コピーガードのかかっている信号は記録できません。）

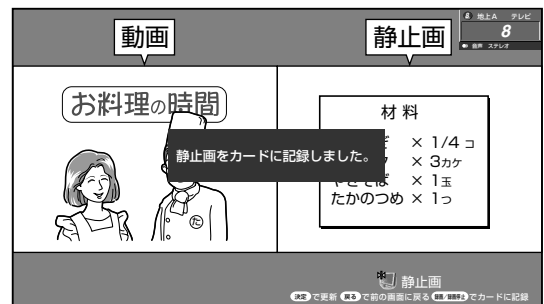
※ デジタル放送、D4映像／コンポーネント映像／DVI-I／i.LINK端子からの入力は記録できません。

フタを開けたところ

- ハードディスクPCカードで記録／録画・再生中にショックや振動を与えると、記録／録画や再生がうまくできない場合があります。

- 動きの速い映像などを静止画で記録すると、録画／録画停止ボタンを押した時点から少しタイミングのずれた場面が記録されることがあります。
- 残り枚数はあくまでも目安です。テレビの受信状態および映像の内容によって異なります。
- 本機にカードを挿入してすぐに「静止」した場合は、カード記録できないことがあります。カード挿入後は、カード記録が可能になるまで待ってから、静止ボタンを押してください。

1 静止を押す

- 2画面表示になります。

記録できない映像のときは表示されません。

2 静止画を記録するときは 録画/録画停止 を押す

- 「静止画をカードに記録しました。」と表示されます。

3 静止画を更新するときは 決定 を押す

- つぎの記録待ち状態の画面に戻ります。

- つぎの記録をするときは、手順**2**に戻ります。

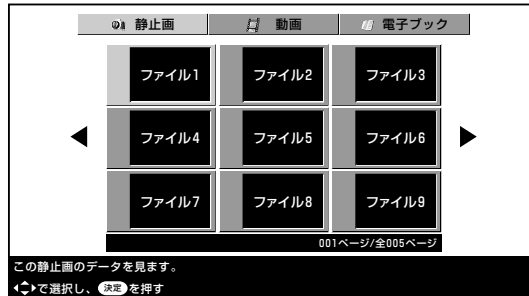
1画面に戻すには

戻る、終了、静止のいずれかを押す

静止画を再生する

静止画の再生方法について

■ 静止画の再生のしかたには、つぎのような方法があります。

▼静止画インデックス画面

○1枚ずつ選んで、静止画を再生する

指定したファイルのみ表示します。
（例．5番めのファイル）

ファイル5

○スライドショー再生

記録されている静止画ファイルを一定の時間表示してつぎのファイルを表示します。表示時間や順序などが設定できます。

○マイプログラム再生

表示したいファイルを好きな順に並べかえて再生できます。

ファイル3

ファイル7

ファイル1

- マイプログラム登録後、静止画記録や録画をし、総ファイル数が1024個以上に増えてしまった場合、インデックス画面には表示されませんが、マイプログラム再生は行えます。なお、インデックス画面で見えなくなったファイルで、マイプログラムに登録済みのファイルは、マイプログラムからの消去ができなくなります。このような場合は、まずインデックス画面に表示されているファイルを消去していただき、見えなくなっていたファイルがインデックス画面に表示されるようにしてから消去してください。

○音声選択

静止画を表示しながら、テレビの音声や外部入力からの音楽などを流すことができます。

○プロテクト／消去

静止画ファイルの一部やすべての消去をしたり、プロテクト(保護)※の指定をすることができます。

※ファイルのプロテクト

- ファイルのプロテクト(保護)を設定すると、そのファイルを誤って消去するのを防ぐことができます。だいじなファイルはプロテクトすることをおすすめします。
- カードを初期化すると、プロテクトを設定したファイルもすべて消去されますので、ご注意ください。

1枚ずつ選んで静止画を全画面表示する

フタを開けたところ

1

① カードを押し、カード入力に切り換える

② ◀▶で「静止画」を選び、決定を押す

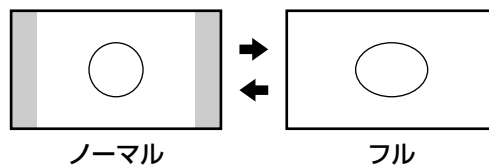
2

◀▶▲▼で、再生したいファイルを選び、決定を押す

●次ページ、前ページのファイルを表示させたいときは、インデックス画面の右または左の三角マーク(◀/▶)を選んで決定ボタンを押します。

再生中の静止画を拡大して見るには

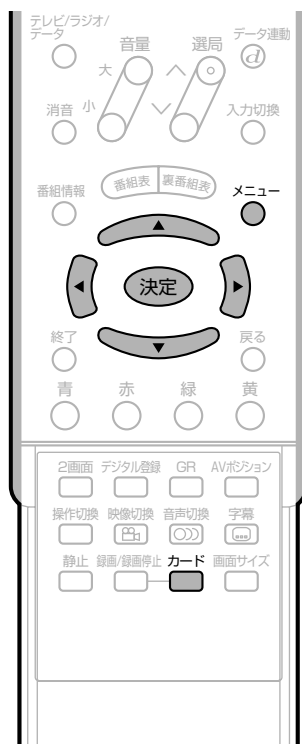
静止画再生中に画面サイズを押す

●ボタンを押すごとに、画像のサイズがつぎのように切り換わります。

静止画を再生する(つづき)

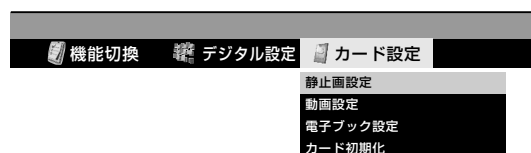
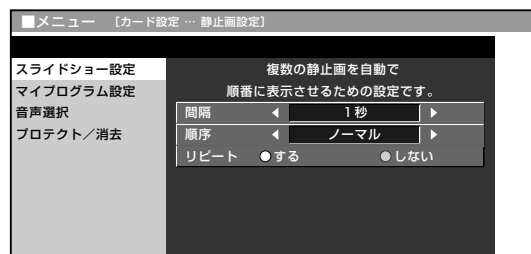
スライドショー再生方法の設定

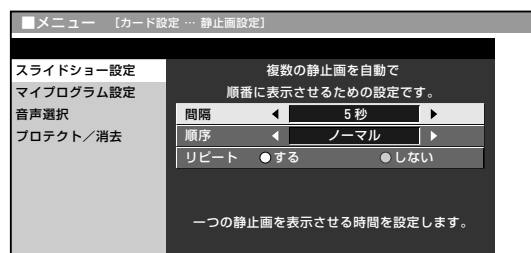
スライドショー設定について
スライドショー設定では、つぎの設定ができます。

- **間隔：**
  スライドショーの再生時間の間隔の設定ができます。
  1～10秒／15秒／20秒／25秒／30秒／45秒／60秒／15分／30分／60分
  ※ 上記の設定時間は、最低表示時間の設定です。
  画像のデータ量、使用メディアにより読み込み時間が異なりますので、画像表示時間は変化します。（下のおしらせもご覧ください。）
- **順序：**
  スライドショーの再生順序を設定します。
  ノーマル／ランダム／マイプログラム
- **リピート：**
  くり返し再生するときの設定です。

フタを開けたところ

スライドショー再生の表示間隔について
- 設定できる表示間隔には、本機の内部処理で画像を展開するための時間は含まれておりませんので、設定した表示間隔で画像が表示されるとは限りません。（通常1～3秒程度の時間が余分にかかります。）

1 カードを押し、カード入力に切り換える

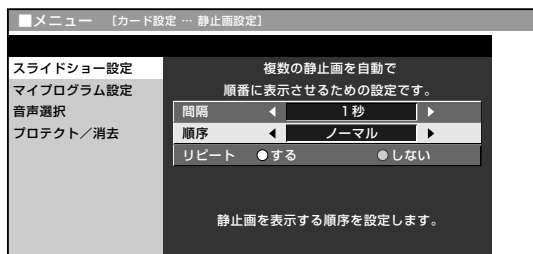
2
① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「カード設定」を選ぶ
③ ▲▼で「静止画設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「スライドショー設定」を選び、決定を押す

再生時間の間隔を設定する

4
① ▲▼で「間隔」を選ぶ
② ◀▶で「1～10秒／15秒／20秒／25秒／30秒／45秒／60秒／15分／30分／60分」のいずれかを選び、決定を押す

次ページへ

再生順序を設定する

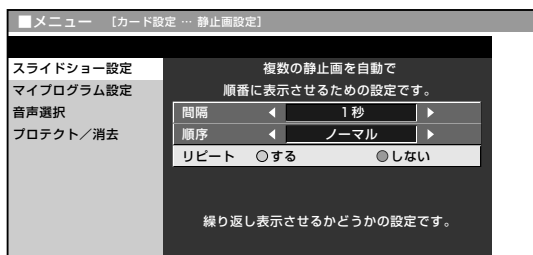
5

① ▲▼で「順序」を選ぶ

② ◀▶で「ノーマル」「ランダム」「マイプログラム」のいずれかを選び、決定を押す

リピート再生を設定する

6

① ▲▼で「リピート」を選ぶ

② ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

マイプログラムの設定

マイプログラム設定について

指定した順番に静止画をスライドショー再生することができます。32枚まで順番を付けることができます。

1

① カードを押し、カード入力に切り換える

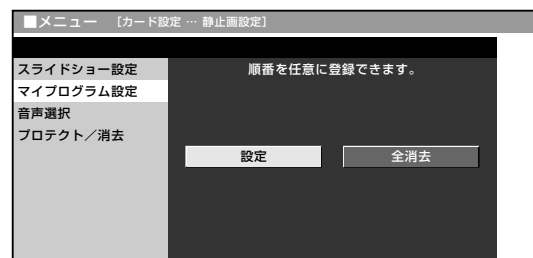
② メニューを押し、メニュー画面を表示する

③ ◀▶で「カード設定」を選ぶ

④ ▲▼で「静止画設定」を選び、決定を押す

2

① ▲▼で「マイプログラム設定」を選び、決定を押す

② ◀▶で「設定」を選び、決定を押す

3

① ▲▼◀▶でファイルを選び、決定を押す

- 選んだファイルに番号が表示されます。

② くり返し、▲▼◀▶でファイルを選び、決定を押す

- 選んだファイルに番号が表示されます。

③ ②の操作をくり返し、再生したいファイルをすべて選ぶ

※ 上の画面例では、ファイル4→ファイル1→ファイル8→ファイル6→ファイル3の順で再生します。

マイプログラムの設定を取り消すには

1

手順2の②で「全消去」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」を選び、決定を押す

- ファイルに付けられていた番号表示が消えます。

静止画を再生する(つづき)

スライドショーの再生
- 画面に表示される操作パネルでスライドショーを操作します。
- スライドショーの再生では、メニューの「スライドショー設定」や「マイプログラム設定」で設定した内容にしたがって静止画が再生されます。

フタを開けたところ

スライドショーを操作する

1

① カードを押し、カード入力に切り換える

② ◀▶で「静止画」を選び、決定を押す

2

カードを押す

- 操作パネルが表示されます。

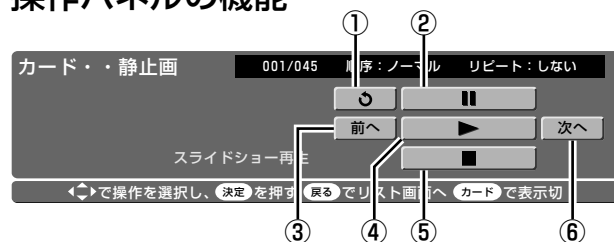
3

◀▶▲▼で▶を選び、決定を押す

- スライドショーが開始します。

4

操作パネルでスライドショーを操作する

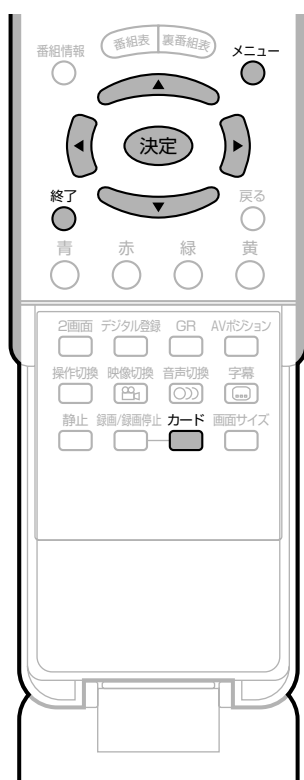
操作パネルの機能

① 画像回転※
② スライドショー一時停止
③ 前のファイルに戻る
④ スライドショー再生
⑤ スライドショー停止
⑥ つぎのファイルへ進む

※スライドショー再生中は画像回転できません。
スライドショーを停止してから行ってください。

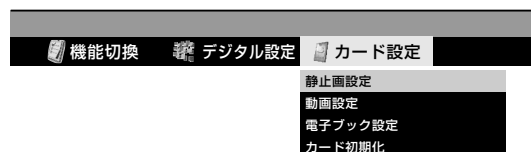
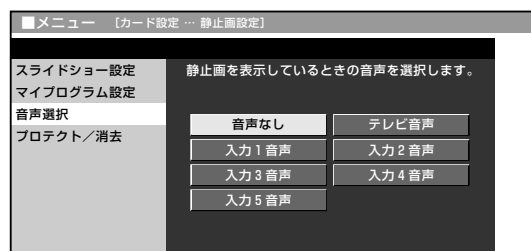
静止画を再生しながら音声を聞く

- テレビ音声やビデオなど外部機器からの音声を聞きながら、静止画再生が楽しめます。
- 静止画再生時の音声設定では、以下の項目の1つだけを選ぶことができます。

音声なし　：音声は出力されません。
テレビ音声：カード入力に切り換えるまえのテレビチャンネルの音声が出力されます。二重音声やステレオ音声は、テレビ画面で設定されている音声になります。
入力１音声：入力１に接続している機器の音声が出力されます。
入力２音声：入力２に接続している機器の音声が出力されます。
入力３音声：入力３に接続している機器の音声が出力されます。
入力４音声：入力４に接続している機器の音声が出力されます。
入力５音声：入力５に接続している機器の音声が出力されます。

フタを開けたところ

音声選択の設定

1 **カードを押し、カード入力に切り換える**

2
① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「カード設定」を選ぶ
③ ▲▼で「静止画設定」を選び、決定を押す

3
① ▲▼で「音声選択」を選び、決定を押す
② ▲▼◀▶で、再生したい音声を選び、決定を押す

4 **メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す**

静止画ファイルをプロテクト／消去する

ファイルのプロテクト（保護）と消去の操作
- ファイルプロテクト
  保存しておきたいファイルを指定して、誤って消去したりできないように保護します。
- 1 ファイル消去
  選択したファイルのみ消去できます。
- 全ファイル消去
  すべてのファイルを一括消去できます。

フタを開けたところ

- カードを初期化すると、プロテクトを設定したファイルもすべて消去されますので、ご注意ください。
- 1ファイル消去中、全ファイル消去中は、電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。カードが正常に動作しなくなります。

ファイルを保護する（ファイルプロテクト）

1

① カードを押し、カード入力に切り換える
② ◀▶で「静止画」を選び、決定を押す

2

① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「カード設定」を選び、決定を押す
③ ▲▼で「静止画設定」を選び、決定を押す

3

① ▲▼で「プロテクト／消去」を選び、決定を押す
② ▲▼で「ファイルプロテクト」を選び、決定を押す

4

▲▼◀▶で、保護したいファイルを選び、決定を押す

5

くり返し、保護したいファイルを選び、決定を押す
- プロテクト（保護）したファイルに「🔒」マークが付きます。

静止画を1ファイルずつ選んで消去する(1ファイル消去)

1

① カードを押し、カード入力に切り換える

② ◀▶で「静止画」を選び、決定を押す

2

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「カード設定」を選び、決定を押す

③ ▲▼で「静止画設定」を選び、決定を押す

3

① ▲▼で「プロテクト／消去」を選び、決定を押す

② ▲▼で「1ファイル消去」を選び、決定を押す

4

① ▲▼◀▶で、消去するファイルを選び、決定を押す

静止画	動画	電子ブック
ファイル1	ファイル2	ファイル3
ファイル4	ファイル5	ファイル6
ファイル7	ファイル8	ファイル9

●確認画面が表示されます。

② ◀▶で「する」を選び、決定を押す

●「ファイル消去中…」と表示されます。消去が終わると、「ファイルを消去しました。」と表示されます。

5

つづけて他のファイルを消去したいときは、手順4をくり返す

●最後にメニューボタンまたは終了ボタンを押し、通常画面に戻します。

すべてのファイルを一括消去する(全ファイル消去)

1

① カードを押し、カード入力に切り換える

② ◀▶で「静止画」を選び、決定を押す

2

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「カード設定」を選び、決定を押す

③ ▲▼で「静止画設定」を選び、決定を押す

3

① ▲▼で「プロテクト／消去」を選び、決定を押す

② ▲▼で「全ファイル消去」を選び、決定を押す

●確認画面が表示されます。

4

◀▶で「する」を選び、決定を押す

●「ファイル消去中…」と表示されます。消去が終わると、「すべての静止画ファイルを消去しました。」と表示されます。

5

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

動画を録画する

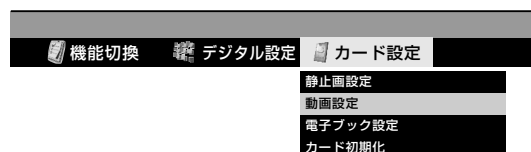
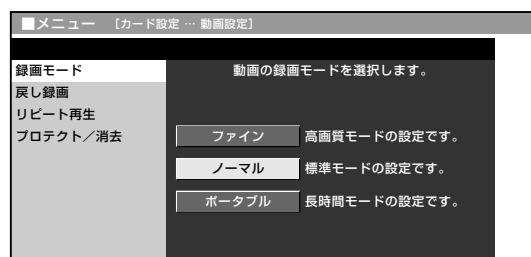
見ている映像(動画)を録画するための設定

- **録画モード**
  動画の録画モード(画質)を選択します。
  ファイン：もっとも高画質で録画します。
  ノーマル：標準画質で録画します。
  ポータブル：もっとも長時間録画できます。
- **戻し録画**
  いま見ている映像を録画したいとき、録画開始した時点から約5秒さかのぼって録画します。

フタを開けたところ

動画の録画モードを選択する

1 カードを押し、カード入力に切り換える

2
① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「カード設定」を選ぶ
③ ▲▼で「動画設定」を選び、決定を押す

3
① ▲▼で「録画モード」を選び、決定を押す
② ▲▼で「ファイン」「ノーマル」「ポータブル」のいずれかを選び、決定を押す

4 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

- 録画モードを「ファイン」にして録画した場合でも、カードによっては画質に差が出ることがあります。その場合は、「ノーマル」に設定して録画することをおすすめします。

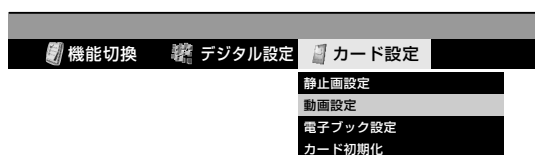
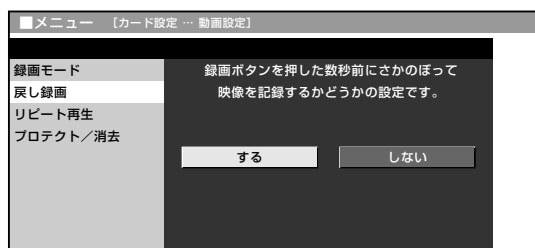
戻し録画を設定する

1 **カード を押し、カード入力に切り替える**

2
① メニュー を押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「カード設定」を選ぶ
③ ▲▼で「動画設定」を選び、決定を押す

機能切換　デジタル設定　カード設定
静止画設定
動画設定
電子ブック設定
カード初期化

3
① ▲▼で「戻し録画」を選び、決定を押す
② ◀▶で「する」を選び、決定を押す

4 **メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

- 戻し録画は、動画モードのときのみ有効です。静止画の数秒前の画像記録はできません。

戻し録画を「する」にして録画した場合
- 録画終了時点の録画時間表示と比べ、再生時の操作パネルのカウンター表示は、数秒多くなります。
- 選局した直後や電源を「入」にした直後などは、録画開始のタイミングにより、さかのぼって録画できる時間に多少の差が生じます。

放送中の番組などを録画する

■ メニューで選択した録画モード、戻し録画の設定内容で録画します。

録画できる放送や入力
- 地上アナログ放送
- ビデオ映像／S2映像端子からの入力（コピーガードのかかっている信号は録画できません。）

※ 音声も記録されます。
※ デジタル放送、D4映像／コンポーネント映像／DVI-I／i.LINK端子からの入力は録画できません。
※ 現在画面に表示されている放送や入力のみ録画できます。

1 **録画/録画停止 を押し、録画を開始する**
- カードランプが赤色に点灯します。
- 画面の右下に、録画中の情報が表示されます。

● 録画中
ノーマル／録画時間　00：00：02

2 **録画を止めたいところで 録画/録画停止 を押し、録画を停止する**

録画できる時間を知りたいときは

録画停止中に 画面表示 を押す
- 画面の右下に、残り時間の情報が表示されます。

残り枚数　102
ノーマル／残り時間　00：15：30

- 録画中にディスプレイ部の電源（押・入-切）ボタンを押して電源を切った場合、録画が正常に停止できずファイルが壊れることがあります。
- 録画中にリモコンの電源ボタンを押すと、電源オフと同時に録画が停止します。
- カードに空き容量がなくなると、「カードに空き容量がありません」と表示され、録画が停止します。
- 録画中はチャンネルや入力の切換えができません。
- オフタイマーで設定した時刻になると、電源オフと同時に録画が停止します。

動画を再生する

動画を再生するための設定

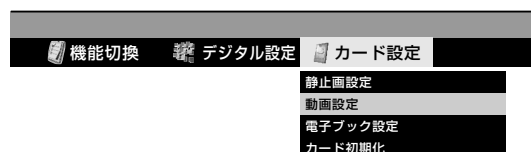
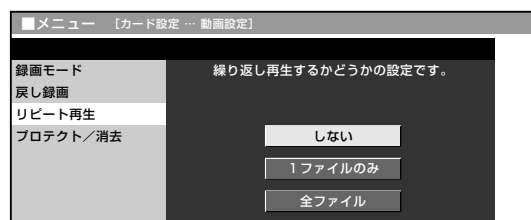
メニューで動画の再生のしかた（リピート再生）を設定します。

- **しない**：リピート再生をせず、1度だけ再生して終了します。
- **1ファイルのみ**：選択した1ファイルのみ、リピート（くり返し）再生します。
- **全ファイル**：すべてのファイルを順番に再生し、最後のファイルが終わると1番めのファイルに戻り、再生をくり返します。

フタを開けたところ

再生のしかたを設定する（リピート再生）

1 カードを押し、カード入力に切り換える

2
① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「カード設定」を選ぶ
③ ▲▼で「動画設定」を選び、決定を押す

3
① ▲▼で「リピート再生」を選び、決定を押す
② ▲▼で「しない」「1ファイルのみ」「全ファイル」のいずれかを選び、決定を押す

4 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

- 通常再生中、早送り／早戻し中、一時停止中に操作パネル（**207**ページ）の停止ボタンを選んで決定ボタンを押すと、それぞれの状態を中止して動画インデックス画面に戻ります。
- 動画再生中にリピート再生設定はできません。

動画を再生する

■ 動画の再生は、リピート再生の設定(**206**ページ)で選択した再生のしかたで実行されます。

1 カードを押し、カード入力に切り換える

2 ① ◀▶で「動画」を選び、決定を押す

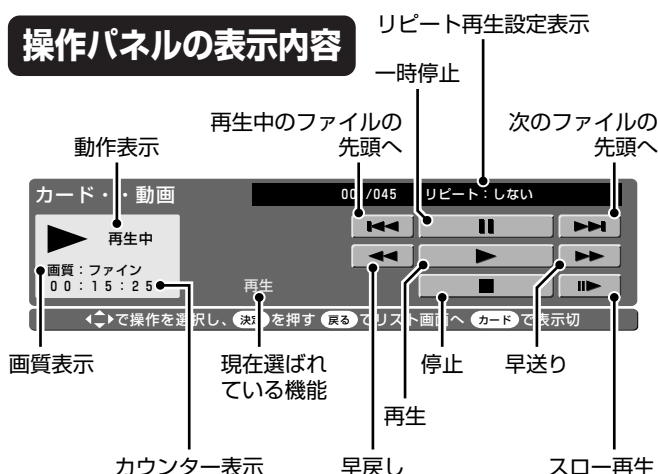
② ▲▼◀▶で、再生したいファイルを選び、決定を押す

●次ページ、前ページのファイルを表示させたいときは、インデックス画面の右または左の三角マーク(◀／▶)を選んで決定ボタンを押します。

●動画の再生が始まります。

3 ① カードを押し、操作パネルを表示する

② ▲▼◀▶で操作ボタンを選び、決定を押す

操作パネルの表示内容

再生中の操作

一時停止	再生中に ❚❚ を押します。
再生	一時停止中、早送り／早戻し中に ▶ を押します。
早送り	再生中に ▶▶ を押します。ボタンを押すたびに、再生速度がつぎのように切り換わります。 →早送り1(2倍速)→早送り2(8倍速)→早送り3(32倍速)→
早戻し	再生中に ◀◀ を押します。ボタンを押すたびに、再生速度がつぎのように切り換わります。 →早戻し1(2倍速)→早戻し2(8倍速)→早戻し3(32倍速)→
停止	再生中に ■ を押します。 動画インデックス画面に戻ります。

※上表内で使われている「押す」という表現は、操作パネルの各ボタンを上下左右カーソルボタンで選んで決定ボタンを押すことを意味します。

●通常再生中、早送り／早戻し中、一時停止中に停止ボタンを選んで決定ボタンを押すと、それぞれの状態を中止して動画インデックス画面に戻ります。

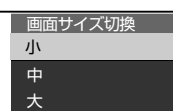
カードの再生画質について

本機では、カードへの録画をMPEG-4方式(画像圧縮技術)で行っているため、再生時の映像は、録画時の画質と同等の画質が得られません。

再生中の映像を拡大して見る

■ 動画再生中、映像を拡大して見ることができます。

1 再生中に画面サイズを押す

●画面サイズ切換メニューが表示されます。

2 画面サイズを押す

●ボタンを押すごとに、映像のサイズがつぎのように切り換わります。

→小→中→大→

動画ファイルをプロテクト／消去する

ファイルのプロテクト（保護）と消去の操作

- ファイルプロテクト
  保存しておきたいファイルを指定して、誤って消去したりできないように保護します。
- 1ファイル消去
  選択したファイルのみ消去できます。
- 全ファイル消去
  すべてのファイルを一括消去できます。

フタを開けたところ

- カードを初期化すると、プロテクトを設定したファイルもすべて消去されますので、ご注意ください。
- 1ファイル消去中、全ファイル消去中は、電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。カードが正常に動作しなくなります。
- 1ファイル消去でも、ファイル容量が大きい場合は時間がかかります。しばらくお待ちください。

ファイルを保護する（ファイルプロテクト）

1

① カードを押し、カード入力に切り換える

② ◀▶で「動画」を選び、決定を押す

2

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「カード設定」を選び、決定を押す

③ ▲▼で「動画設定」を選び、決定を押す

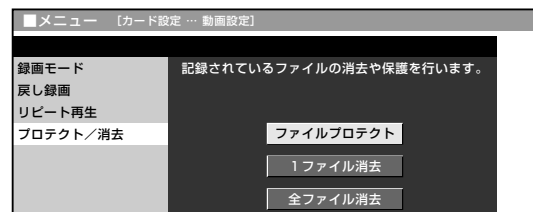
3

① ▲▼で「プロテクト／消去」を選び、決定を押す

② ▲▼で「ファイルプロテクト」を選び、決定を押す

4

▲▼◀▶で、保護したいファイルを選び、決定を押す

5

くり返し、保護したいファイルを選び、決定を押す

- プロテクト（保護）したファイルに「🔒」マークが付きます。

動画を1ファイルずつ選んで消去する(1ファイル消去)

1
① [カード]を押し、カード入力に切り換える
② [◀][▶]で「動画」を選び、[決定]を押す

2
① [メニュー]を押し、メニュー画面を表示する
② [◀][▶]で「カード設定」を選び、[決定]を押す
③ [▲][▼]で「動画設定」を選び、[決定]を押す

3
① [▲][▼]で「プロテクト／消去」を選び、[決定]を押す
② [▲][▼]で「1ファイル消去」を選び、[決定]を押す

4
① [▲][▼][◀][▶]で、消去するファイルを選び、[決定]を押す

● 確認画面が表示されます。

② [◀][▶]で「する」を選び、[決定]を押す

● 「ファイル消去中…」と表示されます。消去が終わると、「ファイルを消去しました。」と表示されます。

5
つづけて他のファイルを消去したいときは、手順4をくり返す

● 最後にメニューボタンまたは終了ボタンを押し、通常画面に戻します。

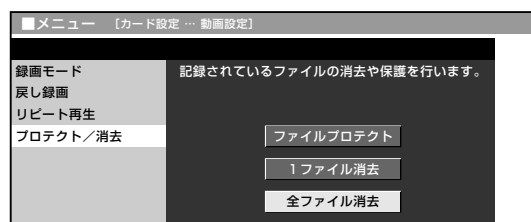
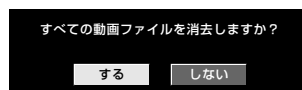
すべてのファイルを一括消去する(全ファイル消去)

1
① [カード]を押し、カード入力に切り換える
② [◀][▶]で「動画」を選び、[決定]を押す

2
① [メニュー]を押し、メニュー画面を表示する
② [◀][▶]で「カード設定」を選び、[決定]を押す
③ [▲][▼]で「動画設定」を選び、[決定]を押す

3
① [▲][▼]で「プロテクト／消去」を選び、[決定]を押す
② [▲][▼]で「全ファイル消去」を選び、[決定]を押す

● 確認画面が表示されます。

4
[◀][▶]で「する」を選び、[決定]を押す

● 「ファイル消去中…」と表示されます。消去が終わると、「すべての動画ファイルを消去しました。」と表示されます。

5
[メニュー]または[終了]を押し、通常画面に戻す

電子ブックを読む

■ 電子ブックについて

インターネットなどからパソコンでダウンロード(有料)した電子ブックをカードに入れ、本機で表示させて読むことができます。

- 対応している電子ブックのデータの形式：
  XMDF形式※1(拡張子：ZBF)
  TEXT形式※2(拡張子：ZBK、TXT)

※1 XMDF(モバイル・ドキュメント・フォーマット)形式は、各種PDAや電子辞書などでテキスト(文書)と画像データが混在した電子書籍のフォーマット形式を指します。

※2 TEXT(テキスト)形式は、文字修飾などを付けないテキスト(文書)で構成されたフォーマット形式を指します。なお、記号や漢字の種類によっては表示できないものがあります(シフトJISコードのテキストファイルに対応)。TEXT形式の文書はパソコンのワープロソフト等でも作成できます。

■ 電子ブックのご購入は

電子ブックの検索・ご購入は、つぎのところがご利用いただけます。

- インターネットWEBサイト「シャープスペースタウン」http://www.spacetown.ne.jp/

おしらせ

電子ブックデータの保存について

- 電子ブックのデータは、必ずパソコンなどで保存してください。使用誤りや静電気、強度の外来ノイズ、カードの破壊などでデータが消えたり読み出せなくなることがあります。
- 電子ブックの中には、特別な形式の画像など、一部の画像データは表示されない場合があります。
- 本のデータ形式によっては、本機で見ることができない場合があります。
- 電子ブックのデータについての説明の中に、タッチ、スクロール、縦持ち表示など、本機では使用できない機能や、操作が異なる説明がなされているものがありますが、これらの説明はザウルスなどPDAを想定した説明です。
- 電子ブックのリンクの中には、URLが含まれているものもありますが、これはインターネット接続環境を想定したものであり、本機では使用できません。

読みたい本を開く

1 **カード を押し、カード入力に切り換える**

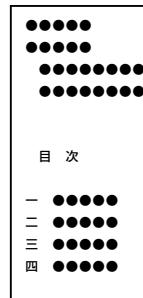
静止画 動画 電子ブック
ファイル1 ファイル2 ファイル3
ファイル4 ファイル5 ファイル6
ファイル7 ファイル8 ファイル9
001ページ/全005ページ

2 **① ◀ ▶ で「電子ブック」を選び、決定 を押す**

- XMDF、TEXT形式以外のタイトルは表示されません。

② ▲ ▼ ◀ ▶ で、読みたい本のタイトルを選び、決定 を押す

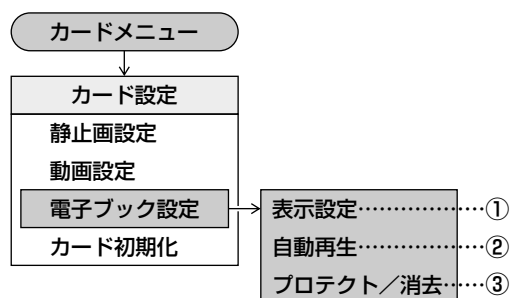
- 次ページ、前ページのタイトルを表示させたいときは、インデックス画面の右または左の三角マーク(◀／▶)を選んで決定ボタンを押します。

- 選んだ本の表紙が表示されます。

- 以前読んでいた本の場合は、最後に本を閉じたときのページが表示されます。

本を操作する

■ 本を開いているとき、カード設定メニューの電子ブック設定または操作パネルで操作します。

メニュー設定項目

（メニューボタンを押すと、カードメニューが表示されます。）

① 表示設定(表示に関する設定)……212ページ

- **文字サイズ設定**
  大／中／小の切換えができます。
- **縦書き／横書き設定**
  縦書き表示を横書き表示に、または横書き表示を縦書き表示に変えることができます。
- **ルビ表示**
  ルビ（ふりがな）を表示するかしないかの設定です。「する」を選ぶと、行間が広くなります。

② 自動再生で本を読む……213ページ

- **ページ送り：** 自動的に1ページずつページが送られます。
- **行送り：** 自動的に1行ずつ文章が送られます。

③ プロテクト／消去……216ページ

- 電子ブックインデックス画面で本を選んだ後、その本を消去できないようにプロテクト（保護）したり、不要な本を消去することができます。全タイトルの一括消去もできます。

操作パネルの機能

（カードボタンを押すたびに、操作パネルの表示が入／切します。）

- 先頭へ　本の先頭ページを表示します。
- しおりをはさむ　現在見ているページにしおりを設定します。すでにしおりがある場合は、しおり１がしおり２に変わり、現在のページがしおり１になります。
- 最後へ　最後のページを表示します。
- 前へ　ページを戻します。
- 次へ　ページをめくります。
- 目次へ　本の目次を表示します。
- 遅く　自動再生の速度を下げます。
- 自動再生　自動でページを送ります。
- 早く　自動再生の速度を上げます。
- リンクへ　リンク先へジャンプします。
- しおり１へ　しおり１に設定されているページへジャンプします。
- しおり２へ　しおり２に設定されているページへジャンプします。
- 前回閉じた所へ　前回閉じたページへジャンプし表示します。
- 前々回閉じた所へ　前々回閉じたページへジャンプし表示します。
- 本を閉じる　本を閉じて電子ブックインデックス画面を表示します。
- 書籍情報　表示中の書籍に著者や出版社等の情報が付けられている場合、これを表示します。

電子ブックを読む(つづき)

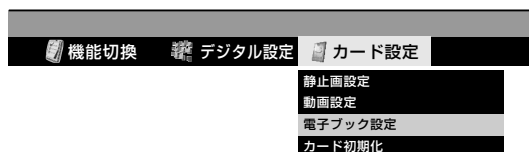
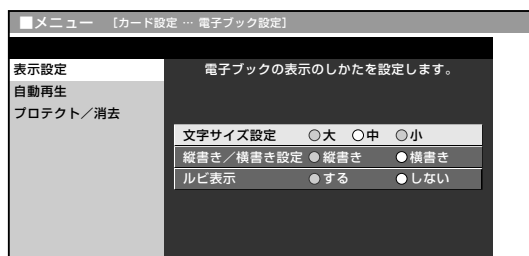
電子ブックの表示のしかたを設定する(表示設定)

■ 電子ブックを表示したときの文字サイズ、縦書き／横書き、ルビ(ふりがな)表示の有無を設定することができます。

フタを開けたところ

文字サイズを設定する

1 カードを押し、カード入力に切り換える

2
① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「カード設定」を選ぶ
③ ▲▼で「電子ブック設定」を選び、決定を押す

3
① ▲▼で「表示設定」を選び、決定を押す
② ▲▼で「文字サイズ設定」を選び、決定を押す
③ ◀▶で「大」「中」「小」のいずれかを選ぶ

● このとき決定ボタンを押すと、項目選択画面に戻ります。

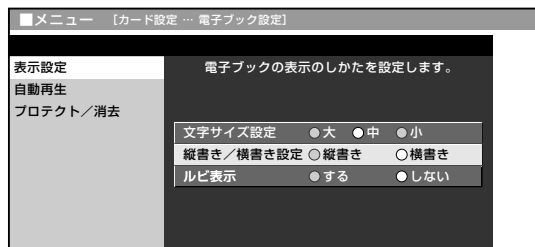
次ページへ

「文字サイズ設定」「縦書き／横書き設定」について
● 電子ブックの種類によっては、強制的に固定される場合があります。

縦書き／横書きを設定する

4

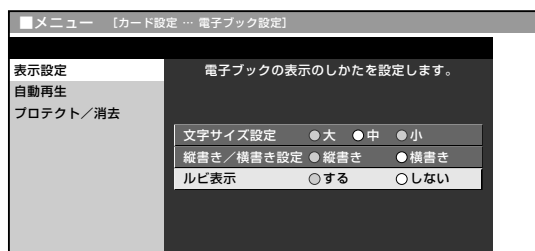
① **［▲］［▼］で「縦書き／横書き設定」を選び、（決定）を押す**

② **［◀］［▶］で「縦書き」または「横書き」を選ぶ**

- このとき決定ボタンを押すと、項目選択画面に戻ります。

ルビ(ふりがな)表示を設定する

5

① **［▲］［▼］で「ルビ表示」を選び、（決定）を押す**

② **［◀］［▶］で「しない」または「する」を選ぶ**

- このとき決定ボタンを押すと、項目選択画面に戻ります。

6

（メニュー）または（終了）を押し、通常画面に戻す

自動再生の設定

■ 電子ブックを読むときに自動でページ送りや行送りをするように、メニューで設定することができます。

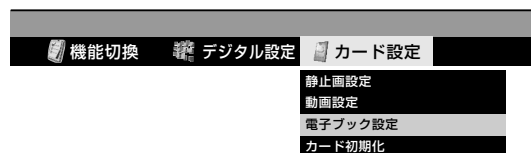
1

（カード）を押し、カード入力に切り換える

2

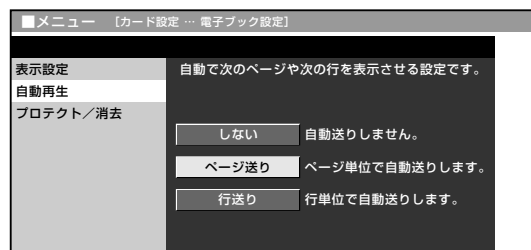
① **（メニュー）を押し、メニュー画面を表示する**

② **［◀］［▶］で「カード設定」を選ぶ**

③ **［▲］［▼］で「電子ブック設定」を選び、（決定）を押す**

3

① **［▲］［▼］で「自動再生」を選び、（決定）を押す**

② **［▲］［▼］で「しない」「ページ送り」「行送り」のいずれかを選び、（決定）を押す**

4

（メニュー）または（終了）を押し、通常画面に戻す

電子ブックを読む(つづき)

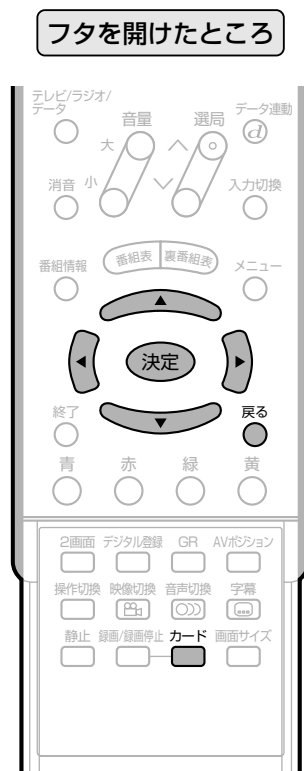
フタを開けたところ

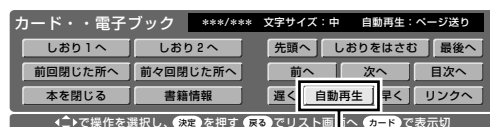
自動再生する

■ 自動でページ送りや行送りをして電子ブックを読むことができる機能です。
自動再生の設定(**213**ページ)で、「ページ送り」または「行送り」を選んでおいてください。

1 カードを押し、カード入力に切り換える

2 ① ◀ ▶で「電子ブック」を選び、決定を押す

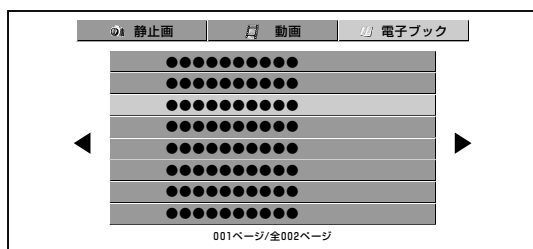
② ▲ ▼ ◀ ▶で、再生したい本のタイトルを選び、決定を押す

3 ① カードを押し、操作パネルを表示する

② ▲ ▼ ◀ ▶で「自動再生」を選び、決定を押す

●自動再生が始まります。

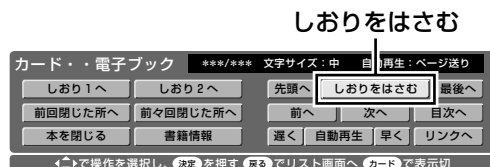
自動再生のスピードを変えるには

早く…自動再生のスピードが速くなります。

遅く…自動再生のスピードが遅くなります。

● この機能は自動再生中のみ働きます。

しおりをはさむ

■ 電子ブック再生中にしおりをはさんでおくと、つぎに本を開くとき、しおりをはさんだページを指定して再生することができます。しおりは2カ所(しおり1、しおり2)まではさむことができます。最後にしおりをはさんだページが、しおり1になります。

電子ブック再生中に▲ ▼ ◀ ▶で「しおりをはさむ」を選び、決定を押す

● 消去ロック機能付きのカードで、「書込み不可」の状態になっている場合は、しおりをはさむことはできません。

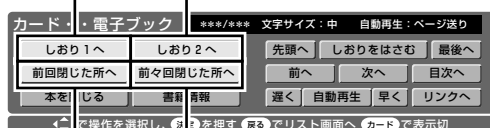
表示するページを指定する

■ 前回本を閉じたページや、しおりをはさんだページをすばやく開くことができます。

1 **電子ブック表示中に［カード］を押し、操作パネルを表示する**

2 **開きたいページの操作ボタンを［▲］［▼］［◀］［▶］で選び、［決定］を押す**

しおり１をはさんだページを開く

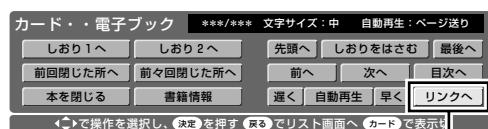
しおり２をはさんだページを開く

前々回閉じたページを開く

前回閉じたページを開く

リンク先へジャンプする

■ 電子ブックにリンクが含まれている場合、リンク先へすばやく移動することができます。

電子ブック再生中に［▲］［▼］［◀］［▶］で「リンクへ」を選び、［決定］を押す

カード・・電子ブック ***/*** 文字サイズ：中 自動再生：ページ送り
しおり１へ しおり２へ 先頭へ しおりをはさむ 最後へ
前回閉じた所へ 前々回閉じた所へ 前へ 次へ 目次へ
本を閉じる 書籍情報 遅く 自動再生 早く リンクへ
で操作を選択し、決定を押す 戻るでリスト画面へ カードで表示切

リンクへ

● リンク先が表示されます。

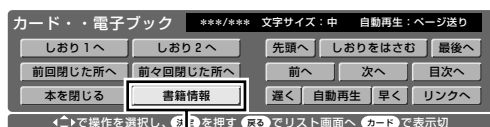
● 電子ブックのリンクの中には、URLが含まれているものもありますが、これはインターネット接続環境での使用を想定したものであり、本機では使用できません。

本の情報を表示する

■ 表示中の書籍に著者や出版社等の情報が付けられている場合、これを表示することができます。

1 **電子ブック表示中に［カード］を押し、操作パネルを表示する**

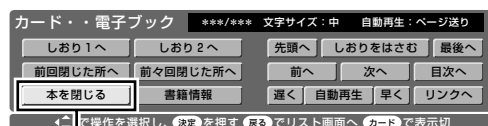
2 **［▲］［▼］［◀］［▶］で「書籍情報」を選び、［決定］を押す**

カード・・電子ブック ***/*** 文字サイズ：中 自動再生：ページ送り
しおり１へ しおり２へ 先頭へ しおりをはさむ 最後へ
前回閉じた所へ 前々回閉じた所へ 前へ 次へ 目次へ
本を閉じる 書籍情報 遅く 自動再生 早く リンクへ
で操作を選択し、決定を押す 戻るでリスト画面へ カードで表示切

書籍情報

● 書籍情報が表示されます。
● 「書籍情報」を再度選んで決定ボタンを押すと、電子ブック表示画面に戻ります。

電子ブックを閉じる

電子ブック再生中に［▲］［▼］［◀］［▶］で「本を閉じる」を選び、［決定］を押す

カード・・電子ブック ***/*** 文字サイズ：中 自動再生：ページ送り
しおり１へ しおり２へ 先頭へ しおりをはさむ 最後へ
前回閉じた所へ 前々回閉じた所へ 前へ 次へ 目次へ
本を閉じる 書籍情報 遅く 自動再生 早く リンクへ
で操作を選択し、決定を押す 戻るでリスト画面へ カードで表示切

本を閉じる

● 電子ブックインデックス画面になります。

電子ブックをプロテクト／消去する

ファイルのプロテクト（保護）と消去の操作
- ファイルプロテクト
  保存しておきたいファイルを指定して、誤って消去したりできないように保護します。
- 1ファイル消去
  選択したファイルのみ消去できます。
- 全ファイル消去
  すべてのファイルを一括消去できます。

フタを開けたところ

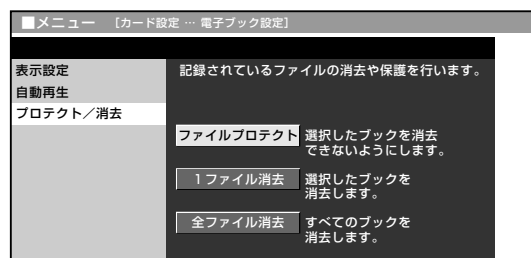
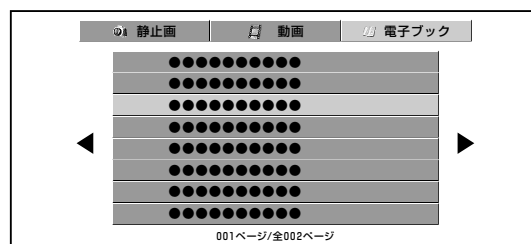
- カードを初期化すると、プロテクトを設定したファイルもすべて消去されますので、ご注意ください。
- 1ファイル消去中、全ファイル消去中は、電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。カードが正常に動作しなくなります。
- 1ファイル消去でも、ファイル容量が大きい場合は時間がかかります。しばらくお待ちください。

ファイルを保護する（ファイルプロテクト）

1
① カードを押し、カード入力に切り換える
② ◀▶で「電子ブック」を選び、決定を押す

2
① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② ◀▶で「カード設定」を選び、決定を押す
③ ▲▼で「電子ブック設定」を選び、決定を押す

3
① ▲▼で「プロテクト／消去」を選び、決定を押す
② ▲▼で「ファイルプロテクト」を選び、決定を押す

4
▲▼◀▶で、保護したいファイルを選び、決定を押す

5
くり返し、保護したいファイルを選び、決定を押す
- プロテクト（保護）したファイルに「🔒」マークが付きます。

電子ブックを1ファイルずつ選んで消去する(1ファイル消去)

1

① カードを押し、カード入力に切り換える

② ◀▶で「電子ブック」を選び、決定を押す

2

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「カード設定」を選び、決定を押す

③ ▲▼で「電子ブック設定」を選び、決定を押す

3

① ▲▼で「プロテクト/消去」を選び、決定を押す

② ▲▼で「1ファイル消去」を選び、決定を押す

4

① ▲▼◀▶で、消去するファイルを選び、決定を押す

●確認画面が表示されます。

② ◀▶で「する」を選び、決定を押す

●「ファイル消去中…」と表示されます。消去が終わると、「ファイルを消去しました。」と表示されます。

5

つづけて他のファイルを消去したいときは、手順4をくり返す

●最後にメニューボタンまたは終了ボタンを押し、通常画面に戻します。

すべてのファイルを一括消去する(全ファイル消去)

1

① カードを押し、カード入力に切り換える

② ◀▶で「電子ブック」を選び、決定を押す

2

① メニューを押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「カード設定」を選び、決定を押す

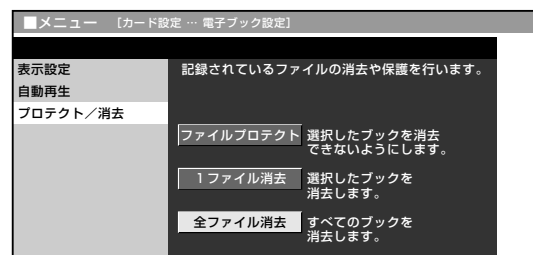
③ ▲▼で「電子ブック設定」を選び、決定を押す

3

① ▲▼で「プロテクト/消去」を選び、決定を押す

② ▲▼で「全ファイル消去」を選び、決定を押す

●確認画面が表示されます。

4

◀▶で「する」を選び、決定を押す

●「ファイル消去中…」と表示されます。消去が終わると、「すべての電子ブックファイルを消去しました。」と表示されます。

5

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

カードを初期化する

■ カードに記録されているファイルをすべて消去し、カードを未使用の状態(記録可能な最大容量)に戻します。

■ 初期化によって消去されたファイルを元に戻すことはできません。必要なファイルは、事前に移動するなどのバックアップを実施してください。

※ メニューの「カード設定」でファイルをプロテクト(保護)しても、カードを初期化すると、すべてのファイルが消去されますので、ご注意ください。

フタを開けたところ

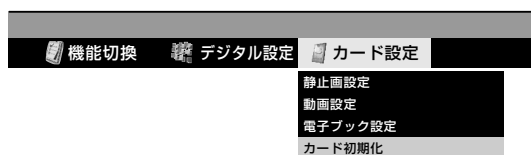
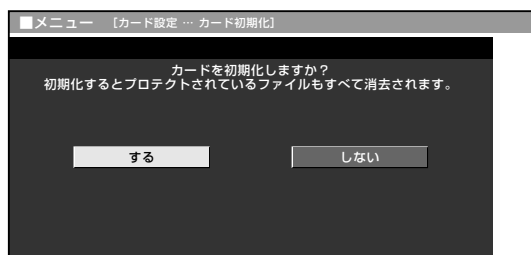
カードを初期化する

1 **カード を押し、カード入力に切り換える**

2

① **メニュー を押し、メニュー画面を表示する**

② **◀▶で「カード設定」を選ぶ**

③ **▲▼で「カード初期化」を選び、決定 を押す**

3 **◀▶で「する」を選び、決定 を押す**

●「カード初期化中…」と表示されます。初期化が終わると、「カードを初期化しました。」と表示されます。

4 **メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

● 初期化実行中は、電源を切ったり、カードを抜いたりしないでください。

● 消去ロック機能付きのカードで、「書込み不可」の状態になっている場合は、初期化できません。

情報ページ

● 知っておいていただきたいことやご注意、別売品のご案内など、便利な情報のページです。メニュー項目一覧や用語の解説、索引も掲載していますので、ぜひお役立てください。

故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては**231**ページをご覧ください。

（**太字**のページ番号は準備編です）

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
全般	映像も音声も出ない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ●電源が「切」の状態になっていませんか。 ●テレビ（地上アナログ放送、CATV）やデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。	**18** **27** 141
	リモコンが動作しない	●電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 ●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ●リモコンはディスプレイ部に向けてお使いください。	**10**
	音が左右逆になる 片方しか音が出ない	●スピーカーの接続ケーブルが左右逆に接続されたり、片方が外れたりしていませんか。	176・177
	映像は出るが 音声が出ない	●音量調整が最小になっていませんか。 ●「消音」状態になっていませんか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 ●出力選択が「モニター出力（可変）」に設定されていませんか。「モニター出力（固定）」にしてください。 ●D映像・コンポーネント映像 ・S映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。 ●スピーカー切換は正しく設定されていますか。	28 29 139 156 **25・26** 178
	音声は出るが 映像が出ない	●映像オフが「する」になっていませんか。	54
	色がうすい 色あいが悪い	●色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。	43・45
	特定のチャンネルだけ映らない	●チャンネルの微調整がズレていませんか。	**42**
アンテナ	映像が出ず 雑音のみ出る	●アンテナ線が外れたり、ショートしたりしていませんか。 ●アンテナ線は正しく接続されていますか。	**20・21**
	画像にはん点が出る	●自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	–
	映像が二重になる （ゴースト）	●近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの向きや高さを変えてみてください。 ●GR設定を行ってみてください。	– 51・52
	色じま模様が出る	●近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。	–
	雪が降っているような画面になる	●アンテナ線は正しく接続されていますか。 ●屋外アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 ●アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。	**20・21** – –

（**太字**のページ番号は準備編です）

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
デジタル放送関係	映像も音声も出ない	●アンテナ電源が「切」になっていませんか。 ●映像、音声のない放送ではありませんか。 ●ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 ●B-CASカードは正しく挿入されていますか。2004年4月以降は、B-CASカードを挿入しないと映りません。	**54** － 141 **57**
	画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	●アンテナの向きがズレていませんか。 ●アンテナレベル（信号強度）を確認してください。 ●アンテナの前方に障害物はありませんか。 ●アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	－ **54** － **20・21**
	有料放送の視聴ができない	●B-CASカードは正しく挿入されていますか。 ●有料放送を視聴するための契約はしていますか。 ●電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	**57** 23･25 **22・58**
	110度CSデジタル放送が受信できない	●アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 ●ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。	**21**
	地上デジタル放送が受信できない	●お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 ●地上デジタル受信用のUHFアンテナが正しく設置されていますか。 ●アンテナ線は正しく接続されていますか。 ●お住まいの都道府県を地域選択で正しく設定していますか。 ●チャンネル設定は正しくされていますか。	26 26 **20** **44** **46**
	画面にノイズが出る	●VHF/UHFのアンテナケーブルがBS･110度CSアンテナケーブルと接近していませんか。	－
	特定のチャンネルだけ映らない	●契約していない有料放送ではありませんか。 ●アンテナレベル（信号強度）を確認してください。	23･25 **54**
	電子番組表（EPG）が表示されない 電子番組表（EPG）に表示されない番組がある	●地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、電子番組表に情報が表示されません。番組表取得設定を「する」に設定すると、リモコンで電源「切」（待機状態）にしたときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 ●電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	120 －
	ビデオコントローラーでの録画予約ができない	●ビデオコントローラーは正しく接続されていますか。 ●ビデオ連動録画設定は正しく設定されていますか。 ●データ番組ではありませんか。	158 159 －
	番組の予約をしても受信できない場合があります。	●契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等を予約したとき。	－
その他	i.LINK接続されない	●接続先の機器の電源は入っていますか。 ●i.LINKケーブルが外れていませんか。 ●接続先はD-VHSビデオデッキですか。本機はD-VHSビデオデッキのみ接続が可能です。	－ 162 162
	電源が入らなかったり、映像が出なかったりする	●システムケーブルは正しく接続されていますか。それぞれのプラグが接続端子にきちんと挿入されていますか。	**18**

故障かな？と思ったら（つづき）

排気用ファンについて

本機の電源を「入」にしているとき（電源ランプ緑色点灯時）は、本機内部の温度が上昇すると、温度の上昇を抑えるため、ファンが回転します。

電源「切」（待機状態…電源ランプ赤色点灯）のときでも、つぎの場合はファンが回転することがあります。

- デジタル固定を「する」にしているとき
- デジタル放送の番組の視聴・録画予約を実行しているとき
- ダウンロード（デジタル放送受信機内のソフトウェアの更新）をしているとき
- 有料放送の契約情報を取得しているとき
- 有料番組の課金情報を送信しているとき
- 地上デジタル放送の電子番組表（EPG）の情報を取得しているとき

温度上昇時のお知らせ表示について

表示内容：

- 画面の右下に「Temperature」の文字が点滅表示されます。さらに温度が上昇すると、自動的に電源待機状態になります。

処置のしかた：

- 温度が上昇して電源待機状態になったときは、ふだんどおりリモコンなどで電源を入れなおすことができますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、すぐにまた電源待機状態になります。
- 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。チューナー部やディスプレイ部に空いている通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
- 本機の内部や通風孔にホコリがたまっていると、内部の温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるホコリはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買い上げの販売店にご相談ください。

正常に動作しないときは

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときはディスプレイ部の電源（押・入-切）スイッチで電源を「切」にし、ディスプレイ部、チューナー部両方の電源プラグをコンセントから抜いて1分間ほど放置した後、再度差し込み、動作を確認してください。

このようなときも故障ではありません

ときどき“ピシッ”と音がする

- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。
  性能その他に影響はありません。

BS・110度CS共用アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

- 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
- 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。

デジタル放送の注意文など

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ　（太字のページ番号は準備編です）

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
B-CAS カードを正しく装着してください。		B-CASカードを正しく挿入し、B-CASカードロックスイッチをロックしてください。	**57**
この B-CAS カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	B-CASカードを抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**57**
このカードは使用できません。 正しい B-CAS カードを装着してください。	****	専用のB-CASカードを挿入してください。	**57**
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このB-CASカードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	このチャンネル（番組）は視聴できません。	–
降雨対応画面選択中です。 映像切換ボタンでもとの画面に戻ります。	E201	天気の回復をお待ちください。	–
放送が受信できません。	E202	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	**20・21** **54**
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	E203	番組表などで放送時間を確かめてください。	–
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。	–
アンテナ線がショートしています。 アンテナとの接続を確認ください。	E209	アンテナ線を確かめてください。	**20・21**
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	–
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	–
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	電話回線の接続を確認のうえ、B-CASカードを抜き差ししてください。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**22・57**
データの通信に失敗しました。	E301	電話回線の接続を確認して、デジタルメニューの通信設定を正しく行ってください。	**22・57**
データが受信できません。	E400	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–

次ページへつづく

デジタル放送の注意文など(つづき)

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ(つづき)

(太字 のページ番号は 準備編 です)

画面に表示される エラーメッセージ例	エラー コード	対処のしかた	参照 ページ
この受信機では、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
データの表示に失敗しました。	E402	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–

■衛星ダウンロードに関するエラーメッセージ

メッセージ	内容・対処のしかた
衛星ダウンロードに失敗しました。	衛星ダウンロード中に電源の入/切、電源プラグの抜き差しをしたり、デジタルリセットボタンを押したときに表示されます。衛星ダウンロードは1日に数回行われますので、つぎの機会までお待ちください。 衛星ダウンロードの失敗が頻繁に生じた場合は、アンテナの設置状況をご確認ください。

■双方向通信に関するエラーメッセージ

画面に表示される エラーメッセージ例	エラー コード	対処のしかた	参照 ページ
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C104]	C104	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	**22・58**
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C105]	C105	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	**22・58**
番組で指定された情報センター※1への接続に失敗しました。[C006]	C006	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	**22・58**
アクセスできませんでした。[C204]	C204	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	C208	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	C209	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
双方向サービスを利用するには、双方向サービス設定で電話回線への接続を「禁止しない」を設定してください。	****	双方向サービス設定で、電話回線への接続を「禁止しない」を選択してください。	107
登録してあるプロバイダへの接続に失敗しました。プロバイダ設定や電話回線設定を確認してください。	****	プロバイダ設定や電話回線設定を確認してください。	**58**・126
まだルート証明書※3を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか?	****	アクセスしないことをお勧めします。	–
サーバー証明書※2の信頼性が確認できません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか?	****	アクセスしないことをお勧めします。	–
まだ新しいルート証明書※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか?	****	アクセスしないことをお勧めします。	–

※1 情報センター…… 双方向通信において、お客さまからのデータを受けとるセンター。
※2 サーバー証明書… 暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。
※3 ルート証明書…… 暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

■i.LINKに関する注意文

注意文	内容・対処のしかた
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。
i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。	i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。163ページの「接続に関するご注意」をお読みのうえ、接続しなおしてください。
現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。

■カード機能メッセージ一覧

画面に表示されるメッセージ	内容・対処のしかた
カード取出しボタンを押して、カードを入れなおしてください。	カードを正しく挿入し、カード取出しボタンをしっかりと押し込んでください。（192ページ）
カード読込み中…	カード処理中に表示されます。
カードが挿入されていません。	カードを正しく挿入してください。（192ページ）
静止画ファイルがありません。	機能モード「静止画」で、静止画ファイルがないときに表示されます。
動画ファイルがありません。	機能モード「動画」で、動画ファイルがないときに表示されます。
電子ブックファイルがありません。	機能モード「電子ブック」で、電子ブックファイルがないときに表示されます。
カードに空き容量がありません。	カードに記録／録画できる容量がありません。新しいカードを用意するか、不要なファイルを消去してください。（191・203・209ページ）
カードを初期化してください。	初期化されていないカード（エラーカードや本機で扱えないカードを含む）が挿入されています。カード入力以外では、録画／録画停止ボタンが押されたときに表示されます。カードの初期化を実行してください。この場合、カードの内容はすべて初期化されます。それでもエラーが出る場合は、そのカードは使用できません。（218ページ）
記録／録画できるファイル数を超えています。	残り容量がないカードで、静止画記録や動画録画の操作をしたときに表示されます。
カードがプロテクトされています。	消去ロック機能で「書き込み不可」になっているカードが挿入されている場合で、静止画記録や動画録画の操作をしたときに表示されます。必要であれば、消去ロックを解除してから操作してください。
カード記録／録画中はこの操作はできません。	静止画記録や動画録画中に操作が禁止されているボタンが押された場合に表示されます。
この映像は記録／録画できません。	デジタル放送、コピーガード信号を含む映像およびコンポーネント映像／DVI-I／i.LINK端子からの入力映像は、静止画記録や動画録画ができません。また、カードを挿入してすぐに録画／録画停止ボタンを押した場合にも表示され、録画ができません。
マイプログラム設定がありません。	マイプログラムデータが未設定で、スライドショーをマイプログラムで開始した場合に表示されます。マイプログラムの設定をしてからスライドショーを開始してください。（199ページ）
これ以上登録できません。	マイプログラムを32枚以上登録した場合に表示されます。
DPOF設定がされています。 マイプログラムの設定／消去はできません。	他機種で設定したDPOFファイルがあるため、マイプログラムの設定ができません。（DPOFとは、写真現像店に出すプリント枚数をカードに設定できる規格です。本機では、DPOF設定はできません。）
パスワードが間違っています。 正しいパスワードを入力してください。	電子ブックのパスワードが誤っている場合に表示されます。パスワードを確認し、入力しなおしてください。
録画して１２時間を超えたまたはファイルが4GBを超えたため録画を停止します。	1つのファイルに連続して12時間、またはファイル容量が4GBに達するまで録画されたときに表示されます。カード容量が残っていれば、ファイルを新しくして再度録画することができます。

リセットボタンについて

テレビリセットボタン

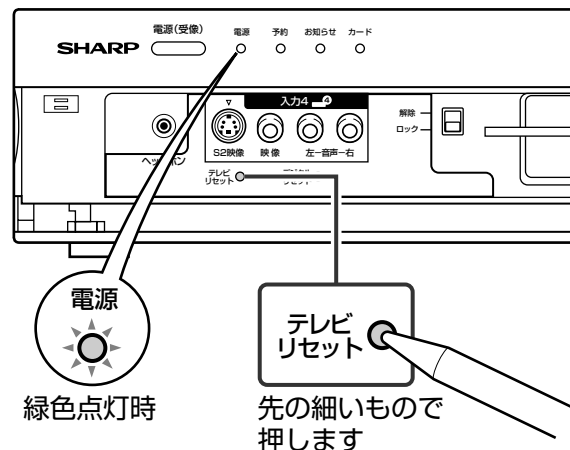
■ 複雑な操作などをしてふだん使っている状態に戻せなくなったりした場合などには、チャンネル設定とメニューのデジタル関連の設定項目以外を、工場出荷時の状態(※下記参照)に戻すことができます。

■ 本機が動作している状態のとき(電源ランプが緑色点灯中)にチューナー部前面扉内のテレビリセットボタンを1秒以上押しつづけてください。画面が数秒間消えた後、地上アナログ放送の1チャンネルになります。

※以下の項目を工場出荷状態に戻すことができます。

- ・2画面
- ・静止画
- ・番組表/裏番組表
- ・位置調整
- ・音量
- ・音声選択
- ・スピーカー切換
- ・映像反転
- ・映像オフ
- ・出力選択
- ・センタースピーカー入力
- ・画面サイズ
- ・デジタル固定

● AVポジションは「ダイナミック(固定)」になります。
● チャンネル設定の内容は変更されません。

▼チューナー部前面扉内

デジタルリセットボタン

■ 本機を使用中に、強い外来ノイズ(過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合など、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。このようなときは、チューナー部前面扉内のデジタルリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。

● リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

▼チューナー部前面扉内

メニュー項目一覧

テレビ／ビデオ入力時のメニュー項目一覧

次ページへつづく

メニュー項目一覧(つづき)

テレビ／ビデオ入力時のメニュー項目一覧(つづき)

デジタル設定

- 映像設定
  - 画面サイズ設定：オート、フル固定
  - 録画画面サイズ設定：レターボックス、スクイーズ
  - 録画画面表示設定：する、しない
- デジタル音声設定：PCM、AAC
- ダウンロード設定：する、しない
- 番組表取得設定：する、しない
- 通信設定
  - 電話回線－自動
  - 電話回線－手動
    - 電話回線種別：20pps、10pps、トーン
    - 外線発信：なし、あり
    - ダイヤルトーン検出：する、しない
  - 電話会社設定
    - 発信者番号通知：する、しない
    - 事業者番号
    - 解除番号設定：する、しない
  - 優先利用回線設定
    - 電話回線、ネットワーク
  - プロバイダ設定
    - 接続名(ISP名)
    - 電話番号(アクセスポイント)
    - ユーザーID
    - パスワード
    - DNSアドレス(プライマリ、セカンダリ)
    - ヘッダ圧縮、ソフトウェア圧縮
  - ネットワーク設定
    - IPアドレス設定
    - DNSアドレス設定
    - プロキシサーバー設定
    - 詳細設定
- ビデオ連動録画設定
  - ビデオ連動録画設定画面
- i.LINK設定
  - i.LINK自動切換：する、しない
  - 録画モード設定：する、しない
  - 電源待機設定：する、しない
- 暗証番号設定
  - 暗証番号設定画面
- 視聴年齢制限設定
  - 無制限、XX～YY歳以下
- PPV設定
  - PPV 制限：する、しない
  - 購入金額制限：無制限、XX円以下
- 双方向サービス設定
  - 電話回線を禁止する、電話回線とネットワークを禁止する、禁止しない
- システム動作テスト
  - システム動作テスト画面

お知らせ

- 受信メッセージ一覧 → 受信メッセージ一覧画面
- ボード → ボード画面
- 受信機レポート → 受信機レポート画面
- B-CASカード番号表示 → B-CASカード番号表示画面
- PPV購入履歴 → PPV購入履歴表示画面

※1 AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※2 ドルビーバーチャル「入」のときは選択できません。
※3 テレビ視聴時のみ表示されます。
※4 入力1～5選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。
※5 現在選択されている入力により、表示項目が異なります。
※6 入力3・4選択時のみ表示されます。
※7 入力1・2選択時のみ表示されます。
※8 各入力系統で設定できます。
● 条件によりメニュー項目が灰色で表示される場合があり、その項目は選択することができません。

PC入力時のメニュー項目一覧

■入力5を選択し、入力選択を「アナログPC」または「デジタルPC」に設定しているときのメニュー項目です。

映像調整※1

項目	設定
明るさセンサー	切、入、入：表示あり
明るさ	−8〜標準〜+8
映像	0〜+40
黒レベル	−30〜0〜+30
赤	−30〜0〜+30
緑	−30〜0〜+30
青	−30〜0〜+30
プロ設定	→ カラーマネージメント−色相 / カラーマネージメント−彩度 / カラーマネージメント−明度
リセット	する、しない

カラーマネージメント−色相 / 彩度 / 明度 →

項目	設定
R	−30〜0〜+30
Y	−30〜0〜+30
G	−30〜0〜+30
C	−30〜0〜+30
B	−30〜0〜+30
M	−30〜0〜+30
リセット	

音声調整※1

項目	設定
高音	−15〜0〜+15
低音	−15〜0〜+15
バランス ※2	左〜中央〜右
ドルビーバーチャル	切、入
リセット	する、しない

省エネ設定

項目	設定
パワーマネージメント	しない、モード1、モード2

本体設定

項目	設定
スピーカー設定	→ スピーカー切換：スピーカー端子A、スピーカー端子B → 音質補正 ※2：する、しない
入力解像度	※3 640×400、720×400、640×480、848×480、1024×768、1280×768
自動同期調整	する、しない
入力表示選択	入力5、ビデオ5、ビデオ、DVI-I、DVD、PC
画面調整	→ 水平位置：0〜180 → 垂直位置：0〜100 → クロック周波数：0〜180 → クロック位相：0〜40 → リセット
映像反転	しない、左右反転、上下反転、上下左右
Language（言語設定）	日本語、English

機能切換

項目	設定
映像オフ	する、しない
入力選択	デジタルPC、アナログPC、デジタルAV、アナログAV
出力選択	録画出力、モニター出力（固定）、モニター出力（可変）
QS駆動	する、しない
センタースピーカー入力	する、しない
デジタル音声出力	非連動、連動

デジタル設定

項目	設定
i.LINK設定	→ i.LINK自動切換：する、しない

※1 AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※2 ドルビーバーチャル「入」のときは選択できません。
※3 入力信号の種類により、表示項目が異なります。
● 条件によりメニュー項目が灰色で表示される場合があり、その項目は選択することができません。

次ページへつづく

メニュー項目一覧(つづき)

カード入力時のメニュー項目一覧

映像調整※1

- 明るさセンサー：切、入、入：表示あり
- 明るさ：−8〜標準〜+8
- 映像：0〜+40
- 黒レベル：−30〜0〜+30
- 色の濃さ：−30〜0〜+30
- 色あい：−30〜0〜+30
- 画質：−10〜0〜+10
- プロ設定
  - カラーマネージメント−色相
  - カラーマネージメント−彩度
  - カラーマネージメント−明度
    - R：−30〜0〜+30
    - Y：−30〜0〜+30
    - G：−30〜0〜+30
    - C：−30〜0〜+30
    - B：−30〜0〜+30
    - M：−30〜0〜+30
    - リセット
  - 色温度：高、高−中、中、中−低、低
  - 黒伸張：する、しない
  - モノクロ：する、しない
  - フィルムモード：する、しない
  - I／P設定：インターレース、プログレッシブ
- リセット：する、しない

音声調整※1

- 高音：−15〜0〜+15
- 低音：−15〜0〜+15
- バランス ※2：左〜中央〜右
- ドルビーバーチャル：切、入
- リセット：する、しない

省エネ設定

- 無操作オフ：する、しない

本体設定

- スピーカー設定
  - スピーカー切換：スピーカー端子A、スピーカー端子B
  - 音質補正 ※2：する、しない
- 位置調整
  - 水平位置：−4〜0〜+4
  - 垂直位置：−20〜0〜+20
  - リセット：する、しない
- 映像反転：しない、左右反転、上下反転、上下左右
- Language(言語設定)：日本語、English

機能切換

- 映像オフ：する、しない
- DNR ※3：しない、強、弱
- 出力選択：録画出力、モニター出力（固定）、モニター出力（可変）
- QS駆動：する、しない
- センタースピーカー入力：する、しない
- デジタル音声出力：非連動、連動
- デジタル固定：する、しない

デジタル設定

- i.LINK設定
  - i.LINK自動切換：する、しない

カード設定

- 静止画設定
  - スライドショー設定
    - 間隔：1秒〜10秒、15秒、20秒、25秒、30秒、45秒、60秒、15分、30分、60分
    - 順序：ノーマル、ランダム、マイプログラム
    - リピート：する、しない
  - マイプログラム設定：設定、全消去
  - 音声選択：音声なし、テレビ音声、入力1音声〜入力5音声
  - プロテクト／消去 ※4：ファイルプロテクト、1ファイル消去、全ファイル消去
- 動画設定
  - 録画モード：ファイン、ノーマル、ポータブル
  - 戻し録画：する、しない
  - リピート再生：しない、1ファイルのみ、全ファイル
  - プロテクト／消去 ※5：ファイルプロテクト、1ファイル消去、全ファイル消去
- 電子ブック設定
  - 表示設定
    - 文字サイズ設定：大、中、小
    - 縦書き／横書き設定：縦書き、横書き
    - ルビ表示：する、しない
  - 自動再生：しない、ページ送り、行送り
  - プロテクト／消去 ※6：ファイルプロテクト、1ファイル消去、全ファイル消去
- カード初期化：する、しない

※1 AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※2 ドルビーバーチャル「入」のときは選択できません。
※3 各入力系統で設定できます。
※4 機能モードが「静止画」のときのみ選択できます。
※5 機能モードが「動画」のときのみ選択できます。
※6 機能モードが「電子ブック」のときのみ選択できます。
- 条件によりメニュー項目が灰色で表示される場合があり、その項目は選択することができません。

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書（別添）

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※本機を分解すると、保証が無効になります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

■ 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

■「故障かな？と思ったら」（**220** ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名：液晶カラーテレビ
- 形　　　名：LC-32GD2
- お買いあげ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけくわしく）
- ご　住　所（付近の目印も合わせてお知らせください）
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　―

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

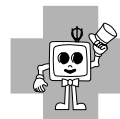
愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか
- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ………… **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は …………… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● **修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）**

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		＜東日本地区＞	＜西日本地区＞
○ 携帯電話／PHSでのご利用は ……………	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAXを送信される場合は ……………………	F A X	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄·奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043 - 297 - 4649	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06 - 6621 - 4649	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（04.01）

おもな仕様

区分		項目	仕様	
品名			液晶カラーテレビ	
形名			LC-32GD2	
ディスプレイ部	液晶パネル	画面サイズ	32V型（横697mm×縦392mm／対角800mm）	
		駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式	
		画素数	3,147,264ドット（縦768×横1,366×3）	
	スピーカー		8cm 丸形 2個、2.5cm 丸形 2個	
	音声実用最大出力（JEITA）		総合20W（10W＋10W）	
	接続端子		システムケーブル（白）接続端子、システムケーブル（グレー）接続端子、 システムケーブル（黒）接続端子、スピーカー接続端子－A、AC入力端子	
	使用電源		AC100V・50/60Hz	
	消費電力		116W	
	待機電力		0.2W	
	寸法	ディスプレイ部のみ	幅795mm×奥行70.5mm×高さ480mm	
		スピーカー装着時	幅980mm×奥行89.4mm×高さ480mm	
		スピーカー、スタンド装着時	幅980mm×奥行307mm×高さ566mm	
	本体質量	ディスプレイ部のみ	約13.0kg	
		スピーカー装着時	約17.5kg	
		スピーカー、スタンド装着時	約22.0kg	
チューナー部	受信チャンネル		テレビVHF1～12ch、UHF13～62ch、CATV13～63ch、BSデジタル000～999ch、 110度CSデジタル000～999ch、地上デジタル000～999ch	
	BS・110度CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK	
		トランスポート	MPEG2 システム	
		映像	MPEG2（MP@HL）	
		音声	MPEG2 AAC	
		限定受信システム	ARIB CASシステム	
		受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz	
		IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz	
	地上デジタルチャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重（OFDM）	
		トランスポート	MPEG2 システム	
		映像	MPEG2（MP@HL）	
		音声	MPEG2 AAC	
		限定受信システム	ARIB CASシステム	
		受信周波数帯域	93MHz～767MHz	
		CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド（MID）帯、スーパーハイバンド（SHB）帯、VHF帯	
	接続端子		システムケーブル（白）接続端子、システムケーブル（グレー）接続端子、 システムケーブル（黒）接続端子、ビデオ入力4系統4端子、S2映像入力2系統2端子、 D4映像入力2系統2端子、コンポーネント映像入力端子1系統1端子、 モニター出力1系統1端子（録画出力兼用・S2映像付き）、DVI-I端子、 音声入力端子（3.5φステレオ）1系統、デジタル音声出力（光）1系統1端子、 アンテナ（VHF・UHF）入力・出力端子、スピーカー接続端子－B、センタースピーカー入力端子、 ヘッドホン接続端子、DC出力端子、AC入力端子、コントロール端子	
	デジタル専用端子		i.LINK2端子、録画出力1系統1端子（モニター出力兼用・S2映像付き）、電話回線端子、 ネットワーク端子、ビデオコントロール端子、アンテナ入力（BS・110度CS）端子、 アンテナ入力（地上デジタル）端子	
	使用電源		AC100V・50/60Hz	
	消費電力		53W	
	待機電力		0.2W	
	寸法		幅432mm×奥行303mm×高さ95mm	
	本体質量		約7.0kg（本体のみ）	
使用温度			0℃～40℃	
年間消費電力量			ディスプレイ部：165kWh／年	チューナー部：73kWh／年

■ 年間消費電力量とは： 省エネルギー法に準拠して、型サイズや受信機の種別別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。

■ 高調波ガイドライン適合品

寸法図

ディスプレイ部

（単位： mm）

正面

側面

980

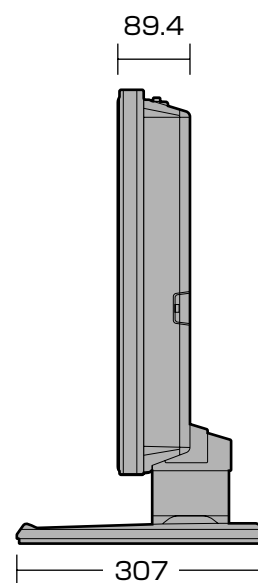
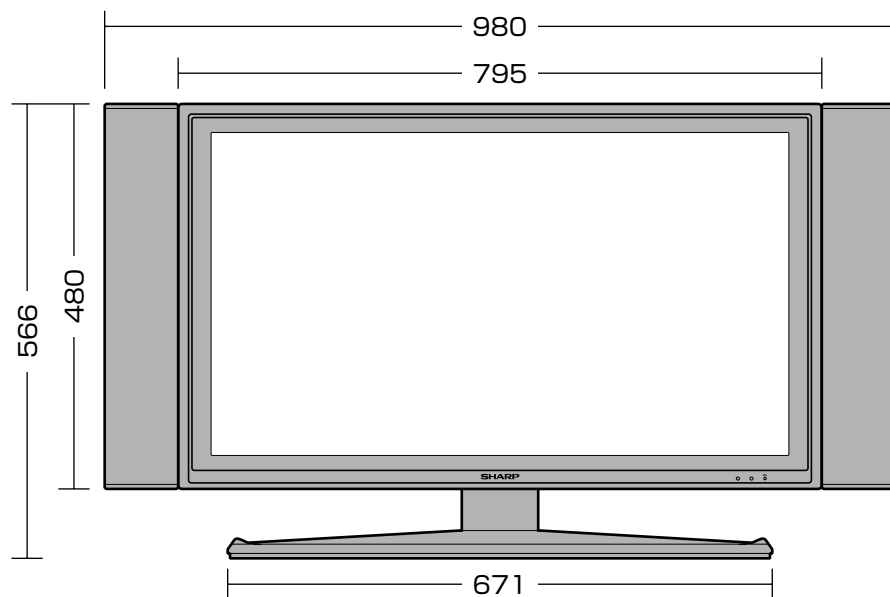
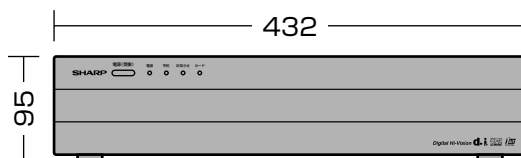
795

89.4

566

480

671

307

チューナー部

別売品について

■液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

（2004年2月現在）

No.	品　名	機種名
1	壁掛け金具	AN-37AG2
2	アンテナ整合器	AN-300RF
3	アンテナ延長ケーブル	AN-C10RF
4	AVワイヤレス伝送システム	AN-AV400
5	システムラック	AN-28SR1
6	システムケーブル（7m）	AN-07SC2

- 本機に適合する別売品が、新しく追加発売になることがありますので、ご購入の際には、最新のカタログで適合性や在庫の有無をご確認ください。

本機で使用している特許など

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

米国BBE Sound, Inc.の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。
BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc.の登録商標です。

用語の解説（よく使われるテレビ用語です）

■ 110 度 CS デジタル放送

BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。放送サービスは「プラットワン」と「スカイパーフェクTV！2」の2つのプラットフォーム（運営会社）によって提供され、BSデジタル放送と同じく、テレビ、ラジオ、データのチャンネルがあります。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

■ 16：9

デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i

走査線525本、インターレース方式。地上アナログ放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p

走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p

走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 1125i

走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ AAC（Advanced Audio Codec）

デジタル音声圧縮方式の1つです。少し未来のデータを予測し圧縮効率を上げる技術を採用しており、高音質であるのにかかわらず、高圧縮、マルチチャンネル化が可能です。

■ B-CAS カード（ビーキャスカード）

各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110度CS／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。

■ BS デジタル放送

2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ CATV（ケーブルテレビ）

ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ D端子

高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号(Y)と色差信号(C_B/P_B、C_R/P_R)を3本のケーブルで接続(コンポーネント接続)していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり(本機はD4に対応)、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ EPG（Electronic Program Guide）

デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。

■ i.LINK（アイリンク）

i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100、S200、S400と表示されます。

■ MPEG（Moving Picture Experts Group）

デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

■ NTSC（National Television System Committee）

日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム(フィールド周波数60Hz)、走査線数525本のインターレース方式です。

■ PCM（Pulse Code Modulation）

アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つ。音楽CDは、この方式を利用しています。

■ PPV（Pay Per View）

「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ S1/S2映像

セパレート(S)映像信号に、画面比率4：3で上下に黒帯のあるワイド映像(レターボックス)や、もと16：9の映像を横方向に圧縮して4：3にした映像(スクイーズ)を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。

■ インターレース（飛び越し走査）

NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます(この1画面を1フィールドといいます)。つぎに偶数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像(フレーム)をつくっていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレース(interlaced)を表します。

次ページへつづく

用語の解説(つづき)

■ 液晶パネル

液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

■ お知らせ

BS／110度CS／地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

■ コンポーネント接続

映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(C_B/P_B、C_R/P_R)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

■ コンポジット接続

通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

■ 地上デジタル放送

2003年12月から東京・大阪・名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、その他の地域では2006年末までに開始が予定されている新しい放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

■ ハイビジョン放送

デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は750本や1,125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ プログレッシブ(順次走査)

飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

■ プロバイダ

一般にはインターネットサービスプロバイダ(ISP)のことをいいます。インターネットのBMLコンテンツ(デジタル放送で使用されるデータ放送言語)を使った双方向サービスが楽しめます。

索引

索引（つづき）

●さ行

●た行

●な行

●は行

●ま行

●や行

●ら行

●わ行

Part Names

■ The number shown in each ▰ is the page number where the part's function and/or use are explained either in English or Japanese.

Display Unit

Front view

Top view

Adjusting the LCD panel angle

- Firmly holding the foot of the stand down to a steady surface with one hand, grab the top edge of the display section, and tilt or rotate the panel with the other hand. The panel can be tilted up to 2° forward, 6° backward, and rotated horizontally up to 10° clockwise and counter-clockwise.

Rear view

Speaker connector A 176

＋ 右 －　－ 左 ＋
4Ω10W　4Ω10W
スピーカー接続端子-A

AC入力100V

Power cable connector (AC 100V) 準備編 18

System cable connectors

黒　システムケーブル接続部　白　グレー

黒　グレー

チューナー部へ
（専用ケーブル以外は使用できません）

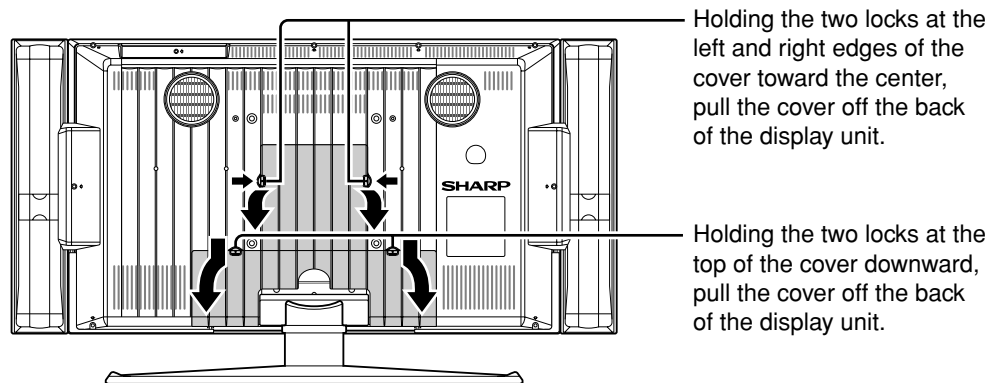
System cable connector (black) 準備編 18

System cable connector (white) 準備編 18

System cable connector (gray) 準備編 18

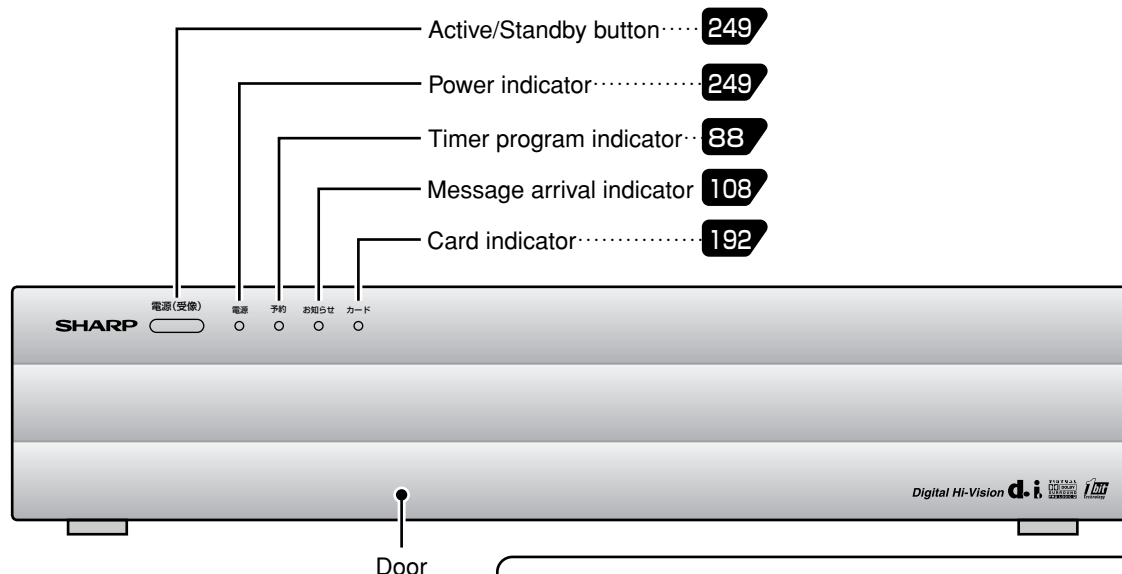
Opening the terminal covers

Holding the two locks at the left and right edges of the cover toward the center, pull the cover off the back of the display unit.

Holding the two locks at the top of the cover downward, pull the cover off the back of the display unit.

Part Names

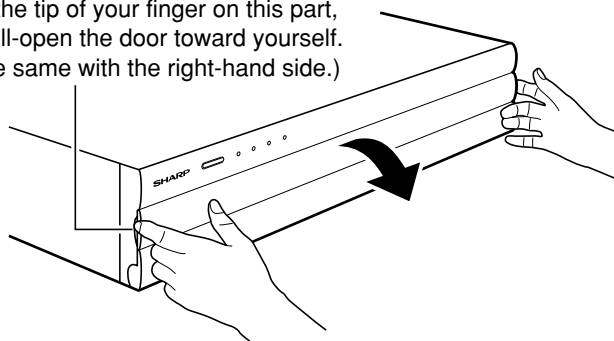
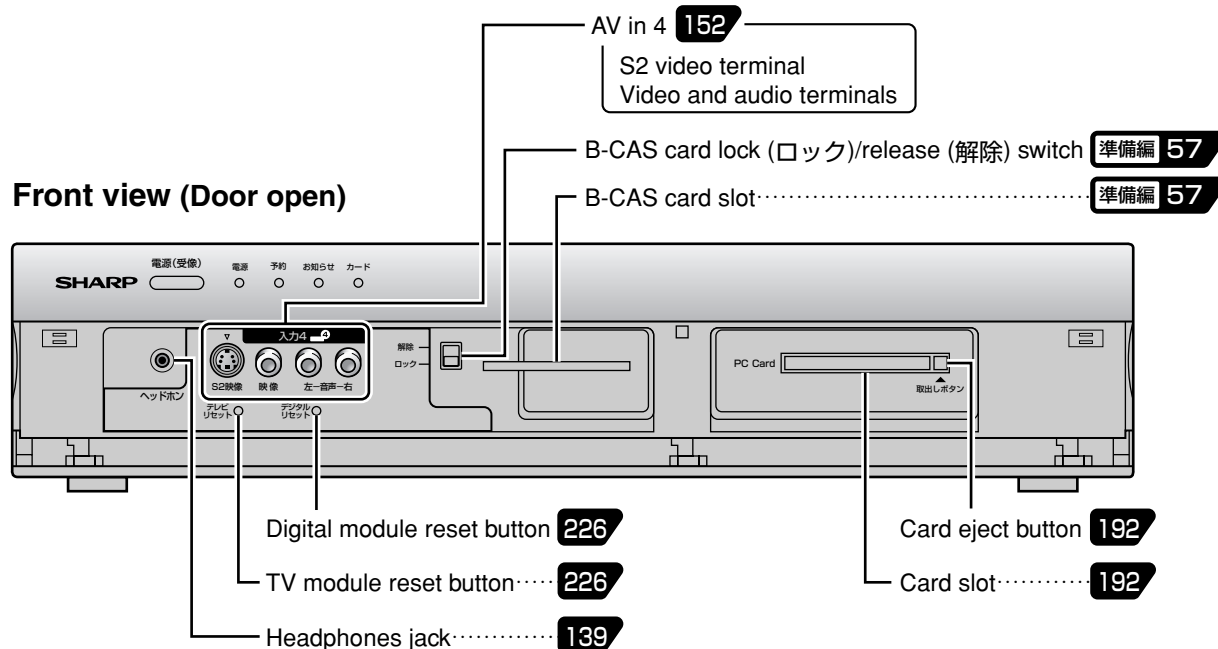
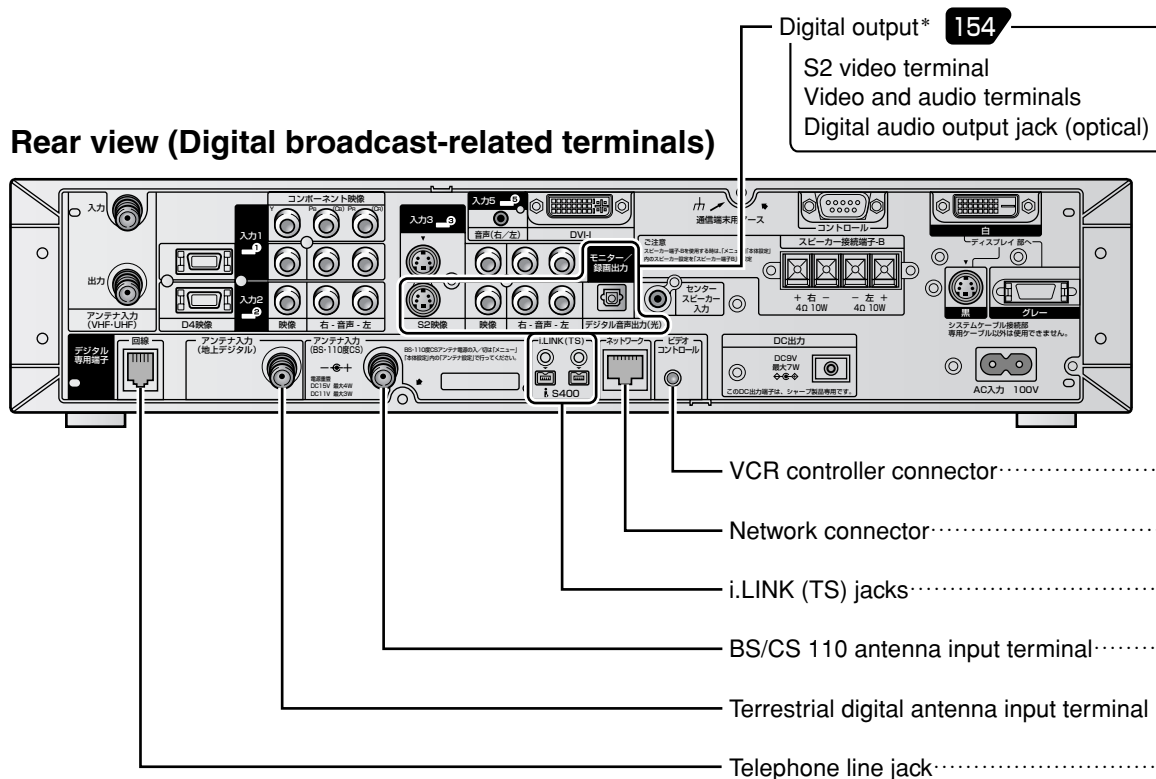
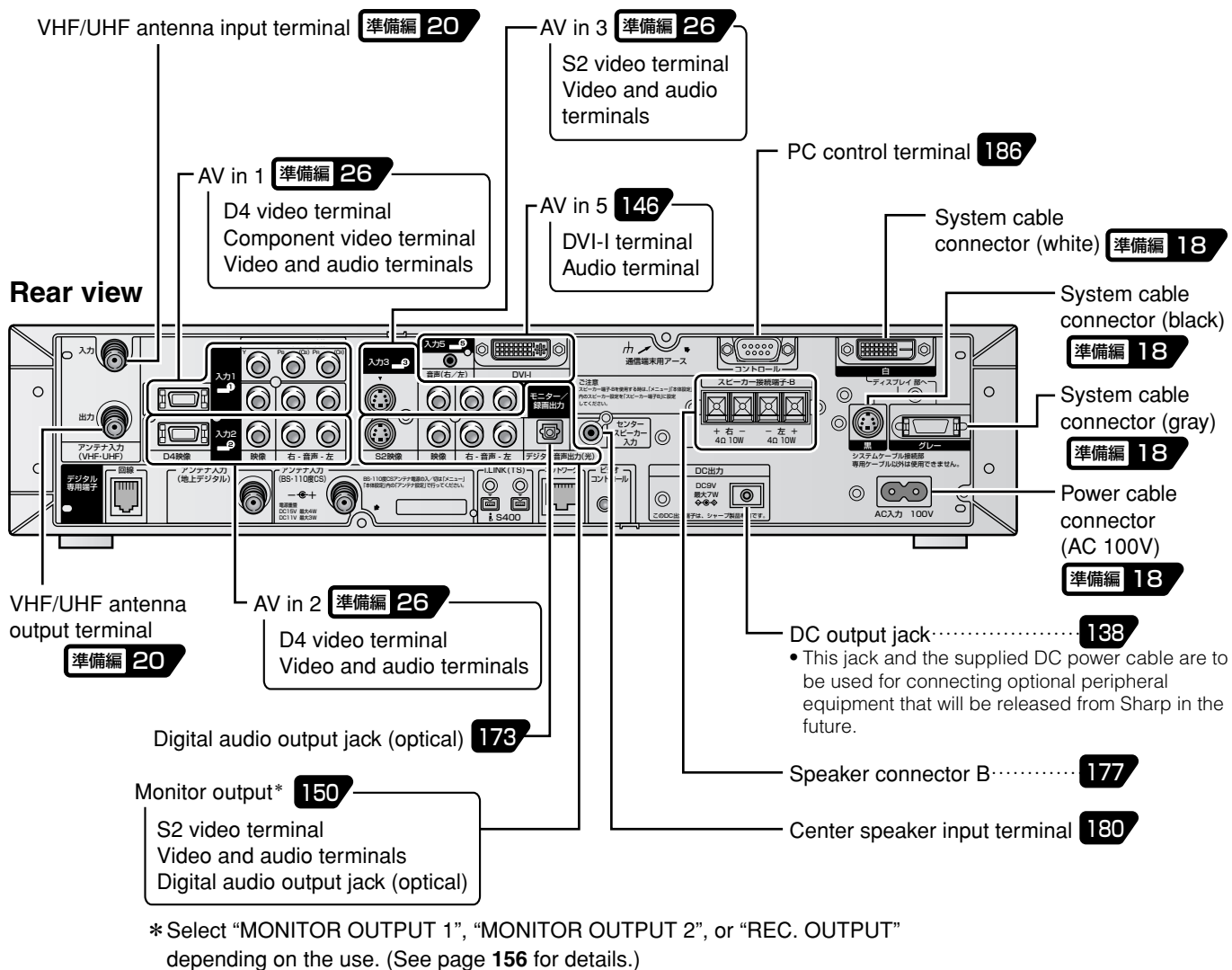
Tuner Unit

• The name and function of each terminal/jack/connector and connection examples are given under "端子のなまえとはたらき" on pages **138** and **139**.

Front view (Door closed)

Rear view

*Select “MONITOR OUTPUT 1”, “MONITOR OUTPUT 2”, or “REC. OUTPUT” depending on the use. (See page **156** for details.)

Rear view (Digital broadcast-related terminals)

Quick Start Guide

Part Names

Remote Control Unit (Cover closed)

Display ··· 251
Press to display or turn off the channel call, etc.

Active/Standby ··· 250
Press to engage the TV set in the active or standby mode.

i.LINK ··· 169
Press to select the i.LINK mode. Press to display or turn off the D-VHS VCR control panel.

Favorite channel select ··· 55
- Press to select a user-registered channel.
- ∗ Factory setting: Terrestrial analog channels

Terrestrial analog select ··· 250
Press to select the terrestrial analog network.

Terrestrial digital select ··· 253
Press to select the terrestrial digital network.
∗ Use this button after the TV set is tuned to receive terrestrial digital broadcasts.

Media select ··· 253
Press to select the desired media (TV, radio, or data).

Volume up (大)/down (小) ··· 250
Press to adjust the volume.

Mute ··· 251
Press to temporarily turn off the sound. Press again to return the sound volume to the previous level.

EPG ··· 71
Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving a digital broadcast.

Program info ··· 256
Press to display detailed information (e.g. title, genre, on-air time, cast, writer, etc.) on the current digital program.

Cursor (up, down, left, right) ··· 252・253
Use to select a menu item, column, etc.

Enter/Confirm ··· 252・253
Press to confirm a selected setting or menu item.

Finish ··· 14
Press to end the split screen mode or picture freeze mode, turn off the EPG display, or finish menu operation, etc.

Note
This button can be conveniently used when you are at a loss during menu or EPG operation, etc.

Color (blue, red, green, yellow) ··· 253
Use to operate EPGs and data program screens.

Sleep timer ··· 53
Press to select the desired remaining time period after which the TV set automatically turns off and enters the standby mode.

DD Virtual ··· 50
Press to turn on or off the Virtual Dolby Surround effect.

Favorite channel register ··· 55
Press to display or turn off the favorite channel register/registered channel table screen.

Digital channel number input 253
When selecting a digital channel by entering the 3-digit channel number, press this button first, then enter the channel number with the channel select buttons (1-10/0).

Channel select ··· 250
- Press to select a channel after selecting the desired network (terrestrial analog [地上A], terrestrial digital [地上D], BS, CS1, or CS2) and media (TV, radio, or data).
- ∗ Factory setting: BS digital TV channels
- Use to input a number for various settings.

CS1/CS2 select ··· 253
Press to select the CS1 or CS2 digital networks.

BS select ··· 253
Press to select the BS digital network.

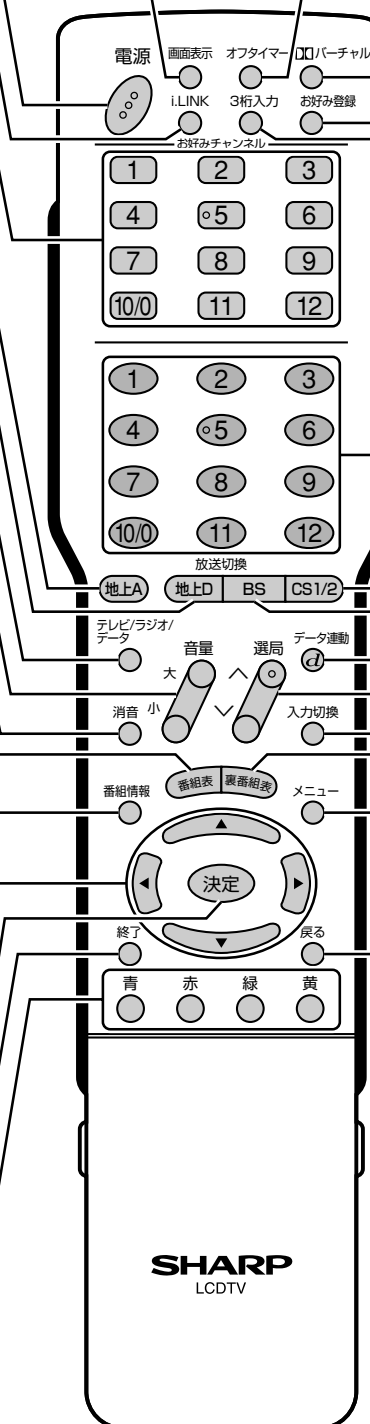
d (linked data broadcast) ··· 256
Press to call the data broadcast linked with the current digital TV program.

Channel up (∧)/down (∨) ··· 250
Press to select channels in the current network and media, CATV channels, and user-registered favorite channels in the ascending or descending order.
∗ CATV channels are factory set to be skipped.

Input select ··· 141・251
Press to select the desired input.

Other on-air programs ··· 76
Press to display the EPG for currently on-air programs only (裏番組表).

Menu ··· 14
Press to display or turn off the menu screen.
*The menus can be displayed in English. See page **252** for instructions on how to switch the display language.*

Return ··· 14
Press to go back to the previous screen. Press this button instead of the Enter/Confirm (決定) button when you have selected the wrong item or input the wrong number, etc.

Remote Control Unit (Cover open)

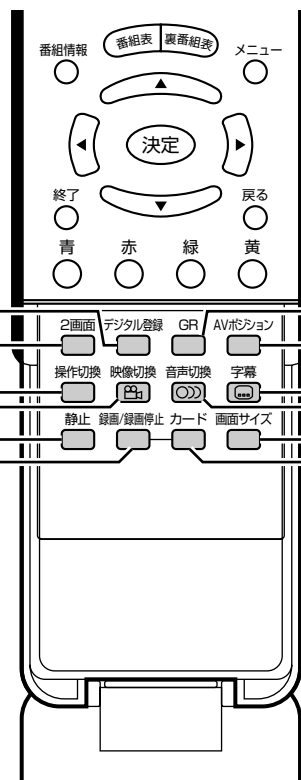
Digital channel register ······ 96
Press to display or turn off the channel register/registered channel table screen.

Split screen ······ 33
Press to switch between the split screen mode and the normal screen mode.

Operable screen ······ 34
Press to switch the operable screen (screen with the ♪ mark) when the TV set is in the split screen mode.

Picture select ······ 256
Press to select the desired picture when watching a digital multi-picture program.

Freeze ······ 35
- Press to freeze the picture. A frozen image and a moving picture are displayed simultaneously on split screens.
- You can record still images on a PC card. See page **195** for details.

Record start/stop ······ 195
Press to start or stop card recording.

GR ······ 51
Press to activate or deactivate the GR (ghost reduction) function.

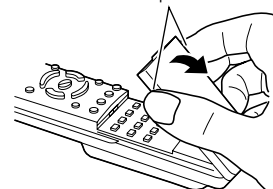
AV mode select ······ 42
Press to select the picture/sound setting (dynamic [locked], dynamic, standard, cinema, game, or AV memory) that best matches the current program.

Caption ······ 256
Press to display, select, or turn off captions when watching a digital program with captions.

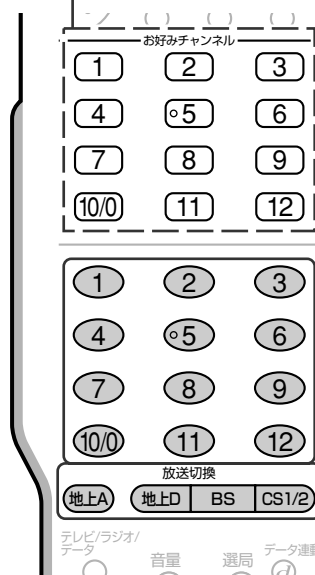
Audio select ······ 48・256
Press to select the desired audio (e.g. Japanese or English in bilingual broadcast, the main sound or a sub sound in digital multi-sound broadcast, etc.).

Screen mode ······ 31
Press to select the desired screen mode.

Card ······ 194
- Press to select the Card input.
- Press to display or turn off the on-screen card operation panel.

To open the cover
Hold the cover by the projections on both sides and lift upwards.

Basic operation for channel selection

Favorite channel select buttons

- Register your favorite terrestrial/digital channels. (Favorite channel registration—See page **55**.)
- Individual channel settings (pages **39** and **50** through **53** of 準備編) do not affect the settings of the favorite channel select buttons.

① • Network select buttons (terrestrial analog, terrestrial digital, BS, CS1/2)

② • Channel select buttons 1 – 12

Selecting terrestrial analog (VHF/UHF) channels

① Press 地上A to select terrestrial analog broadcast.

② Press 1 – 12 to select the desired channel.

Selecting digital channels

① Press 地上D, BS or CS1/2 to select the desired digital broadcast network. (Press CS1/2 to toggle between CS1 and CS2.)

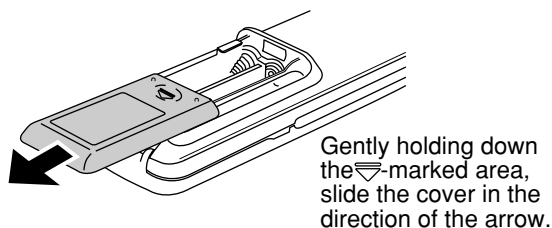
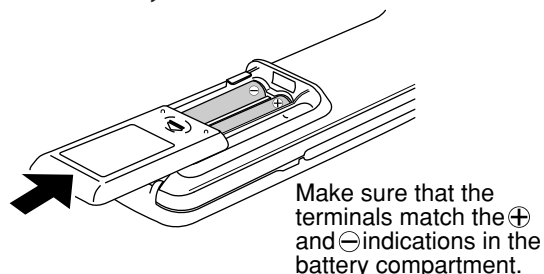
② Press 1 – 12 to select the desired channel.

Types of broadcast
- Terrestrial analog: Conventional VHF/UHF broadcast
- Terrestrial digital: Terrestrial digital broadcast
- BS: BS digital broadcast
- CS1/2: CS 110 digital broadcast

■For details about channel selection, see pages **250** and **253**.

Part Names

Inserting batteries in the remote control

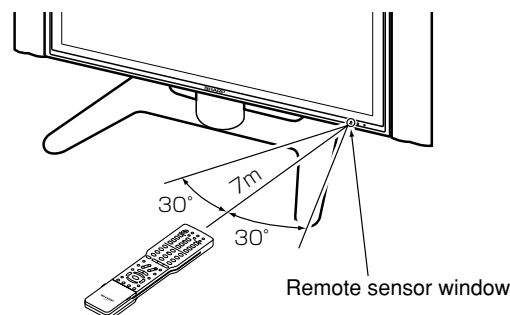
1 Open the battery cover.

2 Insert the supplied two AAA batteries, and close the cover.

Cautions regarding batteries

Improper use of batteries can result in chemical leakage or explosion. Be sure to follow the instructions below.

- Do not mix batteries of different types.
- Do not mix old and new batteries.
- Do not try to charge or disassemble batteries.
- Place the batteries with their terminals corresponding to the ⊕ and ⊖ indications.
- Do not short-circuit batteries.

- The supplied batteries may have a shorter life expectancy due to storage conditions. Replace them with new ones before they are depleted.
- Remove the batteries from the remote control, if you will not use it for a long time.
- If, after replacing batteries, the remote control does not work, make sure the new batteries are placed in the right direction.

Remote control operating range

When operating the remote control, direct its head toward the remote sensor window located at the bottom right corner of the display unit, as shown below. The maximum operating range is approximately 7 meters in distance, and 30 degrees in angle against the straight line normal to the remote sensor window, as shown below.

Note:

- The remote control may not work when there is an obstacle between the remote control and the display unit's remote sensor window.
- As the batteries are depleted, the operating distance will become shorter. Replace them with new ones.
- The remote control may not work properly when there is a fluorescent light near the display unit's remote sensor window.

Cautions regarding the remote control

- Do not expose the remote control to shock, water, or high humidity.
- The remote sensor window on the display unit may not properly receive remote control signals when it is under direct sunlight or strong lighting. In such a case, change the angle of the lighting or the display unit.

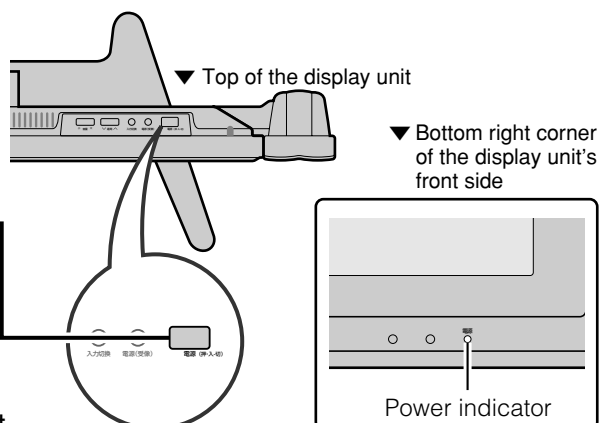
Basic Operations

Shown on this and the next three pages are the basic operations for enjoying TV and video programs.

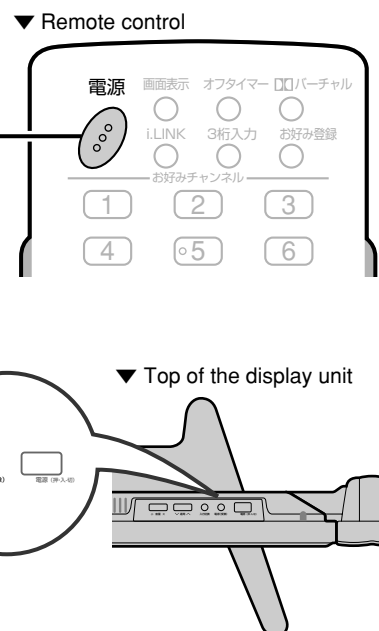
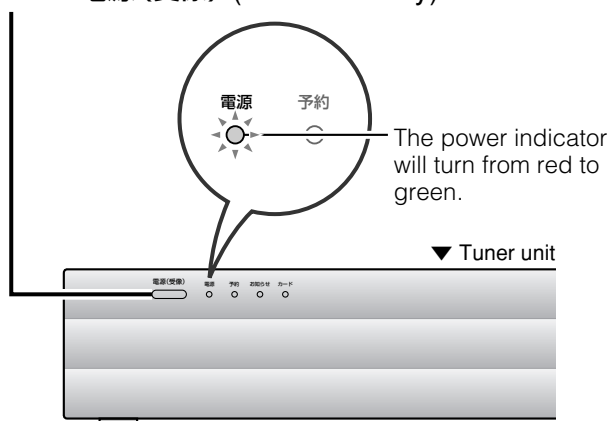
Turning the power on

❶ Press the 電源（押•入-切） (main power on/off) switch to turn on the power.

- The TV set enters the standby mode (with the power indicator lit red) or the active mode (with the power indicator lit green).

Standby mode ☞ Go to step ❷.
Active mode ☞ Now you can operate the TV set using the remote control.

- When the power indicator flashes in red, check the system cable connection.

❷ Engage the TV set in the active mode by performing any of the following operations.

- Press the 電源 (active/standby) button on the remote control.
- Press the 電源（受像） (active/standby) button on the display unit.
- Press the 電源（受像） (active/standby) button on the tuner unit.

- When you press the 電源 or 電源（受像） (active/standby) button to turn off the TV, it may take a while before the power is actually turned off. (During this time, the system is storing the internal data to its memory.)

Power supply and power cable connection

- The tuner unit communicates with digital TV stations even when it is in the standby mode.
- Do not disconnect the power cable from the wall outlet immediately after it has been plugged in. In rare cases, the tuner unit's memory will be initialized causing timer programs, the PPV program purchase history (unrecoverable), etc. to be erased. If this happens, perform all necessary settings again.
- Do not unplug the power cable or interrupt power supply when the TV set is in use. This may damage the data stored in the built-in memory.

Basic Operations

Power on/off, channel selection, volume control

1 Turn on the TV.

Power on (Active mode) ………… The power indicator lights green.

2 Select the desired network.

Network select buttons

- Press to select the desired network (terrestrial analog [地上A], terrestrial digital [地上D], BS, CS1, or CS2).
  (* The 地上D [terrestrial digital select] button works only after terrestrial digital broadcasting services are started in your area and the TV set is tuned to receive terrestrial digital broadcasts.)

3 Select the desired channel.

Channel select buttons

- Press to select a channel after selecting the desired network (terrestrial analog [地上A], terrestrial digital [地上D], BS, CS1, or CS2) and media (TV, radio, or data).

Channel up (∧)/down (∨) buttons

Favorite channels (User-registered channels)
↕
Regular channels (Channels in the network and media of last selected channel)

See pages 253 through 256, and 61 through 136 for digital broadcast-related operations.

4 Adjust the volume.

The volume indicator will appear on the TV screen showing the current volume level with numerals and a bar.

- You can adjust the volume for each input independently.

5 Turn off the TV.

Power off (Standby mode) ………… The power indicator lights red.

Select the desired favorite channel.

Favorite channel select buttons

- Press to select the desired user-registered channel.

Remote control

The display unit's control section is available for performing basic operations.

Power cable connection

- This TV communicates with digital TV stations even when it is in the standby mode.
- Do not disconnect the power cable from the wall outlet immediately after it has been plugged in. In rare instances, the tuner unit's built-in memory will be initialized causing timer programs, the PPV program purchase history (unrecoverable), etc. to be erased. If this happens, perform all necessary settings again.
- Do not unplug the power cable or interrupt the power supply when the TV set is in use. This may damage the data stored in the built-in memory.

Preset channels

- This TV set is factory preset to receive VHF channels 1 to 12 and BS/CS 110 channels. See pages **28** through **43** of 準備編 if you wish to receive terrestrial analog UHF broadcasts or change the channel settings.

On-screen displays, mute, input selection, etc.

Press to display or turn off the channel sign.

- Press to display the current channel sign.
  Press again to turn it off.

Channel sign examples

Terrestrial analog TV

BS digital broadcast

CS 110 digital broadcast

Terrestrial digital broadcast

CATV broadcast

AV input

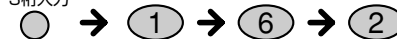
PC input

Card input

Use to select a digital channel by entering the 3-digit channel number.

<Ex.> Selecting BS digital channel 162

① Press the BS select button, then the digital channel number input button.
② Enter the 3-digit channel number with the number (channel select) buttons (1-10/0).

3桁入力 ➔ 1 ➔ 6 ➔ 2

▼ On-screen display (Ex. BS digital broadcast)

Note You can also use the following steps.
① Press the 3桁入力 (digital channel number input) button.
② Press the 地上D (terrestrial digital), BS, or CS1/2 button to select the desired network.
③ Input the desired channel number using the 1-10/0 number buttons.

Press to temporarily turn off the sound.

- Press this button again or press the volume up/down buttons to return the sound volume to the previous level.

Press to select the desired input.

- Each time you press the button, the screen changes in the following order. (Factory setting)

- Press any channel select button to return to the TV screen.

AV in 1-5 indications

- The AV in 1-5 indications can be changed to match the connected equipment. See "外部機器に表示を合わせる" on pages **148** and **149** for details.

Ex. AV in 1

INPUT1	VCR1	VCR	COMPONENT1
COMPONENT	D-VIDEO1	D-VIDEO	CATV
CS	DVD	GAME	CAMERA
D-VHS	HDD	DVR	

Press to display the electronic program guide (EPG) when receiving a digital broadcast.

- Press again to turn off the EPG display.

Press to end operation.

- Use to end the split screen mode or picture freeze mode, turn off the EPG display, or finish menu operation, etc.

Tip on use This button can be conveniently used when you are at a loss during menu or EPG operation, etc.

Note

When broadcasting service for the selected channel is over for the day

- If the no-signal-off function is activated, approximately 15 minutes after the end of service day, the power automatically turns off, and the TV set enters the standby mode with the power indicator lit red. (See page **59**.)
- The no-signal-off function may not work properly if the TV set receives a weak signal from any other channel or some other wave.
- The no-signal-off function works in the same way when the TV set is in the AV input mode, but it does not work for digital broadcasts, PC, i.LINK and Card input signals.

CATV channel reception

- CATV channels can be received only in areas where CATV broadcast services are available.
- To receive CATV channels, you need to sign up with your local CATV broadcasting company for subscription. To watch (and record) charged, scrambled broadcasts, you need to connect a home terminal adapter to the TV set. For further details, consult with your local CATV service provider.
- The channel up/down buttons can be used for CATV channel selection only after you perform individual channel registration. (See page **39** of 準備編 .)
- The selectable CATV channels are C13 through C63.

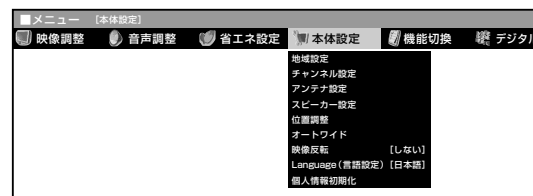
Quick Start Guide

Basic Operations

Switching the Display Language to English

■ Using the menu screen, you can switch the on-screen display language to English.

1

① Press メニュー (menu) to display the menu screen.

② Press ◀ or ▶ to select "本体設定"(Setup).

2

Press ▲ or ▼ to select "Language (言語設定)", then press 決定 (enter).

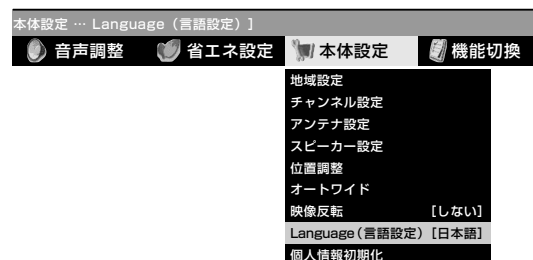
3

Press ◀ or ▶ to select "English", then press 決定 (enter).

- The menu screen is now displayed in English.

4

Press メニュー (menu) or 終了 (finish) to return to normal screen.

Quick Start Guide

Enjoying Digital Broadcasts

Selecting a digital program

Select the desired digital broadcast network

The TV set incorporates a digital tuner that allows you to receive four digital broadcast networks—terrestrial digital, BS, CS1, and CS2. What you do first is to select the network of your choice.

Press 地上D (terrestrial digital) , BS or CS1/2 to select the desired network.

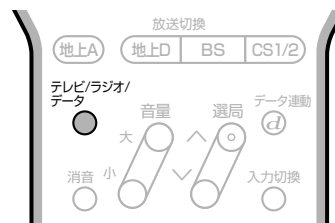
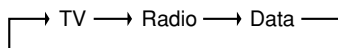
- Each time you press the CS1/2 button, the network changes as shown below.

CS1 (PLAT-ONE) ⇄ CS2 (SKY PerfecTV!2)

Select the type of broadcast (Not necessary when selecting a channel by entering the channel number.)

Digital broadcasts offer not only TV programs but also radio and data programs. After you have selected the network of your choice in step 1 above, what you do next is to select the type of broadcast—TV, radio, or data, by pressing テレビ/ラジオ/データ (media select).

Press テレビ/ラジオ/データ (media select) to select the desired media (TV, radio, or data).

- Each time you press the button, the media changes as shown below.

Operating a data program screen

Data programs usually display control button and item graphics on the screen. Use ▲ ▼ ◀ ▶ cursor buttons and 決定 (enter/confirm) as well as color buttons (青 Blue, 赤 Red, 緑 Green, 黄 Yellow) to select an item, confirm your choice, or switch screens back and forth, etc.

Select the desired channel

① **Using the channel select buttons**

The channel select buttons are factory preset to receive the channels listed in the tables shown on pages **254** and **255**.

After you have received the desired type of broadcast in step 2 above, all you do now is press one of the channel select buttons 1 - 12 to directly select the channel of your choice.

② **Selecting a channel by entering the 3-digit channel number** (Ex. Selecting a BS channel)

Press 3桁入力 (digital channel number input). “BS---” is displayed in the top right corner of the screen. Enter the 3-digit channel number using the channel select buttons (1-10/0).

Ex. Press 1 → 4 → 1 to select BS Nippon.

As you press the third button, 1, a BS Nippon program will be displayed on the screen.

③ **Using 選局 (channel up/down)**

After you have received the desired type of broadcast in step 2 above, press the ∧ or ∨ side of 選局 (channel up/down) to select the next higher or lower channel.

Enjoying Digital Broadcasts

Factory preset digital channels

Terrestrial digital channels*

Channel select button	Channel name	Channel number	Channel select button	Channel name	Channel number
1	NHK General (Tokyo)	011	7	TV Tokyo	071
2	NHK Education (Tokyo)	021	8	Fuji Television	081
3	—	—	9	Tokyo MX TV	091
4	Nippon TV	041	10/0	—	—
5	TV Asahi	051	11	—	—
6	TBS	061	12	University of the Air	121

*This table shows the terrestrial digital broadcast channel plan for Tokyo area.

BS (BS digital) channels

Channel select button	TV		Radio		Data	
	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number
1	NHK BS1	101	BSC300	300	Megaport	900
2	NHK BS2	102	Music Bird	316	Weathernews	910
3	NHK Hi-Vision	103	JFN 1	320	Digicas 933	933
4	BS Nippon	141	St. GIGA	333	NDB 940	940
5	BS Asahi	151	BS Nippon Radio 1	444	BS955-5	955
6	BS-i	161	BSA Radio 455	455	Tivi! 963	963
7	BS Japan	171	BS-i Radio	461	ch999	999
8	BS Fuji	181	BSJ 471	471	—	—
9	WOWOW	191	LFX488	488	—	—
10/0	Star Channel	200	BSQR489	489	—	—
11	—	—	WOWOW WAVE 1	491	—	—
12	—	—	—	—	—	—

CS1 (PLAT-ONE) channels

Channel select button	TV		Radio		Data	
	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number
1	Promo Channel	001	Sound Terior	700	Data College	010
2	G+SPORTS & NEWS	004	Healing Terior	701	Oh ATARI ch	900
3	NNN24	005	Light Classical Terior	702	Oh TAKARA ch	901
4	Punch Club	006	Screen Terior	703	CS Education TV	902
5	Eco Music TV	007	String Ensemble Terior	704	Ge-chan	909
6	MUSIC JAPAN TV PLUS	008	Café Music Terior	705	Hello Tivi!	963
7	Momma TV Science	009	Swing Terior	706	SPORTS Tivi!	966
8	ep 055 Channel	055	Fusion Terior	707	NEWS Tivi!	967
9	WOWOW PPV1	091	Country & Western Terior	708	SHOP&TV5 (France)	998
10/0	WOWOW PPV2	092	Latin & Brazilian Terior	709	Lifestyle TV	999
11	WOWOW PPV3	093	Borderless Music Terior	710	—	—
12	WOWOW PPV4	094	R & B Soul Terior	711	—	—

CS2 (SKY PerfecTV!2) channels

Channel select button	TV		Radio		Data	
	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number
1	Promo Channel	100	—	—	110 PORTAL	110
2	C-TBS Welcome Channel	160	—	—	CS Movie Channel	123
3	SHOP CHANNEL	177	—	—	BAZ	170
4	FUJITV739	182	—	—	TAKARAZUKA SKY STAGE	190
5	AQ STATION	194	—	—	Asahi Open Shogi To.	217
6	THE GOLF CHANNEL	211	—	—	—	—
7	Japanese Movie Ch.	220	—	—	—	—
8	Super Channel	230	—	—	—	—
9	AXN	234	—	—	—	—
10/0	ACTIVE SPORTS CHANNEL	250	—	—	—	—
11	TAKARAZUKA SKY STAGE	290	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—

- There is no channel plan for CS2 (SKY PerfecTV!2) radio broadcast as of February 2004.
- The channel plans listed above are those known as of February 2004, and subject to change in the future.

Quick Start Guide

Enjoying Digital Broadcasts

Various services of digital broadcasting

Digital broadcasting stations offer various services which take advantage of digital technologies that allow far more data volume to be transmitted within a single channel than the traditional terrestrial or satellite analog TV. These services include programs with multiple pictures and sounds, program-linked data broadcast in which program-related or independent information is provided with still images and texts, and provision of program information using which your TV shows an on-screen electronic program guide (EPG) when desired.

●Multiple pictures

Press 映像切換 (picture select) under the cover until the desired picture is selected. (This feature is only available when the current program has multiple pictures.)

●Multiple sounds

Press 音声切換 (audio select) under the cover until the desired sound is selected. (This feature is only available when the current program has multiple sounds.)

●Captions

Press 字幕 (caption) under the cover to display or turn off captions, or press the button until the desired caption is selected when the current program offers multiple captions. (This feature is only available when the current program has one or more captions.)

●Program-linked data broadcast

Press データ連動 (linked data) to display the linked data screen. A program-linked data screen usually has an inset screen that shows the program which has been being viewed. To return to the normal screen, press データ連動 again. (This feature is only available when the current program has a linked data broadcast.)

●Program information

Press 番組情報 (program info) to display detailed information (title, genre icon, on-air time, cast, writer, etc.) on the current program. When the information window has multiple pages, press the down cursor button to see the next page. Press the up cursor button to return to the previous page. To turn off the information window, press 番組情報 again.

●Electronic program guide (EPG)

Press 番組表 (EPG) to display an on-screen program guide, a schedule of programs currently on air and ones to be broadcast in the future (as far as a week ahead not including today), with which you can select a program you wish to see. The EPG also allows you to timer-record programs. (You need to connect the TV to a VCR or D-VHS VCR with a timer programming function.) To turn off the EPG, press 番組表 again or press 終了.

Cover open

● 製品についてのお問合せは…

お客様相談センター	東日本相談室　TEL **043-297-4649**　FAX **043-299-8280**
	西日本相談室　TEL **06-6621-4649**　FAX **06-6792-5993**

≪受付時間≫　月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は…　**232**ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ　**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
★この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率 100%）

TINS-B183WJZZ
04P02-JKK